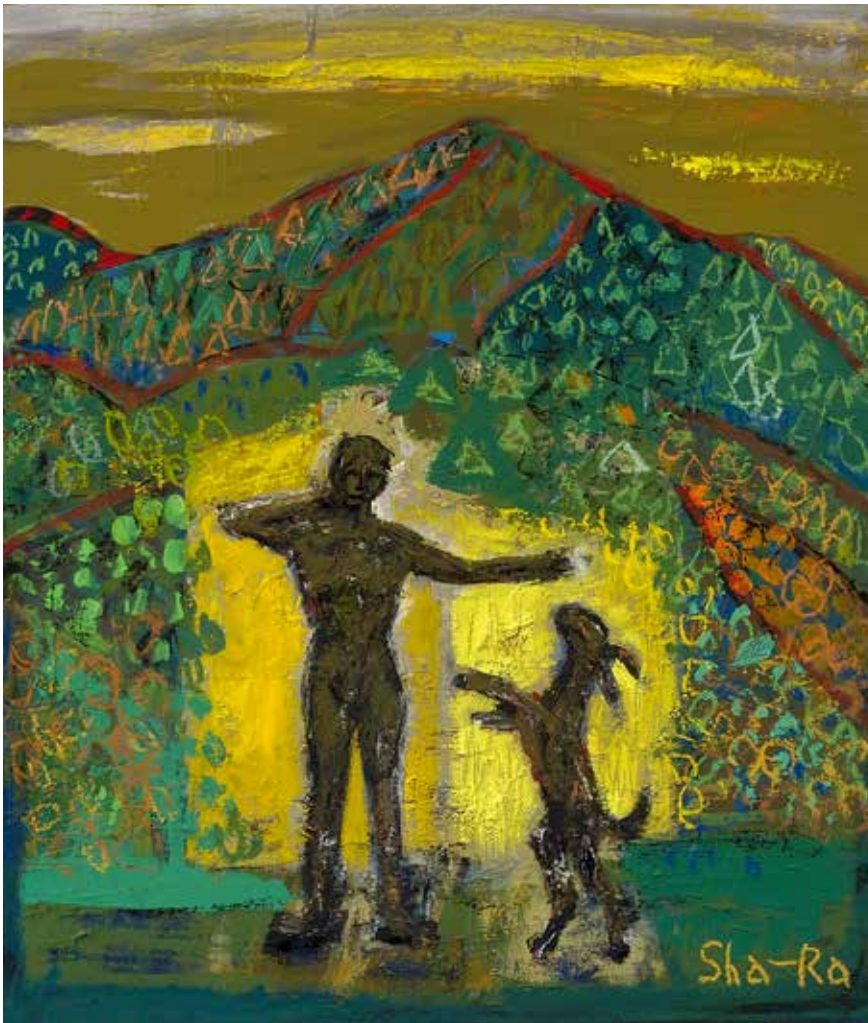


文部科学省認可通信教育

レポート課題集

社会福祉編



2013

 東北福祉大学



2013

レポート課題集

社会福祉編



東北福祉大学通信教育部

目次

レポート提出上の注意

I レポートとは	6
II 手書き用レポート用紙記入上の注意—一般の科目	9
III レポートのワープロ・パソコン印字提出上の注意	12
IV スクーリング受講者専用「別レポート」提出上の注意	17
V 別レポート実施予定科目一覧	18

共通基礎科目

禅のこころ 050001	20
ボランティア論 050002	22
福祉と経済 050003	25
生命の科学 050005	28
法の基礎（日本国憲法を含む）050007	32
歴史を見る眼 050009	34
コミュニケーション英語 050011	37
スポーツ（バレーボール）050014	41
スポーツ（パングolf）050015	43
健康科学 050016	44
人間と教育 050017	47
観光と文化 050018	49
科学的な見方・考え方 050020	52
福祉と生活 050021	57

社会福祉士指定科目 A

平成21年度以降入学者 社会福祉士国家試験指定科目一覧	60
平成20年度以前入学者 社会福祉士国家試験指定科目一覧	61
福祉社会学 050101	62
福祉心理学 050103	67
21～福祉法学 050063	70
21～更生保護制度論 050069	73
21～高齢者福祉論 050064	75

21～介護概論 050065	77
21～児童・家庭福祉論 050066	80
障害者福祉論 050118	84
社会福祉原論（職業指導を含む）050104	89
地域福祉論 050105	92
社会保障論 050107	96
公的扶助論 050108	100
21～医学一般 050079	103
21～社会福祉援助技術総論 050070	107
21～社会福祉援助技術論A 050071	110
21～社会福祉援助技術論B 050072	117
21～社会調査の基礎 050073	120
21～福祉経営論 050074	123
21～保健医療サービス論 050075	125
就労支援サービス論 050076	128
21～福祉行財政と福祉計画 050080	129
21～社会福祉援助技術演習A 050082	131
21～社会福祉援助技術演習B 050083	137
21～社会福祉援助技術演習C 050084	143
21～社会福祉援助技術実習指導A 050190	149
21～社会福祉援助技術実習指導B 050191	153
21～社会福祉援助技術実習 050907	157

社会福祉士指定科目 B ほか

～20 福祉法学 050102	162
～20 医学一般 050106	164
～20 高齢者福祉論 050117	168
～20 児童福祉論 050116	170
～20 介護概論 050120	171
～20 福祉計画法 050123	175
～20 福祉施設管理論 050125	177
～20 社会福祉援助技術論 I 050126	180

～20 社会福祉援助技術論Ⅱ 050127 …	182	精神科リハビリテーション学 050139 …	223
～20 社会福祉援助技術論Ⅲ 050128 …	183	精神医学 050140 …	225
～20 社会福祉援助技術論Ⅳ 050129 …	186	24～ 精神障害者の生活支援システム 050151 …	228
～20 社会福祉援助技術演習Ⅰ 050130…	188	24～ 精神保健福祉援助演習A 050157 …	230
～20 社会福祉援助技術演習Ⅱ 050131…	193	～23 精神保健福祉援助演習 050141 …	234
～20 社会福祉援助技術現場実習指導 050132 …	198	～23 精神保健福祉援助実習 050902 …	240
～20 社会福祉援助技術現場実習 050901 …	201		

精神保健福祉士指定科目

平成24年度以降入学者 精神保健福祉士国家試験指定科目一覧 …	206
平成21年度～23年度入学者 精神保健福祉士国家試験指定科目一覧 …	207
平成20年度以前入学者 精神保健福祉士国家試験指定科目一覧 …	207
～23 精神保健福祉論Ⅰ 050133 …	208
24～ 精神保健福祉の理論 050155…	208
～23 精神保健福祉論Ⅱ 050134 …	210
24～ 精神保健福祉のサービス 050150 …	210
～23 精神保健福祉論Ⅲ 050135 …	212
24～ 精神保健福祉の制度 050152…	212
精神保健学 050136 …	214
～23 精神保健福祉援助技術総論 050137 …	217
24～ 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ 050153 …	217
24～ 精神保健福祉援助技術総論Ⅱ 050154 …	217
～23 精神保健福祉援助技術各論 050138 …	220
～23 精神保健福祉援助技術各論 050148 …	220
24～ 精神保健福祉援助技術各論 050156 …	220

その他社会福祉学科専門選択科目

基礎演習 050145 …	252
福祉ボランティア活動 050142 …	253
NPO 論 050113 …	255
21～ 障害の理解 050195 …	257
21～ 生活行動と人体 050194…	259
福祉思想論 050109 …	261
公衆衛生学 050110 …	263
知的障害者福祉論 050119 …	266
福祉機器論 050121 …	270
リハビリテーション論 050122 …	274
福祉リスクマネジメント 050143…	277
家族法 050144 …	279
国際福祉論 050115 …	281
社会福祉法制 050111…	283
ケアマネジメント論 050124 …	285
発達障害者の地域支援 050211 …	288

利用上のご注意

- 1) 特講科目は開講年度の『試験・スクーリング 情報ブック』または『With』をご覧ください。
- 2) 大半の科目のスクーリング講義概要は、開講年度の『試験・スクーリング 情報ブック』をご覧ください。
- 3) 同一科目名称で入学年度によって単位数が異なる科目（「介護概論」「高齢者福祉論」「医学一般」「精神保健福祉援助技術各論」など）や類似の科目名称（「社会福祉援助技術演習A」と「社会福祉援助技術論A」など）にご注意ください。

科目別索引

~20 平成21年度以降入学者履修不可
 21~ 平成20年度以前入学者履修不可
 23~ 平成22年度以前入学者履修不可
 ~23 平成24年度以降入学者履修不可
 24~ 平成23年度以前入学者履修不可

ア行

050079	21~ 医学一般	103
050106	~20 医学一般	164
050113	NPO 論	255
050322	女の民俗	2007年版

カ行

050065	21~ 介護概論	77
050120	~20 介護概論	171
050193	21~ 介護技術	心教
050903	介護実習	心教
050701	~22 介護実習事前事後指導	心教
050741	23~ 介護実習事前事後指導	心教
050708	カウンセリング	心教
050682	カウンセリングⅠ	心教
050683	カウンセリングⅡ	心教
050684	カウンセリングⅢ	学習期間終了
050685	カウンセリング演習Ⅰ	心教
050686	カウンセリング演習Ⅱ	心教
050020	科学的な見方・考え方	52
050512	学習心理学	心教
050010	数の世界	2004年版
050515	家族心理学	心教
050144	家族法	279
050504	環境心理学	心教
050018	観光と文化	49
050012	基礎英作文	学習期間終了
050145	基礎演習	252
050301	教育原理	心教
050306	教育史	2007年版
050904	教育実習	心教
050710	教育実習の事前事後指導	心教
050304	教育社会学	2007年版
050513	教育心理学	心教
050706	教育方法論(視覚聴覚教育等を含む)	心教
050913	教職実践演習(高)	心教
050702	教職論	心教
050124	ケアマネジメント論	285
050016	健康科学	44
050308	現代社会と社会教育Ⅰ	2007年版
050309	現代社会と社会教育Ⅱ	2007年版
050006	現代社会を見る眼	2008年版
050323	考古学概論	2007年版
050110	公衆衛生学	263
050069	21~ 更生保護制度論	73
050108	公的扶助論	100
050703	高等学校教育課程の意義と編成	心教
050064	21~ 高齢者福祉論	75
050117	~20 高齢者福祉論	168
050115	国際福祉論	281
050019	子どもと社会	2008年版
050011	コミュニケーション英語	37
050736	コミュニケーション障害教育	心教
050326	古文書学	2007年版

サ行

050680	産業カウンセリングⅠ	心教
050681	産業カウンセリングⅡ	心教
050687	産業心理学	心教

050737	視覚障害教育総論	心教
050719	肢体不自由教育 (旧050728)	心教
050723	肢体不自由者の心理・生理・病理	心教
050066	21~ 児童・家庭福祉論	80
050516	児童青年心理学	心教
050116	~20 児童福祉論	170
050735	自閉症教育総論	心教
050312-5	社会教育演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	2007年版
050305	社会教育行政論	2007年版
050307	社会教育計画	2007年版
050303	社会教育史	2007年版
050514	社会心理学	心教
050073	21~ 社会調査の基礎	120
050114	社会病理学	学習期間終了
050130	~20 社会福祉援助技術演習Ⅰ	188
050131	~20 社会福祉援助技術演習Ⅱ	193
050082	21~ 社会福祉援助技術演習A	131
050083	21~ 社会福祉援助技術演習B	137
050084	21~ 社会福祉援助技術演習C	143
050907	21~ 社会福祉援助技術実習	157
050070	21~ 社会福祉援助技術総論	107
050071	21~ 社会福祉援助技術論A	110
050072	21~ 社会福祉援助技術論B	117
050126	~20 社会福祉援助技術論Ⅰ	180
050127	~20 社会福祉援助技術論Ⅱ	182
050128	~20 社会福祉援助技術論Ⅲ	183
050129	~20 社会福祉援助技術論Ⅳ	186
050901	~20 社会福祉援助技術現場実習	201
050132	~20 社会福祉援助技術現場実習指導	198
050190	21~ 社会福祉援助技術実習指導A	149
050191	21~ 社会福祉援助技術実習指導B	153
050104	社会福祉原論(職業指導を含む)	89
050111	社会福祉法制	283
050112	社会保険論	2008年版
050107	社会保障論	96
050076	就労支援サービス論	128
050302	生涯学習概論	2007年版
050711	障害児教育Ⅰ	2011年版
050712	障害児教育Ⅱ	2011年版
050905	障害児教育実習	2011年版
050716	障害児教育実習の事前・事後指導	2011年版
050714	障害児の教育課程	2011年版
050715	障害児の指導法	2011年版
050518	障害児の心理	心教
050713	障害児の生理・病理	2011年版
050906	障害者教育実習	心教
050718	障害者教育総論 (旧050717・720)	心教
050740	障害者教育実習の事前・事後指導 (旧050738・739)	心教
050118	障害者福祉論	84
050311	生涯スポーツ論	2007年版
050195	21~ 障害の理解	257
050502	生涯発達心理学	心教
050013	情報英語	学習期間終了
050332	情報処理Ⅰ	心教
050333	情報処理Ⅱ	2007年版
050334	情報処理Ⅲ	2007年版
050331	情報処理論	2007年版
050692	職場のメンタルヘルス	心教
050327	史料講読	2007年版
050511	人格心理学	心教

050690	人的資源論	心教
050519	心理アセスメント	心教
050501	心理学概論	心教
050508	心理学研究法Ⅰ	心教
050509	心理学研究法Ⅱ	心教
050505	心理学実験Ⅰ	心教
050506	心理学実験Ⅱ	心教
050507	心理学実験Ⅲ	2008年版
050520	心理療法	心教
050521	心理療法各論	心教
050015	スポーツ (バレーゴルフ)	43
050014	スポーツ (バレーボール)	41
050194	21～生活行動と人体	259
050140	精神医学	225
050139	精神科リハビリテーション学	223
050151	24～精神障害者の生活支援システム	228
050136	精神保健学	214
050141	23 精神保健福祉援助演習	234
050157	24～精神保健福祉援助演習 A	230
050158	24～精神保健福祉援助演習 B	25年度開講
050159	24～精神保健福祉援助演習 C	26年度開講
050138	23 精神保健福祉援助技術各論	220
050148	23 精神保健福祉援助技術各論	220
050156	24～精神保健福祉援助技術各論	220
050137	23 精神保健福祉援助技術総論	217
050153	24～精神保健福祉援助技術総論Ⅰ	217
050154	24～精神保健福祉援助技術総論Ⅱ	217
050902	23 精神保健福祉援助実習	240
050908	24～精神保健福祉援助実習 A	25年度開講
050909	24～精神保健福祉援助実習 B	26年度開講
050150	24～精神保健福祉のサービス	210
050152	24～精神保健福祉の制度	212
050155	24～精神保健福祉の理論	208
050133	23 精神保健福祉論Ⅰ	208
050134	23 精神保健福祉論Ⅱ	210
050135	23 精神保健福祉論Ⅲ	212
050707	生徒指導論 (進路指導を含む)	心教
050188	24～精神保健福祉援助実習指導 A	25年度開講
050189	24～精神保健福祉援助実習指導 B	26年度開講
050005	生命の科学	28
050330	西洋美術史	2007年版
050324	先史考古学	2007年版
050001	禅のこころ	20
050709	総合演習	心教
050688	組織心理学	心教
050991	卒業研究	心教

タ行

050105	地域福祉論	92
050727	知的障害教育	心教
050721	知的障害者の心理	心教
050722	知的障害者の生理・病理	心教
050119	知的障害者福祉論	266
050730	聴覚障害教育	心教
050725	聴覚障害者の心理	心教
050726	聴覚障害者の生理・病理	心教
050732	重複障害教育総論	心教
050146	統計情報を見る眼	心教

050321	東北の山岳信仰	2007年版
050705	特別活動の指導法	心教
050771	特別支援教育支援員概論	心教
050316	図書館概論	2007年版

ナ行

050329	日本美術史	2007年版
050328	日本文化史	2007年版
050689	人間関係論	心教
050017	人間と教育	47
050004	人間と宗教	2008年版
050510	認知心理学	心教

ハ行

050317	博物館概論	2007年版
050734	(軽度) 発達障害教育総論	心教
050733	(軽度) 発達障害者の心理	心教
050211	発達障害者の地域支援	288
050729	病弱教育	心教
050731	病弱教育総論	心教
050724	病弱者の心理・生理・病理	心教
050704	福祉科の指導法	心教
050121	福祉機器論	270
050080	21～福祉行財政と福祉計画	129
050074	21～福祉経営論	123
050123	20 福祉計画法	175
050125	20 福祉施設管理論	177
050109	福祉思想論	261
050101	福祉社会学	62
050103	福祉心理学	67
050003	福祉と経済	25
050021	福祉と生活	57
050063	21～福祉法学	70
050102	20 福祉法学	162
050142	福祉ボランティア活動	253
050143	福祉リスクマネジメント	277
050008	文学入門	2008年版
050318	文化財概論	2007年版
050319	文化財の保護と活用	2007年版
050007	法の基礎 (日本国憲法を含む)	32
050075	21～保健医療サービス論	125
050002	ボランティア論	22

マ行

050320	民俗学概論	2007年版
--------	-------	--------

ラ行

050122	リハビリテーション論	274
050503	臨床心理学	心教
050325	歴史考古学	2007年版
050009	歴史を見る眼	34
050280	レクリエーション概論	心教
050282	レクリエーション事業	心教
050281	レクリエーション実技	心教
050310	レクリエーション論	2007年版
050691	労働法	心教
050517	老年心理学	心教

特講科目は受講年度の『試験・スクーリング 情報ブック』を参照してください。

心教 の表記のある科目は別冊『レポート課題集2013 (心理・教職編)』を参照してください。

2007年版 の表記のある科目は『レポート課題集2007』を…… 2011年版 の表記のある科目は『レポート課題集2011』を参照してください。

レポート提出上の注意

I レポートとは

レポート作成は、通信教育の主な学習方法です。教科書と参考図書を熟読しながら、出題されたレポート課題にもとづき作成します。作成したレポートは大学あてに送付し、担当教員による添削指導を受け学習を進めます。

レポートの数

レポートは1単位につき1課題です。2単位の科目は2課題、3単位の科目は3課題、4単位の科目は4課題です。スクーリングを受講してもレポート課題数は同じです。

レポートの字数

1課題あたり2,000字程度でまとめてください（引用・参考文献を含む）。最低限1,000字以上は記入してください。ただし、与えられた課題によっては1,000字では字数不足とされることもあります。

レポート提出の方法

レポートは指定の用紙に記入または貼付して郵送（または通信教育部事務室へ持参）提出が原則です。ただし、一部のレポートは「TFU オンデマンド」のシステムを用いて、web上で提出できるものもあります。

- 1) 手書き用レポート用紙に記入して提出→ p. 9～11
- 2) パソコン印字用レポート用紙表紙に貼付して提出→ p.12～16
- 3) スクーリング受講者専用別レポート用紙、その他専用レポート用紙に記入して提出→ p.17～18
- 4) スクーリング受講者専用別レポートを web（TFU オンデマンド）上で解答→ p.17～18
- 5) 通常のレポートをメールまたは web（TFU オンデマンド）上で提出→情報処理Ⅰ、職場のメンタルヘルス、社会心理学（各科目の本文参照）

■パソコン印字レポート提出が不許可の科目＝必ず「手書き用レポート用紙」で提出
歴史を見る眼 教育心理学 社会福祉原論（職業指導を含む）精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ
精神保健福祉の理論 精神保健福祉のサービス 精神障害者の生活支援システム

■2 課題セット提出の原則

レポートは、1・2単位めを1冊に、3・4単位めを1冊にまとめて提出するという原則があります。ただし、例外は下記のとおりです。

1) 1単位分が「スクーリング受講者専用別レポート」対象課題になっている場合

（例）福祉心理学では2単位めを「別レポート」で提出、残った1単位めは単独で提出（2単位め「別レポート」提出後か同時に提出）

2) 『レポート課題集』で1単位ずつ提出するように指定されているレポート

（例）・演習・実習指導科目（社会福祉援助技術演習A・B・C、精神保健福祉援助演習（A）、障害者教育実習の事前指導ほか） ・心理学研究法Ⅰ・Ⅱ
・病弱者の心理、生理・病理 ・肢体不自由者の心理、生理・病理

■郵送または持参で提出の場合のご注意～必ず控をお手元に残してください。

- ・レポートを提出する際、万が一郵便事故等でレポートが未着の場合は再提出をお願いしますので、必ず控え（コピー）をお手元に残してください。
- ・提出用・返信用とも第4種郵便料金（15円）分の切手を貼付してください。また、提出用・返信用表紙などに自分の住所・氏名等を忘れずに記入してください。
- ・レポートは、通信教育部事務室窓口でも提出できます。この場合、往信の切手は不要ですが、返信切手は必ず貼付してください。また、お申し出があれば「レポート受領証」を発行します。「受領証」のない場合もちろん責任をもって対処いたしますが、後日の「窓口で提出した」という申し出への対応はいたしかねます。なお、仙台会場以外のスクーリング会場、科目修了試験会場での提出はご遠慮ください。

作成のポイント

まず教科書を読み、内容を十分理解してください。そしてレポート課題に沿ってまとめますが、その課題が何を求めているか理解することも大切です。課題の要点を簡潔に要領よくまとめ、再度教科書を読み、さらに参考図書を読んで自分の言葉で表現することが大切です。教科書や参考図書の丸写しは、学習したことにはなりません。論理的に順序よく構成し、誤字脱字のない大学生のレポートとしてふさわしい内容に仕上げてください。

レポートのなかに必要に応じて見出しを付けることはかまいません。とくに1単位分の課題のなかで2つ以上の課題に答えることが要求されている場合は、見出しで区切って解答してください。作成のポイントは『学習の手引き』の関連する章もご覧ください。

説明型レポート

「医学一般」「公衆衛生学」「障害者福祉論」「社会福祉援助技術総論」「社会福祉援助技術論Ⅰ」「地域福祉論」「精神保健」「精神医学」「認知心理学」「人格心理学」「生徒指導論」「聴覚障害者の生理・病理」「聴覚障害教育」「視覚障害教育総論」など一部科目の一部課題について、論述式ではなく用語や事項の説明を行う「説明型レポート」を導入しています。「説明型レポート」では各課題ごとに指定された字数（300～500字など『レポート課題集』に記載）で解答を簡潔にまとめていただくことが必要になります（くわしくは『学習の手引き』6章参照）。課題欄が長くなるので、課題欄には「説明型レポート」とか「2012年度の課題に解答」のように記載してください。解答欄は、どの課題に対する解答かわかるように、それぞれの問題番号を明記してから解答を始めてください。

氏名バーコード貼付のお願い

- 1) レポート提出の際に、「整理票B」に貼り付けていただくシールです（p.9 参照）。
 - 2) シールが大きいめ欄からはみ出しますが、できるだけきれいに貼ってください。
 - 3) 氏名バーコードは、科目修了試験、スクーリングの申込みの際にも貼付をお願いいたします。
- ※事務処理手順の変更とともない、2005年10月以降「科目名バーコード」の貼付は不要になりました。

成績評価

レポートの成績は、優（80点以上）、良（79～70点）、可（69～60点）、再提出（59点以下）で表示します。優・良・可が合格です。再提出の評価の場合は、教員の添削指導に従ってさらに内容の理解につとめ、新たに書き直したレポートを再提出してください。

レポートの再提出

再提出の場合も上記の要領により提出しますが、**前回（不合格レポート）の評価・指導票Aを、再提出する評価・指導票A裏面の指定欄に貼付**してください。

1 単位分のみ再提出の場合は、何単位めかのレポートを評価・指導票および1ページめ冒頭に明記し、手書きレポート用紙の場合は1～8ページめに記入してください（ワープロ・パソコン印字の場合はその課題のみ規定用紙以内で貼り付けてください）。

書式に不備のあった場合、および字数不足の場合、受け付けせず、返送いたしますので、ご注意ください。

Ⅱ 手書き用レポート用紙記入上の注意 ―― 一般の科目

「コミュニケーション英語」「情報処理Ⅰ～Ⅲ」「情報処理論」「カウンセリング」および「介護実習事前事後指導」など実習事前事後指導科目・実習科目を除く一般の科目の手書き用レポート用紙の記入にあたっては、以下の点にご留意ください。

■評価指導票・整理票・受付票オモテ面

- 1) 評価指導票[A]に科目名を記入してください。
- 2) 整理票[B]に科目名を記入し、氏名バーコードを貼付してください。

氏名バーコードが貼付できない場合、学籍番号、氏名を記入してください。

提出する科目名を記入

教員記載欄です。何も書かないでください。

提出する科目名を記入

再提出の場合、手書きで記入

自分の氏名バーコードを貼付
(バーコードが貼付できない場合、学籍番号、氏名を記入)

○票は記入不要になりました

(最新のレポート用紙に○票はありません)

科目名 (本人記入)		評価・指導票 [A]	
講評・指導欄		評 点	
1 or 3 単位め		基礎・応用 A・B・C	
		基礎・応用 A・B・C	
		基礎・応用 A・B・C	
		基礎・応用 A・B・C	
		基礎・応用 A・B・C	
2 or 4 単位め		基礎・応用 A・B・C	
		基礎・応用 A・B・C	
		基礎・応用 A・B・C	
		基礎・応用 A・B・C	
		基礎・応用 A・B・C	
受 付		総合評価	添削者印 返 却
		1 or 3 単位め 2 or 4 単位め	
		優 良 可 再提出 優 良 可 再提出	
(切離無効)			
科目名	福祉 歩美	自分の氏名バーコードを貼付	
整理票	高齢者福祉論 (再提出)	*02TW991*	
(科目名・バーコード両方またはバーコードだけでも可)			
総合評価	1 or 3 単位め 2 or 4 単位め	受 付	返 却
	優 良 可 再提出 優 良 可 再提出		
(切離無効)			
本人記入	受付票 [C]	科目名	レポート用紙 (2単位め) レポート用紙 (4単位め)
		氏 名	

■評価指導票・整理票・受付票ウラ面

- 1) 氏名・年齢・職業を記入してください。ただし、年齢・職業の記載は任意（自由）とします。
- 2) 再提出の場合は、前回（不合格レポート）の評価・指導票[A]を上欄に貼付してください。

本人記入	氏 名	福祉 歩美	年 齢	42 歳
		(記入は任意)		
	職 業	特別養護老人ホーム 勤務		
	(記入は任意)			

■提出用表紙

- 1) 科目名・差出人欄を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

提出する科目名を記入	科目名	高齢者福祉論			実験・演習科目の担当教員	先生
	差出人	住所	〒989-3201 仙台市青葉区国見ヶ丘6-149	氏名	福祉 歩美	学籍番号

自分の郵便番号、住所、氏名、学籍番号を正確に記入

演習・実験等担当教員が複数の科目のみ、スクーリング担当教員名、ないし課題を選択した教員名を記してください。

■返信用表紙（提出用表紙のウラ面になります）

- 1) 返送先の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

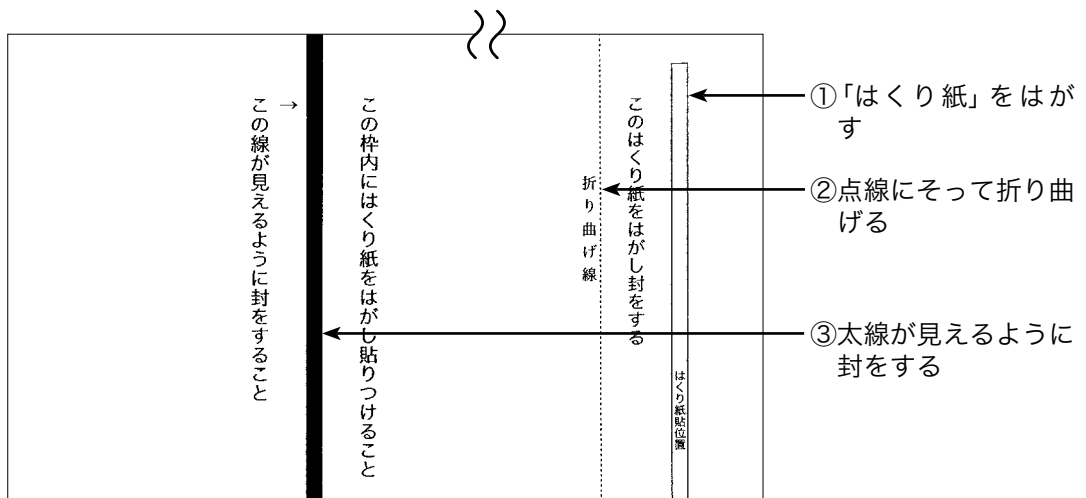
■原稿用紙の使い方

原稿用紙の使い方には、さまざまな約束事があります。ここでは、最低限守ってほしいことを記しておきます。

- 1) 段落の始まりは1字下げてください。段落が変わらない場合はページが変わっても1字下げることはいしないでください。
- 2) 句点（。）、読点（、）、「」、（ ）などは1マス分使用してください。
- 3) 行の最後に、句点（。）、読点（、）、「」、（ ）などが来た場合は、その行の末に入れてください。次の行の頭には持ってこないでください。
- 4) 2ケタ以上の数字は2ケタずつ1マスに記入してください。たとえば 20 12 年となります。
- 5) 本学のレポート用紙を利用する場合は、原稿用紙の冒頭に論文タイトル、氏名を記入する必要はありません。課題は、「課題欄」に記入してください。

■封の仕方

- 1) 提出用表紙がオモテに来るようにして、「はくり紙」をはがし封をしてください。
はくり紙をはがして貼付できない場合は、のりを使って封をしてください。
- 2) ウラ表紙の黒い線が見えるように封をしてください。



■レポート用紙1ページめ（および9ページめ）

- 1) () 単位めの箇所に何単位めの課題を解答したかを記入してください。
- 2) 課題を記入してください。長い場合もできるだけ省略せず、記入してください。
- 3) 誤字・脱字のないよう下書きを別な用紙に行い、レポート用紙にペンまたはボールペン（黒または青）で清書してください。

解答する課題が何単位めかを記入

レポートの課題を記入

段落の始まりは、一マス下げる

「 」も一マス分使用する

句点（。）読点（、）は、一マス分使用する

このような場合、句読点は、次の行の最初のマスを使わず、最後の文字と同じマスに入れる（または欄外に記す）

課題

「子ども虐待の現状と対策」
日本における子ども虐待の現状とその対策について述べよ。

解答欄

○今年の3月○北九州市に住む17歳の少女が警察に保護される事件があった。○少女の証言で、同居していた保護者から暴行を受けていたことが明らかになり、全国に衝撃が走ったのは記憶に新しい。こういった事件○つまり大人が子どもに対して暴行を加える○子ども虐待○が近年わが国で急増している。

○このような社会背景を受けて、旧厚生省は、一昨年11月に国を挙げた

(16字×11行=176字)

Ⅲ レポートのワープロ・パソコン印字提出上の注意

ワープロ・パソコン印字のレポート提出は、郵送のためのレポート用紙表紙も異なりますので、下記手順をよくお読みいただき、**提出のルールを守れるとお考えの方のみご利用ください。**

(1) ワープロ・パソコン印字提出用レポート用紙表紙を入手、または購入

- ・新入学および4年次までの進級の際の無料交付レポートをワープロ・パソコン印字提出用で入手しようとする方は、配付された用紙に必要事項を記載して返送ください。期限までにお申込みのない場合は手書き用を送付いたしますので、ご了承ください。
- ・学年途中や5年次生以上の場合は有料交付となります。

郵送申込みの場合 『学習の手引き』巻末の購入申込み用紙+料金分の郵便小為替・1セット10冊分300円（送料込）を送付いただければ、10日間程度でお送りさせていただきます。

通信教育部窓口の場合 購入申込み用紙+現金30円で1冊が購入できます。

(2) ワープロ・パソコン印字で提出する場合は、必ず下記9点をご確認のうえ郵送で提出してください。

① パソコン提出が認められている科目（p.13参照）か

② **A4判白色用紙**（各自でご準備ください）**使用 文字サイズ10.5ポイント 左右40字×30行 横書** 片面印刷で（両面印刷不可）下にページ数をつけているか（余白は上下左右30ミリ）＝この書式設定は必ずお守りください。

※設定しても、実際の印字が左右40字にならない場合は、書体（フォント）をWindowsのWordの場合はMS明朝またはMSゴシックにするとうまくいく場合もあります。

※ページ数は2単位分連番でお願いしますが、1単位ずつでも大丈夫です。

③ 各課題の1行めに下記を記載しているか

科目名 ●単位め 学籍番号 氏名

④ ③の下1行あけてレポート課題を記入し、その後1行あけて解答をはじめているか

⑤ 適切な箇所段落を作成し、段落の最初で改行するとともに、1字分あけては始めているか。

⑥ 読み直しは行ったか

⑦ **表紙への貼り付け方**はまちがっていないか（評価・指導票 $\square$ をめくったところが1ページめになるように。くわしくはレポート用紙評価票裏面、または本冊子 p.16を参照）。

⑧ 郵送の際の切手貼付や返信先住所記入、**通常の科目について2単位分まとめて提出**する（演習科目など一部例外あり）ことなどは従来と同じです。**1単位分は原則2ページ以内となりますが、3ページまでは可とします。**また、本文が1,000字以上ないレポート、実験や演習など別途1課題の字数が4,000字まで可能な科目を除き、1

課題が4ページ以上あるレポートは返送します。

- ⑨ 再提出の場合は、前回（不合格レポート）の評価・指導票裏面に貼付してください。
- (3) レポート用紙表紙は英語用（評価が1単位分のもの）と類似していますが、英語用は演習や実習事前事後指導など以外使用できないので、ご注意ください。
- (4) インターネット上の文章などをそのまま用いることは原則として不可です。引用扱いで用いる場合は、必ず引用のルール（下記および『学習の手引き』6章）を守った上でご利用ください。
- (5) 他の方と類似レポートがあった場合は、カンニング行為とみなし、一定期間レポート提出禁止などの措置がとられますので、ご注意ください。
- (6) 上記の書式に不備がある場合、下記レポート提出許可科目以外は、すべて受付せず返送いたします。
- (7) メールで提出する方法ではなく、あくまで郵送による提出となります。ご注意ください。
- (8) ワープロ・パソコン印字レポート提出が不許可の科目は下記のとおりです。

共通基礎科目 歴史を見る眼 心理系2年次以上科目 教育心理学
福祉系2年次以上科目 社会福祉原論（職業指導を含む）、精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ
精神保健福祉の理論 精神保健福祉のサービス 精神障害者の生活支援システム
※上記の科目以外はすべてワープロ・パソコン印字提出は可となります。

■教科書や参考図書の表現をそのまま用いる「引用」のルール——

『学習の手引き』6章に記載のとおり、レポートに教科書や参考図書の文章表現をそのまま用いる「引用」の際は、下記の3つのルールをお守りください。

- ・引用は必要最小限にする（多くても600字以下）
- ・引用部分は、その他の部分とわかるように「 」で囲む
- ・どこから引用したのかを、レポート末の文献に必ずあげる

なお、基本的には「引用」を使用せず、教科書や参考図書の文章を要約するかたちで、レポートをまとめることを心がけてください。

■レポート末の文献の表示の仕方（著者名『書名』出版社名、発行年 が原則）——

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『高齢者に対する支援と介護保険制度（第3版）』中央法規、2012年
- 2) 水島恵一ほか編『カウンセリングを学ぶ（新版）』有斐閣、1987年
- 3) 平野光洋 ノーマライゼーション <http://www.tfu.ac.jp/tushin/with/200803/01/03.html>

■レポートの提出の方法

記入したレポート用紙を、パソコン印字提出用表紙にのり付けして、送付いただくことになります。

■提出用表紙

- 1) 科目名・差出人欄を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

■返送用表紙（提出用表紙のウラ面になります）

- 1) 返送先の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- 2) 切手貼付箇所に第4種郵便料金（15円）分の切手を貼ってください。

■評価指導票・整理票・受付票オモテ面

- 1) 科目名、氏名、学籍番号を記入してください。
- 2) 解答した課題番号（1単位めは1、2単位めは2）を○で囲んでください。

ここに氏名バーコード貼付、科目名を記入してください。

学籍番号・氏名・提出する科目名を記入
該当する課題番号を○で囲む
(受付票㊦のある用紙もありますが、記載は不要です。)

評価・指導票		評 点	
1 or 3 単位め		記録・指導票 A・B・C	
		記録・指導票 A・B・C	
		記録・指導票 A・B・C	
		記録・指導票 A・B・C	
計 算			
教員はこの面から読んでいきます。この紙をめくったところが1ページめになるように貼り付けてください。左右40字×30行、下にページ数を入れてください。			
年 齢 (記入は任意)	38 歳	添削者名 (署名または捺印)	受付日
職 業 (記入は任意)	障害者施設指導員		返却日
学籍番号	09TZ999	1 or 3 単位め 評 価	2 or 4 単位め 評 価
氏 名	福祉 歩美	優 良 可 再提出	優 良 可 再提出
科目コード	050103	福祉 歩美	受付日
科目名	福祉心理学		返却日
課題番号	①・②・3・4・スクーリング レポート	09TZ999	

■パソコン印字用レポート用紙 1 ページめ

上部をのり付け
して専用表紙に
しっかり貼り付
けてください。

科目名、○単位め、学籍番号、
氏名を記載してください。

レポート課題集記
載の課題を転記し
てください。

余白30ミリ

心理学概論 1 単位め 02TW991 福祉歩美

1 行アキ

(課 題)

忘れようと思っても簡単には忘れられないことがある一方、必要なことをうっかり忘れて
しまうこともあるのはなぜか。具体例をあげながらわかりやすく論じよ。

(解 答)

左右40字

恋人に別れを告げられた、自分の不注意が原因で自分の子どもを死なせてしまったなどの
つらい経験は、『自我』を非常に不安にさらす結果になるので(教科書 p.22)、意識に
のぼってこないように「抑圧」してしまった方が得策なはずである。しかし、よほどのつ
らい経験でない限り、なかなか忘れられるものではない。このような例をもとに、忘れ
られないことがある人間の心を、「何が記憶に残るのか」という点から論じてみたい。

まず、感情をゆさぶる刺激や経験は記憶に残る。また、興味や関心があること、自分に
とって意味のあることは覚えている。上記のような経験は、強い感情的ショックを受ける
ため、なかなか忘れられないことになる。

さらに、日常的ではない珍しい刺激や経験は「新奇性刺激」とよばれ、注意が向けられ
やすいため、記憶に残る。好きな人との最初のデートでの会話は覚えているが、毎日顔を
合わせている夫婦の間の会話は忘れられやすいのはそのためである。

次に、「繰り返し」意識にのぼることは記憶を定着させる。つらい経験を忘れようと思
うこと自体も、そのことを繰り返し意識に引き出すことになるので、ますます忘れられな
くなる。このような心の働きのことを心理学用語では「リハーサル」と呼んでいる。

さらに、人間の頭の中での「処理水準の深さ」が記憶を促進するという研究もクレイク
とロックハートによってなされている¹⁾。新しい知識を覚える場合に、その知識をただ機
械的に頭の中で繰り返す「維持リハーサル」を何度もするより、その知識を自分のがすで
に持ち合わせている経験や知識と関連させて覚える「精緻化リハーサル」を行う方が効果
的という考えである。冒頭の例では、なぜ恋人にふられたのだろうと理由をあれこれ考え
ることは精緻化リハーサルを行ったことになる。

また、人間の行動はすべて適応的であるという進化的な考えをスクーリングの際に佐
藤教授から伺ったが、その考え方を応用すれば、生存のために必要な情報は覚えているが、
必要な情報は忘れてしまうということもいえる。恋人や肉親がその時点では自分の生存

A4判用紙

余白30ミリ

タテ30行
(1 行アキや見
出しなど含む)

改行後、1 字
あけてはじめて
ください。

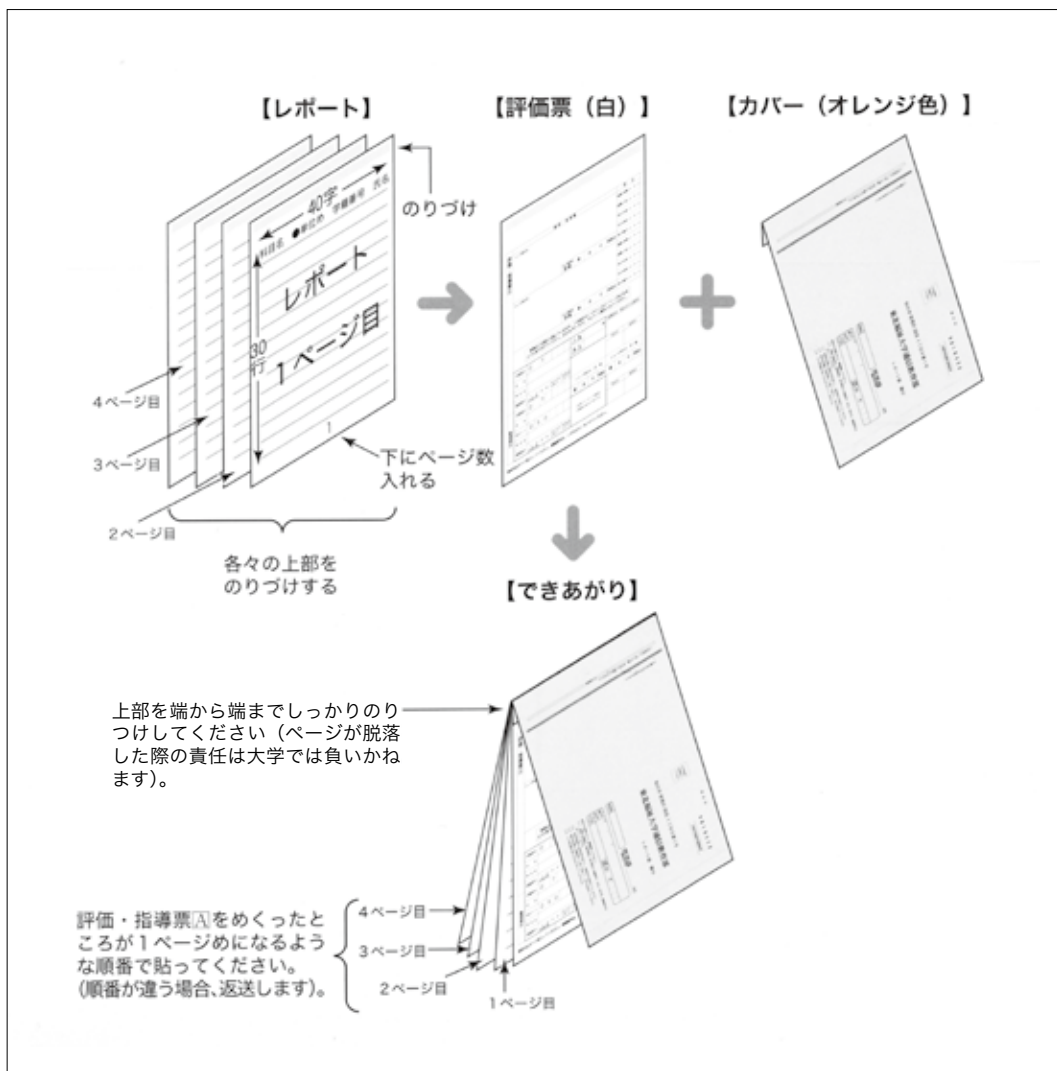
余白30ミリ

1

ページ数
(連番で入れる)

■封の仕方

- 1) 解答を記入したレポート用紙を提出用表紙にのりで貼り付けてください。貼り付け方は、評価・指導票のウラの図（下記）を参考にしてください。貼る順序をまちがえないように注意してください。
- 2) 提出用表紙がオモテになる（解答したレポート用紙を包む）ようにして、はくり紙をはがし封をしてください。
- 3) **ウラ表紙の黒い線が見えるように封をしてください。**



Ⅳ スクーリング受講者専用「別レポート」提出上の注意

21年度より一部科目の一部課題について、スクーリング受講者に対して、希望により解答可能な専用レポート（通称「別レポート」）を配布しています。対象科目と該当課題は、p.18記載のとおりです（オンデマンドスクーリング受講者も対象になります）。スクーリング受講者専用別レポート提出締切はスクーリング受講後1カ月です。その他、提出上の注意は、以下に記載のとおりです。

なお、この「スクーリング受講者専用別レポート」については、TFU オンデマンドのシステムを用いて、web 上で提出ができる科目もあります（p.18参照）。その場合、多くは期間内ならば何度でも提出が可能で最高点が成績として登録されるようになっています。

- 1) スクーリング受講者専用レポート（以下「別レポート」）は希望者のみが提出すればよいものです。ただし、「別レポート」の対象となる課題が合格済みの方、添削中の方は、別レポートの提出はできません。
- 2) 希望者は提出期限（スクーリング受講後1カ月 ただし「別レポート」が論述式の一部科目は別に指示）を守って、提出してください。
- 3) 「別レポート」を提出した課題は、『レポート課題集』記載の課題は免除されます。また、「別レポート」を提出した課題は、『レポート課題集』記載の課題を提出し、添削指導を受けることはできません。
- 4) 「別レポート」に合格しても、「別レポート」に該当しないレポート課題は、通常の『レポート課題集』記載の課題での提出・合格が必要です。
- 5) 解答はペン書きしてください（鉛筆不可）。
- 6) 2単位分セット提出の1単位分のみ別レポートになる場合は、次の点にご留意ください。
 - ① 「別レポート」に該当しないレポート課題（たとえば「福祉心理学」の1単位めなど）を提出する際は、「2単位めは別レポートで提出済み」などと、2単位めの講評・指導欄、または課題文を記載する欄などに明確にわかるように記載して提出してください。
 - ② 「別レポート」に該当しないレポート課題（1単位めなど）を単独で提出する際は、「別レポート」の提出以降か、または同時別冊で提出してください。
- 7) 「別レポート」に該当しないレポート課題（1単位めなど）を「別レポート」に貼り付けて出すことはご遠慮ください。
- 8) 「別レポート」が万一再提出になったら、教員から「講評・指導欄」で許可された場合を除き、『レポート課題集』記載の課題での再提出となります。

V 別レポート実施予定科目一覧

平成24年度にスクーリング受講者専用別レポートを実施する予定の科目は下記のとおりです。担当教員の考えにより、変更される場合があります。ご了承ください。

科目コード	科目名	対象課題	W
050002	ボランティア論	1 単位め	○
050005	生命の科学（注1）	3・4 単位め	
050007	法の基礎	3・4 単位め	
050017	人間と教育（注4）	3・4 単位め	
050020	科学的な見方・考え方（注1）	1・2 単位め	
050021	福祉と生活	1 単位め	
050063	★福祉法学	2 単位め	○
050064	★高齢者福祉論	2 単位め	○
050065	★介護概論	2 単位め	○
050066	★児童（家庭）福祉論（注5）	3・4 単位め	
050069	★更生保護制度論（注6）	1 単位め	○
050070	★社会福祉援助技術総論	3・4 単位め	○
050071	★社会福祉援助技術論A	2 単位め	○
050072	★社会福祉援助技術論B	1 単位め	○
050073	★社会調査の基礎	2 単位め	○
050074	★福祉経営論	2 単位め	○
050075	★保健医療サービス論	2 単位め	
050079	★医学一般	2 単位め	○
050080	★福祉行財政と福祉計画	2 単位め	○
050101	福祉社会学	3・4 単位め	○
050102	◆福祉法学	3・4 単位め	○
050103	福祉心理学	2 単位め	○
050104	社会福祉原論	1・2 単位め	○
050105	地域福祉論	1・2 単位め	
050106	◆医学一般	3・4 単位め	○
050107	社会保障論	3・4 単位め	○
050108	公的扶助論	2 単位め	○
050113	NPO 論（注2）	2 単位め	
050116	◆児童福祉論（注5）	3・4 単位め	
050117	◆高齢者福祉論	3・4 単位め	○
050118	障害者福祉論	3 単位め	○
050119	知的障害者福祉論	2 単位め	
050121	福祉機器論	1・2 単位め	
050122	リハビリテーション論	1 単位め	
050123	◆福祉計画法	2 単位め	○
050125	◆福祉施設管理論	4 単位め	○
050126	◆社会福祉援助技術論Ⅰ	2 単位め	
050127	◆社会福祉援助技術論Ⅱ	2 単位め	○
050128	◆社会福祉援助技術論Ⅲ	1 単位め	
050129	◆社会福祉援助技術論Ⅳ	2 単位め	

科目コード	科目名	対象課題	W
050133 050155	精神保健福祉論Ⅰ 精神保健福祉の理論	1 単位め	
050134 050150	精神保健福祉論Ⅱ 精神保健福祉のサービス	1 単位め	
050135 050152	精神保健福祉論Ⅲ 精神保健福祉の制度	2 単位め	
050137 050153	精神保健福祉援助技術総論 精神保健福祉援助技術総論Ⅰ	2 単位め	
050138	精神保健福祉援助技術各論（注2）	3・4 単位め	
050139	精神科リハビリテーション学	3・4 単位め	
050143	福祉リスクマネジメント	3・4 単位め	
050144	家族法	3・4 単位め	
050280	レクリエーション概論	1 単位め	
050501	心理学概論	3・4 単位め	○
050502	生涯発達心理学（注3）	2・4 単位め	○
050503	臨床心理学	1・2 単位め	
050504	環境心理学（注4）	2 単位め	
050510	認知心理学（注5）	1・2 単位め	
050511	人格心理学	1・2 単位め	○
050512	学習心理学	1 単位め	○
050513	教育心理学（注2）	1 単位め	
050514	社会心理学	2 単位め	○
050515	家族心理学	2 単位め	
050516	児童青年心理学	2・4 単位め	
050517	老年心理学	3・4 単位め	○
050518	障害児の心理（注2）	1・4 単位め	
050519	心理アセスメント	2 単位め	○
050520	心理療法	3 単位め	

W 欄に○のある科目＝TFU オンデマンドのシステムを用いて web 上で解答可能予定科目（現在、順次拡大中。変更があります）

（注1）一部論述式レポート

（注2）論述式レポート、専用レポート用紙なし 別締切

（注3）4 単位めは論述式レポート、専用レポート用紙なし 別締切

（注4）説明型レポート

（注5）論述式レポート

（注6）2012年10月以降スクーリング受講者対象

共通基礎科目

この部に記載の科目は1年次入学者のみ卒業単位になります。2・3年次入学者は卒業単位に算入することはできません。産能大学などとの単位互換協定にもとづく科目の単位の一部も、共通基礎科目に含めることができます。過去に開講されていたが新規履修登録ができない科目は、下表をご覧ください。

共通基礎科目 新規履修登録受付停止中の科目

科目コード	科目名	平成24年度 of 状況	参照レポート課題集
050004	人間と宗教	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2008年度版
050006	現代社会を見る眼	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2008年度版
050008	文学入門	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2008年度版
050010	数の世界	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2004年度版
050012	基礎英作文	新規履修登録受付停止。レポート受付も締め切っています。	—
050013	情報英語	新規履修登録受付停止。レポート受付も締め切っています。	—
050019	子どもと社会	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2008年度版

禅のこころ

科目コード●050001

担当教員●斎藤仙邦



2 単位

R

1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

禅といえばあなた方は何を連想するでしょうか。たいていの人は、薄暗い禅堂で足を組んで、目を半分閉じてじっと座っている僧を連想するでしょう。また、実際に座禅を体験したことのある人は、足のしびれや、じっとしていることのつらさとともに、静寂な時間の新鮮な経験や終わったときの爽快感などを思い出すでしょう。

私たちはまた、禅がさまざまな文化現象にかかわっていることも知っています。禅僧の書いた文章、書、墨絵に高名なものが数多くあります。茶の湯や能などの伝統芸能、剣道などの武芸にも禅の精神は生きています。つまり、禅は心を静め、精神を統一し、自らの感性を高めるなかで美意識や自己探求と深くかかわってきました。さらに、禅はストレスの多い生活のなかで不安や悩みを抱える人、あるいはもっと深く、人生の根本問題と向き合っている人、それらの人にとって問題解決のための手段のひとつともなってきました。

以上、禅に関することをいくつかあげてみました。この科目では、通信教育という制約があるため、禅がどのような思想か、また歴史的にはどのように発展してきたのについて理解することを目的とします。しかし理解といっても、歴史、人物、思想内容という事柄の理解だけを求めているわけではありません。禅とかかわるなかで、自分とはなにか、生きるとはなにか、人生とはなにかという問題意識をもってもらいたいと思います。

教科書

柳田聖山著『禅と日本文化』講談社学術文庫、1985年

レポート課題

1 単位め

教科書の『禅と日本文化』の編 (p. 7～122) の論旨を簡潔にまとめなさい。

2 単位め

道元禅の特質についてまとめなさい。

アドバイス

1単位め 解説

筆者は、禅が日本文化に与えた影響を様々な観点から考察し日本文化の特質を論じています。

それぞれの節の終わりではその論旨がまとめられているので、筆者の論の進め方に従って極端にならずにまとめてください。感想や自分の意見は必要ありません。文字数以内に最大限必要なことをまとめてください。

2単位め 解説

教科書の「純禅の道を求めて—白隠・隠元・道元」の編（p.123～236）を読むことが前提ですが、それでは十分でないので他の図書も参考にしてまとめてください。

参考図書

- 鎌田茂雄著『禅とはなにか』講談社学術文庫、1979年
- 鈴木大拙著『禅仏教入門』春秋社、2000年
- 道元著『正法眼蔵随聞記』岩波文庫
- 鎌田茂雄著『正法眼蔵随聞記講話』講談社学術文庫、1987年
- 道元著『典座教訓・赴粥飯法』講談社学術文庫、1991年
- Books Esoterica 第3号『禅の本』、1992年

ボランティア論

科目コード●050002

担当教員●小野芳秀



2 単位 | R or SR | 1 年以上

全 学 科
共通基礎科目

科目の内容

ボランティアが地域社会に果たす役割、また地域社会から寄せられる期待は、年々大きくなっています。世間一般にいわれているボランティアとは、どのようなものなのでしょうか。また、なぜ地域社会ではボランティアが必要とされるのでしょうか。ボランティアの基本的理念、またボランティア活動の具体的事例や活動の現場で今どのようなことが問題になっているのか理解を深めましょう。

本科目のレポートの2単位めの課題は、担当教員が課題を提示する「出題方式」(2-1)、または学習者が関心のあるテーマを自由に課題として設定する「選択方式」(2-2)のいずれかを選択してください。

教科書

柴田謙治・原田正樹・名賀亨編『ボランティア論―「広がり」から「深まり」へ』みらい、2010年

(平成22年7月以前履修登録者) 2010年8月より教科書やレポート課題が変更されました。

以前の教科書所持者は『レポート課題集2010(1・2年次)』の課題に取り組んでください。

レポート課題

1 単位め

以下の1、2の両方の課題に解答してください。

- 1 : ①「地域コミュニティ」、②「地球環境問題」、③「国際協力」、④「災害とボランティア」のいずれか一つのテーマについて、ボランティア活動の背景としてどのようなことが問題となっているのか説明しなさい。
- 2 : 上記①～④のテーマについて、具体的にどのような活動が考えられるか、あなたの自由な意見を述べなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

2 単位め (いずれかを 選択)

2-1 (出題方式)

ボランティアコーディネーターの役割と意義について説明し、ボランティア活動を推進するうえで具体的にどのような取り組み、あるいは仕組み（システム）作りが考えられるか、あなたの自由な意見を述べなさい。

2-2 (選択方式)

ボランティアに関する内容であなたにとって関心のあるテーマを一つ自由に選択し、そのことに対するあなたの自由な意見を述べなさい。

アドバイス

テキストは一通り目を通されることをお勧めします。各単位の課題ごとの、指定箇所をよく読んで理解を深め、キーワードを参考にしながら課題を整理しましょう。

2 単位めの課題をレポートに記載する際は、「2-1」または「2-2」の番号を明記してください。レポート学習が初めてという方は、「2-2」の「選択方式」から取り組んでみてください。

1 単位め 解説

1：テキストの第5～9章を参考に、①「地域コミュニティ」、②「地球環境問題」、③「国際協力」、④「災害とボランティア」のいずれか一つのテーマを選択し、どのようなことが問題となっているのか整理しましょう。

2：①～④のテーマにおける活動の具体例は、学習者自身の活動経験を問いません。日常生活の中であなたが必要と考える活動、またそれらの活動を支援するための仕組みとして考えられるもの等、あなたの自由な意見を述べてください。なお、1と2で選択したテーマが同一である必要はありません。

2 単位め 解説

2-1 (出題方式)

テキストの第11・12章を参考にボランティアコーディネーターの必要性や有用性について述べてください。また、地域におけるボランティア活動を活性化するための方策についてあなたの自由な意見を述べてください。実際の取り組み事例等の紹介でも構いませんが、その場合、現在抱えている課題や改善案についても述べてください。

2-2 (選択方式)

ボランティアについて関心のあるテーマを自由に選び、次ページの構成（図1）を参考にレポートを完成させてください。（例）は、あくまでもレポートの内容を具体的にイメージして頂くための参考例です。例示にとらわれることなく自由に作成してください。

① タイトル→（例）「ボランティア組織の運営における個人負担を軽減させる方法について」等。

②序 論→レポートで「何について書こうとするのか」を明らかにします。また、何故このテーマを選択したのか自身の動機や問題意識について述べてください。

(例)「ボランティア団体が特定の個人に負担を強いる形で運営されている場合、どのようにしたら個人の負担を軽減することができるのか、組織運営方法の改善策について考えてみたい」等の内容。

③本 論→「序論」で提起したテーマについて具体的にどのようなことが課題になっているのか、それに対して調べた内容、具体的解決策や自身の考え等を自由に述べてください。

(例)「実際にどのようなことが問題となっているのか」、「調べた結果どのような解決策があるのか」、「課題に対して自身はどのような解決策を考えるのか」、「自身はどのようにその問題を考えるのか」等。

④結 論→序論で述べたテーマの「答え」についてまとめてください。

(例)「以上、〇〇という課題に対して、～という解決策があることについて述べた」等の内容。

⑤参考文献→引用や参考にした文献・資料等があれば明記してください。表記方法の詳細については『学習の手引き』等を参考にしてください。「番号」、「著者名（編者名）」、「書名（論文名）」、「雑誌名・巻数」、「出版社」、「出版年次」、「引用ページ」(特に引用したページがなければ「出版年次」までの記載で可)の順。

①タイトル
②序 論
③本 論
④結 論
(⑤参考文献)

図1：「2-2」課題のレポート構成

(例)1) 柴田謙治・原田正樹・名賀亨 編『ボランティア論―「広がり」から「深まり」へ』みらい、2010年 p.78

課題テーマの例としては、「中高生の学校教育におけるボランティアの単位化の是非について」、「善意とボランティア活動について」、「自身のボランティアに対するイメージ」、「ボランティアに関する新聞記事から考えたこと」、「ボランティアの運営に関すること」、「ボランティアを受ける側からの視点」等、ボランティアに関係するテーマであればどのようなものでも構いません。

◆2 単位め選択問題のレポート内容を学習に関する研究データまたは教材として活用させていただくことにつきましてご理解とご協力をお願いいたします。なお、レポートの使用にご同意頂けない方は、レポートの1ページ目の余白にその旨を明記してください。レポートは上記の目的以外、個人が特定される形での使用はいたしません。なお、使用の諾否がレポートの評価に反映されることは一切ありません。

福祉と経済

科目コード●050003

担当教員●小松洋吉



4単位 | R or SR | 1年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

現代の福祉は経済システムの重要な一分野と考える。国民経済の稼ぎによって、社会保障や福祉の充実をはかるのみではなく、福祉の充実には経済成長の効果があると考え。そこで、ここでは①まず経済学とはどのような科学であるのか。経済学の考え方について学習してみよう。②国民の幸福度を高めるための政府の役割について学習してみよう。③国民所得水準は我々の生活そのものである。国民所得がどのようなプロセスで決定されるのか。④国民生活の安定をめざして総需要の大きさをコントロールする政策がとられる。それは具体的にどのような中味であるか。以上の点について学習してみよう。

経済学は数字や式、図が多くてむずかしいイメージがあるかもしれませんが。少しの知識を身につけておくだけで、物の見方・考え方が変わってきます。視野も広まることでしょう。受講者はなるべくスクーリングにも参加ください。なおいっそう、福祉と経済のかかわりが理解できるようになることでしょう。楽しく学習できること、また学習の結果、社会の動きがわかり、楽しさが増えることを願っています。

教科書

小暮太一著『大学で履修する入門経済学が1日でつかめる本』(絶対わかりやすい経済学の教科書) マトマ出版、2011年

レポート課題

1 単位め

経済学の考え方について、次のキーワードを参考に整理してみよう。
(キーワード) 稀少性、トレードオフ、機会費用、神の見えざる手、均衡

2 単位め

経済社会における政府の役割について、次のキーワードを参考に整理してみよう。
(キーワード) 資源の再配分、所得の再配分、市場の失敗、政府の失敗

3 単位め	国民所得決定プロセスについて、次の事柄を参考にまとめてみよう。 総供給＝総需要にて決定する。 総供給とは国内総生産＋輸入である。 総需要とは消費＋投資＋政府支出＋輸出である。
4 単位め	総需要管理政策とは何か。また、財政政策、金融政策、為替政策の手段について整理してみよう。

(平成22年度以前履修登録者) 2011年10月より、1～4 単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2013年3月までは提出できます。

(平成21年度以前履修登録者)『レポート課題集2009』記載の課題は2011年9月で締め切りました。

アドバイス

テキストの該当ページについて明示しています。参照のうえ取り組んでみてください。またむずかしくて整理ができそうにないという方は、キーワードについてゆっくり理解を深めてまとめてみてください。新聞・ニュース等経済社会の話題に関心を寄せつつ課題に取り組んでみましょう。前述しましたが、スクーリング参加によって課題の取り組みが容易になり、より効果があがることを約束しておきます。

1単位め解説 テキスト pp.14～48、特に pp.17～20、pp.35～38を学習のうえでまとめてみましょう。経済学の理論体系はたしかに膨大です。しかしむずかしく考える必要は一切ありません。経済学は人々の幸福を追求する科学です。この分野を少しかじっておくだけで、物の見方・考え方に幅が生まれるでしょう。世の中の仕組みや動きがわかるようになるはずです。テキストをゆっくり読んでまとめてみてください。むずかしいと思う方は、キーワードだけでも説明してください。

2単位め解説 テキスト pp.87～112を参考にしてください。政府が国民の暮らしの満足度を高める役割を担っていることはいまでもありません。たとえば、環境、教育、社会保障、安全、国際平和等々。そのために、税の徴収、国債の発行、財政投融资（例：新幹線）、サービスの提供、ODAなどを政府が行っています。政府の役割を課題に示したキーワードを中心に学習しつつ、まとめてみてください。むずかしいと思う方は、キーワードについての説明をまとめていただいても結構です。

**3単位め
解説**

テキスト pp.139～170、特に pp.158～170を参考にしてください。国民所得水準は我々の生活水準そのものです。そればかりか、海外にも影響を及ぼします。たとえば、わが国が好況で国民所得水準が高ければ、海外にもたくさんの援助が可能になります。また海外からの輸入も拡大し、海外の成長に寄与できます。ここでは、次の用語も参考にしながらまとめてみてください。

(用語) 家計と企業、貯蓄と投資、総供給と総需要、有効需要の原理、消費、投資、政府支出、輸入と輸出

**4単位め
解説**

テキスト pp.183～194を参考にしてください。総需要管理政策について学習し、その上で、財政政策、金融政策の具体的手段について学習してみましょう。たとえば、不況下にあるとき、財政政策として減税をする、金融政策として量的緩和策をとるなど、どういう状態にあるときどのような政策が有効かについて考えてみましょう。

※なお、特例としてスクーリング受講者のレポート課題はスクーリング時に指示された別の課題を4つ提出でも結構です。できるだけ、スクーリングにご参加ください。お目にかかれますことを楽しみにしています。

生命の科学

科目コード●050005

担当教員●阿部一彦(左)
渡部芳彦(右)



4単位 | R or SR | 1年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

生物、とくに人の生命を理解するということは、とても複雑で難しいことであると考えられがちでした。しかし、生命に関する研究が進むにつれ、思っていたよりもはるかに単純な現象の積み重ねによって、生命体が構成されていることがわかってきました。生命の科学では、ヒトを中心に、その生命活動を支える仕組みについて、一つ一つが単純な仕組みの積み重ねによって成り立っていることを確認しながら、生命の全体像に迫るように意識して学んでいきます。これらの学習を重ねることによって、どのような仕組みが生命活動を支えているのか、生きているということはどういうことなのかについて考える姿勢を身につけていきたいと考えています。

教科書

阿部一彦編著 阿部昌子・渡部芳彦著『生命の科学』東北福祉大学、2003年
(平成14年度以前履修登録者) 財団法人私立大学通信教育協会編『生物学』所持の場合も
下記の課題で提出してください。

レポート課題

1 単位め	次に示す(A)と(B)の2つの課題について、論じなさい。 (A) 誕生時のヒト新生児の身体機能の変化について論じなさい。 (B) ヒト成人の消化器系、呼吸器系、循環器系、泌尿器(排出)系による生命を支える分業システムについて論じなさい。
2 単位め	次に示す(A)と(B)の2つの課題について、論じなさい。 (A) ヒトは、感覚器を通して周りの情報を脳に取り込み、情報処理して、それらに応じた行動をする。これらの一連の行為に関して、とくに脳・神経系の機能に着目して論じなさい。 (B) 筋収縮の機構と筋収縮のエネルギー代謝について論じなさい。

3 単位め	次に示す(A)と(B)の2つの課題について、論じなさい。 (A) 過剰ストレスが身体に与える影響について論じなさい。 (B) ヒトの免疫系について論じなさい。あわせてエイズについても論じなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	次に示す(A)と(B)の2つの課題について、論じなさい。 (A) 生活習慣病とは何か、また、日本人の死因の上位を占める悪性新生物、心疾患、脳血管疾患は、どのような生活習慣に基づいて発症すると考えられるのかについて論じなさい。 (B) (1)誤嚥性肺炎について記しなさい。そして、口腔ケアの重要性について論じなさい。 (2)廃用症候群について記しなさい。廃用症候群を予防するためにはどのようなことに留意すべきかについても合わせて論じなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

教科書をよく読み、適宜、参考図書等を読むことによって理解を深め、それぞれの課題について、十分に考察して記述してください。また、日ごろから新聞や科学雑誌などにも気を配ることに心がけ、レポートに取り入れることも重要です。全体をよく理解してから内容を整理して記してください。

適切な小見出しや段落を設けて、自分の言葉で論じることによってさらに内容理解が深まります。

1単位め 解説

- (A) 1章と2章をよく読んで、ヒトの誕生と成長について十分に理解したうえで、整理・考察してください。誕生するということは新生児にとって初めて体験する、そして多くの危険に満ちた冒険なのですね。命の尊さがあらためて実感されます。
- (B) ヒトは食物と空気を取り込んで、体内でそれらを活動のエネルギーや身体を構成する成分として利用しています。食物を取り込んで分解する消化器系、空気を取り込む呼吸器系、取り込んだ栄養素と酵素を全身の細胞に運搬し、各細胞における生化学反応に供するのは循環器系です。ヒトの身体を構成する60兆個に及ぶ各細胞では、活動のエネルギーを産生するとともに身体を構成する成分を生成しています。そして、それらの結果生じた老廃物は、肝臓、腎臓を経由して、泌尿器系によって体外に排出されます。3章を読んで、生命活動を支えるこれらの概要を十分に理解し、まとめて論じてください。自分の言葉で整理することがたいせつです。

2単位め
解説

- (A) 4章をよく読んで、脳と神経系について十分に理解してください。現代社会において充実した生活をおくるために重要な知識が得られると思います。脳のはたらきはとても複雑と考えられますが、基本的な仕組みをわかりやすくまとめることは大事です。十分に読み込んで、考察し、わかりやすくまとめることを試みてください。
- (B) 3章7節をよく読んで、筋細胞の構造を理解してください。そして、どのようにして細いアクチンフィラメントが太いミオシンフィラメントに滑り込むように引っ張られる滑走運動が生じて筋収縮が起こるのかについて論じてください。

(2)激しい瞬発力を要する筋運動を行うときには、ヒトは酸素を利用せずに、いわゆる嫌気的な代謝によってATPを獲得します。しかし、持久力を要する運動を行うときには、酸素を十分に利用して、効率的にATPを生成する機構によりエネルギーを得ています。3章7節や5章をよく読み内容理解を踏まえて、筋収縮のエネルギー代謝について論じてください。

3単位め
解説

- (A) ヒトは無意識のうちに内臓機能などを調節して生命を維持しています。それらの調節は、自律神経および内分泌（ホルモン）系に基づいていますが、ともに間脳の視床下部によってコントロールされています。4章を読んで、ヒトの生命機能を調節するシステムを理解してください。心理的そして社会的過剰ストレスは、視床下部の機能を破綻させ、内臓機能の調節をくるわせ、身体的な不都合をもたらします。いわゆる心身症です。6章を読んで理解を深め、現代社会において注目されている過剰ストレスによる身体への影響等について論じてください。新聞や科学雑誌、参考文献などをもとに整理してください。
- (B) 8章や参考となる図書を読み、液性免疫と細胞性免疫という視点からまとめると理解しやすいでしょう。このようなシステムによって病原体から私たちのからだを守られています。また、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染すると、免疫系のどの部分のはたらきが妨げられて機能しなくなるのでしょうか。そして、病気が進行するにつれ体内では何が起こっているのでしょうか、エイズの予防法も含めて広く理解してまとめてください。

4単位め
解説

- (A) 6章や参考図書を読み、具体的にどのような生活習慣が、どのようにして病気を引き起こす土台となるのかを理解しましょう。悪性新生物（がん）については、DNAの傷害に視点をおいて、そして心疾患と脳血管疾患については循環器系の支障に視点をおいて考察してください。現在、日本人の死亡のうち、6割はこれらの三大疾患が原因となっています。そこで、これらの生活習慣病の成り立ちを十分に理解したうえで、その予防につとめ、健康を維持していつまでも元気に生活し

たいものですね。

- (B) (1)、(2)の両方に解答してください。原因不明の発熱やそれに引き続く呼吸器疾患の原因として誤嚥性肺炎が注目されています。とくに重い障害のある人や高齢の人では深刻な問題です。5章4節をよく読んで理解してください。通常、嚥下反射や咳反射によって（とても多くの細菌を含んでいる）唾液などが気管に侵入しないような仕組みがはたっているのですが、これらのはたらきに支障があるとたいへんです。

また、障害のある人や高齢の人にとって廃用症候群（生活不活発病）も大きな問題です。6章のとくに3節など、11章の7節、8節などを読んで、自分の考えでまとめて整理してください。

参考図書

参考となる文献は教科書の各章末に記載しています。また、新聞や科学雑誌なども活用してください。

法の基礎 (日本国憲法を含む)

科目コード●050007

担当教員●渡辺信英(左)
菅原好秀(右)



4 単位 | **R or SR** | 1 年以上

全 学 科
共通基礎科目

科目の内容

福祉の現場では発生する多様な価値観の衝突に対して、迅速かつ的確な判断能力が必要です。その的確な判断能力を身につけるためには、社会福祉専門職としての法学的知識がどのような場面で、どの程度の活用ができるかという素養が必要となります。本科目では社会福祉の対象となる市民に対しての単なる法学的知識を習得するにとどまらず、社会福祉サービスの対象の属性別（児童、高齢者、障害者など）にそれぞれの領域で専門職としてふさわしい法的思考能力を修得し、ひとりひとりの幸せづくりに貢献できる社会福祉の人材の養成を目的とします。

教科書

志田民吉編著『法学』（第3版）建帛社、2007年

※1・2・4章のみを範囲とする

（平成22年度以前履修登録者）2012年2月より教科書が変更されましたが、履修登録時に配本された教科書にもとづいて下記の課題に取り組むことは可能です。

レポート課題

1 単位め	日本国憲法の基本的人権について論じてください。
2 単位め	統治機構について論じてください。
3 単位め	不法行為について論じてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	成年後見制度について論じてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

（平成23年度履修登録者）2012年2月より2・3単位めのレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2011』記載の課題でも2013年9月までは提出できますが、で

きるだけ今年度の課題で提出してください。
(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より2単位めのレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できます。

アドバイス

1単位め 解説

基本的人権の制度趣旨と各人権の分類を示しながら、社会権を中心に言及してください。また、社会権で問題となった裁判事例について、判例の内容を踏まえて自説を展開してください。

2単位め 解説

統治機構における「国会」「内閣」「裁判所」の各意義について述べたうえで、三権分立の視点から相互の関係性について論じてください。

3単位め 解説

不法行為の要件・効果を論じたうえで、使用者責任の内容について言及してください。

4単位め 解説

成年後見制度の「後見」「保佐」「補助」の各制度趣旨、内容を示した上、成年後見制度の問題点についてあなたの考えを論じてください。

参考図書

- 1) 渡辺信英編『行政法の基礎』南窓社、2010年
- 2) 渡辺信英編『福祉社会の家族法 親族編』南窓社、2008年
- 3) 渡辺信英編『介護事故裁判例から学ぶ福祉リスクマネジメントー高齢者施設編』南窓社、2006年
- 4) 渡辺信英著『更生保護制度』南窓社、2011年
- 5) 志田民吉編著『社会福祉サービスと法』建帛社、2005年

歴史を見る眼

科目コード●050009

担当教員●岡田 清一



4 単位 | **R or SR** | 1 年以上

全 学 科
共通基礎科目

科目の内容

今、歴史学が変わりつつあります。とくに近年の考古学の発掘成果は従来の教科書的記述を再考させつつあり、地名や金石文・説話などの民俗学的成果を反映した歴史叙述がみられるようになっていきます。また、従来の中央（政権の所在地）から見た歴史叙述ではなく、地方・地域から見た歴史研究も深化しつつあります。この動向は、それぞれの地域が主張を持ち始めた結果であり、「日本」が統一された地域から成り立ち、大和民族という単一民族国家であるという既成概念を壊して新しい「日本」像を作り上げようとする方向に進んでいるといえます。

こうした状況を背景に、本学習では、「中央」と「地方」という設定に疑問を投げかけ、「中央」も「地方」も「地域」であるという観点から、それぞれの地域の特性・独自性を考え、政治・経済・文化等の面での地域の相対的自立を考えて欲しいと思っております。

教科書

- 1) 岡田清一・鈴木哲・関幸彦編『中世日本の地域的諸相』南窓社、1992年
- 2) 追加資料（1枚）

レポート課題

※2010年4月よりこの科目のレポートはワープロ・パソコン
印字提出はできません。手書きにて作成してください。

1 単位め	古代・中世とはどのような社会・国家であったのか、さらに、この社会・国家を形成している地域が、どのように成立していったのかについて考察・叙述するとともに、「津軽・東北地域」が他の地域といかに密接に関係していたかについて考察・叙述してください。
2 単位め	古代から中世への移行期に「関東地域」の果たした役割について考察・叙述するとともに、「琵琶湖・北陸地域」の地域的特性について、「交流」をキーワードにして考察・叙述してください。
3 単位め	「瀬戸内地域」の地域的特性を、交通事情を基点に考察・叙述するとともに、「北九州地域」が古代から中世にかけての政権とどのように関連していたかについて考察・叙述してください。

4 単位め

「薩摩」地域の特異性について考えるとともに、「琉球」の歴史的推移の特性について考察・叙述するとともに、受講者が居住する地域の歴史的特性について、地元の博物館・歴史民族資料館等を見学して考察・叙述しなさい。

アドバイス

解説／課題はすべて2項目からなっています。近年の日本史研究は、各地の特性を最大限に考えようとする傾向があります。確かに、旧石器～縄文～弥生～古墳～飛鳥～奈良～平安～鎌倉～室町というあたりまえのように考えられていた「日本」時代区分でさえ、北海道・北東北では、旧石器～縄文～続縄文～擦文～アイヌと経過しており、沖縄もまた旧石器～貝塚時代～古琉球（グスク時代～中山王による統一国家）～近世琉球という別の時代区分が設定されていることを考えると、「日本」全体の時代区分が幻想であることがわかります。

近年、地域史研究が盛んになっています。いわゆる中央（鎌倉や江戸といった権力の所在地）から日本の歴史をみるのではなく、地域（地方）の立場から、あるいは地域を軸にして歴史を見る眼を養ってほしいと思います。そのような視点を忘れずに、レポートを仕上げてください。

1単位め
解説

- ① テキストの「序」および配布プリントを読み、地域の成り立ちと変遷について考えるとともに、従来の「郷土史」ではなく、なぜ「地域史」であるのかについても考えてください。
- ② 次にテキストの「Ⅰ 津軽・東北地域」を読み、後進性・マイナス的地理的特性（遠い・寒い）といった現在の評価がいかに歴史的産物であったのかについて、具体的事例をもとに考えてください。

2単位め
解説

- ① テキストの「Ⅱ 関東地域」を読み、この地域が古代末から中世にかけてどのような歴史的意義をもっていた地域なのかを考え、なぜ、この地域に鎌倉幕府という武家政権が誕生したかについても考えてください。
- ② テキストの「Ⅲ 琵琶湖・北陸地域」を読み、この地域の特性、大陸との接点、国内他地域との接点がどのようなものであったのかについても考え、地域の特性を理解するようにしてください。

3単位め
解説

- ① テキストの「Ⅳ 瀬戸内地域」を読み、とくに古代～中世にかけて、いかにこの地域が交流の大動脈であったかを考え、平氏政権・鎌倉幕府にとってこの地域がどのような意味を持っていたかについても考えてください。
- ② テキストの「Ⅴ 北九州地域」を読み、大陸との交流の具体像を描くとともに、平氏政権・鎌倉幕府にとってこの地域がどのような意味を持っていたかについて考えてください。

4単位め
解説

- ① テキストの「Ⅵ 薩摩・琉球地域」を読み、薩摩地域が古代国家・鎌倉幕府からどのように理解され、どのような地域として把握されていたかを考えるとともに、東アジア社会における琉球の立場について考えてください。その際、薩摩と琉球の立場、それが近代国家にどのように受け継がれ、アジア・太平洋戦争末期の地上戦が惹起されたことについても考えてください。
- ② 受講者の生活する地域にも、人びとの生活があり、豊かな歴史がありました。こうした痕跡は、いろいろな文化財として継承されています。これらを手っ取り早く理解するには地元（あるいはその周辺）の博物館・歴史民族資料館の見学、さらには自治体の刊行する自治体史が参考になります。見学・自治体史をもとに、地元の歴史像について考えてください。

参考図書

入間田宣夫・豊見山和行著『日本の中世 5 北の平泉、南の琉球』中央公論新社、2002年
大石直正・高良倉吉・高橋公明『日本の歴史14 周縁から見た中世日本』講談社、2001年

コミュニケーション英語

科目コード●050011

担当教員●シュミット・ケネス



2 単位

SR

1 年以上

全学
共通基礎科目

※20年度までに履修登録された方は『レポート課題集2008』記載の課題に解答してください。スクーリングの受講条件も『レポート課題集2008（1・2年次）』p.49記載の通りです（受講条件達成締切は『With』でご連絡します）。なお、スクーリング担当教員はシュミット・ケネス先生となります。

科目の内容

英語コミュニケーション能力を伸ばすことを目標とします。特にリスニングとスピーキングに重点を置きますが、語学力向上に不可欠であるリーディングと単語学習や、意見や経験などを表現する簡単なライティングも行います。

教材はオンライン版教材もしくは冊子版（CD 付）教材を使用します。オンライン版教材は動画を用いたオンライン学習（「Longman English Interactive」）ですので、実践的で興味深い内容となっており、使用方法も平易です。各自が設定した目標に向けて、自らのペースで何度でも繰り返し学習ができます。メールを通じて担当教員と頻繁にコミュニケーションを行います。

冊子版教材ではだいたい同じ内容の学習をすることができます。

スクーリングでは、多彩な英語アクティビティ（コミュニケーション、リスニング、リーディング）をします。

教科書

履修登録後に送付されるコースガイドをもとに①使用する教材（オンライン版教材、冊子版教材のどちらを使用するか）および②教材のレベルを決定し、書面（メール・FAX・郵送）にて通信教育部にお知らせください。使用する教材・レベルを確認後20日程度で教材をお送りします。

【オンライン版教材】

- Longman English Interactive (LEI) Online version, Level 1, 2, or 3（個々のレベルに応じて選びます。詳しくはコースガイドを参照）
- LEI 学生用マニュアル

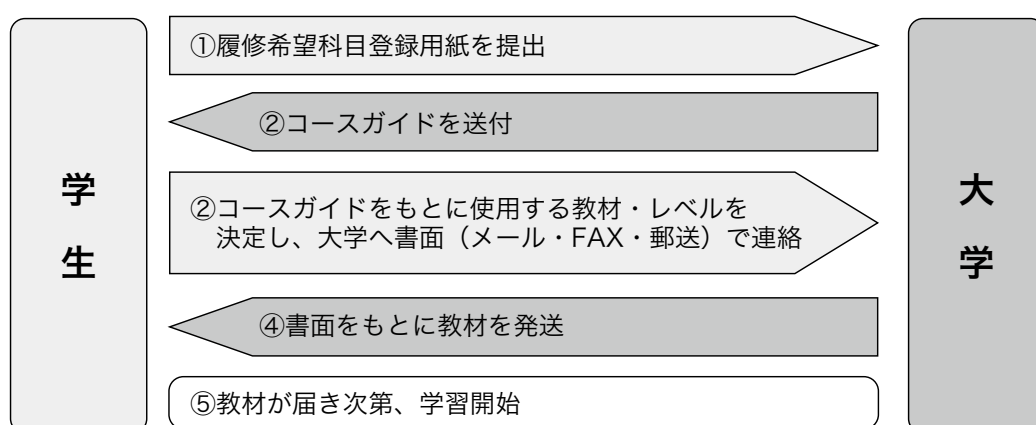
【冊子版（CD 付）教材】

- Longman English Interactive (LEI) Activity and Resource Book, Level 1, 2, or 3（個々のレベルに応じて選びます。詳しくはコースガイドを参照）

なお、オンライン版教材・冊子版教材のどちらを使用する場合でもコースガイドは大切に保管しておいてください。

オンライン版教材の概要について Longman English Interactive のホームページ (<http://www.longmanenglishinteractive.com/tour.html>) から閲覧が可能です（時間は2分程度です）。教材選択の際の参考にしてください。

履修登録から学習開始までの流れは下図のとおりです。



■オンライン版教材について

※ Longman English Interactive (LEI) は一年間の使用許諾による教材です。2年目以降継続して学習を希望される場合は、1年ごとに別途3,500円が必要となります。

※下記の要件を満たしたパソコン利用環境がご自宅に必要です。また、通信教育部ではパソコンの使用方法に関するサポートはできませんので、上記の LEI 学生用マニュアルおよびコースガイドを参照し、ご自身で操作していただきます。

【Windows の場合】

メモリ	256MB 以上推奨
ディスプレイ	解像度1024×768ピクセル以上
OS	Windows 2000、XP、Vista
Web ブラウザ	Explorer 6.0、Firefox 2.0以降推奨（無料ダウンロード）
プラグイン	Adobe Reader 7 以降、Adobe Flash Player 8 以降、Java 1.4.2以降（無料ダウンロード）推奨

通信環境 ADSL、CATV 等のブロードバンド回線を推奨
 パソコンのメールアカウント グーグル、ヤフー、他
 マイクロフォン（なくても可能ですが、スピーキング練習に推奨）

【Macintosh の場合】

メモリ 256MB 以上推奨
 ディスプレイ 解像度1024×768ピクセル以上
 OS MAC OSX 10. 3. 9以降
 Web ブラウザ Safari 2. 0以降、Firefox 2. 0以降推奨（無料ダウンロード）
 プラグイン Adobe Reader 7 以降、Adobe Flash Player 8 以降、Java 1. 4. 2以降（無料ダウンロード）推奨

通信環境 ADSL、CATV 等のブロードバンド回線を推奨
 パソコンのメールアカウント グーグル、ヤフー、他
 マイクロフォン（なくても可能ですが、スピーキング練習に推奨）

＊パソコンの環境が整う方はビデオなども見られるのでオンライン版教材をおすすめします。

レポート課題

1 単位め	9月1日までに LEI モジュール A を終了してください（9月1日までに終わらない場合は、12月1日までに終了してください）。
2 単位め	LEI モジュール B を終了してください。

※1 単位め課題を終えた後に、2 単位め課題に取り組んでください。

※1 月のスクーリングを受講するためには、12月1日までに1 単位め課題に合格していることが必要です。冊子版教材を使用する方は11月10日までに1 単位めの課題を提出してください。

なお、2 単位め課題もスクーリング受講までにできるだけ終了するようにしてください。
 ※スクーリング開講が1 月でない場合の締切は『With』でご連絡します。

アドバイス

【オンライン版教材を使用する方】

このコースでは、インタラクティブレッスン、小テスト、試験を全てインターネット上で行い、結果は担当教員に自動的に送信されますので、レポートの提出は原則として必要ありません。ライティング課題が出された場合は、メールにて提出してください。

【冊子版教材を使用する方】

モジュール終了ごとにレポートを提出してください。詳しくはコースガイドをご参照く

ださい。

Longman English Interactive (LEI) には4段階のレベルがあり、各レベルは3つのモジュール、各モジュールは5つのユニットで構成されています。単位取得には最低二つのモジュール（10ユニット）を終了することが必要ですが、その際、レッスン、アクティビティー、小テスト、試験では一定の基準を満たさなければなりません（詳しくはコースガイド参照）。なお、単位取得に必要な2つのモジュールを終了後、第3モジュール（部分的に終了も可）、または担当教員が出題する課題に取り組むことで、評価を上げることができます。

語学学習は出来るだけ頻繁に行うことが重要です。週に最低2回の学習を行えば大幅な語学力向上が望めるはずです。オンライン版教材では、ビデオ教材を用いての充分なリスニングやスピーキング練習とインタラクティブな学習が行えるので、英語学習がとても楽しいものとなるでしょう。冊子版教材ではリスニング（付属CD）やライティングを通じて会話や語い、文法を学習することができます。

留 意 点

定期的に学習することが大切です。ご自身が集中できる時間にあわせて取り組んでみましょう。

その他の説明と留意点についてはコースガイドを参照してください。

※オンライン版教材にて学習する方については、個人のパソコンの不具合を理由とするスクーリング受講条件の申込締切延長やライセンスの延長には応じられません。早めに学習を進めてください。

※オンライン学習中に、担当教員からの連絡が掲示された場合は必ず内容を確認して下さい。同様に、担当教員からメールが届いてないか1週間に一回以上定期的にチェックしてください。返答が求められている場合は速やかに行ってください。

補助教材

優良な英和辞典（ジーニアス、他）。オンライン版教材利用の方はインターネットの“Course Resources”にて The Longman Learner's Dictionary が利用出来ます。

補助学習としてリーディング、リスニング、単語学習を行うことを奨励します。グレイテッドリーダーや東北福祉大図書館の多読コーナーについての説明は下記の担当教員のウェブサイト参照してください。

< http://www.geocities.com/kjschjp/eng_learn_res/ >

その他の参考教材についてはコースガイドを参照してください。

スポーツ（バレーボール）

科目コード●050014

担当教員●佐藤伊知子



2 単位

SR

1 年以上

全 学 科
共通基礎科目

※スクーリング必修科目、平成24・26年度のスクーリングは開講の予定。平成25年度は開講予定なし。

科目の内容

スポーツは私たちの健康や体力作りはもとより、生きがいや仲間作りにも大きな役割を果たすものです。本科目では、スクーリングによる実技講習において基礎体力の養成やバレーボールの基本技術やルールの習得を目指します。また、2人一組での練習やチーム練習などを通して、協力する精神を学びます。

バレーボールの中でもっともポピュラーな「6人制バレーボール」以外にも、生涯スポーツとして人気の高い「ソフトバレーボール」も体験してみましょう。

教科書

スクーリング時に資料配布

（平成16年4月以前履修登録者）2004年5月に教科書が「スクーリング時に資料配布」となりました。以前の教科書 佐藤伊知子著『バレーボール6人制』成美堂出版からの抜粋となります。よって、スクーリング受講後ならばこれまでの教科書所持者もそのままレポート課題に取り組むことができます。

レポート課題

課題はスクーリング受講後に提出してください。

1 単位め

バレーボールの基本的なルールを述べ、初心者同士が試合を行う場合に適用したほうがよいものと、適用しないほうがよいものについて考察しなさい。

2 単位め

6人制バレーボールとソフトバレーボールのルールの違いを述べ、ソフトバレーボールは生涯スポーツとしてどのような工夫がなされているか考察しなさい。

アドバイス

バレーボールの基本的な技術（オーバーパス・アンダーパス・サーブ・アタックなど）はスクーリングでの実技講習で学びます。6人制バレーボールやソフトバレーボールなどを体験してみると、そのルールの中からさまざまな「配慮」「工夫」が見て取れます。スポーツを通してその「配慮」や「工夫」について考えてみてください。

年齢や性別、障害の有無にかかわらずスポーツを楽しむためにはそのような視点が必要となってくるのです。

1単位め 解説

まず、テキストの9「勝つためのルールをおぼえよう」を参考に、6人制バレーボールのルールについて述べてください。

「ルール」は競技スポーツとしてはなくてはならないものではありませんが、初心者や技術や体が未熟なプレーヤーに対して完全に適用すると、ラリーが途切れ、試合そのものが楽しくないものになりかねません。

遊びやレクリエーションもそうですが、スポーツもルールをその人たちのレベルにあわせて適用させたり、アレンジすることによって、誰もが楽しめるものになります。

初心者が楽しめるものを目指す、というところがポイントとなります。バレーボールの場合、どの部分をどうアレンジすれば初心者の人でも楽しくゲームが進められるか、どのルールはそのまま適用するのかを考えてまとめてください。

2単位め 解説

バレーボールは、「ボールをはじく」という難しい動作を基本にしており、発達段階が未成熟な小学生には適していない、ということから長い間、小学校の体育の授業には取り入れられませんでした。そんな小学生にもできるようにと考えられたのがソフトバレーボールです。

道具やコートをはじめ、ルールを工夫したことによって、子供からお年寄りまで幅広くバレーボールを楽しめるようになり、ようやく小学校の授業にも取り入れられるようになりました。

実技の時間に学んだソフトバレーボールのルールを述べ、6人制バレーボールとの相違点をふまえ、生涯スポーツとして受け入れられる要素を考えてまとめてください。

参考図書

日本バレーボール協会編『最新ソフトバレー・ハンドブック改訂版』大修館書店、2006年

スポーツ（バーンゴルフ）

科目コード●050015

担当教員●小野寺浩三



2 単位

SR

1 年以上

全 学 科
共通基礎科目

※スクーリング必修科目、平成24・26年度は開講予定なし。平成25年度開講予定です。

科目の内容

バーンゴルフは、ゴルフのパターによる18ホールのストロークプレーです。見た目はやさしいが、高度なテクニックや頭脳プレー、集中力が求められます。

障害者や高齢者にはリハビリの効果があり、子どもから大人まで年齢、性別、身体的ハンディにかかわらず、誰もが参加できるバリアフリーのニュースポーツです。

本スクーリングにおいて、歴史、意義を論じ、ルールとマナー、コースの攻略法を身につけるとともに基礎体力、基礎技術の向上を図ります。また楽しみ、喜びを共有しながら、リハビリスポーツ、生涯スポーツとして取り入れ体験学習をします。

教科書

スクーリング時に資料配布

レポート課題 スクーリング終了後に2課題提出してください

1・2単位め

- ・ 3 題のうち 2 題を選択してください。1 題が 1 単位分になります。
- 課題①バーンゴルフの魅力・特徴・効果をあげ、リハビリスポーツや生涯スポーツとして、障害者や高齢者になぜ必要か考察せよ。
- 課題②バーンゴルフは生涯スポーツと競技スポーツの両面を持っているが、その違いについて考察せよ。
- 課題③バーンゴルフが老若男女を問わず楽しむことができるのは、どのような理由があげられるか。自らの体験を通して考察せよ。

健康科学

科目コード●050016

担当教員●小崎浩信



2 単位

R

1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

健康・保健・医療・福祉の分野を専門的に習得するにあたっては、私たちのライフスタイルの変化と健康への認識について洞察を深める必要があります。本科目ではまず、「加齢」についての理解を深めつつ、前半で、健康と結びつきが深い栄養と運動について学習します。その上で後半では、健康であるために必要とされる、さまざまな実践や運動行政施策を通して身体・運動・文化に関する基本的認識を養い、日常における健康への意識や健康活動における必要性の理論修得を目的とします。

教科書

木村靖夫著『ウィズエイジングの健康科学』昭和堂出版、2010年
(平成24年度以前履修登録者) 2012年8月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書にもとづいてレポートを提出することは、『レポート課題集2011』記載の課題に取り組めば可能です。

レポート課題

課題記入欄には「 」内だけ記載すればよいが、問題文全体をよく読み、解答してください。

1 単位め

「健康であるために必要な栄養と運動」

栄養と運動の概要を簡潔にまとめた上で、それらが日常生活の中でどのように関連しているかを考察しなさい。また、社会性や効果・弊害をふまえた上での運動習慣の必要性を具体的に論述しなさい。

2 単位め

「健康の定義・運動行政施策の変遷」

健康の定義をまとめた上で、あなたの周囲や地域で実践されている健康活動の例をあげ、具体的に考察し論述しなさい。また、人々の生活とそれを取り巻く地域行政施策との観点から、健康づくり施策について整理し、その変遷をまとめなさい。

(平成24年度以前履修登録者) 2012年8月からレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2014年3月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

全体の解説

本科目では、人が「老いる」現象をありのまま受け止めつつ、長寿を多角的にとらえ、「健康で生きる」ために必要な基礎的知識と理解を深めることを学習のねらいとしています。

そのねらいを達成するポイントは、テキストや資料を熟読した上で、実生活の現況や課題に置き換えて考察することが必要となります。この講座習得のねらいは、あくまで、理論としての健康科学を実生活や医療福祉現場、教育現場において、自らの意思により心身双方の健康指向を高めていくことにあります。したがって、レポート課題の内容は、①基礎理論をふまえた上で主要事項をまとめ、②事例や症例を用いながら考察し、③社会における「健康」の意義を理解する、ことを段階的に進められるよう構成してあります。

課題をまとめる作業を効果的に進めると同時に、それらの事象に対するもののとらえ方と幅広い視点の方向性を養うため、参考図書や参考資料を有効に用いながら、学習を進めてください。

1単位め解説

健康への志向や運動の習慣性は人によって異なりますが、栄養と運動の必要性は、健康を目指す上での共通したキーワードです。ここでは、「生活様式の変化」と「ヒトの適応」について理解していただきます。第1章を参考に、生活環境や社会の変化に伴う生活様式への影響をふまえ、その概要を簡潔にまとめ論述してください。次に、テキストの運動不足と関連する疾患の項（第1章3）（第3章）をよく読み、生活習慣病やメタボリックシンドローム等の要点を整理しながら、日常における生活とすり合わせた上で、運動習慣の必要性についてわかりやすく論述してください。

また、運動のためのエネルギー供給と栄養学も視野に入れながら、その必要性と諸条件を端的にまとめ、あわせて運動やスポーツによる障害とその予防についても論述してください。ここでは、健康活動に必要とされる運動やスポーツの原理原則のみならず、その実践にともなう効果や弊害も含め、十分に理解することが学習のポイントとなります。第5章以降を参考にすると良いでしょう。

評価は、テキストの内容を適切に要約して理解することができるか、また社会生活における健康の重要性や身体活動の必要性を適切に整理・理解できたか、という点にポイントがおかれます。その点を考慮して簡潔にレポートを作成してください。

2単位め解説

ここでは、健康とはなにかといった、いわゆる「健康観」について考えることが中心的な課題となり、また実生活における健康活動や運動行政施策についての理解を図ることを学習のねらいとしています。まず、健康の定義として代

表される世界保健機構（WHO）の定義をよく理解してください。その上で第11章にある健康づくり対策の項を参考にしながら、身近にある健康活動の例について、あなたの考えを取り入れながら論述してください。例えば、あなたの住んでいる県や市、町の広報に揚げられる健康増進活動や日常生活習慣病予防の内容を参考としたり、また実際に地域の健康増進センターや保健所に出向いてレポートしてくるのもよいでしょう。また、インターネットなどの情報通信機器を有効利用することも手段のひとつです。要するに、どのような形で「健康観」が地域で実践され、啓蒙されているかを知ることが大切です。

次に、第10章以降を参考としながら、地域の運動行政施策について、福祉の対象における健康な生活支援も含めながら、簡潔にまとめてください。その上で、今日に至る運動行政施策の対策・取り組みの変遷について、わかりやすく論述してください。ここでは、国民のライフスタイルの変化に伴い、どのように健康増進対策が変遷してきたか、また実際に地域でどのように実践されてきたかを考察することが学習のねらいとなります。

評価は、「健康観」に対して、事例や社会的変遷を取り入れながら論を展開することができるか、そして健康づくり施策について、その大枠を把握することができているかという点にポイントがおかれます。あなたの実生活や日常の周囲を十分観察し、社会的事象と本論で学んだことを関連づけながら、レポートを作成することをおすすめします。

参考図書

樋口満・福永哲夫編『スポーツ・健康科学』放送大学教育振興会、2009年

波多野義郎編『介護予防の健康科学』不昧堂、2008年

関西福祉科学大学健康科学科編『健康科学入門』文理閣、2009年



人間と教育

人間と教育 050017

共通基礎科目

科目コード●050017

担当教員●寺下 明



4単位 | **R or SR** | 1年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

今日の教育をめぐる課題は、どれ一つをとってみても、わたしたちひとりひとりの生き方を問い、未来の社会を決定づける問題です。学ぶ、知る、考える、成長するとはどういうことなのか。その営為に教育はどうかかわっているのか。暴力やいじめ、非行はなぜなくなるのか。不登校や学校崩壊はなぜ起こるのか。グローバル化、IT化、知識基盤社会の到来は、教育のあり方やわたしたちの生活や成長にどのような影響を及ぼしているのか。教育の改革は、どのように行われようとしているのか。

教育を問うということは、何をどのように問うことなのでしょう。まず、教育は、歴史・社会・文化のすべての全体的な関連のなかで営まれる活動です。それゆえに、わたしたちは、教育あるいは人間とは何か、ということについて改めて問い直さなければなりません。なぜ、人間にとって教育が必要なのか、人間にとって教育とは何か、に答えなければなりません。その問いに対する解答は、教育の実践を根本において強く支えてくれるでしょう。

教科書（「教育原理」と同じ）

寺下明著『教育原理』ミネルヴァ書房、2003年

レポート課題

1 単位め	人間は「教育的存在」であることを踏まえて、「教育」について定義しなさい。
2 単位め	子どもの発達における「素質と環境」の問題について、考えを述べなさい。
3 単位め	日本の子ども観と、子育ての日本の特質について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは説明型)
4 単位め	日本の近代公教育の特徴について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは説明型)

アドバイス

1単位め 解説

教育とは何かについて、カントの「人間は教育されねばならない唯一の被造物である」という言葉の意味を考慮して、まとめてください。テキスト1章を参考にしてください。

2単位め 解説

子どもの発達をめぐる問題は、諸科学の研究成果をもとにした人間としての「事実」に立脚することが重要です。そして、さらに重要なことは、人間は歴史的・社会的環境をもち、「意味」のある世界に生きているということです。したがって、発達をめぐる問題は、事実としての人間と、価値に関わる社会や文化の領域（広い意味での環境）を包含せざるを得ないのです。こうした視点から、子どもの発達の特徴を教育との関連で考察してください。テキスト2章を参考にしてください。

3単位め 解説

子どもをどう見るか、子どもはいかなる意味の世界に生きていたのかを通して、逆に大人や人間とは何かを問い直してみましょう。さらに、子育てのあり方を欧米と比較しながら、日本社会の基本構造と教育の特質を明らかにします。テキスト3章を参考にしてください。

4単位め 解説

日本の近代化は、黒船ショックによって路線が選択されました。「富国強兵」「殖産興業」を近代化の目標に掲げ、国家による強制教育の制度を確立し、短期間のうちに合理的かつ機能的に近代化に必要な知識技能を国民に身につけさせることでした。こうして中央集権的教育行政、画一的教育が行われることになりました。そのような背景を理解し、近代日本の公教育の特徴についてまとめてください。テキスト4章、5章を参考にしてください。

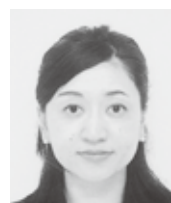
参考図書

テキスト章末記載の文献を参照してください。

観光と文化

科目コード●050018

担当教員●安藤直子



4 単位 | R or SR | 1 年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

私たちは、観光にかかわるとき「どの国に行くか」「そこで何を見たいか」「何をしたいか」といったように、サービスを受ける側の立場で物事をとらえがちです。しかし、私たちが出掛けた先には、私たち観光客を迎えてくれる人たちがいます。もし皆さんが、観光客を迎える側の立場から、観光の舞台裏を覗いてみることであったら、そこでは思いがけないドラマが繰り広げられているかもしれません。

この授業では、観光の舞台裏も含めて、観光を立体的に眺めることに挑戦します。その際、「文化」の問題として観光をとらえ、観光客と観光客を迎える人々それぞれにとって「観光する」とか「観光に行く」ということが、どのような意味をもつのかを考えます。

教科書

山下晋司編『観光文化学』新曜社、2007年

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『観光人類学』にもとづいて下記の課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め	観光文化学とは何を研究しようとする分野なのか、また「文化」をキーワードに観光を研究することが必要な理由を論じてください。
2 単位め	観光リゾート開発の具体例をあげて、観光開発がその土地の文化に与える影響について論じてください。
3 単位め	観光地のイメージがどのように形成されてきたか、そのイメージが観光地で暮らす人々の生活や文化にどのような影響を与えたか、具体例をあげて論じてください。
4 単位め	観光と文化について自由に論じてください。その際、「文化の演出」「文化の消滅」「文化の創造」「文化の生成」といった言葉のうちのいくつかを使用してください。

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題での提出は2010年9月で受付を締め切りました。

アドバイス

レポートには、テキストの内容をそのまま記述するのではなく、他の文献を使って調べたことや、あなたの身のまわりで起きた出来事からあなた自身が考えたこと、感じたことを含めて論じてください。本や新聞に書かれていることがすべて正解とは限りません。それらは、あくまでも1つの見方に過ぎないということを心に留めて、自分自身の考えを論じてください。

1単位め 解説

観光を研究対象とする学問領域はたくさんあります。その中で、観光文化学にはどのような特徴があり、何を研究しようとする分野なのか、「文化」という切り口で観光を分析することがなぜ重要なのかを論じてください。テキストの1章、2章、3章などを読み、その上であなた自身の考えも含めてまとめてください。

2単位め 解説

国内あるいは海外のリゾート地を眺めてみると、リゾートを建設し運営するプロセスには、多くの人たちが携わっていることがわかります。観光客にとってリゾートは非日常的な空間ですが、地元の人々にとっては日常生活の場であり、(1) 観光客、(2) 地元住民、(3) 資本を投資し、リゾート開発をする人たちの間には、様々な「文化」の問題が生じています。

テキストの6章、7章、17章、みどころ9などを参考にしながら、前述の3つの立場の人々の間で、どのような問題が生じているのか、具体的な事例をあげながら論じてください。

3単位め 解説

私たちはパンフレットやガイドブックを参考に旅行先を選びます。そのため、観光をビジネスとして成立させる際には、観光地のイメージを生産する戦略が重要になってきます。

テキスト4章、みどころ1、5章、みどころ2、みどころ3、観光文化学演習ii、11章などを参考にしながら、観光地のイメージがどのように生産され、そのイメージが観光地で暮らす人々にどのような影響を与えたか、教科書で取り上げた地域以外の、具体例をあげながら論じてください。

4単位め
解説

私たちは、観光地には、パンフレットで見たままの生活があり、観光地ではありのままの景色を眺めているように思っています。しかし、実際はそうではありません。

テキスト7章、8章、9章、11章などを参考にしながら、あなたは、観光開発がその土地の「文化」や「伝統」を破壊するととらえるのか、あるいは、観光は「文化」を洗練させ新しい「文化」を生成させるととらえるのか、観光と文化をめぐるあなた自身の意見を論じてください。

参考図書

テキストの各章に提示されている文献を参考にしてください。

科学的な見方・考え方

科目コード●050020

担当教員●大内真弓



4単位 | **R or SR** | 1年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

現代の生活において、メディアでは数多くの情報が瞬時に飛び交い、欲すれば余りあるほどの情報が容易に手にできるようになりました。しかし、自分では十分に理解していると感じている情報をいざ誰かに説明しようとしてみると、意外とうやむやな理解であったり、矛盾を指摘されて誤解に気付いたりすることもあるようです。さらに学習のために調査し多くの事例や資料をまとめていく作業においても、先に結論ありきなのか論理の飛躍や矛盾に気付かないままに進めてしまうケースが見受けられ、指摘されると気付く場合も多いようです。特に通信教育のように「書いたもの」のやりとりがメインである場合には、「そういうことが言いたかった（書きたかった）」「そういう意味も含めて書いた」と思って書いていても、実際に文字になって表れていなければ読み手側には全く伝わりません。またどんなに素晴らしい意見やもっともらしい結論であっても、そこに至る道筋（説明）が納得のできる展開になっていなければ、単なるアイディアやひらめきと言われても仕方のないことです。

池内了は『科学の考え方・学び方』の中で、いわゆる理系分野である自然科学では科学の構造を「自然現象」―「物質の運動」―「法則」というつながりと考えることができる、と説明しています。さらに、深く考察すれば人間や社会の動きにも一定の法則性が認められ、どのような原理のもとに、どのような行動（運動）をとったか、それはどのような結果（現象）になったかというつながりの中で理解できる、と続けています。ここにも「現象」―「運動」―「原理」という構造があるというわけです。大学では後者を人文科学と呼んでいます。他にも、社会を人間と対比した形とみなしてひとつの研究対象とする社会科学や、人間研究のうち特に人間行動にかかわる分野を行動科学とする分類などがあります。つまり学問として考えるということは、科学的に考えることを意味します。その考える過程では、突如としてアイディアやひらめきが生まれたり、時には飛躍があったり堂々巡りがあったりするかもしれません。しかし科学的に考えたことを示すということは、結論までの道筋（説明）で生じている隙間を丹念に補い、誰にでも納得できるように簡潔な表現で全体を再構成することで、論理的に説明できることが要求されます。論理的に説明

するひとつの方法として、資料（図または表、写真など）の利用があげられます。文章だけで進めるよりも、資料を提示しその分析結果を述べることで、わかりやすくより説得力が増す内容に上げることができます。本科目では自身の考えを論理的に組み立て、資料を利用して表現する力を養う一助となることを目指します。

教科書

野矢茂樹著『新版 論理トレーニング』産業図書、2006年

レポート課題

1 単位め	(1) テキスト68ページの練習問題4の問2について、解答例以外の解答をできるだけ多くあげなさい。 (2) 同上の問題文を読み、論理の展開に適する資料を用い、本文においてその分析結果にも触れつつ自分自身の考察を述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)
2 単位め	(1) テキスト159ページの練習問題10の問5において、(例1)～(例4)からひとつの論題を選び、論理の展開に適する資料を用い、本文においてその分析結果にも触れつつ解答しなさい。 (2) 自分で論題を設定し、上記(1)に準じて解答しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)
3 単位め	テキスト167ページの課題1について、テキストを参考にして論じなさい。その際、論理の展開に適する資料を用い、本文においてその分析結果も述べなさい。
4 単位め	環境問題に関するテーマを設定し、自分自身の考察を十分に入れて論じなさい。その際、論理の展開に適する資料を用い、本文においてその分析結果も述べなさい。

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題での提出は2010年9月で受付を締め切りました。

アドバイス

1～4単位めまでの課題は、その流れに沿って学習を進めることで徐々に理解が深まり、次第に力がついていくものと思われますので、数字の順に従って課題に挑戦することをお勧めします。

1単位め 解説

課題(1)については、第4章までのテキストの流れに沿って学習を進めれば、課題への取り組み方は理解できるはずです。丁寧に読み進めて理解を深め、できるだけ多くの解答をあげてください。

課題(2)は、課題(1)と同じ問題文を読んで、賛成でも反対でもどちらでもかまわないので、自分自身の考えを述べることを求めています。ただし科学的に考えることを要求している科目であるため、主観的な意見では納得できません。資料を用いることを要求していますので、インターネットや新聞、書籍などを検索して、論理を進めるために適した資料を見つけ出してください。適切な資料を見つけたら、コピーまたは印刷などをして保存しておきます。その資料を丹念に分析し、レポート中でその分析結果を述べているページに、上端部分のみ貼付し提示してください。レポート中では出典を明らかにして「図（表）に示すように～」「～の結果を図（表）に示す。」というように提示し、その資料が何を示しているのか、どのように解釈できるのか、この論理にどうかかわるのか、などを詳細に述べてください。その資料の信憑性が低ければ、論理を補強するものになり得ませんから、論理に説得性を持たせるためには、可能な限り公的な資料であることが望ましく、資料の選択は大変重要となります。このような論理展開からこの結論が導かれるのであるなら、読み手が賛成派であっても反対派であっても十分に納得できるというレポートを書いてください。

課題(1)と課題(2)の字数配分については、恐らく課題(2)の方が圧倒的に多くなると予想できますが、それぞれに特に制限は設けませんので、記述可能なスペースを存分に利用してください。

なお、数字の表記方法は、2桁以上の場合原稿用紙1マスに2つずつとします。この基本はすべての課題に共通です。

2単位め 解説

課題(1)については、第10章までのテキストの流れに沿って学習を進めれば、課題への取り組み方は理解できるはずです。4つの例から1つを選び解答してください。論理を展開する上で、1単位めと同様に資料を用いることを要求しています。1単位めの解説を参考にして同様に取り組んでください。

課題(2)は、課題(1)と同様に進めますが、自分で論題を設定してください。同じく資料を用いることを要求していますが、論題に合わせた資料を探すのが難しいと感じた場合は、利用しやすい資料を先に探してから論題を設定するという方法でもかまいません。

3単位め 解説

いよいよテキストも終盤です。第11章の流れに沿って考え、2,000字のレポートを仕上げてください。結論は賛成論でも反対論でもどちらでもかまいません。自身の考察と適切な資料を用いて自由に論じてください。ただし、長くなると

文章を組み立てる基本が曖昧になってしまうことがあるため、十分に推敲し矛盾のないように述べてください。

4単位め
解説

本科目の総括として、「環境問題」と言われるなかから自由にテーマを選び論題を設定し、資料を用いてかつ十分な考察を交えて論じてください。「環境問題」にかかわる内容であれば問題となっている地域や社会における注目度などは問いませんが、テーマの選択は大変重要です。最も関心のあるテーマであれば、好奇心が掻き立てられるため比較的スムーズに進められると思います。ただ、資料が少ないテーマを選択した場合は、論理を展開する上で十分な裏付けができなくなり、主観に偏った流れになる恐れがあります。そういう意味では、関心の度合いのみで選択するのではなく、まずは数多くの資料に当たってみて、そのなかから興味の得られるものを選択する方法が望ましいかもしれません。資料は納得できる論理を展開する上での重要な武器ですので、慎重に選択してください。以下に環境問題と関係する Web ページアドレスをいくつかあげますので、参考にしてみてください。

環境省 <http://www.env.go.jp/>

環境 goo <http://eco.goo.ne.jp/>

PET ボトルリサイクル推進協議会 <http://www.petbottle-rec.gr.jp/>

アルミ缶リサイクル協会 <http://www.alumi-can.or.jp/>

スチール缶リサイクル協会 <http://www.steelcan.jp/top.html>

財団法人古紙再生保健センター <http://www.prpc.or.jp/>

ガラスびんリサイクル関連リンク集

<http://www.glass-recycle-as.gr.jp/link/index.html>

チームマイナス 6 % <http://www.team-6.jp/>

全国地球温暖化防止活動推進センター <http://www.jccca.org/>

福祉と環境には接点が見出せないと思われるかもしれませんが、生活環境の実情を知り改善していくことは、より良い生き方をするために、そしてより健康に生活するために必須であると考えています。地球規模的な問題も取り上げられていますが、ぜひ他人ごとと片付けずにそれぞれの目線で考えた問題として捉え論じてください。

参考図書として以下に 3 冊をあげます。1 冊目は、主に科学的な考え方をするということはどういうことかを、若い世代へのメッセージとしてまとめているため、大変平易に述べられており読みやすいものです。ただし、具体的な例として述べられているのは、自然科学の分野についてです。2 冊目は科学雑誌に連載されたエッセーをまとめたもので、さ

まざまな視点から考えている姿勢が楽しさを増します。3冊目は2冊目の著者の専門分野である動物行動学を切り口として、生物の持つ不思議な特長について読み解くことを試んでいます。著者は「生物がつまらない暗記科目などではないことを知って欲しい」ために書いているので、論理的思考を学ぶためだけではなく、生き物についての読み物として大変面白いと思います。ただ、いずれの参考図書を手にしたとしても、自身が丹念に考え考察し、導き出した論理を組み立てるトレーニング抜きには目標は達成できません。そういう意味での参考図書であることをご理解ください。

参考図書

池内了著『科学の考え方・学び方』岩波ジュニア新書、1996年

長谷川眞理子著『科学の目 科学のころ』岩波新書、1999年

長谷川眞理子著『生き物をめぐる4つの「なぜ」』集英社新書、2002年

福祉と生活

科目コード●050021

担当教員●八巻幹夫



2単位 | R or SR | 1年以上

全学科
共通基礎科目

科目の内容

人間の暮らし（生活）は「生きていくこと」の困難さを克服しながら生命を維持してきたと言えます。明治期以前の暮らしは共同体社会に支えられたものでしたが、明治期以降の近代では個人は身分制度や共同体社会から解放されました。それに伴い、個人は暮らしと一体の労働を切り離され、労働を前提とした生活に組み入れられるという辛い側面を負うようになりました。これは「個人の自由と自立」のひきかえに生活の「自己責任（自分を助けるのも自分）」を得たとも言えます。しかしながら、自己責任を誰にも当てはめることには無理があり、それに対応するものとして社会福祉を必要としました。

近年、社会福祉の諸課題を語るとき、ノーマライゼーションと共に「福祉」や「Quality of Life（生活の質）」または「well-being（よりよく生きる）」という言葉が多く用いられています。これは、経済的貧困や障害を持つ人々という社会福祉の対象が、個人または家族の生活課題に変化していることを意味します。そして、私たちの生活は福祉サービスなしでは成立しないほどにもなっています。例えば、全国の各自治体の部局名称に生活福祉（部）や福祉生活（部）を採用することが多くなったのも、行政サービスに期待する市民の要請に応じた現象ともいえるでしょう。

生活とは生存のための消費と生産の絶え間ない活動を指しますが、この科目では、昭和20年以降のわが国の生活（暮らし）のありようとその変化から、現代生活のしくみと福祉が生活にどのように関与しているかを学んでほしいと思います。

教科書

松村祥子著『現代生活論 ― 新しい生活スタイルと生活支援』放送大学教育振興会、2000年

レポート課題

1 単位め

わが国の少子高齢化現象を説明し、あなたの住む市町村とわが国の高齢化の特色をあげなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

2 単位め

家事労働はなぜ減少しているのか。あなた自身の生活とのなかから、その原因と個人や家族の生活への影響について述べなさい。

アドバイス

レポートの基本的な書き方を『学習の手引き』6章などをよく読んで理解し守ったうえで提出してください。引用注釈の明記もなく、テキストや文献を書き写したレポートをししばしば見受けられますが、レポートは「作成者の論旨と他の文献や情報の考察」を文章化する作業だと思います。共通基礎科目のレポートですので、論旨と同等に文章作成の点についても添削を行うようにします。

1単位め 解説

平成17年12月、わが国の人口減少が、予測より2年早く報じられました。東北地方での高齢化率も深刻な事態になりつつあります。少子化率や高齢化率は各市町村や県のHPに公表されていますので、それらを参考にしてください。

2単位め 解説

すでに単身生活者に見られる現象であるが、コンビニや調理器具の発達は、まな板や包丁を一部の家庭から駆逐するかもしれません。衣食住に豊かで便利な生活環境は、反面、不便さや困難さも引き起こすという視点で課題を考えてみてください。

参考図書

- 1) 一番ヶ瀬康子・尾崎新編著『講座生活学7 生活福祉論』光生館、1994年
- 2) 生活科学研究会編『生活科学ハンドブック』ブレーン出版、2003年
- 3) 定藤丈弘・佐藤久夫・北野誠一編『現代の障害者福祉 [改訂版]』有斐閣、2003年
- 4) 飯田哲也著『現代日本生活論』学文社、1999年
- 5) 杉座秀親著『現代の生活と社会学』学文社、2000年

社会福祉士指定科目 A

全学生向け科目・平成21年度以降入学者向け科目

この部に記載の科目は社会福祉士国家試験受験資格指定科目で、平成21年度以降入学者向けの科目すべてと、平成20年度以前入学者が履修すべき一部の科目が掲載されています。社会福祉士国家試験受験資格指定科目と精神保健福祉士国家試験受験資格指定科目の共通の科目もこちらに掲載されています。指定科目一覧は下記の表をご覧ください。

資格	カリキュラム	掲載ページ
社会福祉士国家試験受験資格指定科目	■★平成21年度以降入学者	p.60
	◆平成20年度以前入学者	p.61
精神保健福祉士国家試験受験資格指定科目	■平成24年度以降入学者	p.206
	★平成21～23年度入学者	p.207上
	◆平成20年度以前入学者	p.207下

★■平成21年度以降入学者 社会福祉士国家試験指定科目一覧

科目コード	科目名	単位数	掲載ページ	備考
050101	福祉社会学	4	62	
050103	福祉心理学	2	67	
050063	福祉法学	2	70	20年度以前入学者履修不可
050069	更生保護制度論	1	73	
050064	高齢者福祉論	2	75	
050065	介護概論	2	77	
050066	児童・家庭福祉論	4	80	
050118	障害者福祉論	4	84	
050079	医学一般	2	103	20年度以前入学者履修不可
050104	社会福祉原論（職業指導を含む）	4	89	
050105	地域福祉論	4	92	
050107	社会保障論	4	96	
050108	公的扶助論	2	100	
050070	社会福祉援助技術総論	4	107	20年度以前入学者履修不可
050071	社会福祉援助技術論A	2	110	
050072	社会福祉援助技術論B	2	117	
050073	社会調査の基礎	2	120	
050074	福祉経営論	2	123	
050075	保健医療サービス論	2	125	
050076	就労支援サービス論	1	128	
050080	福祉行財政と福祉計画	2	129	20年度以前入学者履修不可
050082	社会福祉援助技術演習A	3	131	
050083	社会福祉援助技術演習B	3	137	
050084	社会福祉援助技術演習C	3	143	
050190	社会福祉援助技術実習指導A	1	149	
050191	社会福祉援助技術実習指導B	2	153	
050907	社会福祉援助技術実習	4	157	

◆平成20年度以前入学者 社会福祉士国家試験指定科目一覧

科目コード	科目名	単位数	掲載ページ	備考
050101	福祉社会学	4	62	
050103	福祉心理学	2	67	
050104	社会福祉原論（職業指導を含む）	4	89	
050105	地域福祉論	4	92	
050107	社会保障論	4	96	
050108	公的扶助論	2	100	
050118	障害者福祉論	4	84	
050102	福祉法学	4	162	21年度以降入学者履修不可
050106	医学一般	4	164	
050116	児童福祉論	4	170	
050117	高齢者福祉論	4	168	
050120	介護概論	4	171	
050126	社会福祉援助技術論Ⅰ	2	180	
050127	社会福祉援助技術論Ⅱ	2	182	
050128	社会福祉援助技術論Ⅲ	2	183	
050129	社会福祉援助技術論Ⅳ	2	186	
050130	社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	188	
050131	社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	193	
050132	社会福祉援助技術現場実習指導	2	198	
050901	社会福祉援助技術現場実習	4	201	

※旧カリキュラムでは指定科目ではないが、新カリキュラムで指定科目となっている旧カリキュラム対応科目

科目コード	科目名	単位数	掲載ページ	備考
050123	福祉計画法	2	175	21年度以降入学者履修不可
050125	福祉施設管理論	4	177	
050076	就労支援サービス論	1	128	

福祉社会学

科目コード●050101

担当教員●赤塚俊治



4単位 | R or SR | 1年以上

社会福祉
必修/選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

20年度以前
入学者

21年度以降
入学者

科目の内容

複雑化した社会構造のなかで暮らす国民の生活福祉問題を分析すると、戦後のわが国における社会構造は大きく変化しており、それにともなって数多くの社会生活のひずみ現象（社会的犯罪、麻薬、アルコール疾患、子供の自殺・老人の自殺、家庭崩壊、援助交際など）が産出されています。2011. 3. 11東日本大震災は、被災地はもとより、わが国の社会をあらためて考えさせる大きな要因にもなりました。今後、わが国は超高齢・少子化、高度情報化、国際化が進捗して、家族関係や地域社会における生活環境が一層複雑な様相を呈するものと予想されるだけに、今後の社会保障政策や社会福祉政策にも大きく影響を与えることは確かです。それゆえに現代社会が生み出す社会現象をより包括的にとらえながら、「発展社会から成熟社会への変換」を目指した福祉社会を構築していくことが重要かと思われまます。

本講義では、こうした国民の生活周期に生起する新たな諸問題に対応すべき社会福祉の援助過程に関わる社会的行為や社会政策などを社会学的な視点から現状分析することによって、今日の生活問題を規定している諸要因やそれらの相互連関を体系的に究明しながら、今後の社会福祉の役割と機能について検証する内容にしたいと考えています。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座3 社会理論と社会システム（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）
（平成20年度以前履修登録者）2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『新版 社会福祉士養成講座11 社会学（第2版）』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め	私たちが所属している基礎集団・機能集団について述べ、現代社会の集団に関する特徴を考察しなさい。
2 単位め	現代社会とともに変化してきた「家族形態」と「家族機能の変容」について考察しなさい。
3 単位め	現代社会における「物質」志向から「脱物質」志向への変革と「豊かな社会」との相互関係について考察しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可
4 単位め	国民の生活周期に生起する新たな社会病理現象（社会的ひずみ現象）に対して、今後の社会福祉の役割と機能について考察しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

（平成24年度以前履修登録者）2012年8月からレポート課題の表現が一部変更されていますが、課題の内容自体は同じです。アドバイス・解説ともに変更はありません。

アドバイス

福祉社会学は、社会現象としての「社会福祉」を全体社会との関連のなかで、社会学的研究方法（社会学的接近）によって体系的に分析しながら、「人間の営み」に関わる社会的行為や生活福祉問題を派生させる諸要因の相互連関を理論的に明らかにすることにあります。とくに、その国の社会と文化によって規定されている社会福祉の構成要素である(1)社会福祉の目的（価値）、(2)社会福祉の対象（要援護者）、(3)社会福祉の主体（援助者）、(4)社会福祉の方法（専門的技術）をふまえながら、学習することが重要です。また、福祉社会学は、人間の社会生活全体に関わることだけに「社会」「文化」「集団」「個人」といったそれぞれのレベルがつねに関連性をもちながら相互作用していることを考えて学習することも大切です。

なお、レポート作成を行う際は、次の基本的な視点をふまえながら、レポートを仕上げてください。

- ・福祉社会学は、客観的・実証的な枠組みに基づいて構成されています。したがって、レポート課題を作成するにあたっては、何を取り上げるかというより、どのように取り上げるかが重要です。その際、「事実・現実はいかにあるか」「いかにあるべきか・いかになすべきか」「それらはどこから」「どこにいかうとしているのか」を考察しながらレポートを作成してください。
- ・現代社会において社会福祉がどのような役割と機能をもっているかを家族、地域、職場などの現状を考察しながらレポート課題に取り組んでください。その際、公害、人間疎

外など社会生活のひずみ現象を生み出した社会構造を考えることも大切です。

- ・レポートの作成は、単にテキストを読んで理解した内容をそのまま書くのではなく、レポート課題に関連した生活上でのさまざまな問題点を取り上げながらレポートを作成することが重要です。たとえテキストの記述内容とは異なったレポートの内容であったとしても、そのレポートの内容が十分な分析と考察が行われているものならば、評価もそれだけ高くなります。

1単位め 解説

テキストをよく読み、社会福祉の領域のなかで社会学が深い関わりがあることを理解し、その上で「社会的存在」として集団に所属しながら日常生活を営んでいる人間社会について理解しながらレポート課題に取り組んでください。基礎集団の例として、血縁に基づいたものに家族、氏族、部族、民族などが考えられ、地縁を契機として成り立つものに村落、都市などが考えられます。基礎集団といわれるものは、人間生活の基礎的な母体になっているからに他なりません。それは結合の性格からみれば、心のよりどころともなるパーソナルな感情的融合性を有しながら、運命的または半運命的な共同生活をしています。基礎集団と対比して考えられる機能集団は、合理的な組織性を有しており、特定の目的のために利害をともなった、いわば人為的・目的的、計画的に作られた集団です。例えば、会社・組合・政党・国家などが機能集団といわれています。こうした集団が時代の変化とともに日常生活を送る現代社会においても変化しています。歴史的にどのように変化してきたのかを代表的な社会学者であるクーリーやテンニースなどの人物の理論も取り入れながら考察して、簡潔に述べてください。

2単位め 解説

テキストをよく読んで「家族」について考えてください。とくに、自分自身の家族をふまえながら「家族とは何か」を考えてください。「家族」に関する厳密な用語の規定をすることはきわめて難しいですが、ここでは一応、次のように解しておきましょう。家族とは、夫婦関係を基礎として、親子、兄弟などの近親者がその主要な構成員で、相互に愛情やわれわれ感情によって強く結ばれ、共同の生活を営んでいる第一次的福祉追求の集団です。また、これらの家族としての集団的本質は等質であっても、その構成、形態、機能などは決して一様ではありません。さらに、親子関係も単なる血縁関係のみの関係ではなく、親子としての社会的承認に基づいた関係でもあります。

日本の家族はその時代、地域によって独自の性格をみせていますが、日本の家族を語る時、その基本的性格の典型としてとらえられるものが近代まで支配してきたイエ制度です。家長のもとに家系、家名、家産の継承、すなわち、家業や家督を受け継ぎ、祖先を祭り、家族が世代をこえて存続繁栄することを重視する制度です。しかし、最近の日本の家

族に対する意識も変化し、時代の変遷とともに「家族の形態」や「家族の機能」の変容、さらには家族意識の変化がみられます。

本課題は、こうした視点をふまえながら、「家族とは何か」、「制度としての家族」、「集団としての家族」、「家族の機能」といった特徴を自分で理解しながら、自分で考察し現代日本の家族について簡潔に述べてください。

3単位め 解説

テキストをよく読んで現代社会がどのように変化してきたかを、人口、産業・職業、階級・階層などの諸要素を考えながら、本課題である「物質」志向から「脱物質」志向への変革と「豊かな社会」との相互関係について考察してください。とくに、この課題では、次の視点をふまえながらレポートを作成してください。

- (1) 1960年代からの高度経済成長にともなって、産業・職業構造の高度化、ホワイトカラーの増加、所得水準の上昇、生活水準の平準化がみられ、国民生活意識のなかには自己の所属している階級を中流階級とみなし、それが「一億総中流意識」として確立されたこと。
- (2) その一方では、「働き蜂」「エコノミックアニマル」「カローシ」という造語が生まれ、生活意識にも陰りがみえてきました。また、社会も産業社会から「脱」産業社会への転換という社会変化がみられたこと。
- (3) その根本的な社会変化が市場的、経済的豊かさだけでなく、生活次元の豊かさが重要な要素として、「モノ」から「こころ」へ、経済から文化へ、成長から成熟へ、産業主導から生活主導へと傾向が強まったこと。
- (4) その社会的背景には、国民総生産の増大は、必ずしも人々の暮らしや福祉および真の「豊かさ」に貢献したとは限らないことを国民は意識し始め、あらためて、人間性の疎外と対比するかたちで「生活の質」が問われていること。

要するにこの課題は、社会福祉を学ぶにあって、最も根本的な課題でもあり、社会福祉の援助過程を考えるにあたってもとても大切な課題といえるでしょう。いずれにしても自分自身の身近な生活や暮らしを見詰めなおすことによって、レポートを作成してください。

4単位め 解説

テキストをよく読んで、本課題に取り組んでください。この課題は、これまで学んできた福祉社会学をまとめる意味合いも込めて出されている課題です。とくに、わが国における社会福祉の現状をよく考えながら、社会福祉の諸問題に対する社会的アプローチについて整理するとともに、今後の社会福祉の役割と機能について論述してください。

社会福祉の意味には、狭義的な視点からの社会福祉と広義的な視点からの社会福祉のと

らえ方によって、さまざまな意味があります。戦後の社会福祉の歴史は、国民の生活の変化にともなって、「福祉模索期」、「福祉発展期」、「福祉見直し期」、「福祉転換期」を経て、新たな社会福祉を構築しようとしています。特に、近年では社会福祉基礎構造改革によって、従来の社会福祉制度が見直され、新しい福祉社会のパラダイムが構築されようとしています。これらの社会福祉の動向は、国民の日常生活や社会生活に生起する社会問題に対応するために展開されてきた社会福祉の歴史ともいえます。しかし、本課題では、単に社会福祉の歴史的変遷を論じるだけではなく、社会を構成する個人や集団といったさまざまな構成要素をふまえながら、レポートを作成することが大切です。

テキストにも記述されているように、「社会福祉は、さまざまな生活場面における諸問題に直面する人々を対象としてその解決のために、人権の尊重と生活の質を高めるように制度的・社会的資源を動員する。社会学の社会福祉に対する関係は、社会福祉の諸問題を制度や組織の次元だけではなく社会を成立させる個人の行動や規範を分析することで、福祉問題の総合的な解決視点を提供する。」と述べられています。まさに本課題は、社会的な視点から社会現象として社会福祉をいかに理解し、生活問題を規定している諸要因やそれらを相互連関について考えながら、今後の社会福祉の役割と機能について論じることが重要となります。

受講生の皆さんは、テキストを読んで十分に理解を深めるとともに、自分なりの社会福祉観について考えて、レポートを作成してください。

参考図書

- 笹谷春美・吉崎用祥司・藤井史朗・小内透編著『変動期の社会学』中央法規出版、1992年
武川正吾著『福祉社会』有斐閣、2001年
佐藤慶幸著『現代社会学講義』有斐閣、1999年
京極高宣著『現代福祉学の構図』中央法規出版、1990年

福祉心理学

科目コード●050103

担当教員●渡部純夫



2 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
必修/選択社会教育
選択B福祉心理
必修20年度以前
入学者21年度以降
入学者

科目の内容

現代の日本社会は、まさに「ストレス社会」といえます。そのストレス社会を生き延びるのはそう簡単なことではありません。現に複雑・多様化する日本社会にあって、「心」の悩みを抱えている人が急速に増加してきていることがよい例でしょう。

福祉心理学は、社会的に弱い立場にいる人々の心の問題を受容し、理解しながらどのような関わりができるかを探る、「福祉」と「心理」の融合を目指した新しい学問です。実際的には、福祉の世界に「心理学」の知見を活用し、人々の「生活の質」(QOL)を向上させ、幸せの追求を援助するための方法について学んでいきます。

教科書

小松紘・木村進編著『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』八千代出版、2009年（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書 今城周造編著『福祉の時代の心理学』（ぎょうせい）などにもとづいて、下記の課題に取り組むことは可能です。

レポート課題

1 単位め	福祉心理学の枠組みのひとつである人間理解が、「心理学的視点」からどのように行われるかについてまとめ、考察しなさい。
2 単位め	人間が生きていく過程において直面すると思われる問題を、「教育領域」「福祉領域」「医療領域」「司法領域」「障がい領域」「思春期領域」「老年期領域」から、自分の関心にそってひとつ選択し、どのように福祉心理学を実践にいかし、支援等に役立てることができるかについて考察しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より、2単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年9月で受付を締め切りました。

アドバイス

「福祉心理学」では、深い人間理解が必要になります。人間は発達を通していろいろなものを身に付け、自己形成の課題に取り組んでいきます。課題に直面し不適応を起こすこともあります。そのような人々に対して援助を行うにあたっては、一般的な発達においての特徴と課題をしっかりと押さえておくことが必要になります。しかし、人間には個性や個人差があります。個としての見方やとらえ方も同時に必要になります。

この「福祉心理学」では、まず心理学の視点から人間理解を深めていくことを行います。その上で、何らかの援助を必要としている人に対して、どのような援助方法があるのか、ひとりひとりのニーズにどのように応えていけばよいかについて、理念と実践から考えていくことにしたいと思います。

「福祉心理学」を考えると、「社会福祉」と「心理学」の二面性の問題と向き合うことになりますが、ここでは「心理学」を「福祉」にどう活用するかという観点から考えていただきたいと思います。

1単位め 解説

- (1) テキスト『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』の第1部「心理学の歴史から未来を考える」から第3部「心の成り立ちと個性の形成を考える」までをよく読み、人間の心理的活動がどうなっているかを理解するための努力をしてください。
- (2) 次に、参考図書にあたり人間理解のための方法や視点の共通点と違いについてまとめ、考えを膨らませてください。あなた自身が今まで行ってきた理解の仕方についてもふりかえりを行ってください。
- (3) それらを、分析・考察しながら自分なりにまとめていくことにより、深い人間理解にもとづいたレポートができあがると思います。
- (4) 人間のすべての行動面に「心理学」は関わりをもちますから、日々の生活の中で気になる人間の行動をとりあげ、「心理学」とつないで学んでみるとよいと思います。

2単位め 解説

- (1) テキスト『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』の第4部「ともに生きるための心理学の役割」と第5部「『人生』を生きていくということ」をよく読んで、自分が問題意識を感じたり、興味・関心を引く領域がどれかを見つけてください。
- (2) 次に、その領域に関する情報を文献等で集めてください。施設見学やボランティア活動などで、現場に触れてみる機会があれば体験や経験を通して考えることができよいと思います。どうしてもそれが無理であれば、テレビや映画、小説など参考になるもの

を見つけるようにしてみてください。その時感じた気持ちを大事にしながら、その事例をもとに分析するとよいと思います。

- (3) 1単位めで考えた人間理解を基に、実践の場で何ができるか・どのようなアプローチが考えられるかを検討しまとめてください。福祉心理学の可能性と限界を実践に照らしながら理解できるレポートに仕上げてください。
- (4) 実践の場でどんな関わりをしていけばよいかという視点でまとめるとよいと思います。

参考図書

- 佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行 編著 『福祉心理学総説』 田研出版、2011年
今城周造編著 『福祉の時代の心理学』 ぎょうせい、2004年
岡田明著 『福祉心理学入門』 学芸図書、1995年
水島恵一編著 『人間科学入門』 有斐閣双書、1976年
村上陽一郎著 『生と死への眼差し』 青土社、1993年
藤森和美編 『子どものトラウマと心のケア』 誠信書房、1999年
岩城宏之著 『いじめの風景』 朝日新聞社、1996年
村瀬嘉代子著 『子どもと大人の心の掛け橋』 金剛出版、1995年
佐藤泰正・山根律子編著 『福祉心理学』 学芸図書、1998年（改訂版、2005年）
宮原和子・宮原英種著 『福祉心理学を愉しむ』 ナカニシヤ出版、2001年（第2版、2006年）
白樫三四郎編著 『現代心理学への招待』 ミネルヴァ書房、1995年
小林重雄監修 『福祉臨床心理学』 コレール社、2002年
安藤治著 『福祉心理学のこころみ』 ミネルヴァ書房、2003年

福祉法学

21～

科目コード●050063

担当教員●志田民吉(左)
菅原好秀(右)



2単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
必修

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方の「福祉法学（4単位）」は p.162をご覧ください。

科目の内容

福祉法学の科目は、科目名称の示すように社会福祉の仕事を行うにあたって必要とされる法学的な知識を、概括的に学ぶことを目的として設置されたものです。社会福祉の仕事を行う場合には、まず社会の一般市民としての部分を基礎に、社会福祉の部分の積み上げられた内容であることが求められます。法とは何か、それを理解する歴史的な知識、現行法令としての基本法（憲法、民法、行政法）、社会福祉サービス事業を行うに際しての最低限の知的情報（情報公開、権利擁護制度）などが、この福祉法学の科目における講義内容です。2009年度からは成年後見制度及び更生保護制度の知識が新たに加わった講義内容になります。

教科書（更生保護制度論と共通）

- 1) 渡辺信英著『更生保護制度』南窓社、2011年
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度（第3版）』中央法規出版、2012年

（平成23年度以前履修登録者）2012年4月より教科書が一部変更になりました。以前の教科書にもとづいてのレポート作成は可能ですが、スクーリング受講時には新しい教科書の所持が必要となります。

レポート課題

1 単位め	次の課題のなかから 1 題 を選び、論述しなさい ①日本国憲法の基本原理の基本的な人権と国民主権について述べなさい。 ②地方自治体とは何か、また地方自治体の存在意味はどんなところにあると考えるか。 ③成年後見制度について、事例を挙げながら、説明しなさい。
2 単位め	次の課題のなかから 1 題 を選び、論述しなさい ①不法行為とは何か、福祉施設長の責任についても言及しなさい。 ②行政救済について述べなさい。 ③更生保護制度について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

アドバイス

1単位め 解説

①この設題は日本国憲法とは何かを説明する際の最も大切な部分に関係します。

②憲法第92条以下に「地方自治」の章が規定されています。公の存在としては地方自治体の他に国などがありますが、国という団体の他に地方自治体という団体が何故に必要とされるのか、憲法に規定する意味は何処にあるのかを考えてまとめてください。

③テキストを精読し、相談援助職の視点からの制度の概要と制度の活用例を考え、まとめられるとよいと思います。社会福祉の現場で仕事をしていない方は、なかなか制度の活用場面のイメージが持てないでしょうから、地域の社会福祉士会や司法書士会、弁護士会などの団体や社会福祉協議会などを尋ねてみることも有益ではないかと思います。

2単位め 解説

①不法行為は民法第709条以下に規定されています。私たちの社会は高速度交通機関などの発達が示すように、不慮の事故の生じる可能性は日々高まっています。日常生活において、契約制度と同様に不法行為の領域が重要になってくる所以でもあります。社会福祉の仕事は、社会福祉法人による事業経営に代表されるように、社会福祉のサービスを提供する組織や団体には、そこで供給される諸サービスに関し責任を負う責任者の存在があります。民法第715条（使用者責任）など不法行為として規定されている条文を読み、課題についてまとめてください。事例などもまじえて考え、レポートを作成するとまとめやすいでしょう。

②主として行政の仕事は、市民の生活に係わった内容です。制度上、行政の仕事は公益性が求められるが、公益性のために市民の個人の財産やその他の利益が不利益を被ることは、場合によっては避けられないことです。一方において、公益性を確保するために個人の財産や諸利益を当然に犠牲としてもよいということにも、また合理性があるとはいえません。個人財産の保障は憲法の規定するところです。このようなところを基本的理解として持ちながら、法は行政によって公益を目指す場合、あるいは目指した場合、市民の財産権などの諸利益の保障には、どのような配慮をしているのかに視点を当て、レポートをまとめるとよいでしょう。

③更生保護制度は2009年度から新たに社会福祉士などの資格関連で付加された履修内容です。社会福祉専門職（特に相談援助職）の業務内容と関連づけながらまとめることが大切です。

【参考図書

- 1) 志田民吉編著『法学』（第3版）建帛社、2007年（〔第3版〕でなくても可）
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度（第2版）』中央法規出版、2010年
- 3) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2011年

更生保護制度論

21～

科目コード●050069

担当教員●菅原好秀



1 単位 | S or SR or R | 2 年以上

社会福祉
選択21年度以降
入学者福祉心理
選択B21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。

※この科目の単位修得方法は、下記のとおりです。

2012年10月以降のスクーリングを受講する場合 → 履修方法：SR スクーリング試験合格 + レポート1 課題合格で単位修得

スクーリングを受講しない場合 → 履修方法：R レポート1 課題合格 + 科目修了試験合格で単位修得

2012年7月までのスクーリングを受講した場合 → 履修方法：S スクーリング試験合格で単位修得（レポートの提出は不要）

科目の内容

更生保護とは、犯罪や非行に陥った者の改善更生を図るため、必要な指導監督、補導援助の措置を行い、また、一般社会における犯罪予防活動を助長することによって、犯罪や非行から社会を保護し、個人及び公共の福祉を増進することを目的としています。つまり、「再犯の防止」「改善更生」という2つの特別予防目的を掲げて、これを車の両輪のように活用することによって「社会の保護」という一般予防目的を達成し、それによって「個人及び公共の福祉を増進する」ことを目的としています。

本科目では、相談援助活動において必要となる更生保護の制度趣旨を踏まえ、刑事司法・少年司法分野で活躍する組織、団体及び専門職、刑事司法・少年司法分野の他機関等との連携の在り方について、具体的に学んでいきます。

履修登録条件

この科目は、「福祉法学」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

教科書

渡辺信英著『更生保護制度』南窓社、2011年

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度（第2版）』中央法規出版、2010年

※福祉法学と共通のため、この科目での教科書配本はありません。

レポート課題

2012年7月までのスクーリングを受講し合格した方は提出する必要はありません。

ただし、2012年10月以降のスクーリング受講者は提出の必要があります。

1 単位め

保護観察について論ぜよ。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

アドバイス

1 単位め 解説

保護観察の意義と種類、保護観察における処遇、保護観察の問題点について言及し、自分の考えを論じて下さい。

参考図書

- 1) 志田民吉編『法学（第3版）』建帛社、2007年（第3版でなくても可）
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度（第2版）』中央法規出版、2010年
- 3) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2010年
- 4) 犯罪白書（インターネットの検索サイトで各年度を参照して下さい。）
- 5) 藤本哲也 刑事政策概論（全訂第6版） 青林書院、2008年

高齢者福祉論

21～

科目コード●050064

担当教員●中里 弘道
小森 弘道

2 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
選択21年度以降
入学者福祉心理
選択B21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方の「高齢者福祉論（4単位）」はp.168をご覧ください。

科目の内容

高齢者福祉の理念および目的について学習し、あわせて現行の高齢者福祉施策の体系の全般的理解とその課題について考察します。具体的な内容は、次の通りです。

- (1) 高齢者問題の背景（高齢者人口の動向・家庭環境の変化）を中心としながら、高齢者福祉の成立要因を多角的に考えてみる。
- (2) 高齢者福祉施策の変遷を学習する。
- (3) 老人保健福祉計画・介護保険事業計画の概要を学習する。
- (4) 在宅高齢者福祉施策（サービス）の体系と概要を理解する。
- (5) 高齢者施設福祉施策（サービス）の体系と概要を理解する。

教科書（「介護概論」と共通）

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度（第3版）』中央法規出版、2012年（第3版でなくても可）
（平成23年度以前履修登録者）2012年4月より教科書が変更になりましたが、以前の教科書にもとづいてのレポート作成やスクーリング受講も可能です。

レポート課題

1 単位め	「高齢社会とは何か」「高齢者とは何か」、そして病や死の時期の「尊厳のあり様」について自らの体験等に基づき、見解を述べよ。
2 単位め	戦後の高齢者福祉施策の体系について時系列で整理し、その課題について論述しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より、レポート課題が変更になりました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月までは提出できます。

アドバイス

「高齢者福祉論」の学習は、全般的には高齢者福祉施策の体系に関する知識的理解が中心となりますが、最終的には履修者各自の高齢者観（像）の再考と“老い”＝生きることへの価値観を涵養することにつきます。したがって、「高齢者福祉論」を履修される方は、単なる知識的理解に留まることなく（これも大切な学習ですが……）、常に自らの人生経験と絡め、考察し続けながら学習をしてください。

なお、レポートに要求する内容を考えると、**1単位につき1,800字以上**でまとめてくださることを希望します。1,800字未満では再提出になる可能性が高くなります。

1単位め 解説

そもそも“高齢者”“老人”とは何かを、各自もう一度自分と関連させながら考えてください。人間は何歳から《老人》になるのか、いつから《大人》になるのか、そしていつ《子ども》であることを卒業(?)するのか。借り物の知識ではなく、自らのまた身近な方の例をあげながら述べてみてください。そして、「あなたは年齢を重ねた時、“高齢者”と呼ばれたいですか、それとも“老人”ですか」。レポート作成過程で自らの“高齢者”観が確認できればよいのですが……。

2単位め 解説

戦後の高齢者福祉施策の体系について、時系列で整理してください。また各自の常識的視点から結構ですから、批判的に高齢者に係わる在宅そして施設福祉サービス等の課題（問題）について述べてみてください。

参考図書

二瓶貴子著『施設に暮らしを』筒井書房、2009年

千葉喜久也・中里仁『高齢者福祉論——利用者主体の支援をめざして』中央法規出版、2007年

介護概論

21～

科目コード●050065

担当教員●後藤美恵子



2 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方の「介護概論（4単位）」は p.171をご覧ください。

科目の内容

わが国における高齢者の全体像を理解し、社会保障制度である介護保険制度の創設の背景と目的を理解し、介護保険制度の見直しの背景、目的及び基本的視点について理解する。さらに、社会福祉の基本理念を踏まえた上で、人としての尊厳を重視した生活支援のあり方について専門的観点を習得すると共に、専門職としての介護理念を構築することを目的としています。

教科書（「高齢者福祉論」と共通のため、この科目での配本はありません）

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度（第3版）』中央法規出版、2012年（第3版でなくても可）
（平成23年度以前履修登録者）2012年4月より教科書が変更になりましたが、以前の教科書にもとづいてのレポート作成やスクーリング受講も可能です。

履修登録上の注意

「高齢者福祉論」と同一年度か履修後に、この科目の履修登録をしてください。2012年8月以降、この科目では教科書の配本はいたしません。

レポート課題

1 単位め

介護保険制度の概要について整理し、その課題について具体的に論述しなさい。
（高齢者福祉制度の発展過程について論述しなさい。）

2 単位め

※次の課題のうち、いずれか一方を選んで答えなさい。ただし、平成21～22年度入学者で福祉科教員免許状を取得希望者は必ず②について解答すること。平成23年度入学者は①を解答すること。

①介護の概念を捉えた上で、介護の神髄と職業倫理について介護の社会的動向と関連づけながら、具体的に論述しなさい。

②要介護者の生活援助を展開する上での基本的な生活支援技術をまとめなさい。その上で、要介護者がその人らしく生活をすることの意義を考え、さらにそれを可能にするために専門職者としてのあり方について具体的に論述しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

アドバイス

介護概論は、平成21年度の社会福祉士養成課程におけるカリキュラム及び教科内容の見直しに伴い「高齢者に対する支援と介護保険制度」という枠組みに統合されました。本学では、「高齢者に対する支援と介護保険制度」は高齢者福祉論と介護概論の2科目で構成されています。したがって、レポート作成に当たっては、高齢者福祉論と関連づけて取り組むことでより理解が深まると思います。

高校福祉科教員を目指されている方にとって、本テキストは「介護概論」を理解するには十分とは言えないため、参考文献を活用し理解を深めて頂きたいと思います。

レポート作成に当たっては、テキスト、参考文献等の内容を踏まえ自身の考えを書いてください。

1単位め 解説

介護保険制度の施行は、従前の老人福祉のあり方を、根本から変更させたといえます。テキスト第3章「高齢者保健福祉の発展と法体系」を参考に高齢者福祉制度の発展過程を踏まえた上で、第5章「介護保険制度の基本的枠組み」の介護保険制度の概要を整理してください。さらに、現行の介護保険制度の課題を自身がどのように捉えたのか、今後の介護保険制度の展望を視野において具体的にまとめてください。

2単位め 解説

①介護の本質をどのように捉えるのか、といった「介護観」について考えることが核となります。介護の社会的背景をテキスト第2章「少子高齢社会と高齢者」を参考に整理してください。また、介護の定義に関しては現時点において定説がないなかで、さまざまな「介護」の捉え方・考え方を第11章「介護の概念や対象」を参考にして介護の概念を専門的観点から簡潔に整理した上で、専門職に求められる介護の神髄と職業倫理についてまとめてください。

②（福祉科教員免許状取得希望者は必ずこちらを解答してください）専門職として、生活支援（介護）を展開する上での基本的な専門技術について、テキスト第13・14章を参考に理論的根拠を踏まえた上で簡潔にまとめてください。テキストでは、間接技術の一つであるコミュニケーションが網羅されておられませんので、他の文献を参考にしてください。専門職としての生活支援のあり方も介護保険導入と共に変化しています。介護保険の基本理念である「利用者本位」「自立支援」を具現化する上でその人らしい生活の意義について自身の考えを述べ、基本的な専門技術の個別展開のあり方についてまとめてください。

参考図書

- 1) 老人保健福祉法制研究会編『高齢者の尊厳を支える介護』法研、2003年
- 2) 介護支援専門員テキスト編集委員会編『改訂 介護支援専門員 基本テキスト』長寿社会開発センター、2004年
- 3) 西村洋子著『介護福祉論』誠信書房、2005年
- 4) 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 6・7・8 生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』中央法規出版、2009年

児童・家庭福祉論

21～

科目コード●050066

担当教員●千葉喜久也(左)・君島昌志(右)
渡邊憲介(札幌スクーリング)



4単位

R or SR

1年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は同じ内容を「児童福祉論」という科目名で学習します。

科目の内容

子どもは、社会の一員として人権が保障されていると同時に、すべての子どもが児童家庭福祉の対象です。本科目は、子ども家庭を取り巻く社会現象や生活環境の背景について理解するとともに、児童家庭福祉に関する法とサービス、子ども・家庭に対する援助活動について学習します。児童家庭福祉は子どものみを対象とするのではなく、子どもを取り巻く家庭・家族のテキストでも取り上げているようにウェルビーイングという視点から考えることが大切です。したがって、児童家庭福祉は子育てをする家族や地域社会のあり方が重要な要素といえます。子どもがのびのびと成長でき、家族が安心して子育てできる地域社会は、地域住民にとっても暮らしやすい社会といえます。

こうした背景から、本科目では児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要、一人親家庭、児童虐待およびDV、地域における子育て支援および子どもの青少年育成の実態について理解します。

教科書

千葉喜久也著『児童・家庭福祉論(第2版)』みらい、2012年
(平成23年度以前履修登録者) 2012年6月より、教科書(第2版)に変更になりました。
2009～2012年配本の初版や2008年3月以前の『児童福祉論—子ども家庭福祉論への招待』
や2005年4月以前の教科書『児童福祉論』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題 手書きレポート用紙のp. 1、p. 9の課題記入欄は、「課題名」として表示されているものの記載で可。

1 単位め

課題名「子ども虐待の現状と対策」

日本における子ども虐待の現状とその対策について述べよ。

2 単位め	課題名「児童・家庭福祉制度の発展過程」 児童扶養手当制度、児童手当制度の発展過程を検証し、最近の動向について述べよ。
3 単位め	課題名「児童相談所の機能と市町村の役割」 児童・家庭福祉の相談援助活動と児童・家庭福祉制度について、とりわけ児童福祉の専門機関として位置付けられている児童相談所の機能と役割について述べよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（別レポートは論述式）
4 単位め	課題名「子どもの権利について」 子どもの権利について、これまでの流れを押さえ、ウェルビーイングへの理念の転換について述べよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（別レポートは論述式）

（平成20年度以前履修登録者）2009年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月で受付を締め切りました。

学習にあたって

基本的姿勢

子どもは社会の一員であり人権が保障されるとともに、必要に応じて社会保護の対象ともなります。子どもの福祉は、子育てする家庭・子育てをする地域の上にあるということを念頭に置きウェルビーイングの実現が必要です。子ども家庭福祉の実現は、子どもや子どもを持つ家庭だけの福祉ではなく、高齢者や障害を持つ方々にとっても暮らしやすい地域社会の実現ということができます。

学習の目標

実際の児童福祉は、具体的な諸政策をもって実施されています。このため、学習にあたっては児童福祉法を中心とした諸法律、制度の仕組みと現在の状況を把握することが学習の目標となります。その上で、これらの法制度・諸施策を利用者に結び付けていく実践についての理解、施策・実践の課題の理解ができ、自分なりに整理できることが目標となります。

また利用者が人間であることから子ども・親の多様性の理解と受容、他の分野との連携、実際に関わるときの方法・技術なども学ばれることを望みます。

学習の仕方

第一に教科書を読み、その内容を理解することが必要です。文章を読むだけではなく、具体的な事例などを思い浮かべながら読んでいただきたい。例えば、地域にある児童福祉施設や、子どもを思い浮かべながら読まれると理解しやすいのではないかと思います。第二にスクーリングに積極的に参加してみてください。教科書では理解できなかったことでも理解が深められます。

第三に一と二を踏まえたうえで、教科書では理解することができなかったことについて、児童家庭福祉分野の本を読むことや資料を調べること、児童福祉施設見学などを行うことが有効であると思います。

解答作成にあたって

教科書を熟読し、スクーリングに積極的に参加していれば十分に解答できる問題が準備されています。問題を解くために教科書を読むのではなく、教科書を読んで理解すること、確認することが重要です。記述問題については、教科書に加えた学習も必要かと思います。論述の体裁を整えることはもちろんのこと、現状の把握やそれに対する考察、自分の考え、感想が加えられるとよいでしょう。

アドバイス

1単位め 解説

「子どもの虐待の現状と対策」

テキスト9章を読み、子ども虐待の概念・発生要因を学び、理解を深めてください。次に関係機関の役割と現状について理解し、法的な対応を学び理解してください。そのうえで、図表なども参考にしながら子ども虐待の現状、それに対する施策等について述べてください。

2単位め 解説

「児童家庭福祉制度の発展過程について述べよ」

テキスト「児童扶養手当制度、児童手当制度」を読み、制度の発展過程について検証し、両制度の最近の動向について述べてください。次ページの補足資料も参考にしてください。

3単位め 解説

「児童相談所の機能と市町村の役割」

児童福祉の第一義的な市町村の役割と専門的の機関としての児童相談所の機能について述べてください。

4単位め 解説

「子どもの権利について」

テキストで、子どもの権利について学習し、これまでの経過やウェルビーイングへの理念の転換について述べてください。

参考図書

千葉喜久也著『思春期 ― 子ども相談の心』 中央法規出版、2002年

千葉喜久也著『子ども虐待から親子再統合』 福祉工房、2006年

千葉喜久也著『保育士の家族援助の実際』 シーライズ、2008年

子ども手当・児童扶養手当の最近の動向

1. 最近の子ども手当の動向について

平成21（2009）年の総選挙で民主党は、国民の大多数の支持を得て政権与党となった。この選挙で民主党が掲げたマニフェストの一つが「子ども手当」の新設であった。そして平成21年12月25日に平成22年度予算案が閣議で決定した。新設された子ども手当の内容は、これまでの「児童手当」の支給対象や支給額が不十分であるとして、親の所得制限を撤廃し、中学校卒業まで子ども一人当たり月額2万6千円（平成22年度は1万3千円）を支給するという内容であった。支給費用も全額国庫負担とし、地方自治体に新たな負担を求めない制度であるとした。しかし、平成22年度については、国の財源不足から現行の児童手当を形式的に存続させ子ども手当の一部とし、児童手当に入っている地方負担約6千100億円と企業負担約1千450億円を残すこととなった。これにより、子ども手当法の施行に伴い廃止予定だった児童手当法は存続となった。小学校卒業までの子どもに支給される手当は概念上、一部が児童手当、残りが子ども手当ということになった。そして平成22年6月から実施された。

しかしこうした新たな子ども手当の新設に対して、財政規律を重視する立場の人たちからは、バラマキとの批判を受けた。また制度の充実を求める人たちからは、最もお金がかかる高校生が対象になっていないとの批判も出ていた。しかし、子ども手当の新設は「社会全体で子どもを育てる」とする姿勢の反映であって、「子どもは私的財産ではなく、公的財産として、社会が子育て支援を行う」とする「子育ての社会化」への理念の転換であった。

この子ども手当の新設に際しては、所得制限を設けることも検討されたが、欧州各国の子ども手当の制度を見ても所得制限は見当たらない。「手当はすべての子どもに支給し、所得の高い人からは税金を取る」というのが基本的な考え方である。今回、わが国の手当の支給に所得制限が設けられなかったことは、「社会全体で子どもを育てる」とする基本理念の現れであり、仮に所得制限が設けられれば、低所得者支援に変質してしまうことになるのである。しかし、平成23年3月11日の東日本大震災の復興の財源を確保する立場から平成24年4月以降は元々あった児童手当制度での支給となり、6月以降の支給から所得制限が加えられることになった。

2. 最近の児童扶養手当の動向について

児童扶養手当は、これまで母子家庭を支えるための経済的支援として位置付けられてきた。夫婦が離婚しても「父親の経済的基盤は変わらない」とする認識がされてきたため、父子家庭に対する経済的支援は行われてこなかった。しかし実態は、離婚したことで退職や転職を繰り返すケースが多く存在している。仕事に就いているといっても子どもを抱えることで、これまで通りに働き続けることは至難なことである。仮に離婚し未就学の子どもを養育することになったら、子どもを保育所へ入所させない限り職場には出勤できなくなる。そして、勤務時間も子どもに合わせることで、もちろん残業や出張などは無理となる。現在、職場の多くが変則勤務時間を実施し、土曜・日曜日勤務が一般化している中で、子どもを抱えながら働き続けていくことは、職場の理解と周りの支援がない限り非常に厳しい環境にある。このため母子家庭よりも深刻な問題を抱えている父子家庭が存在している。

こうした状況に対して、栃木県佐野市などでは母子家庭同様に経済的支援を独自に行ってきた。そして、こうした取り組みを国が実施するよう求める声が高まっていた。このため政府は、平成22年8月から父子家庭に対しても母子家庭同様に手当の支給を行うことにした。現在支給対象となっている父子家庭は、約61,650世帯（平成24年3月）である。

障害者福祉論

科目コード●050118

担当教員●阿部 正孝(左)・横山 英史(右)
齋藤 征人(札幌スクーリング)



4 単位

R or SR

1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

本科目では、障害者福祉の基礎知識や、その背景にある理念や概念を理解することにより、障害者への福祉的援助を行う際の基本的な考え方や基盤を築くことを学習のねらいとしています。障害者福祉とはどのようなものなのかということを理解するために、まず、障害者理解のための基本的知識や考え方を学習します。そして、障害者福祉施策の展開とその特徴について概観し、実際に福祉援助を行う上で必要な知識と方法について習得します。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度（第3版）』中央法規出版、2012年（第3版でなくても可）
（平成23年度以前履修登録者）2012年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。ただし、「支援費制度」への移行、障害者自立支援法の施行・改訂の動きなどにより、教科書が毎年改訂されてきています。以前の教科書をお持ちの方は、変更された制度をご自身でお調べください。

レポート課題

※ 3 単位めの B 課題を除いて、各課題1,800字以上記入してください。

1 単位め	ノーマライゼーションおよびリハビリテーションの理念についてまとめ、基本的な考え方について述べなさい。また、その実現のためにはどうしたらよいか、テキストにとりあげられている取り組みなどを参考に、あなたの考えを述べなさい。
2 単位め	WHO の国際障害分類（ICIDH）および国際生活機能分類（ICF）の概要についてまとめなさい。また、障害の構造的理解についての解釈や3つのレベルへのアプローチ、あるいは「障害をどのように理解するか」について述べなさい。

3 単位め	次の課題のうち、いずれか一方を選んで答えなさい。 A. 障害者福祉施策の発展についてまとめ、現代社会における障害者福祉サービスの特徴や問題点について考察し、あなたの見解や考えを述べなさい。 B. 【説明型レポート】 下記について各300字以上500字程度で簡潔に説明しなさい。 ① 障害者に関わる法体系、サービスの概要について ② バリアフリーとユニバーサルデザインについて ③ 自立生活（Independent Living: IL）運動について ④ 地域自立支援協議会について ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可
4 単位め	援助者に求められる価値観や倫理についてまとめなさい。また、それらを踏まえ、「障害者が自分らしく生活すること」や自立支援のあり方について、身近な体験やあなたの考えなどをもとに考察しなさい。

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月に、レポート課題が一部修正されています。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年9月で受付を締め切りました。

アドバイス

レポート作成の方法について一つの提案を示しますが、みなさんそれぞれに適した方法を自らみつけることができればそれがいちばん良いのですから、あくまでも参考としておいてください。また誰にでも、この角度やこの話題からなら書きやすいというポイントがあるのではないかと思います。そういうところを上手にみつけるのも良い方法でしょう。

- (1) まず、落ちついてレポート課題をよく読み、何について問うているのかについて明確に把握してください。そして、そのときすぐに自分の考えが浮かんできた方は、それをメモするなどして覚えておきましょう。何も浮かんでこないのであれば、そのまま次へ進みましょう。
- (2) 1種類のテキストだけでは、どうしても理解に偏りが生じてしまいがちですから、なるべく指定のテキストだけではなく、それ以外の資料も参考にしてください。決して難しい専門書でなくともかまいません。新聞、雑誌、テレビ番組、映画、小説、インターネット、その他興味を感じたものなら何でも接してみてください。そこで何か興味を感じるものがあれば、レポートの半分は書けたようなものです。高い動機づけによって、自分なりの見解や意見が出てきやすくなるでしょう。
- (3) 「まとめなさい」とされている部分に関しては、さまざまな資料を読み、あなたが重要だと思ったところや要点を中心に整理してみましょう。要点というのはつまり、障害者福祉を学び、実際に障害者援助に関わるとした場合、これだけは覚えておきたいという最低限必要な知識のことです。また、現代社会における福祉のあり方を自分なりに考

えるときにも、それらの知識や考え方は大いに役立ってくれることでしょう。

- (4) 「考えを述べなさい」「考察しなさい」とされている部分に関しては、これまでの経験やそれについて考えたこと、またはさまざまな興味深い資料などをもとにして、あなたの考えがきちんと伝わるように論述してください。

障害者福祉における基本理念や、障害者をめぐって生じる問題は、普遍的なものであることが少なくありません。人は、自分自身にもある程度関係があることなら自然に興味をもちますが、いわゆる「^{ひとごと}他人事」に関しては、なかなか興味をもつことは難しいのではないのでしょうか。ですから、無理なく興味をもち、学習を進めやすくするためにも、些細な経験や自分の問題についての自分の考え、社会で起こる事件・事故などについて、少し感度を上げてみてください。そのような身近な視点から、ふと気がつくことがあったり、考えさせられたりすることがあるのではないかと思います。

自分自身の興味関心のありかや、自分自身の経験、ものの考え方や価値観などについて普段から自己理解を深めておくことは、専門技術と知識を持って援助を行う際だけでなく、何かを学ぼうとするときにも有用であることが多いものです。

1単位め
解説

ノーマライゼーションとは、障害者観を考える背景となる基本理念です。まず、テキストまたはそれ以外の資料を参考に、理念の歴史的発展についてまとめてください。著名な識者の理論を中心にまとめても、理念の概要や捉え方を中心にまとめても、どちらでもかまいません。また、ノーマライゼーション理念の影響を大きく受けているリハビリテーションの概要に関しても、代表的な定義やアプローチの変遷などについてまとめてください。

その上で、あなた自身はノーマライゼーション理念をどう捉えるか、またその実現のためには何が必要と思われるかなどの点について述べてください。

評価ポイントは、第一に、ノーマライゼーションおよびリハビリテーションの展開と概要についてある程度体系的にまとめられているかという点、第二に、ノーマライゼーション理念についての自分なりの解釈や見解、捉え方が述べられているかという点を中心となります。

2単位め
解説

2単位めでは、まず、テキストやその他の資料を参考に、ICIDHの概要と3つのレベルの捉え方、およびICIDHの改正の要点とICFの概要について要点をまとめてください。その上で、「障害とは何か」「障害者とは何か」についてのあなたの考えを、障害の構造的理解による具体例、または身近な具体例をあげて述べてください。また、余力のある方は、現代社会の問題点などとの関連や、主観的次元の障害

(体験としての障害)の問題についても考えてみてください。

評価ポイントは、第一に、ICIDH および ICF の概要とそれらが示している障害の捉え方・考え方を的確に理解しているかという点、第二に、具体例や現代社会との関わりで、「障害とは何か」「障害者とは何か」について自分なりの解釈や見解、考え方、3つのレベルへのアプローチのあり方が述べられているかという点が中心となります。

3単位め 解説

障害者福祉施策に関しては、国外・国内それぞれにおいてさまざまな展開がみられます。社会の風潮や時代背景によって、障害や障害者の捉え方も違ってきます。まず、テキストやその他の資料を読み、障害者福祉施策の発展について、自分なりの視点からまとめてみてください。その上で、近年の国内の施策や、現在の障害者福祉サービスにおける特徴と問題点について考察してください。テレビや新聞、雑誌等身近なメディアなどに注意を向けたり、身近なできごとや実践での関わりなどを通して問題点が見えてくるのではないかと思います。

評価ポイントは、第一に、障害者福祉施策の発展および近年の施策についての要点が的確にまとめられているかという点、第二に、障害者福祉サービスの特徴や問題点に関しての自分なりの見解や考え方がきちんと述べられているかという点が中心となります。

【説明型レポート】に関しては、教科書やその他の資料を参考にしておまとめください。ただし、使用した資料は参考文献としてすべて記載してください。評価ポイントは、各項目の要点を踏まえた説明がなされているか、あるいは、内容がきちんと理解されているかという点になります。

4単位め 解説

援助者に求められる価値観や倫理に関しては、テキストやその他の資料を読み、これまでの単位で学んだ知識等を踏まえ、障害者援助の方法や関連事項についてもまとめてください。

近年の施策においては、障害者の自立が強調され、福祉サービス利用に際しては「自己選択・自己決定」という考え方がとり入れられています。それに関連して「障害者が自分らしく生活すること」の意義が問われていますが、それはどのようなことを意味しているのでしょうか。この問題は、障害者福祉分野だけにとどまらない、特に普遍性が高い問題ですから、あなた自身の考えや、身近な例などをあげて説明してみてください。または、本当の意味での自立支援とはどうあるべきかについての見解を述べてくださってもかまいません。本科目の総まとめとして、あなた自身の障害者福祉の捉え方を示してみてください。

参考図書

- 佐藤久夫・小澤温著『障害者福祉の世界（第4版）』有斐閣、2010年
内閣府『障害者白書（平成23年版）』、2011年
一番ヶ瀬康子・河東田博編『障害者と福祉文化』明石書店、2001年
田中農夫男・池田勝昭・木村進・後藤守編著『障害者の心理と支援―教育・福祉・生活』福村出版、2001年
永渕正昭著『障害者のリハビリと福祉』東北大学出版会、2000年
小山内美智子著『あなたは私の手になれますか 心地よいケアを受けるために』中央法規出版、1997年
小山内美智子著『私の手になってくれたあなたへ』中央法規出版、2007年
小山内美智子著『わたし、生きるからね』岩波書店、2009年
定藤丈弘・岡本栄一・北野誠一編『自立生活の思想と展望―福祉のまちづくりと新しい地域福祉の創造を目指して』ミネルヴァ書房、1993年
小澤温編『よくわかる障害者福祉[第4版]』ミネルヴァ書房、2008年
日比野清・大熊信成・建部久美子編『障害者に対する支援と障害者自立支援制度―障害者福祉制度・障害者福祉サービス』弘文堂、2009年
小澤温・大島巖編著『新・社会福祉士養成テキストブック12 障害者に対する支援と障害者自立支援制度』ミネルヴァ書房、2010年
文・後藤安彦／絵・貝原浩『フォー・ビギナーズ・シリーズ73 障害者』現代書館、1995年

社会福祉原論（職業指導を含む）

科目コード●050104

担当教員●田中 治和（左）
齋藤 征人（右）



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

社会福祉にかかわる全般的な基礎知識の学修と、社会福祉観の変遷についての理解を目的とします。“社会福祉”という言葉は広く使われるため、その実態の学問的把握は曖昧になりやすく、ともすると主観的な幸福論や通俗的な人生論に終始しやすいと思われます。しかし、多種多様な社会福祉事象および具体的な社会福祉実践の本質は、まぎれもなく他者の人生へのかかわりであり、理念的には人類史上の文化的創造の営為の一つとも解せます。したがって、「社会福祉原論」では社会福祉に関する専門用語・知識の確認に留まらず、常に「社会福祉とは何か」「社会福祉をいかに捉えていくのか」等を思考しながら学修することを望みます。大切なことは、自らの社会福祉観の涵養^{かんよう}にあるといえます。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座4 現代社会と福祉（第3版）』中央法規出版、2012年（第3版でなくても可）

（平成23年度以前履修登録者）2012年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書①第2版以前の教科書、②『新版 社会福祉士養成講座1 社会福祉原論（第4版）』にもとづいて課題を提出することは可能ですが、アドバイスは旧教科書②には当てはまりません。

レポート課題

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

※1単位につき1,800字以上でまとめるようにしてください。

1 単位め

日本の近代国家形成期から高度経済成長期までの社会福祉の歴史を概説してください。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

2 単位め	日本の第一次石油危機から現在までの社会福祉の歴史を概説してください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可
3 単位め	社会福祉の概念（定義）を他の生活保障方策（社会保障・“社会政策”）の関連から説明してください。
4 単位め	自らの“社会福祉”観をまとめてください。

（平成21年度以前履修登録者）『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年9月で受付を締め切りました。

アドバイス

「社会福祉原論」は、長年にわたり社会福祉学の教育研究における不可欠な基礎科目です。しかし、「社会福祉および介護福祉士法」の施行に伴い、大学教育の観点からの「社会福祉原論」の講義は困難になっていると思われます。むしろ社会福祉士等の資格取得を目指し、国家試験受験科目の一つとして履修されている方も多いと推察しております。

担当教員としては、「社会福祉原論」が、大学教育として、また国家試験受験科目〈現代社会と福祉＝本学対応科目：社会福祉原論〉としても、双方に配慮したレポート学習およびスクーリングの授業内容としたいと考えております（そのため「社会福祉原論」を履修する方は、できましたらスクーリングも、是非受講していただききたいと存じます）。

以上の点を勘案し、以下のレポート課題を設定しました。

1 単位めと2 単位めは、社会福祉の歴史についての課題です。社会福祉にかかわる歴史的事象の《全般的な把握と肝要な細部》を目的としております。3 単位めは、社会福祉の概念の整理を目的としております。1～3 単位めのレポート学習を通して、学習者に社会福祉に対する一定の心象（イメージ）が形成されればと思います。教科書を十分活用してまとめてください。

4 単位めは、各自の社会福祉観の吟味を目的とします。「自分は、社会福祉をどう捉えているのか…？」です。

では、より具体的に教科書の参考頁を記載しながら、作成の要点をまとめておきます。レポート作成においては、1～3 単位めまでは教科書のみで対応できます。

1単位め
解説

教科書「第5章 福祉政策の発展過程」の pp.98～116（22・23年度履修登録者の第2版では第5章 pp.98～117、21年度履修登録者は第4章 pp.70～90）を要約してください。明治期から高度経済成長期までの社会福祉史の理解を目的とします。

2単位め
解説

教科書「第6章 少子高齢化時代の福祉政策」の pp.120～150（22・23年度履修登録者の第2版では第6章 pp.120～145、21年度履修登録者は第5章 pp.92～117）を要約してください。いわゆる福祉元年から現在までの社会福祉の変貌の理解を目的とします。

3単位め
解説

「第2章 福祉と福祉政策」の pp.32～48（第2版では pp.30～48）を要約してください（21年度履修登録者は「第1章 現代の福祉と福祉政策」の pp.2～7と「第9章 福祉政策と社会福祉制度」の pp.190～195）。社会福祉の概念を社会保障（教科書では、“社会政策”）との関連からの理解と、社会福祉の固有性の理解を目的とします。

4単位め
解説

自らの社会福祉観、つまり社会福祉をどう捉えるのか、考えるのかを、まとめてください。今後の社会福祉実践および社会福祉学の学修のための基盤づくりを目的とします。

教科書を用いるよりも、これまでのご自分の人生を通して学んだあらゆる（体験・読書等の）見識を吟味しながら、ご自分の言葉でまとめてください（なお、事例等を記述する場合はできるだけ短く、また個人情報保護を十二分に留意してください）。

なお、お手数ですが必ずレポートの文末に参考文献として教科書の初版、第2版、第3版を明記してください（20年度以前の履修登録者で、以前の教科書を使用の方は“旧教科書”と明記してください。なお、評価において履修年度ならびに教科書の違いによる区別は一切ありません）。

参考図書

厚生統計協会編『厚生指標・臨時増刊 国民の福祉の動向』各年度版

その他、より詳細な参考図書は、スクーリング時に適宜紹介します。

地域福祉論

科目コード●050105

担当教員●都築光一(左)
柴田邦昭(右)



4単位

R or SR

2年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

わが国の社会福祉は、大きな転換期にあります。特に、社会福祉基礎構造改革をはじめ、地方分権の推進や規制緩和による福祉サービス供給体制多元化などの状況の中で、地域福祉の推進のあり方が問われてきています。

21世紀の社会福祉は「地域福祉」にあるといわれており、これからの社会福祉の目標や方法は、新たな視点を十分意識し、地域社会を基盤に考えていかなければなりません。理論および社会的な背景や歴史的考察、また海外比較などを通してできるだけ多角的に地域福祉を理解するとともに、あわせて各地で展開されている地域福祉実践からも学びを深めていく必要があります。その上で、いま地域福祉の何が問題になっているのかを考察しながら、地域住民や最前線で活躍しているソーシャルワーカーをはじめとする実践者の取り組みなどを通じて具体的に学んでいきます。

この科目では『地域福祉の理論と実際』というテキストを使用します。テキストでは、地域福祉の基本的な考え方、理論、地域福祉の推進を図る実践方法についての理解などの内容となっております。地域社会とそこで生活する地域住民の理解には、幅広い知識も必要です。社会福祉士受験科目の他の指定科目とあわせて学習してください。資格取得を目指す人はもとより、そうでない人も社会福祉に関する基本的な知識に関する科目として貪欲に学んでいただきたいと思います。

教科書

都築光一著『福祉ライブラリ 地域福祉の理論と実際』建帛社、2012年
(平成23年度以前履修登録者) 2012年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め	地域福祉推進の法的根拠と福祉コミュニティについて述べよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
2 単位め	地域福祉の発展過程と地域福祉実践上の住民主体について述べよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
3 単位め	地域福祉実践における福祉ニーズに基づいた社会資源活用法・調整・開発について述べよ。
4 単位め	【説明型レポート】 下記について各500字程度で説明しなさい。 ① 「福祉教育」の目標と方法について ② 「NPO」と「ボランティア」の関係について ③ 「コミュニティソーシャルワーク」について ④ 民生委員制度について

(平成23年度以前履修登録者) 2012年4月より、2単位めと4単位めの④のレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2013年9月まで提出できますが、できるだけ新しい課題で解答してください。

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より、レポート課題が変更になりました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できます。

アドバイス

本科目を学ぶにあたり、あらかじめ留意しておく事項を挙げます。

(1) 学習時間についてです。

ほとんどの方が職業を持っているということから、学習時間を確保することが難しいかと思いますが、学習目標を設定し、短時間でも良いので必ず毎日学習時間を作ることです。

(2) 社会の動き（経済活動、市民意識の動向等）を知る努力をすることです。

社会福祉の制度・政策の策定は常に市民生活や社会生活の変化に基づいて行われてきているというところから、社会の動向に高い関心を持って学習に臨んでください。

(3) レポートの作成には教科書をよく読んでください。

また、教科書などが「章」「節」などで構成されるようにレポートも論述する事柄を項目ごとに区切って作成してください。

例えば、 1 ○○○ や (1) □□□ です。

(4) 従前テキストの『地域福祉論』を使用している学生は、近年の関係法令や制度改正に

関する情報を収集してください。

※スクーリングを受講する際には、必ずテキストを読み受講してください。

1単位め
解説

第1章において説明されている現代の地域福祉の法的根拠や理念と福祉コミュニティについて理解してください。

2単位め
解説

第1章第3節において説明されている地域福祉理論や新しい社会福祉のシステムを捉え、地域福祉の理念を整理しながら理解してください。

3単位め
解説

第3章、第4章、第5章を読み、福祉ニーズの内容がどこにどのように存在するのか、またその把握する方法を理解するとともに、地域福祉を実践し推進する上で活用される社会資源を理解し、それらの活用方法、調整・開発などのコミュニティソーシャルワークの実践内容を理解してください。

4単位め
解説

第3章と第5章を読み、地域福祉の推進に必要な要素として福祉教育、地域福祉計画、推進機関として期待されるNPOやボランティア、民生委員、コミュニティソーシャルワークの役割について理解してください。

参考図書

- 1) 岡村重夫著『地域福祉論（社会福祉選書）』光生館、1978年
- 2) 真田是著『地域福祉と社会福祉協議会』かもがわ出版、1997年
- 3) R. ハドレイほか 小田兼三・清水隆則監訳『コミュニティ・ソーシャルワーク』川島書店、1997年
- 4) 野口定久著『地域福祉論』ミネルヴァ書房、2008年
- 5) 右田紀久恵著『自治型地域福祉の理論』ミネルヴァ書房、2005年
- 6) 大橋謙策・宮城孝編『社会福祉構造改革と地域福祉の実践』東洋堂企画出版、1998年
- 7) 岡崎祐司・河合克義・藤松素子編『講座・21世紀の社会福祉5 現代地域福祉の課題と展望』かもがわ出版、2002年
- 8) 栃本一三郎編著『地域福祉を拓く第1巻 地域福祉の広がり』ぎょうせい、2002年
- 9) 小林雅彦・村田幸子編著『地域福祉を拓く第2巻 住民参加型の福祉活動』ぎょうせい、2002年
- 10) 和田敏明編著『地域福祉を拓く第3巻 地域福祉の担い手』ぎょうせい、2002年
- 11) 大森彌編著『地域福祉を拓く第4巻 地域福祉と自治体行政』ぎょうせい、2002年
- 12) 小笠原浩一・島津望著『地域医療・介護のネットワーク構想』千倉書房、2007年
- 13) 都築光一編著『新しい地域福祉推進の理論と実際』中央法規出版、2007年
- 14) 金子郁容著『ボランティア もうひとつの情報社会』岩波書店、1992年

- 15) 朴 容寛著 『ネットワーク組織論』 有斐閣、2003年
- 16) 斉藤 孝著 『コミュニケーション力』 岩波書店、2004年

社会保障論

科目コード●050107

担当教員●阿部裕二



4 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択 B

福祉心理
選択 B

科目の内容

私たちの国の社会保障制度は、進展している少子高齢化のなかで構造的な転換期を迎えており、「社会保障革命」というべき各種の見直しが行われています。例えば、2000年には介護保険が創設され、近年においても年金制度や医療（保険）制度なども改革の道を歩んでいます。まさに新しい生活保障システムが求められている時代ともいえるでしょう。とはいえ、「構造的な転換期」だからこそ原点に立ち返り、「社会保障とは何か」の古典的な議論も必要であると思われます。

そこで、本科目においては、社会保障の考え方や歴史等を踏まえて、「社会保障とは何か」をともに考え、その上で、各種社会保障制度の現状と課題について学んでいただきたいと思います。

教科書

福祉臨床シリーズ編集委員会編『社会保障〈第2版〉(社会福祉士シリーズ12)』弘文堂、2010年(2013年より〈第3版〉に変更予定)

(平成22年度以前履修登録者) 2010年12月より、教科書が改訂になりました。スクーリング時はどちらの教科書持参でも結構です。

レポート課題

1 単位め

私たちの生活環境の変化を踏まえながら、社会保障をどのように理解したらよいか。そして、現代社会において社会保障(制度)が果たしている役割について述べなさい。

2 単位め

イギリスと日本の社会保障の歩みを概観し、貧困観の変遷や社会保険と公的扶助の統合の仕方に留意しつつ、社会保障の成立過程にみられた特徴をそれぞれ述べなさい。

3 単位め	社会保障制度（例えば、年金、医療、雇用、労災、介護、生活保護など）のなかで、興味のある分野を1つ選び、その現状と課題について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可
4 単位め	少子高齢化の進展のなかで、わが国の社会保障制度はいかにあるべきか、社会保障の理念を踏まえながら各自の見解を述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

（平成20年度以前履修登録者）2009年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月で受付を締め切りました。

アドバイス

私たちの生活にとって、社会保障はいまや欠かすことのできない基礎的な社会制度になっています。「社会保障はなぜ今のようなシステムに発展してきたのか。社会保障をめぐってどのような考え方があるのか、あったのか。そして現代社会において社会保障はどのような意義や役割をもっているのか」—社会保障論を学ぶときには、まず、このような視点が必要であると思われます。

歴史的形成体（歴史的産物）として成立・発展してきた社会保障は、少子高齢化の進展、財政危機、国際化という荒波の中で、その枠組みを構造的に変革しようとしています。しかし、このような構造的に転換期にある社会保障であるからこそ、上述したように「社会保障は一体何なのか」からの議論が求められているのであり、それを踏まえて歴史的形成体としての社会保障の枠組みを考察してみてください。

このように、レポート課題に取り組むに当たって、社会保障の各制度の仕組みや内容、そして各制度が抱えている課題に関しても着目する必要がありますが、「社会保障とは何か、そして生活保障のシステムのなかで社会保障はどのように位置づけられるのか」を念頭におくことも重要です。「公的扶助論」においても記述しましたが、特に社会福祉士等の国家資格を目指している受講生の皆さんは、レポート課題だけに取り組むのではなく、テキストの内容のすべてを理解することに努めてください。

いずれにしても、これから学ぼうとしている「社会保障論」は、きわめて私たちの生活にとって身近な領域といえます。したがって、レポートを作成する際には、自らの問題として引き寄せて考えると、一層取り組みやすくなるでしょう。

なお、社会保障の各制度の内容は、毎年改正されていますので、テキストの他に「最新の資料」（後述）などで補足することが必要となります。

1単位め
解説

この課題に関しては、テキストの序章、第1章、第2章、第10章を参照してください。

私たちは、あまり意識せず「社会保障」という言葉を使っていますが、改めて社会保障とは何かを考えてみましょう。今日の私たちの生活（社会保障を取り巻く環境）は、少子・高齢化、逼迫する財政問題などを背景にして荒波の中にありますが、まずこのような環境の変化の中で、社会保障がどのように定義づけられるのかを整理してみてください。その上で、社会保障（社会保険と公的扶助の役割にも注意を払いながら）が現代社会の中でどのような役割（機能）を果たしているか、をまとめてください。

2単位め
解説

この課題に関しては、テキストの第1章を参照してください。

社会保障の歴史を考察する場合、どの時代まで遡るのかについては議論のあるところですが、テキストでは、イギリスが救貧法（エリザベス救貧法）、そして日本が恤救規則（それ以前の記述も若干してありますが）を出発点としています。

2単位めの課題は、イギリスと日本の社会保障の成立過程における特質を述べることで。その際、歴史を漫然と考察、略記するのではなく、項目ごとに整理するとよいでしょう。例えば、イギリスの場合でいうと、救貧法の時代から社会保険の登場、社会保険から社会保障への展開というような分類です。このような分類の下で、貧困観がどのように変遷してきたか、また社会保険と公的扶助がどのように統合されてきたかを切り口としてまとめてみてください。日本の場合は、第二次世界大戦以前と以降の分類になるかと思います。

特にまとめづらいのではないかとと思われるのは、社会保険と公的扶助の統合の切り口かもしれませんが、この点に関しては、両者が統合するときに「結びつけるもの（接着剤）」が存在したか否か（統合なのか、寄せ集めなのか）などを意識しながら考察することが肝要です。なお、この2単位めの課題については、森健一・阿部裕二著『構造的転換期の社会保障——その理論と現実』（中央法規出版、2002年＜その後増刷＞）の第6章、第7章が参考になります。

3単位め
解説

この課題に関しては、第3章、第4章、第5章、第6章、第7章を参照して作成してください。

これらの章においては社会保障の各制度、例えば年金・医療・雇用・労災・介護保険や生活保護、社会手当としての児童手当や子ども手当などが記述されています。受講生の皆さんは、これらのなかから興味のある分野を選び、自分なりに現状と問題点、課題をまとめてみてください。

その際、上述しましたように社会保障制度は、頻繁に改正（修正）されますので、絶えず新しい資料で補足することが肝要です。

なお、非常に幅広い分野から各自が選択することになりますが、受講生の皆さんは選択した分野だけを学ぶだけではなく、それ以外の分野も十分に学習、理解することが重要なことはいふまでもありません。念のために。

4単位め
解説

この課題に関しては、テキストの全体を参照して作成してください。

これまでの学習の成果として、自分なりの社会保障のあるべき姿をまとめてみてください。わが国は、少子高齢化、財政問題、ボーダレス社会などさまざまな要因の生活環境が変化してきています。生活環境の変化によって、社会保障は構造的に転換されなければなりません、変えてはならないものもあるかもしれません。

社会保障の理念を理解しつつ、この理念をどのように、これからの社会保障に活かすべきかについても考察してみてください。自分なりのあるべき社会保障像を述べるときに、このような「変えるものと変えないもの」を意識して整理してみるのもよいでしょう。

参考図書

<社会福祉士等の国家資格を目指す人のために>

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座12 社会保障（第3版）』中央法規出版、2012年
- 2) 椋野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障（第9版）補訂版』有斐閣アルマ、2012年

<最新情報を知りたい人のために>

- 3) 厚生統計協会編『保険と年金の動向（2011／2012年版）』厚生統計協会、2011年
- 4)『社会保険のてびき』社会保険研究所、最新版

<概論的に教科書を補足したい人のために>

- 5) 森健一・阿部裕二著『構造的転換期の社会保障——その理論と現実』中央法規出版、2002年

※いずれの図書も、ほんの一例でしかありません。さまざまな図書を図書館や書店で探してみてもおもしろいと思います。

公的扶助論

科目コード●050108

担当教員●阿部裕二



2 単位

R or SR

3 年以上

社会福祉
必修

社会教育
選択 B

福祉心理
選択 B

科目の内容

わが国は、「豊かな社会」といわれています。では、「貧困」は解消されたのでしょうか。確かに各種の社会保障制度が整備・充実されたことによって、公的扶助（生活保護）の受給者は、敗戦直後から比較すると格段に減少してきました。しかし、近年は景気の低迷、雇用環境の悪化などを背景にして、国民生活の不安は深化し、格差も拡大しています。その結果、生活保護の受給者も増加傾向をみせています。その意味では、「貧困」問題は国民生活の身近なところにあるといえるでしょう。このような現状を考えると、国民生活のラスト・セーフティ・ネットとして位置づけられている公的扶助は、依然として私たちの生活において重要な役割を果たしていると思います。

そこで本科目においては、このような問題意識のもと、国民生活を保障する最終的な救済手段である公的扶助（生活保護）に関して、現代社会の貧困の様相と生活保護の考え方、制度の内容、実質的な実施機関となる福祉事務所の現状と課題などを学んでいただきたいと思います。

教科書

福祉臨床シリーズ編集委員会編『低所得者に対する支援と生活保護制度（社会福祉士シリーズ16）』弘文堂、2009年（2013年より〈第2版〉に変更予定）

（平成20年度以前履修登録者）2009年1月より、教科書が変更になりました。スクーリング時はどちらの教科書持参でも結構です。レポート課題は変更されていませんが、このアドバイスは新教科書にもとづくものです。

レポート課題

1 単位め

貧困概念の拡大を踏まえつつ、現代社会における公的扶助（生活保護）の役割について述べなさい。

2 単位め

生活保護の仕組みや相談援助活動を理解したうえで、生活保護が抱えている諸問題について述べなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

アドバイス

この科目の学習内容（テキストの内容）は、「現代の貧困と公的扶助」、「公的扶助の歴史的展開」、「生活保護制度のしくみと問題点」、「生活保護の運営実施体制と他職種連携」、「生活保護の争訟制度と権利擁護」、「生活保護の相談援助活動」、「低所得対策の概要と実際」と非常に幅広い内容となっています。しかし、ここでは、単に公的扶助（生活保護）の仕組み（内容）を理解するだけではなく、このようなシステムが現代の社会においてなぜ必要なのか、どのように機能しているのか、そこでの問題は何かのかについても学ぶことになります。特に社会福祉士・精神保健福祉士等の国家資格を目指している受講生の皆さんは、レポート課題だけを取り組むのではなく、テキストの内容のすべてを理解することに努めてください。

その際に、もちろんテキストを中心として学ぶことになりますが、後述する他の参考文献で補足しながら学習することが肝要です。なお、皆さんはすでに理解されていると思いますが、以下の点に注意してレポートを作成してください。

- (1) 書物の中の文章をそのまま「丸写し」することは厳禁です。評価対象外となりますので注意してください。できるだけ自分の言葉に置き換えて述べてください。
- (2) テキスト中に「……すべきである」という価値観があったとすれば、必ずしも受講生はそのことに関して賛成する必要はありません。テキストに書かれていることは、皆さんが考えるための材料と思ってください。皆さんの低所得者に対する支援と生活保護制度観を醸成していただければそれで結構です。とはいえ、単なる根拠のない感想文になってはいけません。テキスト中の内容を踏まえながら、根拠に基づいて自分の考えを述べるのが肝要です。

1 単位め
解説

この課題に関しては、テキストの第1章と第2章を参照してください。

貧困問題は、大げさに言えば人類の歴史とともに存続していて、その意味では非常に古い問題であるといえます。貧困の捉え方や表出の仕方は時代によって異なっているはずです。このような貧困（内容・基準）が、どのように変遷してきたか、そして、今日の社会ではどのように貧困が考えられているのかについて、まず考察してください。その上で、今日的な貧困問題への対策としてとられている公的扶助（生活保護）が、いかなる役割を担っているのかを考えてみてください。もちろん公的扶助の概念を踏まえながら。

2単位め 解説

この課題に関しては、テキストの第3章から第7章を参照してください。

生活保護の仕組みと問題点は第3章から第5章にかけて考察されています。

ここでは生活保護の目的や原理、原則がどのようになっているのか、それらを基にして具体的にいかなる枠組みになっているのか、という理解が重要です。また、第6章では相談援助活動の内容が、担い手のみならず利用者の視点から考察されています。さらに、第7章ではホームレスの自立支援などの低所得者対策の概要と実際が述べられています。これらは非常に多くの内容を含んでいますが、受講生の皆さんはそれらをトータルとして理解できるようにがんばって取り組んでください。

とはいえ、これらをすべて網羅して、諸問題をレポート上にまとめることは字数の制限もあり不可能です。したがって、これらの項目からいくつか関心のある部分を選び、そこでの諸問題をテキストはもちろんのこと、さまざまな参考文献・資料等を活用して論述してみてください。

参考図書

＜社会福祉士・精神保健福祉士などの国家資格を目指している人のために＞

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士講座第16巻 低所得者に対する支援と生活保護制度（第2版）』中央法規出版、2010年
- 2) 各出版社から出版されている『福祉小六法』（最新版のもの）

＜生活保護の実施要領や通知通達の内容を知りたい人のために＞

- 3) 全国社会福祉協議会編『生活保護手帳』全国社会福祉協議会、（最新版は毎年6月頃に発行されているようです）

＜最新の統計を知りたい人のために＞

- 4) 厚生統計協会編『国民の福祉の動向（2011／2012年版）』厚生統計協会、2011年

＜現代社会の貧困様相や生活保護行政の問題点を知りたい人のために＞

- 5) 杉村・河合・中川・湯浅編著『現代の貧困と公的扶助行政』ミネルヴァ書房、1997年
- 6) 湯浅誠『反貧困——「すべり台社会」からの脱出』岩波新書、2008年
- 7) 駒林康平『大貧困社会』角川SSC新書、2009年

※いずれの図書も、ほんの一例でしかありません。さまざまな図書を図書館や書店で探してみてもおもしろいと思います。

医学一般 21～

科目コード●050079

担当教員● 柏木 誠 (左)
澤田 悦子 (右)



2 単位 | **R or SR** | 2 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方の「医学一般（4単位）」p.164をご覧ください。

科目の内容

日本人の三大死因は、食生活や運動、嗜好など、日常生活上の不健康な生活習慣の積み重ねによる生活習慣病と深くかかわっています。また、老化に伴う様々な体の変化は、疾病を生じやすくします。

社会福祉に従事する人にとって、医療の基礎的な知識を持つことは不可欠ですが、私たちがより健康的に生活する上でも、人体や老化、疾病などについて理解することは大切です。福祉関係職種に従事することを目指している者は、利用者の医療と一緒に考えることができるように心がけて学んでください。

本科目では、基本的な人体の構造と機能を理解した上で、直面する頻度の高い障害や疾病について医学的に理解します。学んだ知識を、日々の生活に生かせるような、応用がきく生きた勉強を心がけてください。

医学一般は、予防対策や行政の取り組みなど、医療にかかわる広範囲な内容を含みますが、単位が4単位から2単位に減少したため、リハビリテーションなど、他の科目と重複する分野については、レポート課題には入れませんでした。しかし、非常に重要な分野ですので、教科書をしっかり読んでおいてください。予防対策や、生活習慣病など、「公衆衛生学」と重複しますので、「公衆衛生学」のレポート課題や、「医学一般」の4単位用のレポート課題を参照して、より深く学ぶことをお勧めします。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病（第2版）』中央法規出版、2011年（第2版でなくても可）

レポート課題 すべて【説明型レポート】

1 単位め	① 生活習慣病について説明せよ。まず定義を述べた後、主な生活習慣病を挙げ、生活習慣と関連させて説明せよ。 ② 認知症の定義と症状、および、認知症の原因疾患について説明せよ。 ③ 高齢者がかかりやすい精神疾患について説明せよ。 ④ 介護保険の特定疾病に指定されている神経疾患について説明せよ。 (認知症の説明は、省いて良い。) ⑤ 廃用症候群（生活不活発病）について説明せよ。 ⑥ 腎臓の働きについて説明せよ。加齢に伴い腎機能が低下すると、どのような疾患が生じやすくなるか考察せよ。
2 単位め	① 免疫について説明せよ。白血球の働きと関連させて記述すること。 ② 高齢者が脱水症状になりやすい理由を述べよ。 ③ メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）について説明せよ。代謝異常との関連を記述しておくこと。また、特定検診の必要性についても考察しておくこと。 ④ 高次脳機能とは何か。また、高次脳機能障害、およびその原因について説明せよ。 ⑤ 嚥下障害および誤嚥性肺炎について説明せよ。 ⑥ 内部障害について説明せよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

注意 (1) 各問に対して、200字以上400字をめやすに、単位毎に、1,600字以上2,000字以内（問題文を含めないこと）になるように、簡潔明瞭にまとめてください。

(2) 教科書や文献をそのまま写すのではなく、自分自身の文章でまとめなおしてください。

(3) 解答として何が求められているのかを考えて、求められた解答を記述することが大切です。

(4) 年度により問題が異なり、また、問題文も長いので、レポート用紙の「課題」欄には、「2012年の問題に解答する」のように、課題の年度のみを記入し、問題文は記入しないでください。「解答欄」にも、問題の番号のみを記入し、問題文は記入しないでください。

(5) 解答欄に、不必要に大きな余白はとらないでください。

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月よりレポート課題が変更されています。平成21・22年度入学者は『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できます。

(高等学校福祉科免許状取得希望者)「人体構造及び日常生活行動に関する理解」欄の科目として使用できるのは、平成23年度以降の入学者のみとなります。平成21・22年度入学

者は「社会福祉援助技術論」欄の科目としてのみ使用できます。万一、平成21・22年度入学者が「人体構造及び日常生活行動に関する理解」欄の科目として使用を希望する場合は、必ず書面（メール uk@tsukyo.tfu.ac.jp・FAX・郵送）で通信教育部・教職免許係までご相談ください（平成23年度以降の単位修得・履修登録者は認定できる可能性があります）。

アドバイス

テキストを、まず一通り読んで、全体的に理解してから課題に取り組んでください。同じ疾病が何か所かに分かれて記載されていることがあります。総合的に関連づけられるような学び方が大切です。

教科書が簡単にまとめてあるため、社会福祉士の国家試験では、教科書に説明されていない疾病や治療法なども出題されています。理解しにくく感じる人も多いと思います。参考文献などを参考にして、学んでください。NHK出版の『きょうの健康』は、新しい知識を得るのに良い雑誌です。

医療制度や介護保険制度、障害者福祉制度など、改正されることが多い制度については、新聞などのニュースに注意して、ふだんから学ぶ姿勢を心がけてください。COPDやロコモティブシンドロームなど、最近話題になることの多い疾患にも、関心を持って生活してください。

1単位め解説

人体の構造と機能は、老化や疾病を理解するための基礎知識として重要です。課題にないところも熟読しておいてください。教科書で不十分と感じたら、高校の教科書を復習したり、他の文献で調べたりすることをお勧めします。老化について学ぶことは、高齢者の病気や病気予防を理解することにつながります。

若い人でも、疾病や運動機能障害などにより体を使わないでいると、筋肉が細くなったり、骨がもろくなったりします。高齢者では、簡単なきっかけで、廃用症候群になったり、寝たきりになったりすることを理解し、予防について考えてください。

2単位め解説

日本人の三大死因は、生活習慣と密接にかかわっています。悪しき生活習慣について認識することで、自らの生活を見つめ直すことも大切です。脳卒中などの重要な疾患は、症状の違いだけでなく、発症原因の違いについても理解しておいてください。また、高齢者に多い疾患や、特定疾患（難病）、特定疾病（介護保険）について理解してください。疾病名だけでなく、病理・病態や、治療法を調べて、理解を深めておいてください。なお、2010年4月から、内部障害に肝臓機能障害が加わりました。

参考図書

社会福祉士養成講座編集委員会編『医学一般』中央法規出版、2007年
福祉臨床シリーズ編集委員会編『人体の構造と機能及び疾病』弘文堂、2009年
別冊 NHK 今日の健康シリーズ（『認知症』、『メタボリックシンドローム』、『うつ病』、
『高血圧』など）

人体の基礎知識の参考図書としては、下記のものがあります。

貴邑富久子ほか著『シンプル生理学』南江堂、2008年

黒澤美枝子ほか編著『生理学』（コメディカルのための専門基礎分野テキスト）中外医学
社、2012年

中野昭一編『図説 ヒトのからだ』医歯薬出版、2001年

社会福祉援助技術総論

21～

科目コード●050070

担当教員●佐藤博彦



4 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択21年度以降
入学者福祉心理
選択B21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。

科目の内容

「相談援助」とは何でしょうか。また、「ソーシャルワーク」とは何でしょうか。今日、日々変化し続けている社会生活の中で、人々が抱えているニーズも多種多様化しています。ニーズに応えるための相談援助とはいかにあるべきものでしょうか。相談援助に携わる専門職とはどうあるべきものでしょうか。ここでは、それらを明らかにするために、①社会福祉士の役割（総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発を含む）と意義について理解する。②精神保健福祉士の役割と意義について理解する。③相談援助の概念と範囲について理解する。④相談援助の理念について理解する。⑤相談援助における権利擁護の意義と範囲について理解する。⑥相談援助に係る専門職の概念と範囲及び専門職倫理について理解する。⑦総合的かつ包括的な援助と他職種連携の意義と内容について理解する。以上を主な学習のねらいといたします。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）

レポート課題

1 単位め

社会福祉士の役割と専門性について具体的に論じてください。

2 単位め

ソーシャルワークの形成過程についてまとめてください。

3 単位め	【説明型レポート】 下記について説明してください。(各300字以上) ① バイステックの7原則について ② 自立支援について ③ エンパワメントの定義と意義について ④ 権利擁護の意義と範囲について ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可
4 単位め	相談援助に係る専門職倫理について概説してください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

アドバイス

1単位め 解説

昭和62年「社会福祉士及び介護福祉士法」が施行されました。何故、社会福祉士という相談援助専門職が必要とされたのでしょうか。その必要とされるに至った時代背景を確認することが大切です。また、法令上の社会福祉士の定義を確認することも忘れないでください。現在、社会福祉士は福祉分野だけではなく多方面で活躍しています。社会福祉士が何を求められているのか。そして、社会福祉士が果たすべき専門性とは何かを整理してみましょう。使用した参考文献は必ず明示してください。

2単位め 解説

ソーシャルワークの形成過程を基礎確立期・発展期・展開期と分けてみるとよいでしょう。また、イギリス、アメリカ、日本と国別に分けて整理してみることもよいでしょう。いかなる過程を経て現在のソーシャルワークが存在しているのかを確認してください。使用した参考文献は必ず明示してください。

3単位め 解説

教科書や文献を読み、整理し作成してください。

この3単位めについては、参考文献の明示は必要ありません。

4単位め 解説

専門職倫理とはなんのでしょうか。その中でも相談援助専門職の倫理とはなんのでしょうか。両者の違いを把握してみましょう。また、「憲法」「法律」「ソーシャルワーカーの倫理綱領」「社団法人 日本社会福祉士会の倫理綱領」等の確認は必須です。以上を踏まえた上で概説してください。使用した参考文献は必ず明示してください。

参考図書

- 1) 杉本敏夫・斉藤千鶴編『改訂 コミュニティワーク入門』中央法規出版、2003年
- 2) 高森敬久ほか著『地域福祉援助技術論』相川書房、2003年
- 3) M.E. リッチモンド著『ソーシャル・ケース・ワークとは何か』中央法規出版、1991年
- 4) 濱野一郎ほか編『コミュニティワークの理論と実践を学ぶ』みらい、2004年
- 5) R. ハドレイ・M. クーパー・P. デール・G. ステイシー共著『コミュニティ・ソーシャルワークハンドブック：地域福祉を進める技術』川島書店、1993年
- 6) Z.T. ブトゥリム著『ソーシャルワークとは何か その機能と本質』川島書店、1986年
- 7) 北川清一・久保美紀編著『社会福祉の支援活動ーソーシャルワーク入門ー』(シリーズ・ベーシック社会福祉②)、ミネルヴァ書房、2008年
- 8) 社団法人日本社会福祉士会編『改定社会福祉士の倫理ー倫理綱領実践ガイドブックー』中央法規出版、2009年
- 9) 中村優一・一番ヶ瀬康子・右田紀久恵監修、岡本民夫・田端輝美・濱野一郎・古川降順・宮田和明編『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規出版、2007年
- 10) 北島英治著『ソーシャルワーク論』(MINERVA 福祉専門職セミナー19)、ミネルヴァ書房、2008年
- 11) パメラ・トレビシック著 杉本敏夫監訳『ソーシャルワークスキルー社会福祉実践の知識と技術』みらい、2008年
- 12) 久保紘章・副田あけみ編著『ソーシャルワークの実践モデル 心理社会的アプローチからナラティブまで』川島書店、2005年
- 13) 太田義弘・秋山薊二編著、中村佐織・斉藤順子・谷口泰史・佐野真紀共著『ジェネラル・ソーシャルワーク』光生館、2002年
- 14) ソーシャルワークケアサービス従事者研究協議会編、大橋謙策編集代表『日本のソーシャルワーク研究・教育・実践の60年』相川書房、2007年
- 15) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法Ⅰ』中央法規出版、2009年
- 16) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法Ⅱ』中央法規出版、2009年

社会福祉援助技術論A

21～

科目コード●050071

担当教員●川口正義



2単位

R or SR

2年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。

科目の内容

ソーシャルワーク実践は現在、これまでにない厳しい局面に立たされています。時代社会の変化と連動して、支援の対象となる「人」「問題」「状況」のいずれもが、いっそう複雑化し、既存の社会福祉制度では容易に対応しきれない社会問題、生活問題の深刻化・多様化・拡大化が進んでいます。また、援助専門職による利用者・当事者に対する「不適切なかかわり」や事故、不祥事は後を絶ちません。

さらに、援助専門職が「権利擁護」「命の尊厳」「排除しない福祉」あるいは「自立支援」等々の必要性を熱く語ろうとも、現実的に「必要とされる支援」が提供されていないと感じている利用者・当事者が、福祉サービスや援助専門職のあり方に対して疑問、憤りあるいは不信の眼差しをより強く注ぎ始めているように感じられます。

まさに「当事者の時代」が標榜されている今日状況の中で、ソーシャルワークの理論と実践が利用者・当事者の「生活」や「生」にどれだけ接近してきたのか、あるいは接近することができるのかが問われているといえるでしょう。

また、20年の歳月を経て「社会福祉士及び介護福祉士法」が初めて改正され、「実践力の高い社会福祉士」及び「総合的かつ包括的な相談援助」ができる社会福祉士が求められています。

このような時代社会状況であるからこそ、ソーシャルワークでしかできないこと、またソーシャルワークがやらなければならないことがあるはずです。本科目の学修を通して、相談援助を行う上で必要な知識・方法の修得に留まらず、自らの「ソーシャルワーカー・アイデンティティ」と「援助観」の構築に励んで頂きたいと思っています。

本科目では、以下の内容について学びます。

1. 「相談援助」とは何か？—概念・構造・機能—
2. 「人と環境の交互作用」とは？

3. 相談援助における対象の理解
4. 相談援助における「援助関係」—概念・意義—
5. 相談援助の展開過程
6. 相談援助に必要な技術—意義・目的・方法・留意点—
アウトリーチ、契約、アセスメント、介入、モニタリング・再アセスメント・効果測定・評価、面接、記録、交渉

教科書（「社会福祉援助技術論 B」と共通）

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法Ⅰ（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法Ⅱ（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）

レポート課題 手書きレポート用紙の p. 1、p. 9 の課題記入欄は、「課題名」として表示されているものの記載で可

1 単位め	課題名：「相談援助の概念及び技術の必要性と活用のあり方」 相談援助の概念を整理した上で、相談援助において「技術」を必要とする理由、及びその活用のあり方について論述してください。
2 単位め	課題名：「ソーシャルワーク実践における対象理解の意味」 ソーシャルワーク実践において「対象を理解する」とはどういうことであるのか、あなたの意見を述べてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

アドバイス

ソーシャルワーカーに必要とされる相談援助の価値・原則、相談援助の過程及び相談援助の技術について「座学で学ぶ」ことの意義とは、何でしょうか？

以下の2点に留意して考えてみてください。

（「社会福祉援助技術論 A・B」に共通）

1. ソーシャルワーカーとして仕事をしようとする際には、いかなる実践の場においても「問題となる状況」を全体的にとらえ、可能となる活動の選択肢を広く検討し、思考し、さらに利用者・当事者や関係機関と連携して活動していく実践が必要とされます。

そして、その際には既存の相談援助の枠組みを駆使した支援のみならず、利用者・当事者の視点に立ち、場合によっては既存の枠組みを超えて制度やサービスの変革を視野に入れた支援に着手せざるを得ません。

換言するならば、ソーシャルワーカーは自己認識や内省性を高めつつ、利用者・当事

者の存在そのものに関心を示し、既存の知識や理論に基づく枠組み（理解や思い込み）に囚われることなく、利用者・当事者の呈する「事実」や取り巻く「事象」について分析し、思考する方法と姿勢を修得できていることが求められているといえるでしょう。

教科書に記述されている内容（先行研究）に対しても、ただ単にそれを覚えるのみでなく、疑問や批判的な視点をもちながら学び、自らの見解を育んで頂きたい。

2. わが国においては、いわゆる「理論と実践の乖離問題」の一端として、「ソーシャルワークの理論を学ぶことによって培われるソーシャルワークに対するイメージ」と「現場実践を通じて培われるソーシャルワークに対するイメージ」の間に大きな“ギャップ”があることが指摘されています。

理論と実践をつないでいくことは難しい営みであるのかも知れませんが、しかしその2つは相対立するものではありません。「理論に支えられた実践の重要性」及び「実践を支える理論の必要性」の双方を受け入れられるソーシャルワーカーでありたいものです。

本科目を通し、相談援助における理論、知識、技術等について「座学」で学んでいくわけですが、その「学びの眼差し」の先に利用者・当事者と呼ばれる人びとの暮らしと生のあり方を位置づけ、実践とのつながりの可能性を意識しながら学んでください。

どこに「顔」(学問的関心)を向けながら取り組むことが、ソーシャルワークについての意味ある「座学」学修となり得るのか？—そのような意識も頭の隅において頂けましたら幸いです。

1単位め
解説

「技術」は援助専門職としての実践をしていく上で“必要”です。しかし、それだけで“必要十分”であるとはいえません。では、その他に何が必要となるのでしょうか？

また、換言するならば、ソーシャルワーク実践をしていく上で「技術」の有する意味とは何であり、その活用に際して留意すべきこととは何なののでしょうか？ それはまた「知識」「価値・倫理」との関連においては、いかなる役割と意義をもち得るのでしょうか？

「相談援助」とは何であるのか？ 及び相談援助に必要とされる数々の「技術」には、どのようなものがあるのか？—について学び、理解した上で、「技術」が必要とされる理由及びその活用のあり方について、あなたの意見を述べてください。(テキスト『相談援助の理論と方法Ⅰ』第1～3章、第7～14章、および『相談援助の理論と方法Ⅱ』第9～10章、参照)

2単位め
解説

ソーシャルワークはその時々²の社会情勢下で生起する社会問題や社会生活上のニーズに的確に答えていかなければなりません。近年、社会の不平等化や格差社会の問題が指摘されるようになり、「貧困」があらゆる福祉問題の根底にみられるようになり、生活問題はより複雑化、深刻化、多様化してきています。

しかし、この貧困問題にしろ、あるいは孤立、排除、差別の問題にしてもたえず存在してきたものであり、歴史的社会的に変化しながら再生産され、新たな形態を伴って進化してきていると解釈することもできるでしょう。

社会福祉及びソーシャルワークが今まで対象としてきた問題としては、具体的にどのようなものがあったのでしょうか？ また、それらは時代社会状況の中でどのように取り扱われ変遷してきたのでしょうか？ また、近年において生起してきている、既存の社会福祉制度・サービスでは容易に対応しきれない生活問題、社会問題としてはどのような問題があるのでしょうか？

また、ソーシャルワークが対象とする問題を「個人や家族の抱える生活問題が政治・経済・社会・文化等の要因によって規定されながら時代の変化の中で社会的課題となってきたもの」であるとしてとらえたとき、ソーシャルワーカーとしての私たちの対象は、私たちのすぐそばにいる具体的存在としての利用者・当事者であるともいえます。

利用者・当事者を「自らの生活課題の解決のために他者からのかかわり・介入を必要とする人」であるとしてとらえたとき、ソーシャルワーカーとしての「かかわり」「介入」のあり方が問われてきます。

その際に、人は見ようとするものしか見えないし、また問題は人びとによって意識され、認識され、名づけられなければ「生活・社会問題」とはならないということ。並びに、私たちソーシャルワーカーが知っていること、あるいは知っていると思いこんでいることが、必ずしもすべて真実であり正しいとは限らない場合が多いということに心を留めておく必要があるでしょう。

また、社会福祉サービスの合理化、システム化が進む一方である状況において、利用者・当事者という「生きた人間」そのものを全体としてとらえるような対象把握が弱まってきている現実を注視する必要もあるでしょう。

以上の点を踏まえた上で、ソーシャルワークが対象とする利用者・当事者とは、そもそもどういう人たちのことをいうのか？ あるいはソーシャルワークが対象とする「問題」とはどのようなものであるのか？ また、そのような対象を理解するために援助専門職に必要な姿勢・専門性とは何なのか？ さらにソーシャルワーク実践における「対象を理解すること」の意義について、あなたの意見を述べてください。（テキスト『相談援助の理論と方法Ⅰ』第1～4章、『相談援助の理論と方法Ⅱ』第1章、および参考図書『相談援助の基盤と専門職』第1～2章、第5～7章、第10～11章、参照）

レポート作成に際しての留意点（「社会福祉援助技術論 A・B」に共通）

1. 以下のような問題意識と姿勢をもって頂くことを望みます。

- ① 「レポートだから調べたことをそのまま書けばいいや」ということにはなりません。レポートは「小論文」の一種です。よってレポート課題として与えられたテーマに対して、“自分ではどのような視点で、どのように考えられるのか”を明確に伝えることが求められます。

「良いレポート」とは、ただ単に調べてまとめたものではなく、自分の考えていること（主張）が読む人に伝わるレポートのことをいいます。

- ② そのためには、教科書以外にも自分の見解を深める上で役に立ちそうな「文献」を手に取り、読むことが必要となります。

なお、その際に文献の示されている先行研究を無批判に受け入れ、体裁を整えたレポートを書くのではなく、疑問をもって先行研究を批判的に検討した上で、自分の考えを述べることを心がけてください。「自分自身の言葉」で「自分自身の考え」を述べることで「自分らしいレポート」が仕上がります。

- ③ また、“自分は何を言いたかったのか？ 今はっきりとわかっていることは何であり、またわかっていないことは何なのか？ いったい自分は何を考えているのか？”と、自分自身に対して問い直す作業を心がけてください。「推敲を重ねる」ことでその作業も進みます。

- ④ レポートは科目履修に伴う単位修得のためには必須のものです。レポートはそのためだけに仕方なく書くものではありません。「自分自身の考え方・思想を創りあげる」ために書くものです。大学での学修の本来の目的は、そこにあります。

2. 以下の点に留意してレポートを作成してください。

- ① 手書きにしろワープロ・パソコン印字にしろ、論述表記（原稿用紙の使い方）の基本ルールを遵守してください。
- ② どこまでが文献を引用・参照したものであり、どこからが執筆者の独自の見解であるのかがはっきりとしない場合、そのレポートは全体として「盗作」とであると疑われるおそれがあります。ましてや教科書の文章をそのまま書き写して列記しただけのものは論外です。
- ③ 引用・参考文献の出典表記と注釈の表記方法には、一般的に「従来型」と「近年型」の2つがあります。どちらがいいかは一概にはいえませんが、決して統一されてもいませんが、『学習の手引き』や「文章作成法」関係の本などを参考にして基本的な表記法についてご修得ください。また、文献の引用・参考に際しては直接引用、言い換え、要約などについて正規のルールがありますので、ご修得ください。正規の表記法

を用いることで、そのレポートの説得性と信頼性も高まります。

従来型：注釈も参考・引用文献と一緒に、本文中に通し番号の小さな肩数字をつけて表記し、章末や巻末（論文末）にその通し番号順に一括して表記する。

近年型：注釈は（注1）のように本文中に括弧つきで大きく表記し、参考文献も本文中に著者名・発表年のみを括弧つきで（川口、2008）のように表記する。

引用文献は引用分末尾に著者名・発表年・引用箇所を括弧つきで（川口、2008、p.123）のように表記し、章末や巻末（論文末）に注釈と引用・参考文献一覧とを別々に記載する。

- ④ 「文献」には、主として単行本としての「図書」と、逐次刊行物としての「雑誌論文」があります。ソーシャルワークの領域でどのような文献があるのか、知っていますか？ 必要に応じて把握し、活用していきましょう。

- ⑤ 文献検索の方法としては、大別して「イモヅル式検索法」と「二次資料検索法」があります。それぞれに長短がありますので、併用することが望ましいです。なお、インターネット検索を利用する際の執筆には特別の注意が必要ですのでご注意ください。

イモヅル式検索法：一つの文献（本や論文）の巻末などに記載されている「引用・参考文献」の中から重要と思われるものをピックアップし、そこから次々と文献をたどっていく方法。

二次資料検索法：分野ごとに集めた文献データベース（文献目録、インターネット、CD-ROM）を用いて文献・資料を集める方法。

- ⑥ 引用・参考文献の出典表記と注釈の表記方法、及び文献探索の方法をはじめ、レポートや論文を書くときの基本的ルールや心構えについては、以下の本にわかりやすく記述されていますので、ご参照ください。

小笠原善康『大学生のためのレポート・論文術』講談社、2002年

なお、インターネットを使ってレポート・論文を書く際の方法、留意点については、以下の本をご参照ください。

小笠原善康『大学生のためのレポート・論文術—インターネット完全活用編—』講談社、2003年

参考図書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座6 相談援助の基盤と専門職』中央法規出版、2009年

浦河べてるの家『べてるの家の「非」援助論—そのままでいいと思えるための25章—』医学書院、2002年

加茂陽編『ソーシャルワーク理論を学ぶ人のために—ソーシャルワークの最新諸理論・

事例・議論一』世界思想社、2000年

北川清一・久保美紀編著『社会福祉の支援活動ーソーシャルワーク入門ー』(シリーズ・ベーシック社会福祉②)、ミネルヴァ書房、2008年

社団法人日本社会福祉士会編『改訂社会福祉士の倫理ー倫理綱領実践ガイドブックー』中央法規出版、2009年

仲村優一・一番ヶ瀬康子・右田紀久恵監修、岡本民夫・田端光美・濱野一郎・古川孝順・宮田和明編『エンサイクロペディア社会福祉学』中央法規出版、2007年

※鳥瞰図的な視野から社会福祉学研究の現状と将来展望を示した書。高価な本なので大学図書館などで閲覧してみてください。

以下の雑誌論文、学会誌などをレビューしますと、レポート課題、本科目の学修に際して参考となる先行研究を知ることができますので、調べてみてください。

『ソーシャルワーク研究』(相川書房) 『社会福祉学』(日本社会福祉学会)

『社会福祉研究』(財団法人鉄道弘済会) 『月刊福祉』(全国社会福祉協議会)

その他、スクーリング時にも講義内容に合わせ、適時、紹介します。

社会福祉援助技術論B

21～

科目コード●050072

担当教員●川口正義



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択21年度以降
入学者福祉心理
選択B21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。

科目の内容

「社会福祉援助技術論 A」の p.110 をご参照ください。

本科目では、「社会福祉援助技術論 A」の学修内容を踏まえた上で、以下の内容について学びます。

1. 様々な実践モデルとアプローチ
2. ケースマネジメントとケアマネジメント
3. グループを活用した相談援助
4. コーディネーションとネットワーキング
5. 社会資源の活用・調整・開発
6. スーパービジョンとコンサルテーションの技術
7. ケースカンファレンスの技術
8. 事例研究・事例分析一意義・目的・方法・留意点一
9. その他

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術論 A」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

教科書

（「社会福祉援助技術論 A」と共通のため、この科目での教科書配本はありません。）

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法Ⅰ（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法Ⅱ（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）

レポート課題 手書きレポート用紙の p. 1、p. 9の課題記入欄は、「課題名」として表示されているものの記載で可。

1 単位め

課題名：「実践モデル・アプローチの発展史と現状・課題」

実践モデル・アプローチの発展史を概説した上で、近年、EBSW（エビデンス・ソーシャルワーク）と構成主義アプローチが注目されるに至った社会的背景、意義について論述してください。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

2 単位め

課題名：「私の考える『援助』観」

自らの「援助」観について論述してください。

レポート作成に際しての留意点（「社会福祉援助技術論 A・B」に共通）

「社会福祉援助技術論 A」の p.114～115をご参照ください。

アドバイス

「社会福祉援助技術論 A」の p.111～113もご参照ください。

1単位め
解説

実践モデル・アプローチは特定の問題のとらえ方と、それに基づく対応方法・技法のまとまりであり、実践をガイドする役割を担うものです。また、ソーシャルワーカーがその活動の妥当性を利用者・当事者や所属組織、関係機関等に説明する際に活用する知識体系でもあります。

ソーシャルワークが時代社会状況による影響を受け、その時々社会の動向や要請に応じていかなければならないという宿命を有する営みであるように、そのガイド役となる実践モデル・アプローチも時代とともに多様化してきました。そして、ソーシャルワークのための実践モデル・アプローチはその時代社会で有力な隣接諸科学の知見を広く取り入れつつ多種多様に発展してきました。

ソーシャルワーカーは現実の場面で出会う複雑な状況に対応するためには、単一の実践モデル・アプローチのみでなく、どのような状況で、どのような実践モデル・アプローチが有効に機能するのかを理解した上で、それらを自らの実践に適切に応用していくことが求められます。

まず、各実践モデル・アプローチの定義、固有の視点、意義及びその史的展開を理解し、簡潔にまとめてください。その上で、1990年代に入り「社会構成主義」と「証拠に基づく実践」(Evidence Based Practice) の考え方がソーシャルワークの領域においても注目を集めるに至った社会的背景とその意義について論述してください。（テキスト『相談援

助の理論と方法Ⅱ』第6～8章、及び参考図書『相談援助の基盤と専門職』第3～4章、参照)

2単位め
解説

ソーシャルワーカーには「時代の風」を感じ、読みとる能力が求められます。また、ソーシャルワークの過程においては、自分とは異なる存在である利用者・当事者に対し誠実に向き合い、その人生に関心を寄せ、言葉にできないその人の痛み、哀しみ、苦悩等を感じとることができる関係が求められます。

しかし、残念なことに「時代の風」は冷たく、混沌としており、利用者・当事者のみならずソーシャルワーカーをも翻弄させています。また、そのソーシャルワーク実践が援助を提供する側の意図や立場が優先される中で行われてしまっている、まさに「当事者主権」のスローガンとは程遠い現実も散見されます。

このような状況を踏まえたとき、「人を援助する」とはいかなる意味をもつのでしょうか？あるいは「ソーシャルワーカー」とはいかなる営みを行う人のことをいうのでしょうか？さらに、利用者・当事者を“主人公”にした援助とは、いかなるものであるべきなのでしょうか？—これらについて自問し、再考する必要に迫られています。

これらの問いに答えるためには、自らの準拠している価値・倫理観のあり様を見つめ直す作業が不可欠となります。また、なぜ自分が援助専門職（ソーシャルワーカー）を目指そうとしているのか？その思いの「原点」及びその形成過程における「こだわり」(パッションとミッション)の中身を振り返る作業も必要となってくるでしょう。

ソーシャルワーカーの実践力は時代の動向を利用者・当事者の生活実態と照合しながら的確に把握できることにより蓄えられます。あなたはどのように「時代の風」を感じ、読みとっていますか？そして、その中であなたが希求し、実践していきたいと考えているソーシャルワークとはどのようなものですか？

本科目の学修のまとめとして、また自らの「ソーシャルワーカーとしてのアイデンティティ」を構築していくために、あなたが望ましいと考える「援助」観について“自分の言葉”で述べてください。

参考図書

「社会福祉援助技術論 A」の【参考図書】p.115～116を参照してください。

社会調査の基礎

21～

科目コード●050073

担当教員●都築光一



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、同じ内容を「社会福祉援助技術論Ⅱ」として学習します。

科目の内容

福祉の分野においても調査は近年ますます重要な役割を担ってきております。たとえば要介護度認定、住民ニーズ把握、人材確保に関する調査、事業効果調査、サービス評価調査等々をみても明らかです。

ここでは主に福祉調査の方法について学び、実践的技術に関する知識の習得をめざします。そのために①まず社会福祉調査の史的展開について触れ、現代における福祉調査の意義を考えてみましょう。ついで②調査テーマの設定から調査の実施、整理分析までの調査手順について学びます。さらに、③調査の方法、④現地調査の方法、⑤調査対象者の選定方法、⑥調査票の作成、⑦調査の実施と管理、⑧調査結果の整理・分析および誤差・偏り、⑨調査結果の活用方法、⑩レポートの作成について学習します。

調査の理論と技法について学ぶことは、福祉に携わる人の現代的教養といえるでしょう。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座 5 社会調査の基礎（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）
（平成20年度以前履修登録者）2009年4月より、上記教科書に変更されました。

レポート課題

1 単位め

社会福祉調査の展開手法について、社会福祉援助技術としての意義を述べなさい。

2 単位め

社会福祉調査における統計調査および事例調査について、その意義と短所について考察しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年9月で受付を締め切りました。

アドバイス

1単位め
解説

様々な分野における自らの実務経験、あるいは学習などから得られた知見等の蓄積に基づき、社会福祉調査の基本的な認識を踏まえ、実践に向けた理解を述べるものです。これまでの経験を振り返り、テキストの記述との照合を行うことをお勧めします。また、各種福祉計画のための調査が広く実施されておりますので、実際の調査報告書などを資料として入手し、それらを通じて学習することも有益です。

2単位め
解説

社会福祉調査は、現在多くのフィールドで実施されていますが、その実施方法や結果のとりまとめに、四苦八苦していることも事実です。ここではそうした様々な調査の実施例から考察していくものです。社会福祉調査は、その社会福祉の対象群の特性によって、調査方法が多岐にわたります。またその分析方法や結果、さらにはそこから導き出される実践の方向性も幾重にも見いだされるものです。それだけに、調査対象者に応じて適切な調査方法を慎重に選択することが求められます。また目的に応じて、望ましい分析を進める必要があります。これらの点について理解を深め、実践力を身につけるために、具体的な実例をしかも複数参考にしながら学習することをお勧めします。またスクーリングに参加しながら、他の参加者と情報交換することも、有益な方法です。

参考図書

●初心者向け

平山尚・武田丈・呉裁喜・藤井美和・李政元『ソーシャルワーカーのための社会調査法』ミネルヴァ書房、2007年

大谷信介・木下栄二・後藤範章・小松洋・永野武『社会調査へのアプローチ』ミネルヴァ書房、2000年

●ちょっと専門的に学びたい人にお勧めの文献

宝月誠・中道實・田中滋・中野正大『社会調査』有斐閣Sシリーズ、1998年

井上文夫・井上和子・小野能文・西垣悦代『よりよい社会調査をめざして』創元社、2001年

●調査した結果をコンピュータで分析してみたい人にお勧めの文献

※統計解析ソフト（SPSS）を購入済みであることが前提

加藤千恵子・廬志和・石村貞夫『SPSS でやさしく学ぶ アンケート処理』東京図書、
2005年

福祉経営論

21～

科目コード●050074

担当教員●高橋 誠一



2 単位

R or SR

3 年以上

社会福祉
選択21年度以降
入学者福祉心理
選択 B21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

これまで社会福祉事業を中心とした福祉分野は、利用者を中心とした福祉サービスへとその提供のあり方が大きく変わってきました。その背景には、地域生活支援・自立生活支援ニーズが高まり、従来の福祉援助の仕組みでは対応が困難になってきたことがあげられます。その結果、福祉サービスの特質に配慮しながらも、増大する福祉サービスのニーズに応えるために、これまでの社会福祉法人を中心とした制度から、特定非営利活動法人(NPO)、民間企業、医療法人などさまざまな法人が事業所を運営して福祉サービスを提供できるように規制が緩和されてきました。

このように、多様な法人によって福祉サービス提供組織が運営されていますが、基本的な福祉サービスは、補助金や社会的保険によって費用のほとんどがまかなわれ、サービス内容が決められています。そこで、利用者と事業者の間の契約を基本としつつも、一般の市場と区別して、福祉サービスは準市場と呼ばれることがあります。したがって、民間企業であっても、福祉サービスの特質を理解して事業を経営する必要があります。また、社会福祉法人では、これまで以上に利用者のニーズに即した事業経営が求められます。

この科目では、福祉サービス提供組織の多様性を理解し、共通して必要となる福祉サービス提供組織の経営について学んでいきます。福祉サービス提供組織の存在理由は、利用者へのサービス提供にあります。利用者を中心とした福祉サービスは、利用者のニーズを理解し、本人や家族、地域の住民と協力して提供していくことが多いので、画一的ではない柔軟なサービス提供が求められます。経営者や管理者は、小規模な事業所以外では、直接利用者にサービスを提供することは多くありませんが、生活支援や介護、相談援助を行う職員を通して利用者に貢献しています。ですから、経営者や管理者は職員が働きやすい環境を作り、人材を育成し、必要な資源や組織環境を整えることが重要な仕事になります。そのためには、利用者中心の理念を明確にし、組織的な事業経営に取り組む必要があります。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座11 福祉サービスの組織と経営』中央法規出版、2011年

レポート課題

1 単位め	利用者中心の福祉サービスの提供を実現するために必要と考えられることを述べよ。
2 単位め	職員が働きやすい事業所の運営について説明せよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

アドバイス

1単位め 解説

利用者中心の福祉サービスとは何かを考えてください。利用者中心は利用者本位、利用者主体と呼ばれることもあります。利用者中心の福祉サービスを考えるために、そうではない場合、すなわち提供者中心の福祉サービスを考え、対比すると、はっきりすると思います。一般のサービスでは、消費者主権という言葉が使われますが、これは利用者中心と同じでしょうか。ここでは、直接サービスを提供する職員の立場だけでなく、福祉サービス提供組織の経営者の立場からも考えてください。どのような理念や事業経営が必要になるのでしょうか。

2単位め 解説

職員が働きやすいとはどういうことでしょうか。職員の能力を発揮できる、やりがいを持てる、必要なスキルを身につけることができる、仕事を通して自分自身が成長できるということがあるでしょう。チームの一員として自分の役割を果たせることもあるでしょう。なによりも、利用者が必要とし、役立つ支援をできることが働きやすい職場となると思います。そのためには、経営者や管理者はどのように職員を支援していけばいいのでしょうか。また、賃金やキャリアアップの仕組みがはっきりしていることなども重要です。

参考図書

教科書の「文献」欄参照

保健医療サービス論

21～

科目コード●050075

担当教員●山本邦男



2 単位

R or SR

3 年以上

社会福祉
選択21年度以降
入学者福祉心理
選択 B21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

「保健医療サービス論」は、社会福祉士受験科目「医学一般」を新たに再編したものです。したがって、本科目は、少子高齢化、疾病構造の変化等に伴う各種制度の改変とニーズの多様化に合わせ、改めて社会福祉士に必要な学習領域を示したものと理解できます。

本講義では「保健医療サービス」の基礎的知識とソーシャルワークの歴史やケースワークの技術、価値、他職種との連携等について学びます。主として、①保健医療サービスのシステム、②専門職の役割、③社会資源との連携、④保健医療分野のケースワーク理論等です。スクーリングでは、医療ソーシャルワーク、ケアマネジメントの実務事例にふれながら、わかりやすく解説します。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座17 保健医療サービス（第3版）』中央法規出版、2012年（第3版でなくても可）

（平成23年度以前履修登録者）2012年4月より教科書が変更されましたが、履修登録時に配本された教科書にもとづいてのレポート作成やスクーリングの受講は可能です。

レポート課題

1 単位め

医療ソーシャルワーカーの業務内容についてミクロ、メゾ、マクロの各レベルにおける支援の必要性和MSWの留意点についてまとめなさい。

2 単位め

下記の用語について、1つ500字以上700字以内で解説してください。

①クリティカルパス ②インフォームド・コンセント ③ネットワーク

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

高齢社会をキーワードとして、保健医療サービスは激しく変化をしています。中でも社会福祉専門職（医療ソーシャルワーカー；以下MSW）への役割期待は、医療連携、ネットワークによる退院支援の重要性など年々高まりつつあります。その背景には、少子高齢社会や生活習慣病などにみられる疾病構造と社会福祉の構造改革による制度の変化などがあげられます。また、難病やターミナルケア、在宅医療など、従来の医療機関スタッフのみでは解決できない多様な問題の出現があります。

したがってMSWには医療から在宅、地域関係機関など、地域連携への関わりによる業務への対応が必要となっています。その背景については、教科書（p.20～32）をよく読み、理解を深めてください。

参考図書として『実践的医療ソーシャルワーク論』（改訂第2版）を推薦します。より詳細な医療福祉制度の流れとMSW業務の関連を学習してください。

1 単位めは診療報酬改訂や介護保険制度創設に代表されるように、病院から在宅への医療政策によって、MSWの働く場と業務内容に大きな変化がみられます。教科書では、MSW業務の各レベルにおける支援の必要性をミクロ、メゾ、マクロに分け具体的事例によって解説しています。事例を参考にしながら、業務の展開について学習してください。

2 単位めは、そのようなMSWの業務領域のキーワードについて学習してください。教科書の中には、「保健医療サービス」に関連する多くの専門用語が掲載されています。特に医療福祉制度改変により、在宅支援の重要性が増し、ネットワークや地域連携のキーワード共有化は日常の業務においても重要となります。いずれの課題も教科書をしっかり読み、その概念と意味を把握してください。教科書のみでは理解ができない用語については、他の参考書等で独自に学習してください。

1単位め 解説

MSWの業務は受診、受療援助から退院支援、地域連携等によるサービスシステムの構築まで、広範囲に及ぶようになっていきます。教科書第3章（p.72～107）ではミクロ、メゾ、マクロにおけるMSWの業務を具体的事例通して解説しています。その内容は「医療ソーシャルワークの業務指針」（p.76～79）の6つの業務範囲を各レベルに分けて、病院から地域へのMSWの支援展開をわかりやすくまとめたものです。教科書第3章2節（p.81～90）では、ミクロレベルで経済的支援から受診・受療までの各支援業務について、同様に第3節（p.91～100）でメゾレベル、第4節（p.101～107）マクロレベルで各支援について触れています。

各レベルにおける支援の意味を体系的に理解してください。そして、これらの支援が何故必要とされるのか、そしてMSWが留意しなければならない姿勢、取り組み課題についてまとめてください。制限字数は2,000字ですので、簡潔に要点を述べてください。

2単位め
解説

クリティカルパス（p.185～）は地域医療連携の一つとして、多くの病院で採用され実践されています。インフォームド・コンセント（p.124～）も生活習慣病における、主体的治療継続の重要性から注目されています。また、ネットワーク（p.198～）は地域社会資源の活用と構築において重要なキーワードです。教科書で不明な点は独自で調べてみてください。

参考図書

日本医療ソーシャルワーク研究会監修 村上須賀子・大垣京子編集『実践的医療ソーシャルワーク論（改訂第2版）——保健医療サービスを学ぶ』金原出版、2009年

就労支援サービス論

科目コード●050076

担当教員●三浦 剛



1 単位

S

3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択 B

福祉心理
選択 B

※この科目は、全学生に対して開設されている科目です。

※この科目は、「スクーリング 8 コマ受講・合格」で単位修得となります。レポート提出の必要はありません。

科目の内容

就労支援サービス論は、2007（平成19）年の「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正で新たな科目として加えられました。これまで障害者や生活保護受給者への就労支援という課題を、トータルな社会福祉援助論としての就労支援という視点からまとめたものです。

したがって、労働基準法を中心とした労働者の権利を保障する制度を出発点に、社会福祉の枠組みからの支援の現状を知り、どのような支援がどのような方法で行なわれるべきかを考えていくことが学習のねらいです。

また、就労を考えることは、これから就職していく学生のみなさん、あるいは現在就労しながら学んでいるみなさんにとっても大きな課題です。自らのこととして問題を捉えていく姿勢も合わせて学んでください。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座18 就労支援サービス（第2版）』中央法規出版、2010年

参考図書

松為信雄・菊池恵美子編著『職業リハビリテーション学 改訂第2版』協同医書出版、2006年

福祉行財政と福祉計画

21~

科目コード●050080

担当教員●都築光一



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
選択21年度以降
入学者福祉心理
選択B21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

社会福祉の展開は、福祉制度を利用する地域住民に最も近い市町村の福祉行政窓口で展開されますので、その最前線の福祉行政の運営上の仕組みと、それを支える財政の仕組みを一つのシステムとして理解していきます。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座10 福祉行財政と福祉計画（第3版）』中央法規出版、2012年（第3版でなくても可）

（平成23年度以前履修登録者）2012年4月より教科書が変更されましたが、履修登録時に配本された教科書にもとづいてのレポート作成やスクーリングの受講は可能です。

※この科目の教科書は平成25年度に変更予定です。

レポート課題

1 単位め

福祉行財政について、市町村行政を例に、以下の①②両方に答えなさい。
①戦後の社会福祉制度の発展に伴って、社会福祉サービスの利用方式の転換により、福祉行政の役割がどのように変化したのか述べなさい。
②民生費と社会福祉関係の特別会計の関係について、介護保険制度を中心に述べなさい。

2 単位め

市町村の地域福祉計画と、他の福祉計画の関係について、それぞれの根拠法令および計画の基本事項に触れながら説明しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

（平成24年度以前履修登録者）2012年8月から2単位めレポート課題の表現が変更されていますが、課題の内容自体は同じです。アドバイス・解説ともに変更はありません。

アドバイス

1単位め 解説

戦後の日本の国づくりの中で、福祉の課題は変化してきましたが、その変化に併せて制度が作られ、行政の仕組みも変わってきています。その流れをとらえましょう。

そうした流れの中で、新たな潮流として登場してきたのが介護保険制度です。行政の仕組みと財政の仕組みがセットになっていることを理解しましょう。

2単位め 解説

行政運営の進め方は、近年計画しながらすすめていく「計画行政」へと転換しています。その計画は、さまざまな種類があり、性質もかなり違いがあります。計画の種類や性質などを理解しましょう。

参考図書

- 1) 山本 隆『福祉行財政論 国と地方からみた福祉の制度・政策』中央法規出版、2002年

指定したテキスト以外では、最も推奨すべき書籍です。

- 2) 大森 彌『地域福祉と自治体行政』ぎょうせい、2002年

社会福祉援助技術演習 A

21～

科目コード●0 5 0 0 8 2

 担当教員●阿部一彦・千葉喜久也・山川敏久・君島昌志
 佐々木達雄・大橋雅啓・芳賀恭司・竹田征子 ほか

3 単位

SR

2 年以上

 社会福祉
 選択

 21年度以降
 入学者

※平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

※社会福祉士を目指す方々を対象とした講義となります。

※「演習Ⅰ」と合併授業になります。

科目の内容

この科目では、社会福祉士に求められる相談援助に係る基本的知識と技術について、実践的に習得することを目的としています。単なる理論的な学習だけでは、今日の支援を必要としている人たちが抱える課題の解決やニーズの充足を満たすことは困難といえるでしょう。理論を実践に役立てるためには、専門的援助技術の学習とその体得が不可欠となります。

本演習では、社会福祉援助技術における理論や知識を踏まえた上で、特に、倫理・価値観、面接技法などの基本的なソーシャルワーク実践の方法・技術のいくつかを取り上げ、役割演技、グループ討議などを通し、統合的、主体的に学習することを目的としています。

スクーリング講義概要

スクーリングにおいては、以下の統一内容を中心に、担当教員がより個別的な内容の演習を行ないます。

1. 社会福祉援助技術における相談援助について
2. 自己覚知を促す上での基本演習
3. 相談援助技術に求められるコミュニケーション
4. 基本的なコミュニケーション技術の習得 言語的コミュニケーション
非言語的コミュニケーション
5. 相談援助の基盤と専門性
6. 相談援助の実例（危機的状態にある相談援助事例の紹介）

※最終コマは「体験学習・次年度実習ガイダンス」です（実習免除者は受講不要）。

※受講の際には、自己紹介や学生同士の話し合いや発表、ロールプレイングなどが求められます。

教科書「演習 B」「演習 C」でも使用

白澤政和・福山和女・石川久展編『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版、2009年（平成21年度以前履修登録者）上記の教科書を所持していない方は、購入して所持しておく必要があります。

レポート課題

※レポートの提出方法については p.133～134 参照のこと。

1 単位め	社会福祉実践においては、援助者自身の「気づき」が大切です。なぜ、援助者には「気づき」が大切なのでしょうか、あなた自身の体験を踏まえながら述べてください。
2 単位め	「バイスティックの原則」のうち、3つの原則を選び、実践やスクーリングでの体験を通して、援助のあり方を論じてください。
3 単位め	(スクーリング受講者) 「演習 A」のスクーリングを受講しての自身の振り返りを行いながら、社会福祉士として求められるものをまとめなさい。 (スクーリング免除者：実習免除者とは異なります) 社会福祉士に必要とされる価値観にはどのようなものがあるか、まとめなさい。

アドバイス

1 単位め 解説

社会福祉実践において他者を援助するに当たっては、適切な他者理解が必要です。他者理解を得るためには、適切な自己理解が援助者としてはとても大切になります。利用者と向き合った時に自分自身の考え方や、性格、価値観などについての「気づき」が出てきます。過去の出来事が自分の性格や、癖、行動傾向などによって現在の自分が作り上げられています。ここでの「気づき」についてまとめることによって、自己理解に役立てることができそうです。このような視点からの「気づき」について論じてくださっても結構です。

また、社会福祉実践において援助者は、コミュニケーションを通して効果的な援助を展開していきます。コミュニケーションについては、言語コミュニケーション、非言語コミュニケーションの理解が必要です。ここでは、言語コミュニケーションにおける自分自身についての「気づき」や非言語コミュニケーション（視線、姿勢、表情、音声、距離、位置）などについての「気づき」なども大切です。これらを通しての自分自身のコミュニケーションの特性についての「気づき」について感じたことをまとめることも大切です。

このような視点からの「気づき」について論じてくださっても結構です。

あるいはこのレポート課題について、あらためて自分自身の日常生活における行動や考え方、癖などについての新たな「気づき」や、これまでの生活を振り返って感じた「気づき」、社会福祉専門職を目指すものとしての「気づき」について論じてくださっても結構です。

2単位め 解説

利用者理解を深めるためには、理論的な面をしっかりと理解するとともに、仕事やボランティアなどの実践活動、また、スクーリングでのロールプレイや日常生活における人間関係のなかで、対人援助の基本を考察しながら自らの資質を高めていく努力が求められます。

利用者主体とはなにか、最善の利益とはなにか。援助のあり方について実践的な面（職務・体験）と理論的な面（原理・原則）を結びつけながら論じてみてください。

また、バイステックの原則は7つありますが、選択した3つを必ず明記してください。

3単位め 解説

（スクーリング受講者）

現在、社会福祉を取り巻く環境は、これまでの「措置」から「契約」へと変わり、社会福祉の援助技術も「自立支援」「利用者主体」へと変化してきています。従来の社会福祉援助者のイメージを脱却して、利用者の尊厳を守り、利用者主体の原則を実現するための社会福祉士の役割について考えてください。一般論としてだけでなく、演習Aのスクーリングを受講しての自身の体験をふりかえりも含めて、まとめてください。

（スクーリング免除者）

現在、社会福祉の制度やまた、それらをとりまく環境は大きく変わり、社会福祉援助技術にも新たな視点が求められています。それらの技術の基盤となる価値観や倫理観にはどのようなものがあるか、一般論ではなく演習や実践の体験とを関連づけながらまとめてください。

レポートの提出方法

全単位共通

- ・ 1 課題につき 1 冊のレポート用紙を使用すること。
- ・ 字数は2,000字程度（最長4,000字程度）。
- ・ スクーリング受講年度に提出すること。

1 単位めについて

- ・ 提出締切はスクーリング受講申込締切日（5/31・6/30・10/31・11/30）必着。
- ・ レポート用紙の担当教員名は未記入で提出すること。
- ・ 返却はスクーリング受講申込締切日の1カ月後になります。

2・3単位めについて

- ・提出締切は、「演習B」を同年9～12月に受講希望する人は9/15、翌年5～6月に受講希望する人は3/15。ただし2単位めについては、演習内容をより理解するために、スクーリング受講前までの提出をおすすめいたします。
- ・レポート用紙の担当教員名はスクーリング時の教員名を書くこと（スクーリング受講前に提出の2単位め、スクーリング免除者の3単位めは未記入）。

演習 A スクーリング受講条件

申込締切日（5/31、6/30、10/31、11/30）までに

- ①「社会福祉援助技術総論」の4単位分のレポート提出
 - ②「演習A」の1単位めのレポート提出
 - ③（入学から1年以上経過して申込む場合）一括認定単位を除き20単位以上の修得。
- ※「高齢者福祉論」「障害者福祉論」「児童・家庭福祉論」「福祉社会学」「福祉心理学」などのうち数科目の学習を進めるなど、十分事前準備をしてから、受講してください。

スクーリング申込手続

申込時の注意点

- ・『With』（3月号または9月号頃を予定）巻末の申込ハガキまたは用紙を郵送してください。
- ・申込用紙は必ず第2希望まで○をつけてください（第1希望と同一は不可）。
- ・申込後の希望の変更は受け付けかねます。

各申込日について

- ・5/31締切の申込は、6～8月に受講を希望する方が申込みください。（5/31までに受講条件を達成できなかった場合、自動的に6/30締切の申込にスライドされます。）
- ・6/30締切の申込は、5/31に受講条件を達成できなかった方が申込みください（7月後半以降の開講日で、かつ5/31締切の申込で空きが出た会場のみでの受付）。
- ・10/31締切の申込は、12月の新潟会場を希望する方がお申込みください。
- ・11/30締切の申込は、1～2月に受講を希望する方がお申込みください。

受講クラスの決定方法

受講希望者で条件を満たしている方は、原則として第2希望までのいずれかの日程で受講が可能です（6/30締切の申込者は定員に余裕ある会場での受講となります）。

なお、希望の日程で受講が可能ないように調整しますが、各時期・会場の定員を超えた場

合は下記のように決定します。クラス分けは無作為に行いますので、演習受講にあたって、教員を指定することはできません。

- (1) 今回開講されない都道府県の方の希望を優先します。また、地方開催の場合は開催県在住、または近隣の方の希望を優先します。
- (2) スクーリング受講料納入期限の遅れがあったり、これまでのスクーリングに届出なしで欠席されたことのある方、申込みハガキに第2希望まで記入されていない方など、ルールをお守りいただけない方の優先順位は下がります。
- (3) それでも定員を超えた場合は、無作為抽選で決定させていただきます。ご了承ください。

クラス分け決定後の受講日・受講地の変更は一切できません。受講を取り消された方は次回締切以降に再申込みとなります。

単位の認定方法

レポート(事前・事後課題)＋スクーリング(積極的討議参加・確認内容結果・試験)により評価。

※スクーリング時間内において、ソーシャルワーク実践に関する基本的な視点や態度をどの程度身につけることができたかについて確認をしていただきます。その確認内容が、スクーリングで学んだことと著しく相違していると思われる内容である場合には再履修となります。

※単位を修得できなかった方で再受講をする場合、スクーリングの申込みをあらためて行う必要があります。

※再受講する場合、スクーリングの再申込みは必要です。評価後のレポート(再提出の場合を除く)については、あらためて提出する必要はありません。

9～12月の「演習 B・Ⅱ」のスクーリングを受講希望する方へ

「演習 A・Ⅰ」の6～8月いずれかのスクーリングを受講し、事後レポートを9/15までに提出し、9/15(遅くとも10/15)までに合格する必要があります。演習 A・Ⅰの結果がまだ出ていない場合でも、受講を希望する方は、「演習 B・Ⅱ」の申込みをしておいてください。

体験学習

「演習 A」スクーリング最終コマ(8コマめ)の「体験学習・次年度実習ガイダンス」において説明をしますが、受講後に体験学習(3日間の短期実習)を実施していただきます。体験学習の免除についても、このガイダンスで説明します。

養成課程履修費について

「演習A」を受講した方（スクーリング免除者を含む）は、受講後に届く納入依頼書にて期限までに納入してください。

納入されない場合、「演習B」が受講できなくなりますので、ご注意ください。

※「演習I」の受講者は、納入の必要はありません。

社会福祉援助技術演習 B

21～

科目コード●050083

担当教員●関川伸哉・三浦 剛・渡辺憲介
佐々木裕彦・小山 剛・川口正義
佐藤博彦

3 単位

SR

3 年以上

社会福祉
選択21年度以降
入学者

※平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方、福祉心理学科の方は、履修することはできません。

科目の内容

社会福祉士として求められる専門的資質、専門知識、専門技術の習得を図ることを目的とします。社会福祉士に必要とされる専門知識、専門技術の習得や専門職として求められる相談援助の一連の過程について、具体的な事例研究等を通してその内容を熟知します。また、支援計画立案に関しての基本的な知識・技術の習得を図ることに焦点をあてながら、併せて社会資源の活用や、利用者理解、そして社会生活上の課題に対する理解を深めていくことを目的とします。

スクーリング講義概要

1. 相談援助場面及び援助過程を想定した実技指導
 - ① インテーク・アセスメントを中心に
 - ② プランニング・支援展開を中心に
 - ③ モニタリング・効果測定を中心に
 - ④ 終結・アフターケアを中心に
2. 社会福祉士に求められる相談援助に関する知識・技術を中心に
3. アウトリーチ・チームアプローチを中心に
4. 社会資源の活用（調整・開発含む）サービス評価を中心に
5. まとめ

※スクーリングの際には、自己紹介、学生同士の話し合いや発表・ロールプレイングなどへの参加が求められます。

教科書 「演習 A」と共通（この科目での配本はありません）

白澤政和・福山和女・石川久展編集『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版、2009年

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術演習A」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

レポート課題

※レポートの提出方法については、p.139を参照のこと。

1 単位め	(スクーリング事前課題=できるだけ9/15or3/15まで、遅くともスクーリングの各受講判定日(10/15 or 11/30 or 4/15)までに送付) 相談援助実践における記録の意義と具体的記述方法をまとめてください。また、同じく相談援助におけるスーパービジョンの目的、機能、あり方についてまとめてください。 (担当：佐藤博彦)
2 単位め	(スクーリング受講前の提出を希望=遅くとも受講後p.139の提出期限までに送付) 社会福祉実践において、またソーシャルワーカーにとって地域社会資源の活用や開発の①意義や必要性和②その留意点について述べなさい。 (担当：三浦剛)
3 単位め	(スクーリング事後課題=スクーリング受講後p.139の提出期限までに送付) 平成18年に改正、平成19年に公布された「社会福祉士および介護福祉士法」の一部改正に伴う、今後の社会福祉士の役割と課題についてまとめてください。 (担当：関川伸哉)

アドバイス

※レポート作成に当たっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り組んでください。3単位めは5冊以上の文献にあたってください。ただし、教科書や文献の丸写しは避けてください。

1単位め 解説

ソーシャルワーク実践における記録の意義とはなんでしょうか。まず、何故ソーシャルワーク実践において記録が必要なのか考えてみましょう。サービス提供者の情報共有のためでもあるでしょうし、また、サービス提供実施の証明のためでもあるでしょう。何のために必要であるのかをまとめてください。次に、スーパービジョンについてです。スーパービジョンは、ソーシャルワーク実践に関して、知識・技術・倫理等が十分備わっていないワーカーに対してもなされるものですが、経験豊かなワーカーにもその必要性があります。ソーシャルワーク実践において、実践に携わるすべてのワーカーに対して、何故スーパービジョンが必要なのでしょう。そのスーパービジョンの目的、機能、あり方についてまとめてみましょう。また、記録とスーパービジョンの関係性も併せて考察してみましょう。

2単位め
解説

現在、相談援助技法の一つと考えられているケアマネジメントは、利用者のニーズと社会資源を結びつけることがその中心的な概念です。そこで地域の社会資源活用やそれらが十分とは言えない場合、また使いにくい場合の開発の考え方や方法は、ケアマネジメントの学習を通しておこなうのがよいと思います。以下の文献を参考にしてください。

3単位め
解説

はじめに、今回の改正法にいたる背景について整理してください。その後、課題について客観的にまとめてください。その際に、事実と各自の考察（考え）をしっかりと分けて作成するように心掛けて下さい。

※レポート末尾に本文中で使用した引用・参考文献を必ず5つ以上明示してください。

参考図書

1 単位め

- 1) 福山和女編著『ソーシャルワークのスーパービジョン』(MINERVA 福祉専門職セミナー14)、ミネルヴァ書房、2005年
- 2) 副田あけみ・小嶋章吾編著『ソーシャルワーク記録——理論と技法』誠信書房、2006年

2 単位め

- 1) 日本社会福祉士会編『障害者ケアマネジメントのための社会資源開発』中央法規出版、2001年
- 2) 障害者相談支援従事者初任者研修テキスト編集委員会編『改訂障害者相談支援従事者初任者研修テキスト』中央法規出版、2007年（※1-1障害者の地域生活支援 など）

レポートの提出方法・期限

- ・ 1 単位につき 1 冊のレポート用紙を使用してください。
- ・ 各レポートの字数は2,000字程度ですが、手書きの場合 p.16まで使用し最長4,000字程度まで記入していただいても可です（パソコン印字の場合、左右40字×30行×4枚まで）。
- ・ 各レポート表紙には、「レポート課題」記載の担当教員名を記入してください。

1 単位めレポートは、スクーリング受講判定日までに提出。

2 単位めレポートは、スクーリング受講許可後（担当教員決定通知の後）から受講後11月末日（遅くとも1/20）までに提出。

3 単位めレポートは、スクーリング受講後11月末日（遅くとも1/20）までに提出。

※スクーリング受講年度に提出してください。

演習B スクーリング受講条件

下記(1)～(4)を満たしている必要があります。

- (1) 3年生以上の方、または10月生は9/15の時点で、4月生は3/15の時点で2年生の方。
- (2) スクーリング申込締切日9/15（・11/30 [次ページ^特参照]）・3/15の年3回までに、**社会福祉士・指定科目のなかから、6科目分すべてのレポートの提出**（「社会福祉援助技術総論」「社会福祉援助技術演習A」およびS科目による単位修得や個別認定単位も含めて可）。
- (3) 受講判定日9/15・9/30・10/15（・11/30 [次ページ^特参照]）・3/15・3/31・4/15までに、下記の①②の条件を達成していること。
 - ① 「社会福祉援助技術総論」「社会福祉援助技術演習A」の単位の修得。
 - ② 「社会福祉援助技術演習B」の1単位めのレポートの提出。
- (4) 社会福祉士養成課程履修費を納入済みであること。

※9/15時点で条件を満たさないと、10月のスクーリングは原則として受講できません。

※11/30（申込締切・受講判定日）申込みは、9/15締切で申込みを行い、受講条件が満たされなかった方のみが受講可能となります。

※条件を満たすための単位修得方法は下記のとおりです。

●9月申込希望者の単位修得方法について

9月申込時点で単位修得の条件を満たそうと思う科目については、どんなに遅くとも下記の期日までに学習を終えてください。

・ **レポート** 社会福祉士・指定科目のうち6科目は9/15必着で提出。

※申込締切時に単位修得が必要な「社会福祉援助技術総論」および「社会福祉援助技術演習A」は、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。

※9/1以降に再提出で返却されたレポートは10/15まで提出可

「演習B」1単位めレポートは遅くとも受講判定日（10/15）までの提出で可。ただし、9/15までに提出しないと10月のスクーリングは原則として受講できません。

・ **科目修了試験** 9月までの科目修了試験を受験して合格していること。

・ **スクーリング** 各判定日3日前までのスクーリングを受講して合格していること。

●3月申込希望者の単位修得方法について

基本的に9月申込希望者のものに準じますが、レポートは3/15必着（再提出レポートは4/10まで可）、科目修了試験は2月下旬までの受験が必要になります。

ただし、「演習B」1単位めレポートは遅くとも受講判定日（4/15）までの提出で可。
 ※社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目履修の流れについては『学習の手引き』3章（3年次編入学者は2章も参照）もご覧ください。

演習B スクーリング申込手続

申込時の注意点

- ・『With』（7～8月号や1月号を予定）巻末の申込用紙を郵送してください。
- ・申込用紙は必ず第2希望まで○をつけてください（第1希望と同一は不可）。
- ・申込後の希望の変更は受け付けかねます。
- ・申込締切は3/15または9/15です。

各申込日について

- ・3/15締切の申込は、5～6月に受講を希望する方がお申込みください。
- ・9/15締切の申込は、9～11月に受講を希望する方がお申込みください。
- ⑨ 9/15締切で申込を行い10/15までに条件を達成できなかった方を対象に、11/30締切の再申込を受け付けます（開講は12月（仙台））。希望者は、不許可通知に同封の申込用紙を提出してください。

受講クラスの決定方法

クラス分けは無作為に行いますので、受講にあたって、教員を指定することはできません。

3/15・9/15（初回判定日）の時点で受講条件を満たした方は、原則として希望の会場・日時で受講できるように配慮いたします。そのため、1単位め（事前）レポートも3/15、9/15に提出した方が希望の会場・日時で受講できる可能性は高くなります。それ以降に条件を満たした方で、希望の会場・日時の定員がオーバーする場合は、下記のように決定いたします。

- (1) 今回開講されない都道府県の方の希望を優先します。また、札幌・盛岡・長岡開催の場合は開催県在住、または近隣の方の希望を優先いたします。なお、北海道・岩手・新潟で実習を希望する学生は、できるだけその地域で受講してください。
- (2) これまでに、スクーリング受講料納入の遅延のある方、スクーリングに事前の届出なしに欠席されたことのある方、「登録カード」に第2希望まで書かれていない方、その他ルールが守れない方の優先順位は下がります。

単位認定

レポート（事前・事後課題）＋スクーリング（積極的討議参加・確認内容結果・試験）により評価。

※スクーリング時間内において、ソーシャルワーク実践に関する基本的な視点や態度をどの程度身につけることができたかについて確認をしていただきます。その確認内容が、スクーリングで学んだことと著しく相違していると思われる内容である場合には、再履修となります。

※単位を修得できなかった方で再受講をする場合、スクーリングの申込みをあらためて行う必要があります。

※2・3単位めのレポートを1/20までに提出しないと、スクーリング受講は無効となります。その場合、次年度以降に再度スクーリング受講は必要となりますが、既に合格済のレポートは有効となります。

社会福祉援助技術演習C

21～

科目コード●050084

 担当教員●阿部 一彦・高橋 誠一・田中 治和・三浦 剛・山川 敏久
 君島 昌志・関川 伸哉・渡辺 憲介・佐々木裕彦・千葉喜久也
 川口 正義・小山 剛・竹之内章代・佐藤 博彦

3 単位

SR

4 年以上

 社会福祉
 選択

 21年度以降
 入学者

※平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方、福祉心理学科の方は、履修することはできません。

※「演習C-1」「演習C-2」に分割されており、両方のスクーリングを同一年度内に受講しなければなりません。同一年度内に受講ができなかった場合は、「演習C-1」からあらためての受講になります。

※実習受講者は「演習C-1」は「実習指導B-1」と、「演習C-2」は「実習指導B-3」と2日間連続での受講をしていただきます。

※「実習免除」の方、または次年度以降に科目等履修生として実習指導・実習を受講希望の正科生の方は、①「演習C-1」と「演習C-2」を1日ずつ分割して受講するか、②2日間連続の「演習C」を受講する必要があります。

科目の内容

社会福祉士として必要である、社会福祉援助技術（相談援助）に係る知識と技術の習得を目指します。個別的な体験を一般化しながら、なおかつ実践的な知識と技術の習得を図ることを目的とします。また、集団指導ならびに個別指導による実技指導を行うとともに、具体的事例（社会的排除、児童問題、高齢者問題、家庭内問題、低所得者、ホームレス等）を通して、実際の社会資源を活用も含め、社会福祉援助技術の知識・技術の習得を図ることとします。

スクーリング講義概要

スクーリングにおいては、事例に基づく総合的・包括的援助の実践の習得として、児童虐待・家庭内暴力・高齢者虐待・低所得者・ホームレス等の事例をとりあげ、実際の支援を考察、検討していきます。また、相談援助に必要な知識として地域福祉の理論や方法および地域福祉の基盤整備と開発事例についても実技指導を通しながら学んでいきます。

※「演習C」のスクーリングの際には、自己紹介、学生同士の話し合いや発表・ロールプレイングなどへの参加が求められます。

教科書「演習A」と共通（この科目での教科書配本はありません）

白澤政和・福山和女・石川久展編集『社会福祉士 相談援助演習』中央法規出版、2009年

履修登録条件

「演習A・B」の単位を修得済み、または履修登録済みの方が履修登録できます。

レポート課題

※レポートの提出方法は、p.146を参照のこと。

1 単位め	（スクーリング事前課題） 社会的問題とされている福祉問題（「虐待」、「介護放棄」等その他のでもよい）に関して、あなたの考えを述べてください。また、そのことに関連させ、あなたが、社会福祉士としてその課題に対して、今後どのような支援を展開していくのか。社会資源の活用を考慮しながら論じてください。 （担当：高橋誠一）
2 単位め	（スクーリング事前課題） あなたの住んでいる市町村で展開されている社会福祉サービスとしての地域支援システム（子育て支援システム等）について調べ、まとめてください。 （担当：三浦剛）
3 単位め	利用者の権利擁護の重要性について、あなた自身の考えを、実習を行う前と実習終了後を比較しながら、具体的に述べてください。 （担当：佐藤博彦）
3 単位め （実習免除対象者）	実習免除に該当する相談援助業務の経験から、利用者の権利擁護の重要性について、実践例を具体的にとりあげ、あなた自身の考えを具体的に述べてください。 （担当：佐藤博彦）
3 単位め （科目等履修生として実習を受講する予定の方）	利用者の権利擁護を支援した事例を探し、その事例内容を説明、考察し、その支援に対するあなた自身の考えを具体的に述べてください。 （担当：佐藤博彦）

アドバイス

1 単位め
解説

最初に、具体的にとりあげた問題がどのような意味で社会的問題なのかを考えてください。そのためには、個人的問題と社会的問題の違いを考えることが大切です。本人にとって何が問題か、家族にとって何が問題か、そして、地域、社会、自治体にとって何が問題なのかをそれぞれの立場から考えてください。つぎに、問

題を解決するために、どのような社会資源を活用できるのかを考えてください。そのときに、問題解決とは何かをしっかりと理解しておくことが大切です。危機的な介入が必要なものもありますが、支援の長期的視点がないためにその場しのぎの解決・支援になってしまいう可能性はないでしょうか。問題にとらわれて、本人のニーズを見失うことはないでしょうか。以上の点も含めて、フォーマル、インフォーマルな社会資源、本人や地域の強さに着目しながら、ソーシャルワーカーとしての支援を考えてください。

2単位め 解説

地域支援システムに関する情報については、市町村のホームページを閲覧したり、パンフレットを見たりすることで、おおよその仕組みを知ることができると思います。つぎに、利用者の立場に立って見たときに、どのような相談や支援が受けられるのか考えてみてください。たとえば、複数のニーズを抱えたときに一箇所で対応できる仕組みになっているのでしょうか。このような情報はホームページやパンフレットだけではわからないかも知れません。実際に、窓口に行って話を伺うことができるいいと思いますが、相手への配慮を忘れないでください。場合によっては、関連する事業報告書があるかもしれません。

3単位め 解説

実習の前に、実習先に関わる法律上の権利擁護、権利擁護事業、権利擁護機関について調べておくことが大切です。実習中に、実際にどのように行われているのか、課題はないのかなど、実習担当者などから聞いて理解を深めてください。また、利用者の日常生活上の権利擁護もあります。介護や生活支援において、本人の意見が反映されているか、サービスの利用において不適切な扱いや不利な扱いを受けていないかなど、場合によっては第三者が見過ごしてしまう権利侵害もあります。ソーシャルワーカーの視点から、見直してみることが勉強になると思います。

3単位め 解説

(実習免除対象者)

権利擁護に関わる事例を検討するときに、さまざまな問題と絡み合って権利擁護の問題が生じることが多いと思います。問題の背景も含めて、検討するようにしてください。また、適切な権利擁護が行われたかどうかの考察も忘れないでください。権利擁護では、他の専門職や関係機関や地域との協力や協同が必要なことも多いと思いますので、その点の考察も重要です。さらに、関係者や本人の権利擁護に対する理解や啓発も重要だと思いますが、その点も自身の経験から具体的な実践方法を検討してください。

3単位め
解説
〔科目等履修生として
実習受講予定の方〕

権利擁護に関わる事例を検討するときに、さまざまな問題と絡み合っ
て権利擁護の問題が生じることが多いと思います。問題の背景も含めて、検討するよう
にしてください。権利擁護では、他の専門職や関係機関や地域との協力や協同
が必要なことも多いと思いますので、その点の考察も重要です。さらに、関係者や本人の権
利擁護に対する理解や啓発も重要だと思いますが、その点も含め検討をしてみましょう。

科目等履修生として実習指導と実習を受講する予定で正科生で演習Cを単位修得する際
には、この課題を解答してください。なお、厚生労働省の省令により、科目等履修生とし
て実習指導と実習を受講する際に、演習C・3単位めレポートについて再度実習受講者用
の課題を提出していただきますので、ご了承ください。

参考図書

社会福祉士養成講座編集委員会（編集）『新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後
見制度（第3版）』中央法規出版、2012年

レポートの提出方法

- ・ 1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。
- ・ 1単位のレポートの字数は2,000字程度ですが、p.16まで使用し最長4,000字程度まで
記入していただいても結構です（パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで）。
- ・ レポート表紙の教員名は、レポート課題の担当教員名を記載してください。
- ・ 各レポートは、『試験・スクーリング 情報ブック』に定める期限までに提出してくだ
さい。1単位めはスクーリング受講前に、2単位めはスクーリング当日まで、3単位め
は、各締切日までに提出してください。①実習免除の方、②科目等履修生として実習受
講希望の方のレポート提出期限も『試験・スクーリング 情報ブック』に記載のとおり
です。

※スクーリング受講年度に提出してください。

演習C スクーリング受講条件

(1) 実習受講者

実習指導Aスクーリングを受講していること

(2) 実習免除者・科目等履修生として実習受講希望者

- ① 「演習B」のスクーリングを受講済みで、p.147に定める演習C申込締切日まで
に「演習B」のレポートを提出していること。
- ② 申込締切日までに社会福祉士指定科目8科目を単位修得していること。
- ③ 申込締切日において、80単位以上を修得していること（認定単位を含む）。

- ④ 科目等履修生として実習受講希望者は体験学習（3日間）を実施し、合格していること。
- ⑤ 社会福祉分野の業務に携わる意思を強く持っており、社会福祉の学習および実習に対して熱意と意欲をもっていること。

演習 C スクーリング申込手続

※開講日・会場は『試験・スクーリング 情報ブック』を参照してください。

(1) 実習受講者

※申込みに関するご案内および申込用紙の配付は、「社会福祉援助技術実習指導 A」スクーリング時に行います。

「演習 C-1」 申込締切：4 / 1

→ 「実習指導 B-1」とセットでの申込みおよび受講となります。

「演習 C-2」 申込締切：7 / 15（9～10月受講者）、9 / 30（11～12月受講者）

→ 「実習指導 B-3」とセットでの申込みおよび受講となります。

(2) 実習免除者・次年度以降に科目等履修生として実習受講希望者

※申込みに関するご案内および申込用紙は『With』に掲載いたします。

※申込締切日までに、1・2単位めレポートを提出する必要があります。

※早めに申込みをした方が希望の日程・会場で受講できる可能性が高くなります。

分割受講型 申込締切：4 / 1

→ 「演習 C-1」を4～5月に仙台で、「演習 C-2」を9～11月に各地で、1日ずつ計2日間の受講

連続受講型 申込締切：6 / 20または12 / 20

→ 「演習 C-1」と「演習 C-2」を、7月または2月に仙台で、連続2日間の受講

単位認定

レポート（3単位分）＋スクーリング（積極的討議参加・試験結果等）により評価。

※スクーリング時間内において、ソーシャルワーク実践に関する知識の確認テストを実施します。この確認テストは、ソーシャルワーク実践に関する知識の確認になります。この確認テストにおいて合格点に達しない場合は再履修となります。（再試験・再レポート等一切ありません。）

※単位を修得できなかった方で再受講をする場合、スクーリングの申込みをあらためて行う必要があります。ただし、合格済のレポートは有効となります。

※3 単位めのレポートを各レポート締切日までに提出しないと、スクーリング受講は無効となります。その場合も次年度以降に再度スクーリング受講は必要となりますが、合格済のレポートは有効です。

※万一、科目等履修生として実習受講希望の方向けの演習Cを受講後に、正科生としての実習受講に切り替えた場合、演習Cのレポート提出、スクーリング受講記録の消去願を実習係に書面で提出し、許可を受けたうえで、再度正科生としての実習受講者用のスクーリング受講やレポート提出をおこなう必要があります。

社会福祉援助技術実習指導 A

21～

科目コード●050190

 担当教員●阿部 一彦・三浦 剛・高橋 誠一・田中 治和・中里 仁
 柿沼 利弘・渡辺 恵介・佐々木裕彦・千葉喜久也・川口 正義
 小山 剛・竹之内章代・佐藤 博彦 ほか

1 単位

SR

3 年以上

 社会福祉
 選択

 21年度以降
 入学者

※平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方、福祉心理学科の方は、履修することはできません。

※「実習指導 A」のスクーリングを欠席された方は、「実習指導 B」および「社会福祉援助技術実習」は受講できません。

※今後の実習受け入れ状況などにより、ここに記載の内容・日程を変更する場合があります。『実習の手引き』や『With』でご案内します。

科目の内容

社会福祉士として必要な具体的かつ実践的な専門技術等の習得を図ることを目的とします。また、併せて社会福祉援助技術実習の意義について理解をするとともに、児童・高齢者等、実際に実習を行う実習分野（利用者理解を含む）と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解をすることを目的とします。

また、次年度の相談援助実習に向けて、実習計画書の意義と策定方法を学びます。そして、これまで学修してきた社会福祉学の専門知識を深化させるとともに、各自の援助能力の開発・今後の課題の明確化・自己理解を深める場とし、相談援助専門職としての倫理観を理解する機会とします。

スクーリング講義概要

本講義においては、①実際に実習を行う実習分野（児童・障害者・高齢者等）においての利用者理解について、②各実習分野に関連する施設・事業者・団体・地域社会等に関して、③実際に実習機関において行われている関連業務（例えば、介護や保育等）について、④実習を行う際に極めて重要な存在となる「実習計画案」の作成の意義と方法について理解を深めていきます。以上を本講義の統一内容とし、それらを踏まえて担当教員がより個別的内容の講義を行います。

教科書

- 1) 『社会福祉援助技術実習の手引き（第1分冊）』東北福祉大学（「演習A」時に配付済み）
- 2) 『社会福祉援助技術実習の手引き（第2分冊）』東北福祉大学（「実習指導A」申込者に配付）
- 3) 『社会福祉援助技術実習 課題ノート』東北福祉大学（「実習指導A」申込者に配付）
- 4) 白澤政和・米本秀仁編『社会福祉士相談援助実習』中央法規出版、2009年

レポート課題

課題1～3ともすべて事前指導スクーリング受講前の決められた期限までに提出してください。

課題1	現場実習前段階で行った体験学習の報告「体験学習記録」を提出してください（体験学習免除希望者は、「体験学習記録」の代わりに「実績報告書」を提出してください）。
課題2	『社会福祉援助技術実習 課題ノート』（鉛筆書き）のp.7～14を完成させてください。あらゆる資料を活用して完成させてください。残りの箇所は、「社会福祉援助技術実習指導B」での課題となります。なお、スクーリング受講日（提出締切日）までに、実習先が決定していない場合は、p.8およびp.14は記載可能な箇所のみで構いません。次回の提出日までに完成させてください。
課題3	あなたはなぜ「社会福祉援助技術実習」を希望しましたか。また、実習で学びたいことは何ですか。目標や希望を具体的に述べてください。

各課題提出期限

課題1：「体験学習記録」または「実績報告書」を実習受講前年の9月末（「体験学習記録」は遅くとも10/20、「実績報告書」は遅くとも10/31）までに提出。（科目等履修生の方は入学許可後10日以内に提出）

課題2：「実習指導A」スクーリング受講日提出

※スクーリングでは、『社会福祉援助技術実習課題ノート』を使用して講義を行いますので、必ず持参してください。忘れた場合もしくは記載内容が不十分な場合（空白箇所がある等）は、スクーリング受講ができませんのでご注意ください。

課題3：実習受講前年の10/31必着（科目等履修生の方は入学年4/1必着）

※通常のレポート用紙で提出してください。手書き用・パソコン用どちらでも可。

実習指導 A スクーリング受講条件

「社会福祉援助技術実習」に同じ。

スクーリング申込方法

『With』（7～8月号を予定）巻末の「実習指導Aスクーリング受講申込用紙」を「実習希望届」に同封し、10/31（H25以降は9/15）必着でお申込みください。

スクーリング開講予定

スクーリングは毎年3月頃に行います。ただし、4月生休学明けの方、4月生科目等履修生として実習を行う方は4月上旬になります。

※開講日の詳細は『試験・スクーリング 情報ブック』を参照してください。

※実習を開始する方向けのスクーリングです。スクーリング受講前に実習先が決定しており、課題1～3について十分な時間をとって準備・事前に提出していただくことが必要です。

※実習受講判定が遅れたり、実習先が決まらないなどの理由により、希望の日程・会場でスクーリングが受講できないことがありますので、ご了承ください。

単位認定方法

スクーリング、レポート課題（1～3課題）の評価を総合して行います。

参考図書

- 1) 早坂聡久・増田公香・福祉臨床シリーズ編集委員会編『相談援助実習・相談援助実習指導——ソーシャルワーク現場実習・ソーシャルワーク実習指導』弘文堂、2009年
- 2) 川廷宗之・藤林慶子・高橋流里子著『相談援助実習（MINERVA 社会福祉士養成テキストブック）』ミネルヴァ書房、2009年
- 3) 日本社会福祉士会編『改訂 社会福祉士の倫理——倫理綱領実践ガイドブック』中央法規出版、2009年
- 4) 岡田まりほか編『ソーシャルワーク実習』有斐閣、2002年
- 5) 福山和女・米本秀仁編著『社会福祉援助技術現場実習指導・現場実習』ミネルヴァ書房、2001年
- 6) 宮本和明ほか編『五訂 社会福祉実習』中央法規出版、2007年
- 7) 岡本榮一ほか編『三訂 福祉実習ハンドブック』中央法規出版、2002年

- 8) 小木曾宏ほか編著『よくわかる社会福祉現場実習』明石書店、2005年
- 9) 吉澤英子ほか編著『社会福祉施設の理解を深めるために』樹村房、2006年
- 10) 各社発行の福祉小六法・社会福祉辞典
- 11) 東北福祉大学通信教育部『社会福祉援助技術実習の手引き【第2分冊】』中記載の
各参考文献

社会福祉援助技術実習指導 B

21～

科目コード●050191

 担当教員●阿部一彦・高橋誠一・田中治和・三浦剛・山川敏久・君島昌志
 中里仁・柿沼利弘・渡辺憲介・佐々木裕彦・千葉喜久也
 川口正義・小山剛・竹之内章代・佐藤博彦 ほか多数

2 単位

SR

4 年

 社会福祉
 選択

 21年度以降
 入学者

- ・平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方、福祉心理学科の方は、履修することはできません。
- ・「実習指導 B-1」「実習指導 B-2」「実習指導 B-3」に分割されており、すべてのスクーリングを同年度内に受講しなければなりません。同年度内に受講ができなかった場合は、「実習指導 B-1」からあらためての受講になります。
- ・「実習指導 B-1」は「演習 C-1」と、「実習指導 B-3」は「演習 C-2」と2日間連続でのスクーリング受講が必要となります。

※スクーリングを欠席された方は、「社会福祉援助技術実習」は受講できません。

※今後の実習受け入れ状況などにより、ここに記載の内容・日程を変更する場合があります。『実習の手引き』や『With』でご案内します。

科目の内容

社会福祉援助技術（相談援助）実習の意義について理解し、具体的かつ実践的な技術等を体得することを目的としています。

相談援助実習にかかわる個別指導ならびに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について、事例等を通じて具体的かつ実際に理解し、かつ実践的な技術等を学修します。社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得します。

具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を併せて修得することを目的とします。

スクーリング講義内容

(1) 「実習指導 B-1」(仙台開催のみ：4 コマ)

- 1) 相談援助に係る知識と技術に関する理解
- 2) プライバシー保護と守秘義務の理解
- 3) 実習記録の記録内容及び記録方法に関する理解

4) 実習計画書の作成指導①、実習直前ガイダンス

(2) 「実習指導B-2」(地域別開催：2コマ)

1) 実習計画書の作成指導②

2) 実習施設関連の基本的理解、社会資源の把握

(3) 「実習指導B-3」(地域別開催：4コマ)

1) 実習課題の整理①

2) 実習課題の整理②

3) 全体総括①

4) 全体総括②

以上を本講義の統一内容とし、それらを踏まえて担当教員がより個別的な内容の講義を行います。

教科書

この科目での教科書配本はありません

「実習指導A」と同じ。

レポート課題

課題1	実習計画書 実習機関に対応した実習計画書を作成してください。その場合、実習のねらい（この実習で学びたいこと、この実習先・種別を選んだ理由・動機、将来に向けての希望等を明確にすること。また、実習課題を明確にすること。（これまで「実習指導A」で学んだ利用者、業務、専門性などに関する課題） ※1 『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』巻末の「様式6-1～4」を使用すること。 ※2 必ず鉛筆書きで作成しコピーしたものを大学へ提出すること。原本は保管しておくこと。 ※3 返信用封筒を同封すること（定型なら90円切手貼付）。
課題2	実習計画書 「課題1」をより具体化させて、作成してください。その場合、実習を通して学びたいこと、学ぶための具体的な方法などを詳細に記載すること。 ※4 『社会福祉援助技術実習の手引き 第1分冊』巻末の「様式7-1～6」を使用すること。 ※5 課題1で作成した実習計画書を基にして作成すること。その際、教員や実習先による添削内容を参照し作成すること。
課題3	実習終了後に、実習で学んだ内容を分析・考察してください。単なる感想にならないよう注意してください。内容には、実習施設の概要、実習内容、実習課題の達成状況、今後の課題、全体のまとめは必ず記載してください。その他の項目を追加しても構いませんが、上記の項目は必ず含めるようにしてください。 ※6 「実習直前ガイダンス」(実習指導B-1スクーリング時開催：参加必須)に配付される提出用レポート表紙を使用して提出してください。

課題 4	完成させた『社会福祉援助技術実習 課題ノート』を提出してください。
課題 5 (科目等履修生として 実習受講者用追加課題)	利用者の権利擁護の重要性について、あなた自身の考えを、実習を行う前と実習終了後と比較しながら、具体的に述べてください。 (この課題は実習後に「演習 C」を受講しない、科目等履修生として実習を受講する方のみが提出する課題です) (担当：佐藤博彦)

アドバイス

主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。課題 1・課題 2 については、『社会福祉援助技術実習の手引き 第 2 分冊』を参考にしてください。ただし、計画案の丸写しは絶対しないでください（再提出になります）。

実習指導 B スクーリング受講条件

「実習指導 A」を受講済みであること。

スクーリング申込方法

※申込みに関するご案内および申込用紙の配付は、「実習指導 A」スクーリング時に行います。

※各課題の提出締切日は『試験・スクーリング 情報ブック』を参照してください。

「実習指導 B - 1」 申込締切：4 / 1

➡「演習 C - 1」とセットでの申込みおよび受講となります。

「実習指導 B - 2」 申込締切：4 / 1

「実習指導 B - 3」 申込締切：7 / 15 (9～10月受講者)、9 / 30 (11～12月受講者)

➡「演習 C - 2」とセットでの申込みおよび受講となります。

スクーリング開講予定

※詳細は『試験・スクーリング 情報ブック』を参照してください。

「実習指導 B - 1」(会場：仙台 開講時期：4～5月)

➡正科生の実習受講者は翌日の「演習 C - 1」とセットでの受講となります。

「実習指導 B - 2」(会場：各地 開講時期：6月)

「実習指導 B - 3」(会場：各地 開講時期：9～12月)

➡正科生の実習受講者は翌日の「演習 C - 2」とセットでの受講となります。

実習指導 A・B スクーリング受講料

「実習指導 A・B スクーリング受講料」は合計 2 万円となります。「実習指導 B - 1」許

可時に請求予定です。 納入期限は実習費（8万円）とともに5／10です。

単位認定通知

①レポート課題（1～4）＋②実習指導スクーリング（B－1、B－2、B－3）＋③実習＋④実習記録により評価を行います。単位認定通知は、実習指導B－3スクーリング受講後1カ月程度で書面にて通知します。

参考図書

「社会福祉援助技術実習指導 A」のp.151～152「参考図書」参照。

社会福祉援助技術実習

21～

科目コード●050907

 担当教員●阿部一彦・高橋誠一・田中治和・三浦剛・山川敏久・君島昌志
 中里仁・柿沼利弘・渡辺憲介・佐々木裕彦・千葉喜久也
 川口正義・小山剛・竹之内章代・佐藤博彦 ほか多数

4単位

実習科目

4年

 社会福祉
 選択

 21年度以降
 入学者

※平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方、福祉心理学科の方は、履修することはできません。

※今後の実習受け入れ状況などにより、ここに記載の内容・日程を変更する場合があります。『実習の手引き』や『With』でご案内します。

科目の内容

指定施設において、24日間以上かつ180時間以上の相談援助実習を行うものです。

社会福祉士の実践現場を理解し、総合的に対応できる能力を習得することを目的とします。また、利用者および関係者との円滑な人間関係形成・利用者理解とその需要の把握・利用者理解と支援計画の作成・利用者および関係者との援助関係の形成・利用者および関係者への権利擁護・利用者および関係者への支援（エンパワメント）・利用者および関係者への支援評価・多職種連携の意義と方法・チームアプローチの実際・実習機関での社会福祉士の役割について、経営サービス、管理運営の実際等を学びます。

教科書

「社会福祉援助技術実習指導A・B」に同じ

アドバイス

実習計画案作成にあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるように十分配慮してください。そして主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。

実習期間・時期・対象施設

◆実習期間

- (1) 24日間以上かつ180時間以上（両方の条件を満たすことが必要）
- (2) 実習時間は1日8時間程度（休憩時間を含まない）。
- (3) 分割して実習を行うことも、受入れ先、社会福祉援助実習指導教員および通信教育

部実習係の了解が得られれば可能です。1週間（5日間以上）×4回を最も細かい分割としますが、学習効果の観点から鑑みると2回までの分割を推奨いたします。

- (4) 実習時間の決定などにあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるように十分配慮してください。例えば、勤務などをしている方で、実習を6日間実施し、実習の休みの日に自身の職場で勤務することは認めていません。

◆実習時期

6月第4週～10月第2週＝前年10月末（H25以降9／15）締切申込で実習受講が認められた方

◆実習対象施設

- ・『学習の手引き』3章に記載の法令で定められた施設で、かつ次に該当する実習指導者がいる施設。

「社会福祉士の資格取得後3年以上相談援助業務に従事した経験のある者で、かつ厚生労働大臣が基準を定める実習指導者講習会を修了した者（公的機関における実習指導者については、当分の間、児童福祉司・身体障害者福祉司・知的障害者福祉司・福祉に関する事務所において社会福祉主事などとして8年以上相談業務に従事した者または「社会福祉士実習指導者講習会」を修了した者となります）」

※ただし、対象施設・事業であっても法令要件等により実習が認められない場合があります。

（平成23年4月以降入学者→東海・北陸・近畿地方以西の実習については要件に適合した実習先を各自で確保する必要があります。）

実習申込から卒業までの流れ

①10月末（H25以降9／15）までに実習申込 → ②2月～3月いずれかの「実習指導A」受講 → ③4～5月いずれかの「実習指導B－1」および「演習C－1」受講 → ④6月～7月いずれかの「実習指導B－2」受講 → ⑤6月第4週～10月第2週の期間に実習 → ⑥9月～12月いずれかの「実習指導B－3」および「演習C－2」受講 → ⑦3月卒業

（4年以上在籍者〔3年次編入学者は2年以上〕は、実習を6月第4週～8月上旬までに終え、9月の「実習指導B－3」および「演習C－2」を受講し、合格すれば9月卒業が可能）

受講条件・申込方法

申込締切日（10月末〔H25以降は9／15〕）までに条件を満たした上で、「社会福祉援助

技術実習希望届」等の必要書類を提出してください。

※受講条件および申込方法の詳細は、「演習A」スクーリングで配付の『社会福祉援助技術実習の手引き【第1分冊】』を参照。

※実習申込受理条件は、H25以降変更されます。実習申込年以外に「演習A・B」を受講した場合、最新の实習申込条件を『With』などでの案内により必ず確認してください。

単位認定通知

原則として、「社会福祉援助技術実習指導B」単位認定通知とあわせて、実習指導B－3スクーリング受講から1カ月程度で書面で通知します。

実習費

実習費（80,000円）は実習受講年の4月中旬に請求いたします。期限（5月10日）までにコンビニエンスストアでお支払いください。原則として、一旦納入した実習費は、返却できませんのでご注意ください。

実習費には、実習保険加入費、実習委託費（謝礼）、実習巡回指導費（1回分、下記も参照）、帰校指導費、諸手続き費などが含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その部分を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

巡回指導・帰校指導について

実習中、1週間に1回（実習期間中計4回）巡回指導または帰校指導を受講することが必要です。帰校指導日の開講要領や留意点は、以下のとおりです。

- 1）帰校指導の実施時間は80分以内。原則として、土曜日の10：30～11：50で行います（予定日の午前に科目修了試験が実施される場合は13：30～14：50になります）。
- 2）会場は個別に通知します。
- 3）福島または郡山、宇都宮または水戸、新潟または長岡は同一週では一会場でのみ実施予定です。受講者数の分布でどちらで何回開講するかを決定します。
- 4）帰校指導受講者が1名の会場は本学負担の巡回指導に変更する場合があります。
- 5）帰校指導においては、守秘義務の範囲内で担当教員および他の受講生の前で各自の実習内容の報告を行っていただく予定です。
- 6）実習期間中、2週めに巡回指導が入れば、1週め、3週め、4週めの土曜日（または日曜日）に帰校指導を受けていただきます（巡回指導が入らない週の週末に帰校指導）。
- 7）帰校指導費は無料です。
- 8）帰校指導日に受講できない場合は、その分は巡回指導となり、1回につき15,000円の巡回指導費が必要になります（実習期間終了後にまとめて請求します）。

【インフルエンザ、麻疹（はしか）などの感染症対策について

『社会福祉援助技術実習の手引き』【第 1 分冊】(「社会福祉援助技術演習 A」受講者に配付)、および心理・教職編 p .172～173 参照。

社会福祉士指定科目 B ほか

平成20年度以前入学者向け科目

この部に記載の科目は社会福祉士国家試験受験資格指定科目で、平成20年度以前入学者が履修すべき一部の科目が掲載されています。福祉施設管理論、福祉計画法は指定科目ではありませんが、国家試験の出題科目ですので、学習されることをおすすめします。

平成21年度以降入学者と共通の指定科目は、前の部をご覧ください。

平成20年度以前入学者の社会福祉士指定科目一覧は p .61 をご覧ください。

また、平成20年度以前入学者の科目と、平成21年度以降入学者の科目の対照表は下記をご覧ください。

平成20年度以前入学者のみが履修できる科目

科目コード	科目名	新カリキュラムにおける対応科目
050102	福祉法学（4単位）	福祉法学（2単位）＋更生保護制度論
050106	医学一般（4単位）	医学一般（2単位）＋保健医療サービス論
050116	児童福祉論	児童・家庭福祉論
050117	高齢者福祉論（4単位）	高齢者福祉論（2単位）＋介護概論（2単位）
050120	介護概論（4単位）	—
050123	福祉計画法	福祉行財政と福祉計画
050125	福祉施設管理論	福祉経営論
050126	社会福祉援助技術論Ⅰ	—
050127	社会福祉援助技術論Ⅱ	社会調査の基礎
050128	社会福祉援助技術論Ⅲ	—
050129	社会福祉援助技術論Ⅳ	—
050130	社会福祉援助技術演習Ⅰ	社会福祉援助技術演習 A
050131	社会福祉援助技術演習Ⅱ	社会福祉援助技術演習 B
050132	社会福祉援助技術現場実習指導	社会福祉援助技術実習指導 A・B
050901	社会福祉援助技術現場実習	社会福祉援助技術実習

福祉法学 ～20◆

科目コード●050102

担当教員●志田民吉(左)
菅原好秀(右)



4 単位 | R or SR | 1 年以上



※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方の「福祉法学（2単位）」は p.70をご覧ください。

科目の内容

福祉法学の科目は、科目名称の示すように社会福祉の仕事を行うにあたって必要とされる法学的な知識を、概括的に学ぶことを目的として設置されたものです。社会福祉の仕事を行う場合には、まず社会の一般市民としての部分を基礎に、社会福祉の部分の積み上げられた内容であることが求められます。法とは何か、それを理解する歴史的な知識、現行法令としての基本法（憲法、民法、行政法）、社会福祉サービス事業を行うに際しての最低限の知的情報（権利擁護制度、成年後見制度）などが、この福祉法学の科目における講義内容です。

教科書

渡辺信英著『更生保護制度』南窓社、2011年

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度（第3版）』中央法規出版、2012年

（平成23年度以前履修登録者）2012年4月より教科書が一部変更になりました。以前の教科書にもとづいてのレポート作成は可能ですが、スクーリング受講時には新しい教科書の所持が必要となります。

レポート課題

1 単位め	日本国憲法の基本原理の基本的な人権と国民主権について述べなさい。
2 単位め	地方自治体とは何か、また地方自治体の存在意味はどんなところにあると考えるか。
3 単位め	不法行為とは何か、福祉施設長の責任についても言及しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

4 単位め

行政救済について述べなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

アドバイス

1単位め
解説

この設題は日本国憲法とは何かを説明する際の最も大切な部分に関係します。

2単位め
解説

憲法第92条以下に「地方自治」の章が規定されています。公の存在としては地方自治体の他に国などがありますが、国という団体の他に地方自治体という団体が何故に必要とされるのか、憲法に規定する意味は何処にあるのかを考えてまとめてください。

3単位め
解説

不法行為は民法第709条以下に規定されています。私たちの社会は高速度交通機関などの発達が示すように、不慮の事故の生じる可能性は日々高まっています。日常生活において、契約制度と同様に不法行為の領域が重要になってくる所以でもあります。社会福祉の仕事は、社会福祉法人による事業経営に代表されるように、社会福祉のサービスを提供する組織や団体には、そこで供給される諸サービスに関し責任を負う責任者の存在があります。民法第715条（使用者責任）など不法行為として規定されている条文を読み、課題についてまとめてください。事例などもまじえて考え、レポートを作成するとまとめやすいでしょう。

4単位め
解説

主として行政の仕事は、市民の生活に係わった内容です。制度上、行政の仕事は公益性が求められるが、公益性のために市民の個人の財産やその他の利益が不利益を被ることは、場合によっては避けられないことです。一方において、公益性を確保するために個人の財産や諸利益を当然に犠牲としてもよいということにも、また合理性があるとはいえません。個人財産の保障は憲法の規定するところですが、このようにところを基本的理解として持ちながら、法は行政によって公益を目指す場合、あるいは目指した場合、市民の財産権などの諸利益の保障には、どのような配慮をしているのかに視点を当て、レポートをまとめるとよいでしょう。

参考図書

- 1) 志田民吉編著『法学』（第3版）建帛社、2007年（〔第3版〕でなくても可）
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度（第2版）』中央法規出版、2010年
- 3) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2010年

この科目のスクーリングは新カリキュラム「福祉法学」「更生保護制度論」との合併授業のため、スクーリング試験は6コマめと最終コマに2回行われる予定です。

医学一般 ～20◆

科目コード●050106

担当教員● 柏木 誠 (左)
澤田 悦子 (右)



4 単位 | **R or SR** | 2 年以上

社会福祉
必修

20年度以前
入学者

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方の「医学一般（2単位）」は p.103をご覧ください。

科目の内容

日本人の三大死因は、食生活や運動、嗜好など、日常生活上の不健康な生活習慣の積み重ねによる生活習慣病と深くかかわっています。また、老化に伴う様々な体の変化は、疾病を生じやすくします。

社会福祉に従事する人にとって、医療の基礎的な知識を持つことは不可欠ですが、私たちがより健康的に生活する上でも、人体や老化、疾病などについて理解することは大切です。

本科目では、基本的な人体の構造と機能を理解した上で、直面する頻度の高い障害や疾病について医学的に理解します。さらに、予防対策や行政の取り組みなど、医療にかかわる広範囲な内容を、「医学一般」として学びます。

単位修得、国家試験や仕事のためだけではなく、学んだ知識を日々の生活に生かす、生きた勉強を心がけてください。

教科書

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病（第2版）』中央法規出版、2011年（第2版でなくても可）
 - 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座17 保健医療サービス（第2版）』中央法規出版、2010年
- （平成22年度以前履修登録者）2011年4月より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題 すべて【説明型レポート】（各200字以上400字以内）

※ p.165～166記載の注意(1)～(5)をよく読んでください。

1 単位め	① 老化について説明せよ。生理機能の低下と関連させて記述しておくこと。 ② 老年症候群について説明せよ。 ③ 高齢者が脱水症状になりやすい理由を述べよ。 ④ 免疫について説明せよ。白血球の働きと関連させて記述すること。 ⑤ 腎臓の働きについて説明せよ。
2 単位め	① 認知症の定義と症状、および、認知症の原因疾患について説明せよ。 ② 高齢者がかかりやすい精神疾患および、神経疾患について述べよ。とくに、介護保険の特定疾病に指定されている疾患については、説明を加えておくこと。(認知症の説明は、省いて良い。) ③ 生活習慣病の定義を述べよ。 主な生活習慣病を挙げ、生活習慣と関連させて、説明せよ。とくに、三大生活習慣病(三大死因とほぼ同じ)については、重要な疾患名を含めて、詳しく説明せよ。 ④ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)について説明せよ。代謝異常との関連を記述しておくこと。また、特定検診の必要性についても考察しておくこと。
3 単位め	① 慢性腎臓病(CKD)について説明せよ。また、CKDと、高血圧や糖尿病との関連について考察せよ。 ② 高次脳機能とは何か。また、高次脳機能障害、およびその原因について説明せよ。 ③ 高齢者に多い疾患を挙げ、簡単に説明せよ。(生活習慣病や、精神・神経疾患と重複する疾患については、疾患名だけでよい。) ④ 廃用症候群の定義を述べよ。また、廃用症候群を起こしやすい身体諸器官を挙げよ。 ⑤ 高齢者が寝たきりになる原因について考えよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可
4 単位め	① 内部障害について説明せよ。難病における特定疾患と関連させて説明しておくこと。 ② リハビリテーション医療について述べよ。 ③ 日常生活動作(ADL)の語句を、簡単に説明せよ。 ④ 介護保険の第2号被保険者および、特定疾病について説明せよ。(すでに他の課題で説明している疾患については、疾患名を挙げるだけで良い。) ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

注意 (1) 各問に対して、200字以上400字をめやすに、単位毎に、1,500字以上2,000字以内になるように、簡潔明瞭にまとめてください。

(2) 教科書や文献をそのまま写すのではなく、自分自身の文章でまとめなおしてください。

(3) 解答として何が求められているのかを考えて、求められた解答を記述することが大切です。理由を問われたら、「～だから」など、理由がわかる答え方をしてください。「語句の説明」とは、その「語句を含む文」を書くのではなく、語句の意味を説明をしてください。

- (4) 年度により問題が異なり、また問題文も長いので、レポート用紙の「課題」欄には、「2012年の問題に解答する」のように、課題の年度のみを記入してください。「解答欄」には、問題の番号のみを記入し、問題文は記入しないでください。

- (5) 解答欄に、不必要に大きな余白はとらないでください。

(平成22年度以前履修登録者) 2010年、および2011年4月にレポート課題が変更されています。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年9月で受付を締め切りしました。『レポート課題集2010』記載の課題は2012年9月まで提出できます。

アドバイス

「医学一般」では、疾病や障害についての基本的な理解をします。

慢性期や終末期の医療は、医療関係職種と、福祉関係職種とのチームアプローチによって、在宅で展開されることが多くなってきています。特に、福祉関係職種に従事することを目指している者は、利用者の医療と一緒に考えることができるように心がけて学んでください。

テキストを、まず一通り読んで、全体的に理解してから課題に取り組んでください。同じ疾病が何か所かに分かれて記載されていることがあります。総合的に関連づけられるような学び方が大切です。

社会福祉士の国家試験では、2007年版の教科書に説明されていない疾病や治療法なども出題されています。参考文献など、他の文献も参考にして学んでください。

医療制度や介護保険制度、障害者福祉制度など、改正されることが多い制度については、新聞などのニュースに注意して、ふだんから学ぶ姿勢を心がけていてください。新型インフルエンザやロコモティブシンドロームなど、最近話題になることの多い疾患にも、関心を持って生活してください。

2007年版以前の教科書には、内部障害についての説明や、慢性腎臓病（CKD）の記載がありませんので、他の文献や、インターネットで調べておいてください。

1単位め 解説

人体の構造と機能は、老化や疾病を理解するための基礎知識として重要です。課題にないところも熟読しておいてください。教科書で不十分と感じたら、高校の教科書を復習したり、他の文献で調べたりすることをお勧めします。老化について学ぶことは、高齢者の病気や病気予防を理解することにつながります。

2単位め 解説

日本人の三大死因は、生活習慣と密接にかかわっています。悪しき生活習慣について認識することで、自らの生活を見つめ直すことも大切です。

3単位め
解説

高齢者に多い疾患や、特定疾患（難病）、特定疾病（介護保険）について理解してください。疾病名だけでなく、病理・病態や、治療法を調べて、理解を深めておいてください。若い人でも、疾病や運動機能障害などにより体を使わないでいると、筋肉が細くなったり、骨がもろくなったりします。高齢者では、簡単なぎっかけで、廃用症候群になったり、寝たきりになったりすることを理解し、予防について考えてください。

4単位め
解説

リハビリテーションは、QOLの向上をめざし、積極的な人生を歩めるようにする医学的なプロセスです。ここでは、リハビリテーションについて理解し、障害を招かないための予防の意味も考えます。課題にはありませんが、身体障害者福祉法に関連する疾病についても調べておいてください。なお、2010年4月から、内部障害に肝臓機能障害が加わりました。

参考図書

社会福祉士養成講座編集委員会編『医学一般』中央法規出版、2007年
福祉臨床シリーズ編集委員会編『人体の構造と機能及び疾病』弘文堂、2008年
別冊 NHK 今日健康シリーズ（『認知症』、『メタボリックシンドローム』、『うつ病』、『高血圧』など）

人体の基礎知識の参考図書としては、下記のものがあります。

貴邑富久子ほか著『シンプル生理学』南江堂、2008年
黒澤美枝子ほか編著『生理学』（コメディカルのための専門基礎分野テキスト）中外医学社、2012年
中野昭一編『図説 ヒトのからだ』医歯薬出版、2001年

スクーリング受講者へのご注意

この科目のスクーリング（12コマ）は、平成22年度より、新カリキュラム「医学一般」（6コマ）「保健医療サービス論」（6コマ）との合併授業を行います。「保健医療サービス論」部分は山本邦男先生が担当します。また、スクーリング受講者は「保健医療サービス論」の教科書を各自購入しておいてください。

高齢者福祉論

～20◆

科目コード●050117

担当教員●中里 仁(左)・後藤美恵子(右)
小森 弘道(関東スクーリング)



4 単位

R or SR

1 年以上

社会福祉
選択

20年度以前
入学者

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方の「高齢者福祉論（2単位）」は p.75をご覧ください。

※21年度以降に開講される高齢者福祉論スクーリングでは、7～12コマめの講義内容が20年度以前の介護概論のスクーリングと重複する可能性がありますので、ご了承ください。

科目の内容

高齢者福祉の理念および目的について学習し、あわせて現行の高齢者福祉施策の体系の全般的理解とその課題について考察します。具体的な内容は、次の通りです。

- (1) 高齢者の特性について理解する。
- (2) 少子高齢化と高齢者を取り巻く諸問題について学習する。
- (3) 高齢者保険福祉の発展と体系について学習する。
- (4) 高齢者支援の関係法規について学習する。
- (5) 介護保険制度の基本的枠組みを理解する。
- (6) 介護保険制度の仕組みとサービスの体系を理解する。
- (7) 高齢者を支援する組織と役割について学習する。
- (8) 高齢者支援の方法と実際、専門職の役割を理解する。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度（第3版）』中央法規出版、2012年（第3版でなくても可）
（平成23年度以前履修登録者）2012年4月より、上記教科書に変更になりました。レポート課題の変更はありません。以前の教科書にもとづいてのレポート作成やスクーリングの受講は可能です。

レポート課題

1 単位め	“高齢社会とは何か”“高齢者（老人）とは何か”について自らの体験等に基づいて、見解を述べなさい。
2 単位め	高齢者福祉の成立要因について、具体的事例等をあげながら論述しなさい。
3 単位め	戦後の高齢者福祉施策の体系について時系列で整理し、その課題について論述しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可
4 単位め	介護保険制度の概要について整理し、その課題について具体例をあげながら論述しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

アドバイス

「高齢者福祉論」の学習は、全般的には高齢者福祉施策の体系に関する知識的理解が中心となりますが、最終的には履修者各自の高齢者観（像）の再考と“古い”＝生きることへの価値観を涵養することにつきます。したがって、「高齢者福祉論」を履修される方は、単なる知識的理解に留まることなく（これも大切な学習ですが……）、常に自らの人生経験と絡め、考察し続けながら学習をしてください。

なお、レポートに要求する内容を考えると、**1単位につき1,800字以上で**まとめてくださることを希望します。1,800字未満では再提出になる可能性が高くなります。

1単位め 解説

そもそも“高齢者”“老人”とは何かを、各自もう一度自分と関連させながら考えてください。人間は何歳から《老人》になるのか、いつから《大人》になるのか、そしていつ《子ども》であることを卒業（？）するのか。借り物の知識ではなく、自らのまた身近な方の例をあげながら述べてみてください。そして、「あなたは年齢を重ねた時、“高齢者”と呼ばれたいですか、それとも“老人”ですか」。レポート作成過程で自らの“高齢者”観が確認できればよいのですが……。

2単位め 解説

高齢者福祉の成立は、単なる高齢者（老人）の増加ではありません。単純に高齢者問題と呼ぶこと自体が問題でもあります。むしろ高齢者を取り囲む状況・環境の方に問題があるのではないかという視点から考えてみてはどうでしょうか……。女性の生き方の変化に注目して、多角的に考えてみてください。

3単位め
解説

戦後の高齢者福祉施策の体系について、時系列で整理してください。また各自の常識的視点からで結構ですから、批判的に高齢者に係わる在宅そして施設福祉サービス等の課題（問題）について述べてみてください。

4単位め
解説

介護保険制度の施行は、従前の老人福祉のあり方を、根本から変更したといえます。これからの高齢者福祉分野で具体的な活動を行う方は、介護保険制度を熟知する必要があります。そこで、教科書、および各自の在住する自治体の介護保険制度に関するパンフレット等を参照しながら、概要をまとめてみてください。また、各自の体験、身近な方（できれば高齢者）の意見を聞きながら、課題（問題）について述べてみてください。

参考図書

二瓶貴子著『施設に暮らしを』筒井書房、2009年

千葉喜久也・中里仁著『高齢者福祉論——利用者主体の支援をめざして』中央法規出版、2007年

児童福祉論

～20◆

科目コード●050116

担当教員●千葉喜久也（左）・君島昌志（右）
渡邊憲介（札幌スクーリング）



4 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
選択

20年度以前
入学者

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は履修することはできません。

※この科目は、「児童・家庭福祉論」と同じ内容です。科目内容・レポート課題等は p.80～82「児童・家庭福祉論」、および p.83補足資料を参照してください。

介護概論

~20◆

科目コード●050120

担当教員●後藤美恵子



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B20年度以前
入学者20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方の「介護概論（2単位）」は p.77をご覧ください。

※21年度以降に開講されている高齢者福祉論スクーリングの7～12コマめの講義内容は、20年度以前の介護概論のスクーリングと一部重複しますので、ご了承ください。

※この科目は平成22年度より履修方法が「R」となりました。

科目の内容

要介護者の生活支援においては、その援助に医療、保健、福祉などの分野が包括的に関わってきます。本講では、まず、要介護者に対する介護とはどのようなものなのかを理解するために、前半では、要介護者理解のための福祉的援助の考え方や基本的知識を学習します。これを踏まえて、後半では、生活援助を展開する上で必要となってくる専門的知識や方法論の概説、ならびにその実際を取り上げるにより、生活支援技術の基礎理論を習得することを目的とします。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座14 介護概論（第4版）』中央法規出版、2008年

レポート課題

1 単位め

介護の概念を捉えた上で、介護の神髄と職業倫理についてを介護の社会的動向と関連づけながら、具体的に論述しなさい。

2 単位め

要介護者の自立や自己実現を達成し、QOLを向上させるために必要な関連職種の連携のあり方についてまとめた上で、さらに連携がもたらす効果について論述しなさい。

3 単位め	要介護者の生活援助を展開する上での基本的な介護技術をまとめなさい。その上で、要介護者がその人らしく生活することの意義を考え、さらにそれを可能にするために専門職者としてのあり方について具体的に論述しなさい。
4 単位め	① 認知症高齢者の状態像についてまとめ、周辺症状（行動障害）への対応方法も含め、専門職に求められる認知症介護のあり方について論述しなさい。 ② 生活の質としてのターミナルケアを実践していく上での考え方と、具体的な援助方法について論述しなさい。（①②の両方について解答すること）

アドバイス

本科目では、要介護者の生活援助をする上での知識や、その背景にある理念、概念を習得することにより、要介護者への福祉的援助を行う者としての基盤を構築することを学習の目的としています。目的を達成するためには、テキストや資料を熟読し、その内容をまとめるという作業が求められます。さらに、学習を展開させる過程においては、必要な情報を、資料や文献から検索する力やそれらをまとめて自身の考えを論述する（総括・考察）力も求められてきます。本科目では、そのような体系的な学習法を習得するために、レポート課題は以下のように段階的に展開する形に構成しています。

まず、①各単位において必修すべき内容（理念や概念的内容）を、テキストを参考にし、要約することを行います。その上で、②その内容を福祉実践に生かすための具体的な知識や技能、考え方、また、現状などをテキストや他の資料などを基に調べたり、考えたりし、最後に、③各単位で示す課題に対して考察を行い論述していただきます。

本課題を考察するに当たっては、介護に関する社会的動向や問題に注目したり、インターネットを利用して情報を収集するなど、常に最新の福祉情報を得よう心掛けて下さい。そのような過程を基に、広い視野で学習展開をされることを期待します。

1単位め解説 介護の本質をどのように捉えるか、といった「介護観」について考えることが核となります。序章から第1章をよく読み、介護の概念を専門的視点から簡潔にまとめ、さらには専門職に求められる介護の神髄と職業倫理についてを具体的な社会の動向と関連づけながら論述してください。

2単位め解説 要介護者のニーズに応じた質の高い介護（生活支援）を提供するための「関連職種の連携」について、テキスト第3章をよく読み、「保健・医療・福祉の連携」「利用者主体の連携」を中心に簡潔にまとめ、連携が要介護者の自立や自

己実現、更には QOL に、どのように影響や効果をもたらすのか、その重要性について、自身の考えを論述してください。

3単位め 解説

専門職として、介護（生活支援）を展開する上での基本的な専門技術を第 4 章を中心に、理論的根拠を踏まえた上で簡潔にまとめてください。ここでは「介護」とは、直接援助のみならず、間接援助であるコミュニケーションや生活環境等も含まれることを理解しておいてください。専門職としての介護のあり方も介護保険制度の導入と共に変化しています。介護保険の基本理念である「利用者本位」「自立支援」を適切に具現化する上での「その人らしい生活」の意義について自身の考えを述べ、基本的な専門技術の個別展開のあり方について論述してください。

4単位め 解説

① 高齢社会と共に認知症高齢者が増加し、認知症介護についてはゴールドプラン21に基づいて国レベルで取り組まれています。これまで「問題行動」と言われてきた周辺症状も近年では「行動障害」と呼ばれるようになり、さらに「BPSD」という新たな概念が出てきました。ここでは、新たな介護の専門性を押さえる意味で、第 5 章 2 節を中心に「認知症高齢者とは」といった状態像をまとめ、認知症高齢者に対する適切な生活援助を展開する上での介護のあり方について、周辺症状（行動障害）への対応を含めて論述してください。

※ 「痴呆」という用語は、侮辱的な表現である上に、「痴呆」の実態を正確に表しておらず、早期発見・早期診断等の取り組みの支障となっていることから、平成16年12月24日「痴呆」に替わる用語に関する検討会報告書が厚生労働省より出され、「認知症」という用語に呼び替えることになりました。

「認知症」への変更にあたっては、単に用語を変更することが目的ではなく、「認知症」に対する誤解や偏見の解消等という点からも正しい理解を深めてください。

② 生活援助におけるターミナルケアのあり方を、生活（命）の質を重視した「ホスピスケア」の視点から捉え第 5 章 3 節を中心に要約し、生活支援の視点においてターミナルケアを実践していく上での自身の考え方を述べ、具体的な援助方法について論述してください。

参考図書

大島侑監 杉本敏夫・島津淳編著『介護福祉論』ミネルヴァ書房、2002年

太田和雄編著『ターミナル・ケアの実践』先端医学社、1996年

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度』中央法規出版、2009年

介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本Ⅰ』中央法規出版、2009年

介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ』中央法規出版、2009年

本間 昭編『介護福祉士養成テキストブック11 認知症の理解』ミネルヴァ書房、2009年

柴田範子編『介護福祉士養成テキストブック 6 生活支援技術Ⅰ』ミネルヴァ書房、2009年

柴田範子編『介護福祉士養成テキストブック 7 生活支援技術Ⅱ』ミネルヴァ書房、2009年

福祉計画法

~20◆

科目コード●050123

担当教員●中里 仁(左)
都築 光一(右)

2 単位

R or SR

2 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B20年度以前
入学者20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度に入
学した方は履修することはできません

科目の内容

社会福祉の計画は、国、都道府県、市町村などのほかに社会福祉協議会という民間の福
祉団体が計画の主体として取り組んでいます。そして、平成15年4月からは市町村が計
画の主体となり地域福祉計画が施行されることになっています。

こうした計画のもつ意義を理解するとともに、ただ教科書を学ぶだけではなく、自ら住
むまちの総合計画や福祉計画を具体的に知り、検討を加えることが大切です。今、自分の
住んでいるまちでどのような計画のもとに施策が進められているか知っていますか。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座10 福祉行財政と福祉計画
(第3版)』中央法規出版、2012年(第3版でなくても可)

(平成23年度以前履修登録者) 2012年4月より上記第3版の教科書に変更されています。
以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め

次の課題のなかから **1 題を選び**、論述せよ。

- ① 福祉計画の概要について述べよ。
- ② 福祉計画の目的・意義について述べよ。
- ③ 地域福祉計画のねらいと特性について述べよ。

2 単位め

次の課題のなかから **1 題を選び**、論述せよ。

- ① 福祉計画におけるニーズ把握について、その概念・類型・技法について述べよ。
- ② 福祉計画における評価技法と実際、その課題について述べよ。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

(平成22年度以前履修登録者) 2011年 4 月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2010』記載の課題は2012年 9 月まで提出できます。

アドバイス

レポート課題は教科書の演習問題であり、しっかりと読めばレポートはそんなにむずかしいものではありません。ここで大切なことは、教科書を一般論として理解するとともに、いちばん身近な自分が住んでいるまちの総合計画や福祉計画に触れてみることです。

今日、計画を入手するためには役所を訪ね、購入するのが一般的ですが、計画書を手元に教科書を読めば、より具体的に計画法が理解できると思います。それよりも何よりも自分が毎日生活している場への理解と問題点を見つけることができれば批判もできることになり、自分の住んでいるまちを良くしていくための方策を考えながらレポートに取り組む姿勢も大切です。

参考図書

都築光一著『新しい地域福祉推進の理論と実際』中央法規出版、2007年

この科目は平成22年度から「RorSR」科目に変更され、新カリキュラム「福祉行財政と福祉計画」との合併授業でスクーリングを開講いたします。

福祉施設管理論

~20◆

科目コード●050125

担当教員●高橋 誠一



4 単位

R or SR

3 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択 B福祉心理
選択 B20年度以前
入学者20年度以前
入学者

この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※この科目の長岡・新潟でのスクーリングは小山 剛先生にご担当いただきます。

科目の内容

社会福祉法人は社会福祉の中心的な担い手として、これまで以上の役割を期待されています。日本の社会にも、近年さまざまな格差が生まれるようになり、低所得者の社会問題など、これまでの社会福祉法人の取り組みがますます必要になる状況にあります。

しかし一方で、これまで社会福祉事業を中心とした福祉分野は、利用者を中心とした福祉サービスへとその提供のあり方が大きく変わってきました。その背景には、地域生活支援・自立生活支援ニーズが高まり、従来の福祉援助の仕組みでは対応が困難になってきたことがあげられます。その結果、福祉サービスの特質に配慮しながらも、増大する福祉サービスのニーズに応えるために、特定非営利活動法人（NPO）、民間企業、医療法人などさまざまな法人が事業所を運営して福祉サービスを提供できるように規制が緩和されてきました。

この科目では、社会福祉法人の福祉サービス経営について学んでいきますが、福祉サービス提供組織の多様性も念頭に入れ、共通する内容に重点を置きます。福祉サービス提供組織の存在理由は、利用者へのサービス提供にあります。利用者を中心とした福祉サービスは、利用者のニーズを理解し、本人や家族、地域の住民と協力して提供していくことが多いので、画一的ではない柔軟なサービス提供が求められます。経営者や管理者は、小規模な事業所以外では、直接利用者にサービスを提供することは多くありませんが、生活支援や介護、相談援助を行う職員を通して利用者に貢献しています。ですから、経営者や管理者は職員が働きやすい環境を作り、人材を育成し、必要な資源や組織環境を整えることが重要な仕事になります。そのためには、利用者中心の理念を明確にし、組織的な事業経営に取り組む必要があります。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座11 福祉サービスの組織と経営（第3版）』中央法規出版、2012年（第3版でなくても可）
（平成23年度以前履修登録者）2012年4月より教科書が一部変更になりましたが、以前の教科書にもとづいてのレポート提出は可能です。

レポート課題

1 単位め	福祉サービスにおける社会福祉法人の特質と役割を説明せよ。
2 単位め	利用者中心の福祉サービスの提供を実現するために必要と考えられることを述べよ。
3 単位め	職員が働きやすい事業所の運営について説明せよ。
4 単位め	福祉サービスの質の改善方法について述べよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より、1～4単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年9月で受付を締め切りました。

アドバイス

1単位め 解説

多様な法人が福祉サービスを提供していますが、社会福祉法人は社会福祉事業を担う特別法人として設立を認められた法人です。そのため厳しい規制を受けますが、他の法人では認められない福祉サービスの提供を行うことができます。社会福祉法を読み返して、社会福祉全体の中で、社会福祉法人の役割について考えてください。

2単位め 解説

利用者中心の福祉サービスとは何かを考えてください。利用者中心は利用者本位、利用者主体と呼ばれることもあります。利用者中心の福祉サービスを考えるために、そうではない場合、すなわち提供者中心の福祉サービスを考え、対比すると、はっきりすると思います。一般のサービスでは、消費者主権という言葉が使われますが、これは利用者中心と同じでしょうか。ここでは、直接サービスを提供する職員の立場だけでなく、福祉サービス提供組織の経営者の立場からも考えてください。どのような理念や事業経営が必要になるのでしょうか。

**3単位め
解説**

職員が働きやすいとはどういうことでしょうか。職員の能力を発揮できる、やりがいを持てる、必要なスキルを身につけることができる、仕事を通して自分自身が成長できるということがあるでしょう。チームの一員として自分の役割を果たせることもあるでしょう。なによりも、利用者が必要とし、役立つ支援をできることが働きやすい職場となると思います。そのためには、経営者や管理者はどのように職員を支援していけばよいでしょうか。また、賃金やキャリアアップの仕組みがはっきりしていることなども重要です。

**4単位め
解説**

福祉サービスの質は、「言うは易く行うは難し」といえるでしょう。外部の評価としては第三者評価や認証制度があります。事業所自身が、自己評価に取り組むこともあります。このように定期的に、サービスの質を評価し改善に取り組むこともありますが、苦情やサービスの問題を自ら認識して、それに組織的に取り組むこともあります。サービスの質は、利用者の評価にも反映されます。このように福祉サービスの質は、多面的ですが、よりよいサービスを提供することは福祉サービス提供組織の使命と言えるでしょう。

参考文献

教科書の文献欄をご覧ください。

社会福祉援助技術論Ⅰ(ケースワーク)

~20◆

科目コード●050126

担当教員●山川敏久(左)
山本邦男(右)



2単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

20年度以前
入学者

20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度に入
学した方は履修することはできません。

科目の内容

人間一人一人の性格が異なるように、福祉の援助を必要とし、サービスを利用しようと
する人々の暮らしも当然のことながら個別的であり、多様な生活課題を抱えています。

「社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ」では、そのような多様な生活課題をかかえている人に対
して、相談支援活動を中心に、課題を解決し、自立を促進するための社会福祉援助（ソー
シャルワーク）の技術を学びます。

「社会福祉援助技術論Ⅰ」では、まず社会福祉援助活動の基本的枠組み（教科書Ⅰ p.24
～29の「4つの総体」や p.29～32の「10のP＝基本的構成要素」）を理解しておく必要が
あります。また、専門職として援助活動を遂行する際の倫理、原則（人権尊重・権利擁護・
自立支援など）を教科書Ⅰ p.36～41にあげられた事例などを通して理解していただくこ
とが必要です。さらに、社会福祉援助技術は、大別すると「直接援助技術」と「間接援助
技術」、その他の関連援助技術に分けられます（教科書Ⅰ p.140～157）が、そのような体
系を学んだ上で、社会福祉援助技術の共通課題である契約・介入・面接・記録・評価、スー
パービジョンなどの意義と方法についても知っておく必要があります。これらの内容につ
いては、「社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ」の学習を通じて、深く身につけていただくことが
必要です。

それらの理解を前提に「社会福祉援助技術論Ⅰ」では、直接援助技術のなかの「個別援
助技術（ケースワーク）」を学んでいただきます。

ケースワーク（個別援助技術）は、社会福祉援助（ソーシャルワーク）技術各論のなか
でも、特に援助を必要としている人を価値ある固有の存在としてとらえ、定義し体系化さ
れてきました（教科書『社会福祉援助技術論Ⅰ』 p.149、『社会福祉援助技術論Ⅱ』 p.40）。

本科目では、ケースワーク発展の歴史を通して、個別援助技術が生活上のニーズや全体
性にどのようにかかわっているのか考察し、援助の具体的な展開過程（『社会福祉援助技

術論Ⅱ』p.40～66)を学習します。同時にかけがえのない個人としての人間にかかわる上で必要なケースワークの基本原理や価値、自覚しなければならない基本的態度(『社会福祉援助技術論Ⅰ』p.192)など方法と技術について学びます。

本科目では、ケースワークが実践的に展開されている医療機関や類似の援助技術体系として導入が試みられているケアマネジメントの具体的事例を通し、各種社会資源、関連機関との連携の実際を考察しながら「個別的援助技術」のもつ特性と意義について学びます。

教科書 (社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ共通)

- 1) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ (第3版)』中央法規出版、2006年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ (第4版)』中央法規出版、2007年

レポート課題

1 単位め	個別援助技術（ケースワーク）における医学モデル（診断主義）から生活モデルへの発展過程について述べよ。
2 単位め	【説明型レポート】 下記について各々400字以上（合計2,192以内）で簡潔に説明して下さい。 ① エンパワメントの定義と意義について ② 問題解決モデルについて ③ バイステックの7原則について ④ 個別援助技術の展開過程について ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1単位め
解説

ケースワーク（個別援助技術）は、社会福祉の目的を達成する手段として体系化され、ソーシャルワーカーがもっとも頻繁に用いる技術です。それは産業革命後のイギリス社会からアメリカへと移り発展してきました。（社会福祉援助技術論Ⅰ p.80）特に「ケースワークの母」と呼ばれるリッチモンドの伝統的なケースワーク論から今日の社会経済の発展と人間生活の拡大に伴う生活問題へのアプローチには、医学モデル（診断派）から生活モデルへの歴史的な変遷がみられます。（社会福祉援助技術論Ⅰ p.84～91、p.238～241・Ⅱ p.40～43）テキストを熟読してケースワークの診断主義と機能主義、折衷主義を通して、医学モデルから生活モデルへの発展過程をまとめてください。（社会福祉援助技術論Ⅰ p.88～p.91、p.96～130）また、その時々理論的支

柱となった人物にも触れてください。

2単位め
解説

教科書や他の文献を読み、整理して書いてください。

参考図書

荒川義子編著『医療ソーシャルワーカーの仕事——現場からの提言』川島書店、2000年

社会福祉援助技術論Ⅱ (社会福祉調査法)

~20◆

科目コード●050127

担当教員●都築光一



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

20年度以前
入学者

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

20年度以前
入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方の「社会調査の基礎」と同じ内容の科目です。レポート課題やアドバイスはp.120～122をご覧ください。

社会福祉援助技術論Ⅲ（グループワーク）

～20◆

科目コード●050128

担当教員●熊谷和史



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択 B福祉心理
選択 B20年度以前
入学者20年度以前
入学者

この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

人は生まれてから死ぬまで一生、好むと好まないとに関わらず、様々な大小の集団（グループ）に所属ないしは包含された中で生活をしています。例えば、家庭、学校、職場、サークル、地域活動（町内会）等々です。そして、私たちは、こうしたグループから様々な影響を受け、学習し、経験を重ねながら、個人の人格や価値観、あるいは社会的な行動を形成していきます。その意味で、善し悪しは別にして、グループは人が社会的に生きるために重要な基盤（あるいは環境）といえます。

ところで、しばしばグループワークといえば、単なる「グループ活動」や「グループ単位の作業」と捉えられる場合があります。例えば、スポーツや団体競技、あるいは工作などの共同作業やミーティングなどをイメージするかもしれません。

しかし、社会福祉援助技術としてのグループワークとは、対人援助技術の一つの体系であり、単なるグループ活動とは違います。そして、グループワークの援助方法は社会福祉のみならず、医療、臨床心理、社会教育などの分野で幅広く用いられています。さらに、グループワークが使われる場も様々で、例えば、障害を持つ児童の夏期キャンプ、児童館、福祉施設、病院、各種支援センターなど、人が集まるあらゆる場で用いられています。

そこで本科目では、グループワークとはそもそも何か、その意義と目的を学びます。そして、グループワークの展開過程から、固有の方法・技術について学びます。

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術論Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

教科書 (社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ共通)

- 1) 福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ (第3版)』中央法規出版、2006年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ (第4版)』中央法規出版、2007年

※社会福祉援助技術論Ⅰと共通のため、この科目での教科書配本はありません。

レポート課題

1 単位め	グループワークの意義・目的を述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
2 単位め	グループワークの展開過程を述べなさい。

アドバイス

1単位め 解説

そもそも一般的にいわれるグループとは何かについて述べた後、グループワークの捉えるグループとは何か、その意義と目的について以下の①～⑤を中心にまとめ、最終的には、つまりグループワークとは何なのかについて簡潔に述べてください。

一般的なグループの意味については、教科書1)のpp.168-173を参照し、特に、①個人とグループの関係、②社会化と再社会化、③現代におけるグループの意義をまとめます。

グループワークの意義と目的については、教科書1)のpp.91-107、pp.149-157、pp.173-178、pp.212-227を参照し、④グループワークの定義、⑤治療教育力をまとめます。特に治療教育力は重要ですので、よくまとめてほしいと思います。

さらに学習を深めたい方は、下記の参考図書から様々なグループワーク・モデル（治療モデル、交互作用モデル、ヒューマニズムモデル、社会的諸目標モデルなど）や理論形成に至る歴史的背景などを学ばれると良いと思います。

2単位め 解説

実際にグループワークがどのように運用されるのかを述べながら、グループワーク固有の方法・技術について学んでいきます。

グループの展開過程は、①準備期、②開始期、③作業期、④終結期があります。このことについて、教科書1)のpp.212-227、pp.238-247、教科書2)のpp.68-96、pp.371-377を参考にコンパクトにまとめてください。

なぜコンパクトなのかといいますと、例えば、準備期に行われる手順＝「計画」、「形成計画」、「波長あわせ」などの内容一つ一つを説明していくと大幅に規定の字数を超えてしまうからです。

規定の字数内でまとめることも学習の一つであると考え、はじめに展開過程とは何かについて簡単に説明した後、①～④それぞれについて300字～500字で「まとめ」、最後にグループワーク固有の方法・技術とは何かについて述べてほしいと思います。

さらに学習を深めたい方は、教科書1)のpp.192-202や参考図書1)からグループワークの原則や援助媒体をおさえる。あるいは、具体的な展開過程などは教科書2)の事例などを読むことをおすすめします。

参考文献

- 1) 野村武夫『はじめて学ぶグループワーク』ミネルヴァ書房、1999年
- 2) 黒木保博ほか『グループワークの専門技術』中央法規出版、2001年
- 3) 大塚達雄ほか『グループワーク論』ミネルヴァ書房、1986年

参考図書の1)は、グループワークを総体的に捉えるには良いかと思います。2)は、事例をふんだんに盛り込み、展開過程で気をつけるポイントなどが詳細に述べられていて実践的だと思います。3)は、場面別のグループワークの活用例など示唆に富みます。また、参考文献や解説、用語の索引が充実しています。

社会福祉援助技術論Ⅳ (コミュニティワーク)

~20◆

科目コード●050129

担当教員●松田昭裕



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択 B

福祉心理
選択 B

20年度以前
入学者

20年度以前
入学者

この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

地域において住民が何らかの要因で困難や問題が起こったときに、さまざまな社会資源を組織化し、かつ活用しながら問題解決に導いていくのが、地域援助技術（コミュニティワーク）です。近年、地域福祉の時代や在宅福祉の時代と言われるなか、地域で解決すべき課題が山積み、ますますコミュニティワークが果たす役割は大きくなっています。

地域援助技術は、地域社会の福祉ニーズや福祉問題、福祉運営の課題に対応して、直接援助技術が展開しやすいように環境を整える働きをする技術であるため、地域の歴史や特性、環境の違いを念頭に入れて展開されるものといえます。

この科目では、社会福祉援助技術を把握した上で、地域援助技術の対象・主体・組織・方法など体系と理論およびワーカーの役割について学びます。

教科書（社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ共通）

- 1) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ（第3版）』中央法規出版、2006年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ（第4版）』中央法規出版、2007年

※社会福祉援助技術論Ⅰと共通のため、この科目での教科書配本はありません。

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術論Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

レポート課題

1 単位め	日本におけるコミュニティワークの沿革を述べ、コミュニティワーカーの役割について論説しなさい。
2 単位め	あなたの身近な事例（架空の事例も可）、またはテキストの事例を織り込みながら、地域援助技術の展開過程のプロセスを参考にまとめ、あなたの考えを述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月よりレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年9月で受付を締め切りました。

アドバイス

地域援助技術は、自分の住んでいる地域のことを想定しながら読み進めていくと、より深く理解が進むと思います。

また実際に地域援助に携わっている方は、ご自身の仕事の内容と実際の業務とを比較しながら読み込んでいくと、理解の幅がぐっと広がっていくと思います。

自分自身の問題、つまり当事者意識でこの科目を学修されることをお勧めいたします。

1単位め 解説

国政的には、コミュニティワークの前身はCOS（慈善組織協会）の活動やセツルメント活動などであるが、ここでは、日本の沿革を学んでください。さらに、ワーカーとしての役割についても、しっかりと学んでください。

2単位め 解説

事例研究としての課題です。その事例もあなたが決めてください。あなたの身近にある事例、架空の事例、または、テキストにある事例を取り上げ、地域援助技術の展開過程の「活動の発端」から「ステップ4」にもとづいてまとめ、あなたの考えを記してください。なお、展開過程は、「活動の発端」は必ず必要ですが、「ステップ1～4」は、必ずしもその順序になるとは限りません。

参考文献

- 1) 杉本敏夫・斉藤千鶴編『改訂 コミュニティワーク入門』中央法規出版、2003年
- 2) 高森敬久ほか著『地域福祉援助技術論』相川書房、2003年
- 3) 井岡勉監修『住民主体の地域福祉論』法律文化社、2008年
- 4) 濱野一郎ほか編『コミュニティワークの理論と実践を学ぶ』みらい、2004年
- 5) 山田宜廣著『住民主導の地域福祉運営』筒井書房、2009年

社会福祉援助技術演習Ⅰ

～20◆

科目コード●0 5 0 1 3 0

担当教員●阿部一彦・千葉喜久也・山川敏久・君島昌志
佐々木達雄・大橋雅啓・芳賀恭司・竹田征子 ほか

2 単位

SR

2 年以上

社会福祉
選択

20年度以前
入学者

※平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※社会福祉士を目指す方々を対象とした講義となります。

※「演習A」と合併授業になります。

科目の内容

社会福祉学は「実践の科学」といわれるように、単なる理論学習だけでは実際の援助活動を行うことは困難といえるでしょう。理論を活用し役立てるためには、援助実践の場に具体化していくための援助技術の学習と体得が不可欠となります。社会福祉援助技術とは、さまざまな技術論を実際の援助活動の中で展開するための方法だといえるでしょう。

本演習では、社会福祉援助技術論における理論や知識を踏まえた上で、特に、倫理・価値観、面接技法などの基本的なソーシャルワーク実践の方法・技術のいくつかを取り上げ、役割演技、グループ討議などを通し、統合的、主体的に学習することを目的としています。

スクーリング講義概要

「社会福祉援助技術演習A」(p.131～136) のスクーリング講義概要を参照してください。

教科書 「社会福祉援助技術演習Ⅱ」でも使用予定

白澤政和・福山和女・石川久展編集『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版、2009年(平成21年度以前履修登録者) 上記の教科書を所持していない方は、購入して所持しておく必要があります。

レポート課題

※レポートの提出方法は p.191 を参照のこと。

1 単位め	(スクーリング事前課題=スクーリング受講申込締切日までに送付) 社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方について論じなさい。
2 単位め	(スクーリング事後課題=スクーリング受講後に提出) 「演習Ⅰ」のスクーリングを受講しての自身の振り返りを行いながら、社会福祉士として求められるものをまとめなさい。

アドバイス

1単位め 解説

はじめに、教科書『社会福祉士相談援助演習』を熟読し、社会福祉援助技術の課題について問題意識をもってください。次に1章から2章までを読んで、社会福祉援助技術の概要について学ぶとともに、社会福祉援助技術の過去、現在における考え方などを整理して、その違いなどについてもまとめてください。そして、自分自身の歴史、性格、価値観などについても客観的に見つめなおしてください。

以上の過程を経た上で、社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方について論じてください。もちろん、他の文献、新聞記事などを活用すること、および社会生活上の問題をとりあげ、考察、分析することも大切なことです。

すでに社会福祉にかかわっている方々は、その経験を生かして論じてくださっても結構です。

以上、課題としてはたいへん幅広いのですが、レポートを作成する際には、自分が意図することを明確に、あるいは視点をはっきりさせて整理することが大切です。

たとえば下記の①～④のなかの1つ、またはいくつかに焦点をあててまとめながら「社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方」を考えていただければよいのではないのでしょうか（①～④すべてに解答する必要はありません。また①～④以外の論点から論じていただいて結構です）。

- ① 社会福祉援助技術とは何か、および諸方法を自分なりに整理し、わかりやすくまとめてください。社会福祉援助は、援助を必要とする人々（サービスの利用者）に対して、問題の解決や軽減を図ることを目的としています。この過程は社会福祉の援助技術を駆使して行われるものです。

- ② 社会福祉援助技術者は、援助を必要とする人々(利用者)にどう向き合い、どのような役割をもってかわるべきでしょうか。援助を必要とする人々(利用者)主体の援助活動を行うために、あなたはどんなセンス、感性を大事にしようとしていますか。自分自身の歴史、性格、価値観などについても客観的に見つめなおすことも必要になってくるかもしれません。
- ③ 社会福祉援助技術者は専門職として「援助を必要とする人々(利用者)の基本的人権の尊重」「自立・自己決定を重視する援助のあり方」などの基本的な倫理・原理をもつことが必要です。

社会福祉の専門職として、これまでもその専門職倫理が厳しく問われ続けられてきましたが、その倫理観を逸脱する悲しい事件が後を断たない現実があります。福祉の現場のなかのごく一部の人とはいえ、なぜ援助者が加害者となり、援助を必要とする人々(利用者)の人権を侵害する行為がなくなるのでしょうか。

「人権感覚」という言葉があるように、「この人にはそういうことをしてはいけない」と判断する能力は、人権に関する知識をどれだけ学んだかというだけでは得られるとは限りません。常に新しい知識を身につけながら、自己的人権感覚をいつも研ぎ澄ませておく努力が必要です。あなたの人権に関するセンス・感性について、福祉専門職を目指す者として大事にしてほしいと思います。

- ④ 適切な援助を行うには、援助を必要とする人々(利用者)の理解が重要です。援助を必要とする人々(利用者)自身が社会福祉援助過程で、私たち援助者に対して、どんなことを期待し援助を求めているのかを、援助を必要とする人々(利用者)の視点で考察してください。また、アセスメント(事前評価)とは、何のために、何について、どのようなことをすることでしょうか。そして、アセスメント(事前評価)は社会福祉援助とどのように関連していて、どのような影響を与えているのでしょうか。また、社会福祉援助活動におけるより客観的なアセスメントの普及・発展がもたらす効果についても考察してみてください。

2単位め 解説

現在、社会福祉を取り巻く環境は、これまでの「措置」から「契約」へと変わり、社会福祉の援助技術も「自立支援」「利用者主体」へと変化してきています。従来の社会福祉援助者のイメージを脱却して、利用者の尊厳を守り、利用者主体の原則を実現するための社会福祉士の役割について考えてください。

一般論としてだけでなく、演習Ⅰのスクーリングを受講しての自身の体験をふりかえりも含めて、まとめてください。

レポートの提出方法

1・2単位め共通

- ・1課題につき1冊のレポート用紙を使用すること。
- ・字数は2,000字程度（最長4,000字程度）。
- ・スクーリング受講年度に提出すること。

1単位めについて

- ・提出締切はスクーリング受講申込締切日（5/31・6/30・10/31・11/30）必着。
- ・レポート用紙の担当教員名は未記入で提出すること。
- ・返却はスクーリング受講申込締切日の1カ月後になります。

2単位めについて

- ・提出締切は『試験・スクーリング 情報ブック』記載の「事後レポート提出期限」参照。
- ・レポート用紙の担当教員名はスクーリング時の教員名を書くこと。

演習Ⅰ スクーリング受講条件

申込締切日（5/31・6/30・10/31・11/30）までに

- ①「社会福祉援助技術論Ⅰ」の2単位分のレポート提出
- ②「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の1単位めのレポート提出
- ③一括認定単位を除き20単位以上修得

※スクーリング受講前に「高齢者福祉論」「障害者福祉論」「児童福祉論」「福祉社会学」「福祉法学」「福祉心理学」などのうち数科目の学習を進めるなど、十分事前準備をしてから、受講してください。

スクーリング申込手続

申込時の注意点

- ・『With』（3月号または9月号頃を予定）巻末の申込ハガキ（または用紙）を郵送してください。
- ・申込用紙は必ず第2希望まで○をつけてください（第1希望と同一は不可）。
- ・申込後の希望の変更は受け付けかねます。

各申込日について

- ・5/31締切の申込は、6～8月に受講を希望する方がお申込みください。5/31までに受講条件を達成できなかった場合、自動的に6/30締切の申込にスライドされます。
- ・6/30締切の申込は、5/31に受講条件を達成できなかった方がお申込みください（7月後半以降の開講日で、かつ5/31締切の申込で空きが出た会場のみ受付）。

- ・10/31締切の申込は、12月の新潟会場を希望する方がお申込みください。
- ・11/30締切の申込は、1～2月に受講を希望する方がお申込みください。

受講クラスの決定方法

「社会福祉援助技術演習 A」を参照してください。

単位の認定方法

「社会福祉援助技術演習 A」を参照してください。

9～12月の「演習Ⅱ」のスクーリングを受講希望する方へ

「社会福祉援助技術演習 A」を参照してください。

体験学習

「社会福祉援助技術演習 A」を参照してください。

社会福祉援助技術演習Ⅱ

~20◆

科目コード●050131

 担当教員●関川 伸哉・三浦 剛・渡辺 憲介
 佐々木 裕彦・小山 剛・川口 正義
 佐藤 博彦 ほか

2 単位

SR

3 年以上

 社会福祉
 選択

 20年度以前
 入学者

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※「演習B」と合併授業となります。

科目の内容

「社会福祉援助技術演習B」p.137～142を参照してください。

スクーリング講義概要

「社会福祉援助技術演習B」スクーリング講義概要p.137参照してください。

教科書 (いずれも「社会福祉援助技術演習Ⅰ」と共通)

- 1) 白澤政和・福山和女・石川久展編集『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版、2009年
- 2) 必要に応じて他の書籍・資料を配布します。

(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月より教科書が変更になりました。今後は必ず新しい教科書にもとづいてレポート課題やスクーリングに取り組んでください。

- 1) の教科書を所持していない方は、購入して所持しておく必要があります。

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術演習Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をするのみが履修登録できます。

レポート課題

※レポートの提出方法は、p.195を参照のこと。

1 単位め	相談援助実践における記録の意義と具体的記述方法をまとめてください。また、ソーシャルワーカーにとって地域社会資源の活用や開発の①意義や必要性②その留意点について述べるとともに、同じく相談援助におけるスーパービジョンの目的、機能、あり方についてまとめてください。 (担当：佐藤博彦)
2 単位め	平成18年に改正、平成19年に公布された「社会福祉士および介護福祉士法」の一部改正に伴う、今後の社会福祉士の役割と課題についてまとめてください。 (担当：関川伸哉)

アドバイス

1単位め 解説

ソーシャルワーク実践における記録の意義とはなんでしょうか。まず、何故ソーシャルワーク実践において記録が必要なのか考えてみましょう。サービス提供者の情報共有のためでもあるでしょうし、また、サービス提供実施の証明のためでもあるでしょう。何のために必要であるのかをまとめてください。次に、スーパービジョンについてです。スーパービジョンは、ソーシャルワーク実践に関して、知識・技術・倫理等が十分備わっていないワーカーに対してもなされるものですが、経験豊かなワーカーにもその必要性があります。ソーシャルワーク実践において、実践に携わるすべてのワーカーに対して、何故スーパービジョンが必要なのでしょう。そのスーパービジョンの目的、機能、あり方についてまとめてみましょう。また、記録とスーパービジョンの関係性も併せて考察してみましょう。

また、現在、相談援助技法の一つと考えられているケアマネジメントは、利用者のニーズと社会資源を結びつけることがその中心的な概念です。そこで地域の社会資源活用やそれらが十分とは言えない場合、また使いにくい場合の開発の考え方や方法は、ケアマネジメントの学習を通しておこなうのがよいと思います。p.139の参考図書を参考にしてください。

2単位め 解説

はじめに、今回の法改正にいたる背景について整理してください。その後、本改正のポイントを考慮し、課題について客観的にまとめてください。その際に、事実と各自の考察（考え）をしっかりと分けて作成するように心掛けてください。また、レポート作成の際には、必ず章立てを行ってください。

記載方法（例）

1. 法改正にいたる背景について

2. 改正の主な〇〇について
3. 今後の社会福祉士の役割について
4. 今後の社会福祉士の課題について
5. まとめ

引用・参考文献

※レポート末尾に本文中で使用した引用・参考文献を必ず5つ以上明示してください。

レポートの提出方法

- ・1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。
- ・各レポートの字数は2,000字程度ですが、手書きの場合 p.16まで使用し最長4,000字程度まで記入していただいても可です（パソコン印字の場合、左右40字×30行×4枚まで）。
- ・各レポート用紙表紙には、「レポート課題」記載の担当教員名を記入してください。

1単位めは、スクーリング受講判定日まで提出してください。

2単位めは、スクーリング受講後11月末日（遅くとも1/20）までに提出してください。

※スクーリング受講年度に提出してください。

演習Ⅱ スクーリング受講条件

下記(1)～(3)を満たしていることが必要です。

- (1) 3年生以上の方、または10月生は9/15の時点で、4月生は3/15の時点で2年生の方。
- (2) スクーリング申込締切日9/15（・11/30（p.196※参照））・3/15の年3回までに社会福祉士・指定科目のなかから、6科目分すべてのレポートの提出（「社会福祉援助技術論Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」および個別認定単位も含めて可）。
- (3) 受講判定日9/15・9/30・10/15（・11/30（p.196※参照））・3/15・3/31・4/15までに、下記の①②の条件を達成していること。
 - ① 「社会福祉援助技術論Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の単位の修得。
 - ② 「社会福祉援助技術演習Ⅱ」の1単位めレポートの提出。

※9/15時点で上記①②の条件を満たしていないと、10月のスクーリングは原則として受講できません。

※11/30（申込締切・受講判定日）申込みは、9/15締切で申込みを行い、受講条件が満たされなかった方のみが受講可能となります。

※条件を満たすための単位修得方法は下記のとおりです。

● 9 月申込希望者の単位修得方法について

9 月申込時点で単位修得の条件を満たそうと思う科目については、どんなに遅くても下記の期日までに学習を終えてください。

- ・ **レポート** 社会福祉士・指定科目のうち 6 科目は 9 / 15 必着で提出。

※なお、申込締切時に単位修得が必要な「社会福祉援助技術論Ⅰ」および「社会福祉援助技術演習Ⅰ」は、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。

※ 9 / 1 以降に再提出で返却されたレポートは 10 / 15 まで提出可。

「演習Ⅱ」1 単位めレポートは遅くとも受講判定日（10 / 15）までの提出で可。ただし、9 / 15 までに提出しないと、10 月のスクーリングは原則として受講できません。

- ・ **科目修了試験** 9 月までの科目修了試験を受験して合格していること。
- ・ **スクーリング** 各判定日 3 日前までのスクーリングを受講して合格していること。

● 3 月申込希望者の単位修得方法について

基本的に 9 月申込希望者のものに準じますが、レポートは 3 / 15 必着（再提出レポートは 4 / 10 まで可）、科目修了試験は 2 月までの受験が必要になります。

ただし、「演習Ⅱ」1 単位めレポートは遅くとも受講判定日（4 / 15）までの提出で可。

演習Ⅱ スクーリング申込手続

申込時の注意点

- ・ 『With』（7 ～ 8 月号や 1 月号を予定）巻末の申込用紙を郵送してください。
- ・ 申込用紙は必ず第 2 希望まで○をつけてください（第 1 希望と同一は不可）。
- ・ 申込後の希望の変更は受け付けかねます。
- ・ 申込締切は 3 / 15 または 9 / 15 です。

各申込日について

- ・ **3 / 15 締切**の申込は、4 ～ 5 月に受講を希望する方がお申込みください。
- ・ **9 / 15 締切**の申込は、9 ～ 11 月に受講を希望する方がお申込みください。

④ 9 / 15 締切で申込を行い 10 / 15 までに条件を達成できなかった方を対象に、11 / 30 締切の再申込を受け付けます（開講は 12 月（仙台））。希望者は、不許可通知に同封の申込用紙を提出してください。

受講クラスの決定方法

「社会福祉援助技術演習Ⅱ」参照。

単位認定

「社会福祉援助技術演習B」参照。ただし「2・3単位めレポート」は「2単位めレポート」と読みかえてください。

社会福祉援助技術現場実習指導

～20◆

科目コード●050132

担当教員●阿部 一彦・高橋 誠一・田中 治和・三浦 剛
山川 敏久・君島 昌志・中里 仁・柿沼 利弘
竹之内章代・千葉喜久也・佐藤 博彦ほか

2 単位

SR

4 年

社会福祉
選択

20年度以前
入学者

※平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※事前指導のスクーリングを欠席した場合、社会福祉援助技術現場実習の受講はできません。

※事後指導のスクーリングを欠席した場合、社会福祉士国家試験受験資格を取得できません。

※今後の実習受け入れ状況などにより、ここに記載の内容・日程を変更する場合があります。

『実習の手引き』や『With』でご案内します。

科目の内容

これまで学修してきた社会福祉学の専門知識を深化させるとともに、各自の援助能力の開発・今後の課題の明確化・自己理解を深める場であり、あわせて福祉専門職としての倫理観を理解する機会となります。

- ① 実習事前指導 実習計画の作成と事前準備（実習の心構え、対人援助・援助過程等の確認、記録作成）。
- ② 実習事後指導 実習体験の意識化・客観化・内面化の作業、抽象化・体系化できる能力の涵養^{かんよう}に努める。

教科書

- 1) 『社会福祉援助技術実習の手引き（第1分冊）』東北福祉大学（演習Ⅰ・Ⅱ受講者に配付）
- 2) 『社会福祉援助技術実習の手引き（第2分冊）』東北福祉大学（実習申込者に配付）
- 3) 『社会福祉援助技術実習 課題ノート』東北福祉大学（実習申込者に配付）
- 4) 白澤政和・米本秀仁編『社会福祉士相談援助実習』中央法規出版、2009年

（平成21年度以前履修登録者） 上記4）の教科書を所持していない方は、購入して所持しておく必要があります。

レポート課題

課題 1	事前指導スクーリング受講前の課題 ① 「実習計画案」を作成する（鉛筆書き）＝コピー 1 部を事前指導スクーリング 3 週間前必着で通信教育部まで送付してください。必ず90円切手貼付・返信先住所記入の返信封筒を同封してください。封筒を第4種郵便で送付したい方は、『学習の手引き』記載の要領で送付してください。 ② 『社会福祉援助技術実習 課題ノート』（鉛筆書き）の「事前訪問までの準備」の部分すべてを完成させる（「事前訪問の主な課題」の部分は記入できる範囲で記入する）＝スクーリング時に持参ください。完成していない場合、または内容不十分な場合は、当日、事前指導を受講できないことがありますので注意してください。
課題 2	事前指導スクーリング受講後の課題 ① 「実習計画書（清書用）」を完成させる＝コピー 2 部を実習開始日の1カ月前必着で通信教育部まで送付してください。 ② 実習先への事前訪問後、『社会福祉援助技術実習 課題ノート』の「事前訪問学習の主な課題」の部分ほかすべてを完成させる＝実習先に持参し活用したうえで事後指導スクーリング時に提出してください。
課題 3	実習後、事後指導スクーリング受講前の課題 ① 実習事後レポート：4,000字程度＝事後指導スクーリング 3 週間前必着で通信教育部まで送付してください。 ② 『社会福祉援助技術実習 課題ノート』完成させたもの＝事後指導スクーリングの際に持参してください。 ③ 実習記録＝実習先から大学に返送されます。

アドバイス

主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。実習に関する上記「課題学習」の内容や流れの詳細は、下記、および実習係から配付される書類やスクーリング時の指示に従ってください。

◆現場実習指導 受講条件・申込方法

「社会福祉援助技術現場実習」に同じ。申込締切日（8月末または10月末〔H25以降9/15〕）までに条件を満たしたうえで、「事後指導申込用紙」（『With』巻末〔5～6月号や7～8月号を予定〕）を「社会福祉援助技術実習希望届」などに同封し提出してください。※受講条件および申込方法の詳細は、「演習Ⅰ」スクーリングで配付の『社会福祉援助技術実習の手引き【第1分冊】』を参照。

スクーリング開講予定

※詳細は『試験・スクーリング 情報ブック』をご参照ください。

単位認定通知

①事前指導スクーリング+②実習計画案+③実習+④『社会福祉援助技術現場実習・課題ノート』+⑤実習記録+⑥事後レポート+⑦事後指導スクーリングにより評価を行います。単位認定通知は、事後スクーリング受講から1カ月程度で書面で通知します。

参考図書

「社会福祉援助技術実習指導 A」の p.151～152「参考図書」参照。

社会福祉援助技術現場実習

~20◆

科目コード●050901

担当教員●阿部 一彦・高橋 誠一・田中 治和・三浦 剛
山川 敏久・君島 昌志・中里 仁・柿沼 利弘
竹之内章代・千葉喜久也・佐藤 博彦ほか

4単位

実習科目

4年

社会福祉
選択20年度以前
入学者

※平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※今後の実習受け入れ状況などにより、ここに記載の内容・日程を変更する場合があります。『実習の手引き』や『With』でご案内します。

科目の内容

指定施設において、24日間以上かつ180時間以上の現場実習を行うものです。

実習を通し、社会福祉士としての価値や倫理、技術を十分に自分のものとしていくことが望めます。

詳細は『社会福祉援助技術実習 課題ノート』に記載の内容と実習係から配付される書類、ならびに前年度の次年度実習ガイダンス、および事前指導スクーリング時に指示されます。

教科書

「社会福祉援助技術現場実習指導」に同じ。

アドバイス

実習計画案作成にあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるよう十分配慮してください。主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。実習に関する「課題学習」の内容や流れの詳細は実習係から配付される書類の指示に従ってください。

実習期間・時期

◆実習期間

- (1) 24日間以上、かつ180時間以上（両方の条件を満たすことが必要）
- (2) 実習時間は1日8時間程度（休憩時間を含まない）。

- (3) 分割して実習を行うことも、受け入れ先、社会福祉援助技術現場実習指導教員および通信教育部実習係の了解が得られれば可能です。1週間（5日間以上）×4回を最も細かい分割としますが、学習効果の観点から鑑みると2回までの分割を推奨いたします。
- (4) 実習時間の決定などにあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるように十分配慮してください。例えば、勤務などを行っている方で、実習を6日間実施し、実習の休みの日に自身の職場で勤務することは認めていません。

◆実習時期

2 / 1～7 / 10 → 前年8月末申込みで実習の受講が認められた方（26年度申込まで）
（実習申込から卒業までの流れ）

①8月末までに実習申込 → ②11月～12月いずれかの事前指導受講 → ③2 / 1～7 / 10の期間に実習 → ④6～9月いずれかの事後指導受講 → ⑤9月卒業

6月第4週～12 / 25 → 前年10月末（H25以降9 / 15）申込で実習の受講が認められた方
（実習申込から卒業までの流れ）

①10月末（H25以降9 / 15）までに実習申込 → ②4月～6月いずれかの事前指導受講 → ③6月第4週～12 / 25の期間に実習 → ④9月～翌年2月いずれかの事後指導受講 → ⑤3月卒業

（9月卒業希望者は6月第4週から8月上旬までに実習を終え、9月の事後指導を受講する必要があります）

◆実習対象施設

・『学習の手引き』3章に記載の法令で定められた施設。

※ただし、対象施設・事業であっても法令要件等により実習が認められない場合もあります。

◆現場実習 受講条件・申込方法

申込締切日（8月末または10月末（H25以降は9 / 15））までに条件を満たしたうえで、「社会福祉援助技術実習希望届」などの必要書類を提出してください。

※受講条件および申込方法の詳細は、「演習Ⅰ」スクーリングで配付の『社会福祉援助技術実習の手引き【第1分冊】』を参照。

※実習申込受理条件は、H25以降変更されます。実習申込年以外に「演習Ⅰ・Ⅱ」を受講した場合、最新の実習申込条件を『With』などでの案内により必ず確認してください。

単位認定通知

原則として、「社会福祉援助技術現場実習指導」単位認定通知といっしょに、事後スクーリング受講から1カ月程度で書面で通知します。

実習費

実習費（80,000円）と、事前事後指導スクーリング受講料（10,000円）をそれぞれ請求させていただきます。期限（5/10または10/25）までにコンビニエンス・ストアで納入してください。原則として、一旦納入した実習費は、返却できませんのでご注意ください。

実習費には、実習保険加入費、実習委託費（謝礼）、実習巡回費、諸手続き費などが含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その部分を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

また、2施設で実習を行う場合は追加実習費30,000円が必要となります。

新型インフルエンザ、はしかなどの感染症対策について

『社会福祉援助技術実習の手引き』【第1分冊】（「体験学習・次年度実習ガイダンス」受講時に配付）、および心理・教職編 p.172～173参照。

精神保健福祉士指定科目

社会福祉士指定科目と共通科目は、社会福祉士指定科目 A・B の部をご覧ください。
精神保健福祉士の受験指定科目が平成24年度入学者から変更になりました。平成23年度以前入学者の指定科目は卒業まで変更ありませんが、内容は下記のような変更があります。

平成23年度以前入学者へのご注意点

変更箇所	変更内容
この部に記載の科目のスクーリングの際の参照教科書	2013（平成25）年度以降のスクーリングは本冊子記載の教科書を所持していることを前提に進めます。
『レポート課題集2011』記載の提出期限	2014年3月末になりましたが、できるだけ新課題で提出してください。
精神保健	精神保健学に科目名称変更
精神保健福祉援助技術各論	スクーリング単位1単位（6コマ）に変更。10月以降の科目修了試験受験の際も科目コードは050148と記載ください。
精神保健福祉援助演習	2014（平成26）年度以降のスクーリングは演習時間数が大幅に増えます。
精神保健福祉援助実習	2015（平成27）年度以降は事前事後スクーリングの時間数が大幅に増え、実習内容や申込時期・条件等が変更されます。

精神保健福祉士国家試験受験資格指定科目一覧は、p.206～207をご覧ください。

■平成24年度以降入学者 p.206 ★平成21～23年度入学者 p.207上
◆平成20年度以前入学者 p.207下

■平成24年度以降入学者 精神保健福祉士国家試験指定科目一覧

科目コード	科目名	単位数	掲載ページ	備考
050101	福祉社会学	4	62	
050103	福祉心理学	2	67	
050063	福祉法学	2	70	20年度以前入学者履修不可
050118	障害者福祉論	4	84	
050079	医学一般	2	103	20年度以前入学者履修不可
050104	社会福祉原論（職業指導を含む）	4	89	
050105	地域福祉論	4	92	
050107	社会保障論	4	96	
050108	公的扶助論	2	100	
050075	保健医療サービス論	2	125	20年度以前入学者履修不可
050080	福祉行財政と福祉計画	2	129	
050155	精神保健福祉の理論	2	208	23年度以前入学者履修不可
050150	精神保健福祉のサービス	2	210	
050152	精神保健福祉の制度	2	212	
050136	精神保健学	4	214	
050153	精神保健福祉援助技術総論Ⅰ	2	217	23年度以前入学者履修不可
050154	精神保健福祉援助技術総論Ⅱ	2	217	
050156	精神保健福祉援助技術各論	2	220	
050139	精神科リハビリテーション学	4	223	
050140	精神医学	4	225	
050151	精神障害者の生活支援システム	1	228	23年度以前入学者履修不可
050157	精神保健福祉援助演習A	1	230	
050158	精神保健福祉援助演習B	2	25年度以降開講	
050159	精神保健福祉援助演習C	2	25年度以降開講	
050188	精神保健福祉援助実習指導A	1	25年度以降開講	
050189	精神保健福祉援助実習指導B	1	26年度以降開講	
050908	精神保健福祉援助実習A	2	25年度以降開講	
050909	精神保健福祉援助実習B	2	26年度以降開講	

★平成21年度～23年度入学者 精神保健福祉士国家試験指定科目一覧

科目コード	科目名	単位数	掲載ページ	備考
050101	福祉社会学	4	62	20年度以前入学者履修不可
050103	福祉心理学	2	67	
050063	福祉法学	2	70	
050079	医学一般	2	103	
050104	社会福祉原論（職業指導を含む）	4	89	
050105	地域福祉論	4	92	
050107	社会保障論	4	96	
050108	公的扶助論	2	100	
050075	保健医療サービス論	2	125	20年度以前入学者履修不可
050080	福祉行政と福祉計画	2	129	
050133	精神保健福祉論Ⅰ	2	208	24年度以降入学者履修不可
050134	精神保健福祉論Ⅱ	2	210	
050135	精神保健福祉論Ⅲ	2	212	
050136	精神保健学	4	214	
050137	精神保健福祉援助技術総論	4	217	24年度以降入学者履修不可
050138	精神保健福祉援助技術各論	4	220	
050139	精神科リハビリテーション学	4	223	
050140	精神医学	4	225	
050141	精神保健福祉援助演習	2	234	
050902	精神保健福祉援助実習	6	240	24年度以降入学者履修不可

◆平成20年度以前入学者 精神保健福祉士国家試験指定科目一覧

科目コード	科目名	単位数	掲載ページ	備考
050101	福祉社会学	4	62	21年度以降入学者履修不可
050103	福祉心理学	2	67	
050102	福祉法学	4	162	
050106	医学一般	4	164	
050104	社会福祉原論（職業指導を含む）	4	89	
050105	地域福祉論	4	92	
050107	社会保障論	4	96	
050108	公的扶助論	2	100	
050133	精神保健福祉論Ⅰ	2	208	24年度以降入学者履修不可
050134	精神保健福祉論Ⅱ	2	210	
050135	精神保健福祉論Ⅲ	2	212	
050136	精神保健学	4	214	
050137	精神保健福祉援助技術総論	4	217	24年度以降入学者履修不可
050138	精神保健福祉援助技術各論	4	220	
050139	精神科リハビリテーション学	4	223	
050140	精神医学	4	225	
050141	精神保健福祉援助演習	2	234	
050902	精神保健福祉援助実習	6	240	24年度以降入学者履修不可

精神保健福祉論Ⅰ^{～23}・精神保健福祉の理論^{24～}

科目コード●050133・050155

担当教員●阿部 正孝



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

2012年度以降入学者→「精神保健福祉の理論」(2単位 科目コード050155)

2011年度以前入学者→「精神保健福祉論Ⅰ」(2単位 科目コード050133)

科目の内容

精神保健福祉とは一般に、疾病を抱えた人たちのものと考えられた時から、現在では国民全体の心の健康維持・向上、そして精神障害者の社会的自立と社会参加の促進・支援を目指す諸活動をさすものと考えられています。ここでは我が国の精神保健医療福祉の沿革を辿りながら、精神保健福祉士の活動の歴史と、精神保健福祉士の成立までの経過を学びます。テキストには事例も紹介されており、精神保健福祉士の相談援助の各過程の概要も学習してください。

教科書 「精神保健福祉援助技術各論」と共通

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集『新版精神保健福祉士養成セミナー 4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開』へるす出版、2012年 第1～4章
(平成24年6月以前履修登録者) 2012年6月より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて学習する場合は『レポート課題集2011』記載の課題に取り組んでください。なお、スクーリング受講の際には新しい教科書の所持が必要です。

レポート課題

※課題は1,900字以上、手書き用レポート用紙を使用して記述してください（ワープロ・パソコン印字での提出不可）。

1 単位め

日本の精神科医療が欧米諸国と大きく異なっていた歴史的経過についてまとめてください。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

2 単位め

自分の抱えている精神保健福祉士の仕事のイメージについてまとめ、そのためにどのような知識と技術が必要かを述べてください。

(平成24年6月以前履修登録者) 2012年7月よりレポート課題が変更になりました。『レ

ポート課題集2011』記載の課題でも2014年3月末までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

(注)「統合失調症」は2002年以前に発行された文献では「精神分裂病」と表記されていることが多くあります。「精神分裂病」という呼び名にはマイナスのイメージがあり、差別や偏見を生み出しているのを是正するために、現在では「統合失調症」と呼び名が変更されています。

アドバイス

レポート作成の留意点

- ① 教科書を熟読し、内容を深く理解することに努めてください。また、必要に応じ、教科書記載の参考書を読むことにより一層の理解につながります。
- ② 教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することに努めてください。
- ③ 引用・参考文献は教科書も含めて3つ以上はレポートに出典明示するようにお願いします。

1単位め
解説

テキスト2章を読み、我が国の精神保健医療福祉の沿革を理解し、諸外国の制度に触れながら述べることが求められています。

2単位め
解説

テキスト4章を読み、精神保健福祉士国家資格制度の成立過程を把握しながら、自分の考えも述べてください。

参考図書

佐藤久夫著『障害構造論入門—ハンディキャップ克服のために』青木書店、1992年

教科書記載の参考図書も参考にするとよいでしょう。

精神保健福祉論Ⅱ

～23

・精神保健福祉のサービス

24～

科目コード●050134・050150

担当教員●阿部 正孝



2 単位

R or SR

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

2012年度以降入学者→「精神保健福祉のサービス」(2単位 科目コード050150)

2011年度以前入学者→「精神保健福祉論Ⅱ」(2単位 科目コード050134)

科目の内容

基本的には「精神保健福祉論Ⅰ・精神保健福祉の理論」における概念・歴史・現状の理解を前提として、「精神保健福祉論Ⅱ・精神保健福祉のサービス」の講義をすすめます。ここでは精神障害者の医療・保健・福祉にまたがる援助の中で福祉サービスを中心にした援助活動全体を概観します。

教科書

新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー 6 精神障害者の生活支援一制度・システムとサービス』へるす出版、2012年 第1・3章
※「◆★精神保健福祉論Ⅲ・■精神保健福祉の制度」「■精神障害者の生活支援システム」と共通で使用。

(平成24年6月以前履修登録者) 2012年6月より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて学習する場合は『レポート課題集2011』記載の課題に取り組んでください。なお、スクーリング受講の際には新しい教科書の所持が必要です。

レポート課題

※ワープロ・パソコン印字での提出はできません。手書きにて作成してください。

※1単位につき本文が1,900字以上になるようにまとめてください。

1 単位め

精神科医療の根拠となる法律の概要を説明し、精神科医療の特徴をふまえた入院形態についても述べてください。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

2 単位め

現行の関連法律について説明し、問題点や不足しているサービスをあげ、障害者の望む暮らしに大切なものを述べてください。

(平成24年6月以前履修登録者) 2012年7月よりレポート課題が変更になりました。『レ

ポート課題集2011』記載の課題でも2014年3月末までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

アドバイス

アドバイスをよく読んでから、書きましょう。

1単位め 解説

テキスト1章を読み、関連図書なども参考にしてください。精神保健福祉法の意義と内容を理解し、精神保健福祉士の役割についても考え、自分の言葉で述べるのが大切です。

2単位め 解説

テキスト3章を熟読してください。そのうえで実際場面を想定し、それと関連付けて述べるのが求められています。テキストにあげられている参考文献も利用するとよいです。

レポート作成の留意点

- (1) テキストを熟読してください。
- (2) 引用文章だけでレポートを作成するのではなく、自分自身の言葉でまとめましょう。内容を理解できれば可能なことです。
- (3) 何回か推敲してから、レポート用紙に書くようにしましょう。そうすれば、繰り返しが少なくなり、論理的になるでしょう。限られた紙数を有効に使いましょう。
- (4) 段落をきちんとつけて、論理的に構成されたレポートを作成しましょう。

参考図書

佐藤久夫著『障害構造論入門－ハンディキャップ克服のために』青木書店、1992年

教科書記載の参考図書も参考にするとよいでしょう。

科目コード●050135・050152

担当教員●菅原好秀



2 単位

R or SR

3 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択 B福祉心理
選択 B

2012年度以降入学者→「精神保健福祉の制度」(2単位 科目コード050152)

2011年度以前入学者→「精神保健福祉論Ⅲ」(2単位 科目コード050135)

科目の内容

「精神保健福祉法と社会保障制度」「更生保護制度と医療観察制度」を中心に学びます。特に、制度として精神障害者の支援に関連する制度、更生保護制度における関係機関や団体との連携、医療観察法の概要と精神保健福祉士の役割について、現状を踏まえて理解することを目標とします。

教科書

- 1) 渡辺信英著『更生保護制度』南窓社、2011年(「◆★■福祉法学」と共通＝原則としてこの科目での教科書配本はありません・下記参照)
- 2) 新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー 6 精神障害者の生活支援—制度・システムとサービス』へるす出版、2012年第2章(2012年6月以降の「◆★精神保健福祉論Ⅱ・■精神保健福祉のサービス」履修登録者に配本済)または日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 4 精神保健福祉論』中央法規、2011年(2012年5月以前の「精神保健福祉論Ⅰ」履修登録者に配本済)

(平成23年度以前履修登録者) 2012年4月より教科書・レポート課題が変更されました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2013年9月までは提出できますが、できるだけ新しい課題に取り組んでください。

履修登録条件

2012年度以降入学者はこの科目の履修登録を「★■福祉法学」「■精神保健福祉のサービス」の履修登録と同時かその後に行ってください。この科目での配本はありません。

2011年度以前入学者はこの科目の履修登録を「◆★福祉法学」「◆★精神保健福祉論Ⅱ」の履修登録と同時かその後に行ってください。この科目での配本はありません。2011年度

までに「福祉法学」履修登録済の方は2013年9月までにこの科目の履修登録を完了のうえ、「精神保健福祉論Ⅲ」の教科書1)『更生保護制度』を配本希望の旨、書面（郵送・メール・FAX）でお知らせください。

レポート課題

1 単位め	精神保健福祉の視点から更生保護制度の概要を論じてください。
2 単位め	精神保健福祉の視点から医療観察制度の概要を論じてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス



更生保護制度の保護観察、仮釈放、更生緊急保護、被害者等が関与する制度を中心に精神保健福祉の視点から言及してください。



医療観察制度の目的、背景、社会復帰調整官の役割、精神保健福祉法との関係を中心に精神保健福祉の観点から言及してください。

参考文献

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会『更生保護制度』中央法規、2010年
- 2) 清水義恵・若穂井透編『更生保護』ミネルヴァ書房、2009年
- 3) 日本弁護士連合会刑事法制委員会編『Q & A心神喪失者等医療観察法解説』三省堂、2005年

(注) この科目のスクーリングは2012年度以降の「更生保護制度論」と一部内容が重複する箇所があります。

精神保健学

科目コード●050136

担当教員●松江克彦



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

2011年度以前入学者は科目名が「精神保健」から「精神保健学」に変更になりました。

科目の内容

精神的健康を保持・増進することは、心豊かな生活と生きる喜びを享受することの基礎であります。しかしながら、精神障害の発生をはじめ、現在のような複雑な社会では、精神的健康を阻害する多くの要因が存在します。そこで本科目では、各ライフサイクル段階での発達や成熟の在り方と、それにたいする現代の社会・文化的影響、今日特に問題となる精神障害や精神的問題についての知識とそれらに対する精神保健対策、さまざまな集団における精神保健活動の実際、精神保健にかかわる施策や制度の問題などを中心に学んでいきます。そのような学習を通して、自己や周囲の人の精神的健康について考え、ひいては、人間全体の精神的健康について考えていくことを目的とします。

教科書

新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー 2 精神保健学』へるす出版、2012年

(平成24年4月以前履修登録者) 2012年4月12日から上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて学習する場合は『レポート課題集2011』記載の課題に取り組んでください。

レポート課題

1 単位め	人間のライフサイクルを各段階（時期）に分けてその特徴を説明し、それぞれの段階で起こりやすい精神的な問題についても述べなさい。
2 単位め	【説明型レポート】 下記について各300字以上500字以内で簡潔に説明してください。 ① アルコール依存症の自助グループと家族支援について ② 依存性薬物の特性について ③ WHO による ICDH と ICF について ④ DALY と精神保健上の課題について

3 単位め	我が国における少子高齢社会の現状と少子化対策、育児支援について述べなさい。
4 単位め	日本の精神障害者の処遇に関する法律の変遷について説明し、その上で第二次世界大戦以後、精神障害者への施策がどのように変わってきたか論じなさい。

(平成24年7月以前履修登録者) 2012年8月から2・3単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2014年3月末までは提出できますが、できるだけ新しい課題に取り組んでください。

アドバイス

レポート課題に取り組むにあたって考えておいてほしいのは、レポート課題を単にテキストで調べ、それを要求する字数で書けば良いという態度ではいけないということです。私たちの身のまわりで起きているさまざまな精神的な問題に関心を持ち、それらを自分自身の問題として受け止め、それにたいしてどのような対策が行われ、行おうとしているかを全体的に理解することが大切です。そして、自分自身でもその対策を考える積極的な態度が必要です。そのためには、まず教科書を通読して精神保健の概略を理解することです。そうすれば、レポート課題についても、どのような箇所が参考になるのか自ずとわかってきます。また、新聞やテレビで、精神保健にかかわるニュースを読んだり、見たりすることも大切です。新聞の記事のスクラップブックを作るのも理解を深めるのに良いでしょう。その上でレポート課題に取り組んで下さい。参考図書も最後に挙げておきますが、必読というわけではありません。特に詳しく調べたい人には有用です。レポート課題の評価は、単に教科書に書かれていることを羅列するようなことはせず、教科書をよく理解し、メディアで見たり聞いたりしたことなども参考にし、自ら考えたことを自分の言葉でまとめているかどうか、という点も加えて評価します。また、レポートの最後に参考文献(教科書も含む)を必ず記すようにしてください。

さらに、レポート課題にないから重要ではないということではなく、たとえば、認知症の問題(第3章Ⅱ)など、きわめて重要な今日の問題も含まれています。そのような問題についても理解を深め、高齢者における予防や対策のために役立てるようにしてください。

1単位め 解説

ここでは、人間が生まれてから死ぬまでのライフサイクルの全体を理解し、その各段階の特徴や特殊性を良く理解してもらうことを目的にしています。教科書の第2章の全体、できれば参考文献なども参考にしながらまとめてください。精神的問題は、単に精神障害だけでなく、各年代で起こりやすいさまざまな問題や社会的な問題も含みます。

2単位め 解説

この課題では、他のレポート課題のほかに、今日の精神保健活動においては是非知っておきたい項目についての理解を目指しています。指定のテキストにおいて、①は第3章Ⅲ、②は第3章Ⅳ、③は第3章Ⅵに、④は第8章Ⅱに適切な解説を見いだすことができます。これらの理解から、様々な精神保健対策への理解へとつなげていきましょう。

3単位め 解説

少子高齢社会の到来は今日の大きな問題であり、それにどのように対処していくかは我が国の重要課題です。ここでは、高齢社会に至る我が国の経緯を高齢化率の増加を中心に理解し、少子化は合計特殊出生率の推移を中心に具体的に理解しておくことが大切です。その上で、ここ20年間ちかく、国はいかに少子化対策のための施策を行ってきたか、さらに育児支援へとつなげてきているかを理解することを目的としています。レポート作成においては、教科書の第2章のⅥ、第4章のⅠ、さらにできれば参考書なども活用して、数値を挙げたり、具体的対策について、わかりやすく整理して作成するようにしてください。

4単位め 解説

精神障害者の処遇の問題は、狭義の精神保健と言われるように、古くから精神保健の最大の課題です。昔から精神障害者はどのように扱われてきたのか、そして現在、精神障害者をどのような方向に持って行こうとしているのかをよく理解することを目的としています。レポート作成にあたっては、第3章Ⅰ、第5章Ⅰ、そしてできれば参考図書なども参考にして、時代と共に精神障害者への対策が法律や制度の変化としてよくわかるように作成してください（法律名や制度名だけでなく、その内容理解と変化の理由をよく理解して作成すること）。このような課題の作成を通して精神障害をよく理解し、精神障害者への偏見などについても理解を深めなければいけません。

参考図書

- 1) E.H. エリクソン 村瀬孝雄・近藤邦夫訳『ライフサイクル、その完結（増補版）』みすず書房、2001年
- 2) 厚生統計協会編『国民の福祉の動向』厚生統計協会、最新版
- 3) 精神保健福祉研究会監『我が国の精神保健福祉——精神保健福祉ハンドブック（平成21年度版）』太陽美術、2009年
- 4) 大熊輝雄著『現代臨床精神医学（改訂第11版）』金原出版、2008年
その他、精神保健・精神医学関係の図書

精神保健福祉援助技術総論Ⅰ・Ⅱ

科目コード●050137・050153・050154

担当教員●志村 祐子



4 単位
2 単位+2 単位

R or SR

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

(注) 2012年度以降入学者は、この科目を「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」(2単位 科目コード050153)と「精神保健福祉援助技術総論Ⅱ」(2単位 科目コード050154)の2科目に分けて履修します。レポート課題は前半の1・2単位めが「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」、後半の3・4単位めが「精神保健福祉援助技術総論Ⅱ」です。

科目の内容

2012年4月からの新カリキュラムにおいて、本科目は「精神保健福祉相談援助の基盤(基礎・専門)」にあたるものです。「総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術」ならびに「医療と協働・連携する相談援助の方法に関する知識と技術」を習得することが求められています。主な内容は様々な問題に対応する精神保健福祉士としての役割、相談援助の定義・理念・形成過程、他の専門職についての理解をした上での多職種との連携の仕方などについて学びます。「精神保健福祉の理論と相談援助の展開」を学ぶ上での基盤となる科目です。

教科書

新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー3 精神保健福祉相談援助の基盤 [基礎][専門]』へるす出版、2012年

(平成24年7月以前履修登録者) 2012年7月13日より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能ですが、レポート課題およびアドバイスの参照ページは新教科書に対応しています。なお、スクーリング受講の際には新しい教科書の所持が必要です。

レポート課題 ※4課題とも1,900字以上記述してください。

1 単位め

「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」1単位め

我が国におけるPSWの歴史と関連づけて、精神保健福祉士の専門性について述べてください。

2 単位め	「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」 2 単位め 次の用語を解説してください。(1 用語1,000文字程度で) ①ストレングスモデル ②スーパービジョン
3 単位め	「精神保健福祉援助技術総論Ⅱ」 1 単位め 様々な問題に対応するバイステックの原則から3つを選び、それぞれの意味について3つを関連づけて述べてください。
4 単位め	「精神保健福祉援助技術総論Ⅱ」 2 単位め 多職種との連携の必要性を述べてください。

(平成24年7月以前履修登録者) 2012年8月からレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2014年3月末までは提出できますが、できるだけ新しい課題に取り組んでください。

アドバイス

テキストは初めて学ぶ人にはやや困難な内容かもしれませんので、参考文献にも目を通し、調べ学習をしてください。また、「ソーシャルワーカーは足で稼ぐ」といわれているほど自分が一つの社会資源となって動くことが大切ですので、実際の現場に足を運ぶなど、目で見て確かめることもできれば行ってみてください。人とかかわる仕事をしていく上で、いかにコミュニケーションをとっていけるかはとても大切な能力です。自分がしたいことを相手に伝えること、わからないことを人に聞くことも大事なコミュニケーション能力です。

1単位め 解説

歴史的に起きた様々な事件、特に「Y問題」を踏まえて、精神保健福祉士としての専門性とは何か、専門職としての「専門的知識」「専門的技術」「価値観(倫理観)」等に言及してまとめてください。

2単位め 解説

- ①第2章をよく読み、エンパワメントと関係づけてまとめてください。
- ②スーパービジョンの意義・機能と形態について述べてください。

3単位め 解説

テキスト33ページから56ページをよく読んで相談援助の際にどのようなことが大切になるかを考えながらまとめてください。

4単位め 解説

テキスト第5章をよく読んで連携の必要性、その中での精神保健福祉士の役割と専門性について、生活モデルの視点に触れながらまとめてください。

参考図書

- 1) F・P・バイステック著 尾崎新他訳『ケースワークの原則』誠信書房、1996年
- 2) C・A ラップ、R・J ゴスチャ著 田中英樹監訳『ストレングスモデルー精神障害者のためのケースマネジメント 第2版』金剛出版、2008年

教科書記載の参考図書も参考にするとよいでしょう。

精神保健福祉援助技術各論

科目コード●050138・050148・050156

担当教員●大和田 誠子



4単位/2単位

R or SR

2年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

(注) 2012年度以降入学者→「精神保健福祉援助技術各論」(2単位 科目コード050156＝スクーリング単位1単位)

2011年度以前入学者→「精神保健福祉援助技術各論」(4単位 科目コード050138＝2012年度までにスクーリングを受けてスクーリング試験に合格した方＝スクーリング単位2単位；050148＝2013年度以降にスクーリングを受講して単位を修得する方＝スクーリング単位1単位(レポートは4単位分))

※2012年10月以降科目修了試験受験者の科目コード＝050148(レポート4単位)
同じ科目名ですが、科目コード・単位数が異なります。ご注意ください。

科目の内容

この科目では精神障害者の自立と社会参加を支援する精神保健福祉士が、その理論的背景と支援の具体的展開について学ぶものである。

精神保健医療の歴史と動向、精神障害者支援の理念、精神障害者の地域移行支援に関わるネットワーキングの実際も重要な課題である。

相談援助についてはその具体的展開過程と専門援助関係及び面接技法、家族療法的アプローチ等を学習する。

履修登録条件

2012年度以降入学者はこの科目は「精神保健福祉の理論」を履修登録と同時かその後に履修登録をしてください。

2011年度以前入学者で2012年7月までに「精神保健福祉論Ⅰ」履修登録済みで、2012年9月14日以降「精神保健福祉援助技術各論」を履修登録する方は2013年9月までに履修登録を完了のうえ、「精神保健福祉援助技術各論」の教科書を配本希望の旨、書面(郵送・メール・FAX)でお知らせください。

教科書 「◆★精神保健福祉論Ⅰ・■精神保健福祉の理論」と共通

新版精神保健福祉士セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー 4 精

神保健福祉の理論と相談援助の展開』へるす出版、2012年 第1・5・6章

※「精神保健福祉論Ⅰ」「精神保健福祉の理論」で配本済のため、この科目での教科書配本はありません。

(平成24年9月以前履修登録者) 2012年9月14日より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能ですが、レポート課題およびアドバイスの参照ページは新教科書に対応しています。なお、スクーリング受講の際には新しい教科書の所持が必要です。

レポート課題

1 単位め	グループワークの原則と展開過程とについて述べなさい。
2 単位め	ストレングスを活用して行うケアマネジメントについて述べなさい。
3 単位め	(2011年度以前入学者のみ解答) 地域における精神障害者の生活支援とノーマライゼーションの思想について、述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)
4 単位め	(2011年度以前入学者のみ解答) ケアマネジメントとストレングスの活用について、その見出し方、活用方法、利用者との協働、地域への介入方法等について説明しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題(別レポートは論述式)

(平成24年7月以前履修登録者) 2012年8月から1・2・3単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2014年3月末までは提出できますが、できるだけ新しい課題に取り組んでください。

アドバイス

各論では、総論で学んだソーシャルワーク史、概念、目的、原理などを基にソーシャルワーク「スキル」の習得をめざしています。多くの実践事例を読み込み総論で得た知識とあわせ深く掘り下げて検討してみることに。さらに自分自身が精神保健福祉士だったらどのような方法、スキルを持って対処するのか、その根拠は何か等も考えて見ましょう。

1単位め
解説

精神科領域の支援方法としてグループワークは、重要な位置を占めている。デイケアでのプログラム、病棟でのプログラム、対人関係の改善等の目的でSST、どれもグループワークの方法をつかって支援している。グループワークの原則を理解し、展開していくことが必要である。

2単位め 解説

ストレングスモデルのケアマネジメントは、利用者が本来持っている能力や環境の側の潜在的能力にも着目し、それを引き出し、活用したり、セルフケア能力を高めることに重点をおいている。

3単位め 解説

障害者は「ごく当たり前の生活」をおくり、「あたりまえ」の付き合いをする人にほかならない。住む場・憩いの場・働く場があることだと谷中輝雄氏は述べていた。

4単位め 解説

ケアマネージメントは利用者のニーズと希望に基づき、適切なサービスが受けられるよう支援する方法です。生活ニーズの捉え方とケアプランや第5章チームアプローチと連携、についてテキストを中心に学習し課題に取り組んでください。

参考図書

1 単位め

- 1) 黒木保博・横山穰・水野良也・岩間伸之『グループワークの専門技術—対人援助のための77の方法』中央出版、2001年
- 2) A. S. ベラック他（熊谷直樹・天笠崇・岩田和彦監訳）『改訂新版わかりやすい SST ステップガイド』上巻下巻、星和書店、2005年

2 単位め

- 3) 西尾雅明『ACT 入門——精神障害者のための包括地域生活支援プログラム』金剛出版、2004年
- 4) 三品桂子『利用者主導を貫く精神障害者のケアマネージメント』へるす出版、2003年
- 5) C. A. ラップ（江畑敬介監訳）『精神障害者のためのケースマネージメント』金剛出版、1998年

3 単位め

- 6) 谷中輝雄『生活支援——精神障害者生活支援の理念と方法——』やどかり出版、1996年
- 7) 田中英樹『精神障害者の生活支援——統合的生活モデルとコミュニティソーシャルワーク』中央法規出版、2001年

4 単位め

- 8) 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会『精神保健福祉援助技術各論』へるす出版、2008年
- 9) 吉川 悟『家族療法—システムズアプローチのものの見方』ミネルヴァ書房、1993年

精神科リハビリテーション学

科目コード●050139

担当教員●八巻 幹夫



4 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

科目の内容

我が国における精神障害者リハビリテーションの概念およびその実践概要を学ぶことによって、精神障害の構成要因や社会復帰（リハビリテーション）概念とその目標などについての理解を深めるようにしたい。特に、身体・知的障害領域にも定着している生活障害の概念については、生活機能の理解と生活支援における援助視点について学ぶようにします。

教科書

新版 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー 5 精神保健福祉におけるリハビリテーション』へるす出版、2012年
(平成24年9月以前履修登録者) 2012年9月14日より上記教科書に変更されます。以前の教科書にもとづいて学習する場合は『レポート課題集2011』記載の課題に取り組んでください。

レポート課題

1 単位め	障害者リハビリテーションと精神科リハビリテーションの概念を説明し精神科領域の相違点を述べなさい。
2 単位め	上田敏・蜂矢英彦・ICF（2001年版）の障害概念を述べその概念の変化について説明しなさい。
3 単位め	我々の生活に占める「働くこと」の意義を述べ、現状の障害者に対する職業リハビリテーション施策法と就労支援の際の留意点を述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	生活の構造とその機能を述べ、「生活障害」の内容について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

(平成24年7月以前履修登録者) 2012年8月から1・2単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2014年3月末までは提出できますが、できるだけ新しい課題に取り組んでください。

アドバイス

テキスト転載や他文献の丸写しによるレポート作成は避けるようにしてください。自分

で考えた文章と引用した文章を意識して区別するために引用・参考文献を表記（『学習の手引き』6章「レポートをまとめる」を参照）し、課題の説明だけでなく作成者自身の考察も加えるようにしてください。

1単位め 解説

リハビリテーションの焦点は障害の改善にあります。専門家は対象者のリハビリテーション過程にいかに関与するかが大きな鍵になります。両リハビリテーション領域の基本原則、なぜ相違点があるのかについても考察してください。テキスト第1章および参考図書1）『精神保健福祉の理論と相談援助の展開』を参照してください。

2単位め 解説

障害者リハビリテーションは対象者との協働作業です。そのための動機づけや目標設定において、障害の理解は不可欠なものであり、精神障害領域と他の障害領域との違いをきちんと理解してください。この課題については新テキストには詳しく掲載されていないため、参考図書（『障害構造論入門』『ICF（国際生活機能分類）の理解と活用』）を参考にしてください。

また、蜂矢英彦については、次の論文が参考になります。蜂矢英彦「精神障害論試論」（『臨床精神医学』10巻12号、p. 1653～1661）。ただし、一般書店での入手が困難ですので、図書館の文献複写取り寄せ（有料）などをご利用ください（『図書館ハンドブック』参照）。

3単位め 解説

私たちは働いて得る収入によって様々な欲求を満たし生活しています。それだけ、働くこと（就労）は重要な要素ですが、生活課題のすべてを解決するものではありません。この視点で働く意義を考察してください。また、支援の際の留意点については丁寧に作成してください。テキスト第5章第III節が参考になりますが、評価ポイントを「働く意義の考察」とします。

4単位め 解説

生活（暮らし）における「生活の障害、生活のしづらさ」は、精神保健福祉士にとっては重要な視点です。その「生活」を構成する要素と機能の理解が不十分では生活の支援さえもできないことになります。生活障害の構造と機能について課題をまとめてください。テキスト第2章第1節を参照してください。参考図書（『ひとと作業・作業活動』）も活用してください。

参考図書

- 1）新版精神保健福祉士セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー 4 精神保健福祉の理論と相談援助の展開』へるす出版、2012年
- 2）佐藤久夫著『障害構造論入門』青木書店、1992年
- 3）上田 敏著『ICF（国際生活機能分類）の理解と活用』きょうされん、2005年
- 4）清水正徳著『働くことの意味』岩波新書、1982年
- 5）山根 寛ほか編著『ひとと作業・作業活動一ひとにとって作業とは？作業をどのように使うのか？』三輪書店、2005年

精神医学

科目コード●050140

担当教員●松江克彦



4 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択 B福祉心理
選択 B

科目の内容

精神障害は紀元前の古くから知られていましたが、科学的な近代精神医学が確立されたのは約一世紀前のことです。そして約60年前に向精神薬が発見されて以来、精神障害の治療は著しく進展し、ここ四半世紀は、精神障害の主座としての脳に関する検査法や研究においてもめざましい発展を示してきました。本科目では、精神医学、精神医療の成り立ちから説明し、精神医学関連の基礎知識、診断の手順、各種精神障害とその治療法について理解することを目的とします。さらに、病院精神医療や地域精神医療についても理解を深めます。現代は心の時代ともいわれますが、精神医学の方法や精神障害についての学習を通して、疾患としての精神障害の理解はもちろんのこと、心を科学的に考える方法も身につけるように心掛けましょう。

教科書

新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー 1 精神医学』へるす出版、2012年

(平成24年3月以前履修登録者) 2012年3月26日より上記教科書に変更になりました。以前の教科書にもとづいて学習する場合は『レポート課題集2011』記載の課題に取り組んでください。

レポート課題

1 単位め	精神科診断における特殊性と「了解不能と了解」、診察の手順、代表的な身体検査、心理検査について説明せよ。
2 単位め	【説明型レポート】 下記について各300字以上500字以内で簡潔に説明してください。 ①器質性精神障害の主な症状について ②心的外傷後ストレス障害（PTSD）とその治療について ③摂食障害とその治療について ④学習障害と小児自閉症について

3 単位め	内因性精神障害である統合失調症および気分（感情）障害におけるそれぞれの症状、病型、経過と予後、治療について説明せよ。
4 単位め	知的障害（精神遅滞）の診断基準、分類、知的障害を引き起こす疾患について説明せよ。

（平成24年7月以前履修登録者）2012年8月からレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2011』記載の課題でも2014年3月末までは提出できますが、できるだけ新しい課題に取り組んでください。

アドバイス

諸君が精神医学を学ぶにあたってまず想定されるのは、専門用語が多いこともあって理解するのが容易ではないだろうということです。そのような場合は、教科書だけでなく、末尾に挙げた参考図書や、市販の精神医学用語辞典なども参考にするとよいと思います。また、現代は心の時代といわれるほどなので、精神疾患についての科学番組や新聞記事も随分増えています。精神医学や脳科学に関するテレビの番組や新聞の記事なども見るようにして知識を増やすよう努力してください。そのような積み重ねが、精神医学を身近なものにし、理解を助けてくれます。

さて、レポート課題に取り組むにあたって考えておいて欲しいのは、レポート課題を教科書で調べ、それを要求される字数で書き写せばよいというような態度ではいけないということです。課題は4つだけですが、レポート課題にないから重要でないというわけではありませんので、その他の部分もよく理解するようにしておきましょう。課題に答える前に、最初に述べたアドバイスも参考にして精神医学を理解しようという努力が必要であり、精神医学全体に対する理解が大切だということを強調しておきたいのです。以上のような点を考慮して、レポートの評価においても、そのレポートが、教科書をよく読み、かつ、教科書以外の方法で得られた知識も駆使して作成されているかどうか、という点を加えて評価します。また、レポートの最後に参考文献（教科書を含む）を必ず記すようにしてください。

精神医学の理解は決して容易なものではありませんが、今ほど精神障害に対する知識が必要とされる時代もないでしょう。正しい知識を持つことによって、精神障害にたいする誤解や偏見などについても考え直すきっかけにできるようにしてください。

（注）「統合失調症」は2002年以前に発行された文献では「精神分裂病」と表記されていることが多くあります。「精神分裂病」という呼び名にはマイナスのイメージがあり、差別や偏見を生み出しているのを是正するために、現在では「統合失調症」と呼び名が変更されています。

**1単位め
解説**

この課題は教科書第3章、第4章にわたって書かれています。精神障害は身体障害と異なって形のないものの障害なので、それだけ曖昧だったり困難だったりします。したがって、患者さんの診断する場合、どのような考え方で、どのような診断の手順で進めていくのか、そしてその診断をより確実なものにしていくためにどのような検査を用いて何を調べようとするのか、良く理解するようにまとめてください。その場合、診察の手順は時間的順序にしたがって記述するように配慮してください。また受診時の現在の症状は主観的症状と客観的症状に分けていくらかでも具体例を挙げるとなお良いと思います。

**2単位め
解説**

ここでは、知っておくべき精神疾患のキーポイントの理解を目指しています。①は、教科書第5章のⅠ、②は第5章Ⅴ、③はⅥ、④は第5章Ⅸにわかりやすい解説を見いだすことができます。全ての課題で症状を中心に述べるようにしていますが、精神疾患はその精神症状に把握によって診断されるので、自ずと精神疾患の理解につながります。②と③では治療についても述べるようにしてください。

**3単位め
解説**

内因性精神障害は身体因が想定され少しずつ解明されてきていますが、未だ原因不明な疾患（第3章Ⅱ）で、ここで挙げられた2大疾患がそれに相当します。それだけに、症状、病型、経過と予後が大切になります。ここでは、統合失調症と気分（感情障害；躁うつ病）に分けてそれぞれまとめるようにしましょう。教科書の第5章ⅢとⅣに書かれています。また治療についてもそれぞれ要領よくまとめるようにしましょう。

**4単位め
解説**

知的障害（精神遅滞）は、1993年における障害者基本法成立のはるか以前に福祉の対象となっているので、精神障害と区別されている印象を持つかもしれませんが、精神保健福祉法までの全ての法律における精神障害の定義に銘記されているものです。ここでは知的障害について医学的側面からしっかり理解することを心掛けてください。第5章Ⅷによく書かれています。

参考文献

- 1) 日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座Ⅰ 精神疾患とその治療』中央法規出版、2012年
- 2) 大熊輝雄著『現代臨床精神医学 第11版』金原出版、2008年
- 3) その他精神医学関係の図書

精神障害者の生活支援システム 24~

科目コード●050151

担当教員●阿部正孝



1 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択

福祉心理
選択B

科目の内容

ここでは精神障害者の支援に関する制度と福祉サービスの知識と内容が述べられています。相談援助活動が精神保健福祉法とどのように関連しているか、その組織や機関などの専門職を理解します。また、地域で生活するための場の確保や、近年大きく変化している障害者の就労・雇用支援の体制とその現状について学びます。

教科書 「精神保健福祉のサービス」で配本済のため、この科目での教科書配本はありません。

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集『新版精神保健福祉士養成セミナー 6 精神障害者の生活支援—制度・システムとサービス』へるす出版、2012年 第4章

履修登録条件

この科目は「精神保健福祉のサービス」の履修登録と同時かその後に履修登録をしてください。

レポート課題

※解答は1,900字以上、手書き用レポート用紙を使用して記述してください。

1 単位め

地域に暮らす精神障害者の具体的な状況をまとめ、生活支援を行うにあたっての基本的理念や主な政策を述べなさい。

アドバイス

- ①教科書を熟読し、内容を深く理解することに努めて下さい。また、必要に応じ、教科書記載の参考書を読むことにより一層の理解に繋がります。
- ②教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することに努めてください。
- ③参考・引用文献は教科書も含め3つ以上はレポートに出典明示するようにお願いします。

**1単位め
解説**

テキスト 4 章を読み、精神障害者の統計や実態調査を概観し、あわせて地域生活支援に対する自分の考えも述べることが求められています。

参考図書

教科書記載の参考図書を読まれることをおすすめします。

精神保健福祉援助演習 A 24～

科目コード●050157

担当教員●阿部正孝・志村祐子
大和田誠子・八巻幹夫 ほか

1 単位

SR

2 年以上

社会福祉
選択

この科目は平成24年度以降入学者のみが受講できる科目です。なお、「精神保健福祉援助演習 B・C」「精神保健福祉援助実習指導 A・B・実習 A・B」のレポート課題は「精神保健福祉援助演習 A」を受講して合格した方に2013年度以降にお知らせする予定です(『With』でのご案内にご注意ください)。

科目の内容

関連科目との関連性をふまえ、精神保健福祉援助の基礎的知識と技術の習得を図ることを目的とします。

精神保健福祉援助に係る知識と技術について、事例を通して実践的に習得します。また、事例を通して地域福祉の基盤整備と開発についても学んでください。精神保健福祉援助の知識と技術を実践的に習得し、かつ概念化できるようになることを目指します。

教科書

- 1) 新版 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー 7 精神保健福祉援助演習 [基礎][専門]』へるす出版、2012年
- 2) 「IV資料集：ソーシャルワーカーの倫理綱領／社団法人日本精神保健福祉士協会倫理綱領／精神科ソーシャルワーカー業務指針」(『精神保健福祉援助実習の手引き』よりコピー同封)

レポート課題

1 単位め	※スクーリング事前レポート（精神保健福祉援助演習 A スクーリング申込締切日までに提出） 利用者とのコミュニケーションにおいて大切と考えられることをまとめてください。
2 単位め	※スクーリング事後レポート（スクーリング受講後の所定の期日までに提出） 精神保健福祉士の価値と倫理についてまとめてください。

アドバイス

レポート作成にあたっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り組んでください。ただし、**教科書や参考図書の丸写しは認められません**。また、レポート作成後は、再度読み直しのうえ提出してください。

レポートはスクーリングを受講する年度に提出してください。

1単位め解説

テキストの2章・3章・4章をよく読んでまとめてください。

スクーリング受講前にスクーリング申込締切日までに提出してください。なお、1単位めレポート表紙の担当教員名は記載しないでください。

2単位め解説

テキストの序章・2章および本課題と一緒に送付しているIV資料集の「1 ソーシャルワーカーの倫理綱領」「2 社団法人日本精神保健福祉士協会倫理綱領」「3 精神科ソーシャルワーカー業務指針」(『精神保健福祉援助実習の手引き』よりコピー)をよく読んでまとめてください。

スクーリング受講後に提出してください。レポート用紙の表紙科目名記入欄の右側には受講した演習の担当教員名を記入してください。

参考図書

- 1) 日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 第8巻 精神保健福祉援助演習(基礎・専門)』中央法規出版、2012年
- 2) 福祉臨床シリーズ編集委員会編『精神保健福祉士シリーズ 9 精神保健福祉援助演習(基礎)』弘文堂、2012年
- 3) 福祉臨床シリーズ編集委員会編『精神保健福祉士シリーズ 9 精神保健福祉援助演習(専門)』弘文堂、2012年

レポートの提出方法

この科目は、1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。1単位のレポートの字数は2,000字程度ですが、最長4,000字程度まで記入していただいても結構です。

- ・所定の手書き用レポート用紙 → p.16までの使用可
- ・ワープロ印字による提出 → 左右40字×30行×2～4枚まで可。

スクーリング受講申込上の注意

この科目はスクーリングの受講が必ず必要になります。演習は1クラス20人程度の少人数で開講します。授業料は、演習科目ですので1単位10,000円となります。

●2012年度にスクーリングを受講される方＝10/31申込締切

●2013年度以降にスクーリングを受講される方＝今後の『With』でお知らせいたします。
申込方法や受講条件の詳細は次項以下をご覧ください。

「精保演習 A」スクーリング受講条件

「精保演習 A」のスクーリング申込締切日までに下記①～③の要件を満たしている必要があります。

- ①精神保健福祉士指定科目の中から「障害者福祉論」を含む6科目のレポートを提出していること。
- ②「精保演習 A」の1単位めレポートを提出していること。
- ③「精保演習 A」を履修登録していること

受講の前提となる6科目（「障害者福祉論」を含む）のレポートおよび「精保演習 A」1単位めレポートはスクーリング申込締切日必着までに提出してください。

なお、入学後半年以内に受講する場合は受講条件が緩和される可能性があるため、『With』などでの連絡にご注意ください。

「精保演習 A」スクーリング受講・単位認定について

演習のスクーリングにおいては、自己紹介、学生同士の話し合いや発表・ロールプレイング等の実施を予定しており、積極的な参加が求められます。

また、「精保演習 A」の受講内容・成績および同日程中または別日程にて実施予定の「精神保健福祉援助実習 A（社会福祉施設実習※）受講選抜試験」によって次年度実習受講の可否が判定されます。

※社会福祉施設実習：障害福祉サービス事業を行う施設などにおける実習

●単位認定

1 単位め事前レポート＋演習スクーリング（スクーリング試験は実施しません）＋2 単位め事後レポートで単位認定いたします。

2 単位め事後レポートを所定の期日までに提出しない場合は、スクーリングの受講は無効となります。

また、事後レポートが再提出の場合は、再提出評価となったレポート到着後、指示された期日までに再提出を行わないとスクーリングの受講は無効になります。

この科目の最終スクーリング結果通知は、2 単位めレポート提出締切後に郵送にて行います。

スクーリングを欠席・不合格の場合、1単位め合格済みレポートについても無効となります。次回以降演習を申込み際、所定の期日までに再度1単位めレポートおよび「精神保健福祉援助演習 A・実習 A 受講申込カード」を再提出していただきます。

精神保健福祉援助実習 A 受講選抜試験について

※実習免除者・2013年度以降入学者で選抜試験合格済者は受験の必要はありません。

この試験は「精保演習 A」のスクーリング期間中またはその前後約1カ月以内に実施されます。あらかじめ設定した評価基準にもとづき、「精保演習 A」での受講態度・評価等を加味しながら、実習生としてのレディネス（ここでは、実習生として学習する際の基礎条件となる一定の知識・経験・態度等が修得されている状態）について審査委員会において総合的に判定されます。

本選抜試験の目的は、あくまでも実習生としてのレディネスを測るものであり、個々の人間性について評定するものではありません。不合格となった場合も次年度以降の再挑戦が可能です。

また、合格となっても、実習希望地における実習受入の数が限られている場合は、成績上位者から優先的に受入の調整を行うため、希望地で実習ができない場合があります。この場合、実習施設としての条件を満たす施設と新たに受入契約を結ぶことも可能ですが、難航することも予想されます。その場合は、①別の地域での実習、②次年度に実習する、のいずれかを選択していただきます。

「精保演習 A」受講申込者で実習免除者以外は、同時に「精神保健福祉援助実習 A」を申込みこととなります。「精保演習 A」または「精神保健福祉援助実習 A・受講選抜試験」が不合格となった場合、当年度の「精神保健福祉援助実習 A」の申込は無効となりますことをあらかじめご了承ください。

なお、2013年度以降入学者で入学時・選抜試験合格済者でも、無条件で「精保演習 A」合格や「精神保健福祉援助実習 A」受講が約束されているわけではありませんので、ご注意ください。

精神保健福祉援助演習

~23

科目コード●050141

担当教員●阿部 正孝・大和田 誠子
志村 祐子・八巻 幹夫 ほか

2 単位

SR

3 年以上

社会福祉
選択

- ・ここに記載の内容は2013年度までの演習申込・受講者のための内容となります。2014年度以降の演習申込・受講にあたっては、スクーリング時間数の増加などを含め大幅に変更されます。
- ・2011年度以前入学者向けの科目です。

科目の内容

精神保健福祉士は、精神障害者の社会的復権と福祉を実現するための福祉サービスの提供と、生活を支援することを主たる業務とする専門職です。疾病と生活のしづらさという障害をあわせもつ精神障害者が、ひとりの人間として社会で生活していくうえで、人としての権利が保障され、自らの生活課題に自ら取り組んでいけるよう援助していくことが望まれます。

精神保健福祉援助演習においては、そうした専門職者として必要な援助技術を事例研究やロールプレイ、グループ討議等を通して学習すると同時に、援助者としての自己理解、適性なども見つめていくことを目的としています。したがって、主体的に参加し、学ぶことが大切な要件となります。

教科書

新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー 7 精神保健福祉援助演習 [基礎][専門]』へるす出版、2012年
(平成24年7月以前履修登録者) 2012年8月より、上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め

スクーリング事前課題（原則として3/15or9/15、遅くともスクーリング受講判定日（4/15or10/15）までに送付）
精神障害の「障害」とは何かについて述べなさい。

2 単位め

スクーリング事後課題（スクーリング後の指定期日までに送付）
スクーリング時に指示する課題について論じなさい。

アドバイス**1単位め
解説**

精神障害は疾病と障害の共存といわれ、「生活の障害」「関係性の障害」とも言われます。障害を抱えている人の生活のしづらさなども合わせて考えることにより、適切な精神障害の「障害」を理解できると思います。

**2単位め
解説**

スクーリングでは、具体的ななかかわり技法や事例の検討を通し、人と人とのなかかわりのなかで、自分を見つめる機会にもなります。さまざまなことをたくさん吸収してください。そのうえで出された課題について論じてください。

レポートの提出方法

この科目は、1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。1単位のレポートの字数は2,000字程度ですが、レポート用紙のp.16まで使用し、最長4,000字程度まで記入していただいても結構です。

ワープロ印字による提出を希望する場合は、所定の方法（本冊子 p.12～16参照）にて2,000～4,000字で作成してください（左右40字×30行×4枚まで可）。

1単位めは、スクーリング受講前に「開講日程」記載の提出期限までに提出してください。なお、1単位めレポート表紙の担当教員名は記載しないでください。

2単位めは、スクーリング受講後に提出してください。レポート用紙の表紙科目名記入欄の右側には担当教員名を、課題記入欄にはスクーリング時に指示される課題を記入してください。

レポート作成に当たっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り組んでください。ただし、教科書の丸写しは避けてください。また、レポート作成後は、数回の読み直しの後、提出してください。

今年度履修登録はするが、スクーリングを受講できない方は、レポートの提出はご遠慮ください。

スクーリング受講上の注意

この科目はスクーリング受講が必ず必要です。演習は、1クラス20名程度を定員とするため、開講日ごとに1～2クラスに分けて開講します。スクーリング受講希望者は、3月15日（判定日4月15日）、または9月15日（判定日10月15日）必着でお申込みください。申込方法や受講条件の詳細は次項以下をご覧ください。

演習のスクーリングにおいては、自己紹介、学生同士の話し合いや発表・ロールプレイングなどへの参加が求められます。

特記事項

2013年度からは8月末実習申込み（実習期間：2／1～7／10）が廃止され11月末実習申込み（実習期間7／1～12／25）のみとなる予定です。

演習受講希望者の履修登録上の注意

演習受講希望者は、申込み時点で演習を履修登録している必要があります。4月生・10月生とも、それぞれの演習申込締切日（3／15・9／15）までに当年度の履修登録を済ませてください。

精神保健福祉援助演習 スクーリング受講条件

- (1) 申込締切日の3月15日または9月15日に対する各受講判定日（4月15日または10月15日）までに、下表の条件を満たしていること。

指定科目	条件
①福祉法学 ^{注1} ②精神保健 ③精神保健福祉論Ⅰ ④精神保健福祉論Ⅱ ⑤精神保健福祉援助技術総論 ⑥精神保健福祉援助技術各論	a) 申込締切日（3月15日または9月15日）までに①～⑥の6科目のレポートを提出していること。 b) 受講判定日（4月15日または10月15日）までに、6科目中4科目の単位を修得していること。

注1 平成20年度以前の入学者は「福祉心理学」または「福祉社会学」でも可

- (2) 各受講判定日（4月15日または10月15日）までに、「演習」1単位め（事前課題）レポートを提出していること。

「演習」の受講条件を満たすための単位修得方法

1) レポート

受講の前提となる6科目のレポートは申込締切日（3／15・9／15）必着で提出してください。ただし、単位修得すべき4科目については不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。また、「演習」1単位めレポートは最終受講判定日（4／15・10／15）までの提出が必要です。ただし、3／15・9／15までに提出した方が希望の日程で受講できる可能性が高くなります。

なお、9／1、3／1以降に再提出として返却されたレポートはそれぞれ10／10、4／10まで提出が可能です。

2) 科目修了試験

単位修得すべき4科目を科目修了試験受験する場合は、遅くとも3／15申込みの場合2

月、9/15申込みの場合9月までの科目修了試験を受験して合格していることが必要になります。

3) スクーリング

単位修得すべき4科目をスクーリング受講する場合は、最終受講判定日の3日前までのスクーリングを受講して合格していることが必要になります。

精神保健福祉援助演習 スクーリング申込手続

この科目はスクーリングの受講が必ず必要になります。

年度ごとに定められた日程で開講します（連続する2日間7コマの演習を受講のこと）。

演習は1クラス20人程度の少人数で開講します。受講条件を満たす3年生以上の方で、スクーリング受講希望者は、「精神保健福祉援助演習 登録カード」（申込み約2カ月前の機関紙『With』巻末の様式）に希望日程や必要事項を記入し、3月中旬または9月中旬必着でお申込みください。

●開講日程 ※具体的な日程は受講年度の『試験・スクーリング情報ブック』を参照。

(1) 開講時間 ※年度により時間変更される場合があります。

1日目 10：50～17：30（16：10～17：30「体験学習・次年度実習ガイダンス」）

2日目 9：30～14：40

2012年度からの新カリキュラム施行にともない、実習の教育的効果向上を目的に、スクーリング時間・日数が伸長される場合があります。詳細は『試験・スクーリング情報ブック』および機関誌『With』にて通知いたします。

(2) 11月末の実習申込受理条件の達成を目指す方は、2単位め（事後課題）レポートを11月20日までに提出し、11月末時点で合格していることが必要です。

(3) 11月末の実習申込みを行う方は、申込時点で「演習」を合格している必要はありません（2/20までの合格で可）。

クラス分けは無作為に行いますので、演習受講にあたって、教員を指定することはできません。申込後の希望日程の変更は一切受け付けません。希望する日程の通りにならない場合もありますので予めご了承ください。

また、スクーリング終了時間前の退席も一切認められません。余裕を持って帰路の計画を立てて受講に臨んでください。

●受講許可通知発送

3月15日の申込締切後、受講条件を満たした方には3月下旬に、4月中旬の受講判定後条件を満たした方には4月下旬に受講許可通知を発送いたします（9月15日申込者は、それぞれ9月下旬および10月下旬に発送予定）。クラス調整の結果、必ずしも第1希望での受講ができない場合があります。特に勤務における休暇取得調整が必要な方は、いずれの開催日程の受講になっても良いよう、休暇取得についてご準備ください。受講料納入依頼書は受講許可通知と別途送付します。3月15日申込者の納入期限は5月上旬（9月15日申込者は受講日より10月下旬または11月上旬）です。この科目の授業料は、演習科目ですので1単位10,000円となります。

単位認定

1 単位めレポート（事前課題）＋演習スクーリング（試験は実施しません）＋2 単位めレポート（事後課題）で単位認定いたします。

2 単位めレポート（事後課題）を1月20日までに提出しない場合は、スクーリングの受講は無効となります。また、事後課題が再提出の場合は結果到着後1カ月以内に再提出を行わないとスクーリングの受講は無効になります。

この科目の最終スクーリング結果通知は、1月20日の事後課題レポート提出締切後2月中旬～2月末に行います。スクーリングを受講しても受講年度の所定の期日までに事後課題を提出しない場合は単位未修得となり、次年度以降に再度スクーリングを受講する必要があります。

スクーリングを欠席・不合格の場合、1単位め合格済みレポートについても無効となります。次回以降演習を申込み際、所定の期日までに再度1単位めのレポートを提出し直していただく必要があります。

体験学習

体験学習とは、「精神保健福祉援助実習対象施設」（「精神保健福祉援助実習対象施設」p.249～250参照）において、2日間以上（1日ずつ2カ所でも可）行っていただく短期実習です。

次年度の精神保健福祉援助実習へ向けて、精神保健福祉の実践の場を体験し、広い視野を養うとともに、利用者や職員とのコミュニケーションを通して、自己の適性について考えることを目的としています。

精神保健福祉援助実習対象施設で1年以上の勤務経験のある方、またはあった方は、「実績報告書」（演習受講者に配付する『精神保健福祉援助実習の手引き』の様式）を提出して合格になれば、体験学習は免除になります。

詳細については、演習受講時に配付する『精神保健福祉援助実習の手引き』を参照してください。

注1：演習を受講した年度を越えて体験学習を行う場合は、「賠償責任保険」の保険期間外になります。「体験学習」は演習受講年度内に行うか、年度を越える場合は「体験学習先内諾報告書」の提出時に必ず本学実習係まで申し出てください（再度保険加入の手続きを行います）。

注2：体験学習は「演習」の単位認定には無関係ですが、実施し合格しないと、実習受理条件は達成できません。

精神保健福祉援助実習

~23

科目コード●050902

担当教員●阿部 正孝・大和田 誠子
志村 祐子・八巻 幹夫 ほか

6 単位 | **SR + 実習科目** | 4 年

社会福祉
選択

- ・ここに記載の内容は2014年度までの実習申込・受講者のための内容となります。2015年度以降の実習申込・受講にあたっては、スクーリング時間数の増加などを含め大幅に変更されます（2013・2014年度もこれにあわせて変更の可能性あり）。
- ・2011年度以前入学者向けの科目です。

科目の内容

本科目は、(1)実習事前指導、(2)実習（24日間以上かつ180時間以上）、(3)実習事後指導から成り立っています。実習を通し、皆さん自身が、専門職である援助者として、ふさわしい自分であるかどうかを見つめていただくことが重要となります。そのための事前学習がかなり大切となります。大学から与えられた課題のみではなく、体験学習や業務実績を通して得た課題をさらに深め、確認していけるよう、皆さん自身が、積極的に学ばれることが必要です。実習を通し、精神保健福祉士としての価値や倫理、技術を十分にご自分のものとしていくことが望まれます。

事後指導では、実習において、それぞれが、自分の課題をいかに達成できたか、あるいは何が達成できなかったか等の振り返り、これまで学んできた援助技術がどれくらい身についたか等を検討していきます。

教科書

- 1)『精神保健福祉援助実習の手引き』東北福祉大学（演習受講者に配付）
- 2)『精神保健福祉援助実習課題ノート』東北福祉大学（演習受講者に配付）
- 3) 新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー 8 精神保健福祉援助実習指導・現場実習』へるす出版、2012年

※日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 8 精神保健福祉援助実習』中央法規出版、2009年

（平成20年度以前履修登録者）2009年4月に上記※の教科書に変更されました。それ以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

（平成21～24年度履修登録者）2013年度より上記3）の教科書に変更されます。2012年12

月までの履修登録者には上記※の教科書を配本します。新しい教科書を希望の方は自己負担で各自ご購入ください。

レポート課題

課題 1	事前指導スクーリング受講前の課題 ①「実習計画案」を作成する（鉛筆書き）＝事前指導スクーリングの日程に応じた提出期日（「試験・スクーリング情報ブック」参照）必着で通信教育部まで送付してください。 ②『精神保健福祉援助実習課題ノート』の「Ⅲ 事前訪問までの準備」のp. 15まで1～6の課題をすべて完成させる（「Ⅳ 事前訪問の主な課題」の部分は記入できる範囲で記入する）＝スクーリング時に持参ください。※今後課題が変更される場合あり。
課題 2	事前指導スクーリング受講後の課題 ①「実習計画書（清書用）」を完成させる＝コピー2部を実習開始日の1カ月前必着で通信教育部まで送付してください。 ②実習先への事前訪問後、『精神保健福祉援助実習課題ノート』の「Ⅳ 事前訪問の主な課題」の部分を完成させる。 ③実習先への依頼状＝実習1カ月前頃に個人でお願いの気持ちを込めて実習先へ依頼状（封書）を出してください。
課題 3	実習後、事後指導スクーリング受講前の課題＝事後学習は現場実習での自己の振り返りを行い、自己評価とあらたな課題設定に向けて、一定の整理を行うものです。下記に沿い課題にあたってください。 ①実習先への御礼状＝実習終了後1週間以内に封書にて実習先にお出しください。 ②「実習事後レポート」：4,000字程度＝事後指導スクーリングごとの指定の期日（「事後レポート提出期限」参照）必着で通信教育部まで送付してください。1）実習を終えての全体的感想、2）実習前と実習後の精神保健福祉現場についての印象の変化、3）設定した課題の評価や自分のあらたな課題、また、4）実習を通して知りえた自分自身の評価も含めながら現場実習の成果と評価をまとめてください。実習で学んだことを分析考察するものを望んでいます。単なる感想にならないように留意ください。 ③『精神保健福祉援助実習課題ノート』のすべての課題を完成させる＝事後指導スクーリングの際に持参してください。 ④『実習記録』＝実習先に提出し、実習先から大学へ返送されます。事後レポート作成のため、自分用のコピーをとっておいてください。

【注意】 2カ所で実習を行う場合は、「実習計画案」は各2部ずつ、『精神保健福祉援助実習課題ノート』で各実習先に応じて作成が必要な課題については、任意の用紙を追加貼付して作成、「実習事後レポート」は、それぞれ2カ所分の内容での提出（表紙1部にレポート2カ所分を貼付して提出）が必要になります。

『精神保健福祉援助実習課題ノート』はすべて手書き（鉛筆）で完成させてください（ワープロ・パソコン印字やコピー貼付不可 表・グラフの資料を用いる場合も手書きで筆写する）。

アドバイス

実習に関する「課題学習」の内容や流れの詳細は、実習係から配付される書類やスクーリング時の指示に従ってください。

課題1・2 解説

『精神保健福祉援助実習課題ノート』に示す事前学習課題は、実習生として少なくとも踏まえておかなければならないものです。事前訪問までの準備』の部分は、『精神保健福祉援助実習の手引き』の参考文献に基づいて、施設機関等の依拠する法律、施設機関の組織や機能、社会資源の関連法規等について学び、事前指導スクーリングまでに整理してください。十分な準備によってまとめられた資料は、必ず実習期間中に役立つものとなります。

それぞれの関心領域に基づき積極的に学ぼうとする姿勢が実習には重要です。「実習計画案」の作成は学び方を客観的にまとめる作業ですので、何を学びたいのか、そのためにどう取り組みたいのかという視点で立案してください。その際、実習指導者が決まっている場合、指導者と相談しながら計画を練ることもとても有効です。

「実習計画案」は事前に送付してある実習計画書に鉛筆書きで作成し、封書で通信教育部実習係まで送付してください。必ず切手貼付・返信先住所記入の返信封筒（A4判用紙が入るサイズ）を同封してください。封書を第4種郵便で送付したい方は、『学習の手引き』記載の要領で送付してください。

実習の受入機関は多忙な業務を割いて指導して下さることを忘れないでください。それに応えられるだけの成果を得るような事前の準備を心がけてください。

課題3 解説

実習後、事後指導スクーリング前の課題は、実習体験やご自身の専門職としての適性を含めた十分な振り返りを行い、レポートにまとめてください。特に、専門職としての適性については慎重にご自身を見つめ直してください。実習の目標課題の達成度を含め、実習で得た内容を、自分の実習計画に即しながらまとめてください。

実習事後レポートは、A4判用紙にまとめ（ワープロ・パソコン可 字数4,000字程度）、実習事前指導スクーリング時に配付する「事後レポート提出用表紙」に貼り付けて、受講を希望する各実習事後指導スクーリングの事後レポート提出期限までに提出してください。

実習期間

※ 8月末申込は2012年度までのみ

◆11月末申込で実習の受講が認められた方

実習期間：7月1日～12月25日

（実習の流れ）

① 5月～7月の実習事前指導スクーリング受講 → ② 7月1日～12月25日の期間に実習

→ ③ 9月または12月、2月に事後指導受講 → ④ 9月または3月卒業

※卒業には、規定年限以上在学（1年次入学者は4年間、2・3年次編入学者は、それぞれ3年・2年間在学）していることや、その他の卒業要件を満たすことも必要です。

※11月末時点で学年が3年生の10月生は実習の申込ができません。学年が4年生になった年度の11月末にお申込みください。

◆2012年8月末申込で実習の受講が認められた方 実習期間：2月1日～7月10日

実習の流れは『実習の手引き』参照。

受講に際しての注意事項

実習受講にあたり、以下のとおり段階的に所定の条件を満たしていくことが必要となります。詳細については、以降の各条件をご確認ください。

精神保健福祉援助実習申込受理条件

精神保健福祉援助実習事前指導スクーリング受講条件

精神保健福祉援助実習開始条件

精神保健福祉援助実習事後指導スクーリング受講条件

精神保健福祉援助実習 申込受理条件

精神保健福祉援助実習の申込締切日までに下記の各入学年度別カリキュラム（平成20年度以前または平成21～23年度）および入学年度共通の条件を満たしたうえで、「精神保健福祉援助実習希望届」「学習計画書」「体験学習記録（または実績報告の合格による免除）」「実習課題レポート」の提出により申込を行ってください（各様式は「演習」受講時に配付される『精神保健福祉援助実習の手引き』の巻末にあります）。実習審査会における審査に合格すれば実習受講が認められます。

●11月末申込実習希望者対象＝2013年度以降早まる可能性があります。『With』などでのご案内にご注意ください。

(1) 「実習」申込締切日：11月末

実習希望者は下記の申込受理条件の達成にかかわらず、全員11月末までに申込を行うこと。

(2) 11月末申込受理条件

①と⑥および②～⑤のいずれかの条件を満たすこと。

①精神保健福祉援助演習のスクーリングを受講済みで、かつ精神保健福祉援助演習の2単位めのレポートを提出（最終提出期日：1/20）し、各判定日までに合格していること。

ただし、下記②の11月末に実習申込受理条件の達成※を目指す方は、11月20日まで

に精神保健福祉援助演習の2単位めのレポートを提出して合格することが必要。

②11月末日までに指定科目8科目の単位修得（「精神保健福祉援助演習」＋「専門科目^{注1}」4科目を含む）。

③上記②が達成できなかった方→12月20日までに指定科目9科目の単位修得（「精神保健福祉援助演習」＋「専門科目」5科目を含む）。

④上記③が達成できなかった方→1月20日までに指定科目10科目の単位修得（「精神保健福祉援助演習」＋「専門科目」6科目を含む）。

⑤上記④が達成できなかった方→2月20日までに指定科目11科目の単位修得（「精神保健福祉援助演習」＋「専門科目」6科目を含む）。

⑥受講判定日において、卒業見込み要件80単位以上を修得していること（認定単位を含む）。

注1：「専門科目」：「精神保健福祉論Ⅰ」「精神保健福祉論Ⅱ」「精神保健福祉論Ⅲ」

「精神保健」「精神医学」「精神保健福祉援助技術総論」「精神保健福祉援助技術各論」「精神科リハビリテーション学」「精神保健福祉援助演習」「精神保健福祉援助実習」の10科目（以下、同様）

(3) 2月20日までに条件を満たせなかった方は、翌8月末または11月末に再度実習申込みが可能です（ただし8月末実習申込は2013年度以降廃止）。8月末または2月20日までに条件を満たせば、「精神保健福祉援助実習」の申込が受理されます。

●8月末申込実習希望者対象（2012年度までのみ・2013年度以降廃止）

詳細は『実習の手引き』参照。

●11月末・8月末実習申込希望者共通

①実習を希望する年度の初めに「精神保健福祉援助実習」の履修登録を行っていること。

②精神保健福祉施設・病院での勤務経験がない方は、演習受講後、「体験学習」（2日間以上、1日ずつ2カ所以上でも可）を終えて「体験学習記録」を提出し、判定日までに合格していること。また精神保健福祉施設・病院での勤務経験がある方は、演習受講後1カ月以内に「実績報告書」を提出し、判定日までに「体験学習」の免除が認められていること。

③実習申込みにあたり、「実習課題レポート」（課題内容は演習受講時に配布する『精神保健福祉援助実習の手引き』巻末の様式に記載）を提出し合格すること。

④卒業後、精神保健福祉分野の業務に携わる意思を強く持っており、精神福祉の学習および実習に対して熱意と意欲を持っていること。

⑤精神保健福祉士の国家資格の取得を強く希望し、国家試験を受験する意欲があること。

⑥ルールが守れない方（スクーリングやガイダンスに遅刻する、許可なく自家用車で本学に来校する、「事前・事後レポート」の提出期限や入金期限を守れない、その他自身の行動や感情をコントロールできない等）は、実習先に迷惑をかけるおそれがある

とされ、実習受講が不許可または取消しとなる。

※10月生または4月生の在籍延長者で9月末の卒業を希望する方は、7月～8月第2週の期間に実習を終え、9月の実習事後指導を受講し合格しなければなりません。

ただし卒業には規定年限以上在学している必要があります。

●実習申込希望者の単位修得方法

◆11月末申込希望者が実習申込受理条件を達成するための単位修得方法

1) レポート

受講判定日（11月末、12/20、1/20、2/20）の1カ月前までに提出し、判定日までに合格していることが必要です。不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。

なお、1/5以降に再提出として返却されたレポートは2/15まで提出が可能です。

2) 科目修了試験

11月末および12/20が判定日の場合は第5回（10月）を、1/20が判定日の場合は第6回（12月）を、2/20が判定日の場合は第7回（1月）科目修了試験までを受験して合格していることが必要です。第7回（1月）科目修了試験を受験する方は1/5がレポート提出締切日となります。

3) スクーリング

各判定日の3日前までのスクーリングを受講して合格していることが必要になります。

「精神保健福祉援助実習」事後課題レポート

11月末に受理条件の達成を目指す場合の「実習」の事後レポート提出締切日は11月20日です。

精神保健福祉援助実習事前指導スクーリング受講条件

「精神保健福祉援助実習」では実習事前指導としてスクーリングが課されます。受講するための条件は下記のとおりです。

- (1) 上記の「精神保健福祉援助実習の申込受理条件」を満たしていること。
- (2) 事前指導スクーリング受講前の課題を終えていること（「レポート課題」課題1参照）。
 - ①実習受入の内諾確定後（「実習先の選定」参照）、各事前指導スクーリングの指定の期日までに、事前課題1単位めの「実習計画案」（「体験学習・次年度実習ガイダンス」において配付される『精神保健福祉援助実習の手引き』の様式）を提出し、2回以上の添削指導を受けていること。
 - ②『精神保健福祉援助実習課題ノート』の「Ⅲ 事前訪問までの準備」の1～6の課題をすべて完成させていること。
- (3) 「精神保健福祉援助実習」を履修登録し、指定の期日までに実習費を納入していること。

精神保健福祉援助実習事前指導スクーリング申込手続

この科目のスクーリングは、『試験・スクーリング情報ブック』に記載の日程で開講されます。「実習事前指導スクーリング受講条件」を満たした方で、実習を受講する方は、実習受講前年度1～3月発行の機関誌『With』巻末の「実習事前指導スクーリング受講申込カード」に必要事項を記入して、期限までに実習事前指導スクーリングの申込みを行ってください（対象者に直接郵送案内する場合があります）。

7月からの実習を希望する方は、必ず5月に開講される事前指導を受講してください。

●開講日程 ※具体的日程は各年度の『試験・スクーリング情報ブック』を参照ください。

- (1) 開講時間 ※年度により時間変更される場合があります。

実習前にいずれか1日（3コマ+ガイダンス）を受講してください。開講地は仙台、開講時間は10：00～16：40（15：20～16：40「実習直前ガイダンス」）です。

2012年度からの新カリキュラム施行にともない、実習の教育的効果向上を目的に、スクーリング時間・日数が伸長される場合があります。詳細は『試験・スクーリング情報ブック』および機関誌『With』にて通知いたします。

- (2) 欠席・遅刻について

当日の飛行機欠航・高速バス遅延など公共交通機関が原因でも、遅刻・欠席をする
と実習が受講できなくなりますので、余裕をもってご来校ください。ただし、当日開
始1時間15分前までに仙台駅に着く東北新幹線ほかJR列車の30分以上の遅延につ
いては、何らかの配慮をいたします。スクーリング終了時間前の退席は一切認められ
ません。余裕を持って帰路の計画を立てて受講に臨んでください。

- (3) 受講許可通知発送

受講希望者で条件を満たしている方は、原則として希望の日程で受講が可能で
すが、受講人数に偏りが出た場合は、第2希望での受講となりますことを予めご了承
ください。

上記申込締切後、2週間程度で、クラス分け後、受講許可通知と受講料納入依頼書
を発送します。この科目のスクーリング単位は、事後指導受講分と合わせて1単位が
修得できます。受講料は、事後指導受講分と合わせて10,000円を、事前指導申込者に
請求させていただきます（事後指導申込時は受講料の納入は不要です）。

実習開始条件 ※平成23年度以前入学のすべての学生に対して適用

すべての実習受講生は実習開始日の1カ月前には実習を除く指定17科目（平成20年度以
前入学者カリキュラム）、または19科目（平成21～23年度入学者カリキュラム）の単位修
得済みであることが望ましい。ただし下記の最低条件を達成していれば可とします。

実習開始日の2カ月前までに、①指定科目の中から40単位の単位修得、②実習を除くすべての「専門科目」のレポートを提出済みであること。

精神保健福祉援助実習事後指導スクーリング受講条件

実習受講後に、実習事後指導スクーリングを受講する必要があります。スクーリングを受講するための条件は以下のとおりです。

- (1) 指定された日数・時間の実習を終了していること。
- (2) 受講を希望する開催日ごとに定められた期日までに事後レポートを提出していること。
- (3) 『精神保健福祉援助実習課題ノート』を完成させていること（実習事後指導スクーリング受講の際に持参して提出）。

精神保健福祉援助実習事後指導スクーリング申込手続

4月上旬の期日までに、実習受講前年度3月発行の機関誌『With』巻末の「実習事後指導スクーリング申込カード」にて実習事後指導スクーリングの申込みを行ってください（対象者に直接郵送案内する場合があります）。

7月1日～8月第2週の間に実習を受講し、規定年限以上の在学、その他の卒業要件を満たしたうえで実習終了年度の9月に卒業を希望する方は、9月中旬の実習事後指導スクーリングの受講を申込んでください。具体的日程は当該年度の『試験・スクーリング情報ブック』を参照してください。

●開講日程

実習期毎に設定されたいずれか2日間（5コマ）を受講してください。開講地は仙台、開講時間は1日目12：40～17：00、2日目9：30～12：20です。当日の遅刻・欠席の扱いについては事前指導スクーリングに同じです。

2～7月期に実習する方の実習事後指導スクーリング

※2012年度までのみ開講

7月または9月のいずれか2日間（5コマ）を受講してください。

- (1) 開講時間 1日目12：40～17：00 2日目9：30～12：20を予定

2012年度からの新カリキュラム施行にともない、実習の教育的効果向上を目的に、スクーリング時間・日数が伸長される場合があります。詳細は『試験・スクーリング情報ブック』および機関誌『With』にて通知いたします。

開講日が限定されているため予め日程調整・健康管理にご注意ください。9月末卒業予定者が欠席された場合、病気等やむを得ない事情であっても9月末の卒業はできません。

7～12月期に実習する方の実習事後指導スクーリング

9月・12月・2月のいずれか2日間（5コマ）を受講してください。

(1) 開講時間 ※年度により時間変更される場合があります。

1日目12：40～17：00 2日目9：30～12：20を予定

2012年度からの新カリキュラム施行にともない、実習の教育的効果向上を目的に、スクーリング時間・日数が伸長される場合があります。詳細は『試験・スクーリング情報ブック』および機関誌『With』にて通知いたします。

(2) 7～12月期の実習生で9月末に卒業を希望する方は規定年限以上の在学・他の卒業要件を満たし、8月第2週までに実習を終え、上表の指定の期日までに事後レポートを提出し9月の実習事後指導スクーリングを受講し、実習単位を修得すれば卒業することができます。

(3) 9月の事後指導は2～7月期実習生を対象にした実習事後指導スクーリングですが、上記(2)に該当する方のみ受講することができます。

開講日が限定されているため予め日程調整・健康管理にご注意ください。3月末卒業予定者が欠席された場合病気等やむを得ない事情であっても3月末の卒業はできません。

精神保健福祉援助実習について

「精神保健福祉援助実習」は、「精神保健福祉援助実習対象施設」において、24日間以上、かつ180時間以上の実習を行うものです。

「実習」前に「実習事前指導スクーリング」を受講する必要があります。また、「実習」後には「実習事後指導スクーリング」を受講する必要があります。

実習希望者は、下記の要件を満たしている必要があります。

- (1) 卒業後、精神保健福祉分野の業務に携わる意志を強く持っており、精神保健福祉の学習および実習に対して熱意と意欲をもっていること。
- (2) 精神保健福祉士の国家資格の取得を強く希望し、国家試験を受験する意欲があること。
- (3) 精神保健福祉援助実習事前指導スクーリングを受講していること。
- (4) 原則として「実習計画案」の添削指導を受け、必要提出書類の「個人記録（実習用）」「健康診断書」「誓約書」等、および「実習課題ノート」の所定の範囲を完成させ実習事前指導スクーリング時に提出していること。
- (5) すべての実習受講生は実習開始日の1カ月前には実習を除く指定17科目（平成20年度以前入学者カリキュラム）または19科目（平成21～23年度入学者カリキュラム）を単位修得済みであることが望ましい。ただし下記の最低条件①②の両方を満たしていれば可とします。

実習開始の2カ月前までに、①指定科目の中から40単位の単位修得、②実習を除く

9科目すべての「専門科目」のレポートを提出済みであること。

実習申込時に「実習希望届」等と一緒に提出する「学習計画書」で無理のない計画を立てて実行してください。

- (6) 実習開始日の1カ月前までに完成させた「実習計画書（清書用）」のコピー2部を通信教育部に提出していること（原本1部は自身で所持）。
- (7) ルールや社会人としてのマナーが守れない方（スクーリングやガイダンスに遅刻する、許可なく自家用車で本学に来校する、「事前・事後レポート」の提出期限や入金期限が守れない、その他自身の行動や感情をコントロールできないなど）は、実習先ならびに利用者・患者様に迷惑をかけるおそれがあるとされ、実習受講が許可できなくなります。
- (8) 社会福祉士の実習との同時受講を希望の方

①先に社会福祉士の実習を終え（6月第4週～8月第2週の期間に23日間）、9月上旬の社会福祉士の実習事後指導スクーリングを受講した後、精神保健福祉士の実習を秋から冬（10/1～12/25の期間に24日間）に行うか、②先に精神保健福祉士の実習を終え（7月1日～8月第2週の期間に24日間）、9月中旬の精神保健福祉士の実習事後指導スクーリングを受講した後、社会福祉士の実習を秋（9月下旬から10月第2週の期間に24日間）に行う、のいずれかとなります。社会福祉士の実習を後半に行う②では、十分な実習期間の確保が困難となるため、①による受講を強くお勧めします。

※実習の詳細については演習受講時に配付する『精神保健福祉援助演習の手引き』をご参照ください。

精神保健福祉援助実習対象施設（平成23年以前入学者対象）

精神保健福祉援助実習の実習先種別は下記のとおりです。

※平成10年厚生省告示第10号（改正平成12年厚告211・538、平成18年厚告573号）より精神保健福祉士短期養成施設等及び精神保健福祉士一般養成施設等指定規則第五条第一号力の規定に基づき、厚生労働大臣が別に定める施設

- (1) 精神科病院
- (2) 病院又は診療所（精神病床を有するもの又は精神科若しくは心療内科を広告しているものに限る。）
- (3) 保健所
- (4) 地域保健法（昭和22年法律第101号）に規定する市町村保健センター
- (5) （移行期間終了により削除）
- (6) 障害者自立支援法に規定する障害福祉サービス事業（生活介護、共同生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援又は共同生活援助を行うものに限る。）又は相談支援事業を行う施設、障害者支援施設及び地域活動支援センター（主として精神障

害者（同法第4条第1項に規定する精神障害者をいう。）が利用するものに限る。）
※(2)の診療所については、本学の実習指導方針に則り、精神科デイケアを併設している
診療所とする（診療のみの場合は認められない）。
※2012年度以降入学者 障害者自立支援法が障害者総合支援法に変更されるほか法律
の変更にともない、上記の規定が変更されることがあります。

単位認定通知

(1)事前指導スクーリング、(2)「実習計画案」、(3)実習、(4)『精神保健福祉援助実習課題ノート』、(5)実習記録、(6)「実習事後レポート」、(7)事後指導スクーリングの評価を総合して行います。単位認定通知は、事後スクーリング受講から1カ月程度で書面にて通知します。

参考文献

- 1) 新版精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『新版 精神保健福祉士養成セミナー7 精神保健福祉援助演習〔基礎〕〔専門〕』へるす出版、2012年
- 2) 日本精神保健福祉士養成校協会編集『新・精神保健福祉士養成講座7 精神保健福祉援助演習』中央法規出版、2009年
- 3) 精神保健福祉士養成講座編集委員会編『改訂 精神保健福祉士養成講座7 精神保健福祉援助演習』中央法規出版、2008年
- 4) 日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座8 精神保健福祉援助演習（基礎・専門）』中央法規出版、2012年
- 5) 福祉臨床シリーズ編集委員会編『精神保健福祉士シリーズ9 精神保健福祉援助演習（基礎）』弘文堂、2012年
- 6) 福祉臨床シリーズ編集委員会編『精神保健福祉士シリーズ9 精神保健福祉援助演習（専門）』弘文堂、2012年
- 7) 『精神保健福祉援助実習の手引き』『精神保健福祉援助実習課題ノート』（「精神保健福祉援助演習」受講時に配付）の「参考図書」を参照

「麻疹（はしか）」「インフルエンザ」などの感染症対策

「麻疹（はしか）」にかかったことがなく、「麻疹（はしか）」の予防接種を受けていない方（母子手帳に記載されています）は、医療機関にて「抗体検査」を受けていただく必要があります。また、「インフルエンザ」の対策については、「介護実習」（『レポート課題集2013 心理・教職編』p.172～173）に記載の事項を読んで、念入りに行うようにしてください。

その他社会福祉学科 専門選択科目

「特講・社会福祉学 1～」(履修方法：S 各 1 単位・スクーリング単位も 1 単位) の科目内容は開講年度の『試験・スクーリング 情報ブック』でご案内予定です。

なお、「特講・社会福祉学 5・6・7」は国家試験対策講義で、「5・6」については2012年度より履修方法を R or SR 科目に変更して開講しています。2013年度の詳細は未定です。

専門科目 新規履修登録受付停止中の科目

科目コード	科目名	平成24年度の状況	参照レポート 課題集
050112	社会保険論	新規履修登録受付停止。これまでの履修登録者のレポート提出・科目修了試験受験は可。	2008年度版
050114	社会病理学	新規履修登録受付停止。レポート・科目修了試験受付も締め切っています。	—

基礎演習

科目コード●050145

担当教員●寺下 明・森 明人
小野 芳秀・福地佳代子 ほか

1 単位

S

1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

本科目では、人間や社会に関する様々な諸問題から自由にテーマを設定し、グループ毎に話し合い、議論された内容について資料を作成し、最後にグループ発表を行っていただきます。

本科目は、一方的な講義形式ではなく、学生が主体的に参加する演習形式です。受講生の自由な視点からの、活発な議論を期待します。

設定した任意のテーマについて、情報収集、レジュメ（資料）の作成、プレゼンテーション（発表）技術についても学んでいただきます。グループ学習を通じ、普段の学習方法についての情報交換や学習の仲間を作る機会にもしてください。

教科書

特に指定していません。

自身が関心を持つテーマの資料等があればスクーリング受講時に持参してください。

福祉ボランティア活動

科目コード●050142

担当教員●小野芳秀



1 単位

R

1 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

※この科目はレポートのみで単位認定します（科目修了試験はありません）。

科目の内容

ボランティア活動は実践することに意義があります。本科目は、学生の普段からの自発的な活動に対し、これを推進し、また学生自身がレポートの形で第三者に伝えることで、学生自身が活動を客観的に振り返り、点検を行った結果を次に活かすことを目的としています。したがって評価対象は、活動者の実体験に基づく「活動の振り返り」や「内省」「客観的な考察」が主となります。

レポート課題

1 単位め
(1・2 選択)

課題1：あなたが行ったボランティア活動について、以下の項目に従い具体的に記述しなさい。

- ①「活動対象」②「活動期間」③「活動動機・目的」④「活動内容」
⑤「研修・準備期間」⑥「問題点・反省点」⑦「改善案（⑥について）」
⑧「自己評価（③を含めて）」⑨「質問」

課題2：あなたの身近なボランティア個人・ボランティア団体について、上記の③～⑦・⑨について、具体的に調査し記述しなさい。

アドバイス

課題1および2は選択となっています。

あなたが1年間を振り返り、実際に行ったボランティア活動について記述することが可能であれば課題1を、ボランティア活動が行えなかった場合は課題2を選択してください。

課題1
解説

- ①「活動対象」には、対人ボランティアの場合は、「高齢者」「障害者」「児童」等を、それ以外は活動の対象を表記してください（例：河川清掃等の環境ボランティアの場合は「近所の河川」と表記）。
- ②「活動期間」には、活動を行った日時・延べ活動時間を記述してください（例：平成22年5月2日（3時間）・5月14日（2時間）・7月12日（3時間）延べ8時間）。

- ③「活動動機・目的」には、「なぜそのボランティア活動をしようと思ったのか」、また「どのような目的で活動を行ったのか」について記述してください。
- ④「活動内容」には、ボランティア活動の内容について具体的に記述してください。
- ⑤「研修・準備期間」には、その活動を行うにあたり準備したことや、事前に参加した研修等について記述してください。特にない場合は省略して構いません。
- ⑥「問題点・反省点」には、活動の際に生じた問題、反省点等を記述してください。
- ⑦「改善案（⑥について）」には、⑥で直面した問題について、「どのように対処したか」、また、後から活動を振り返って「こうすれば良かった」について記述してください。
- ⑧「自己評価（③を含めて）」には、③の活動動機・目的について、「実際活動してそれが達成できたかどうか」について記述してください。
- ⑨「質問」には、活動を通して感じた疑問等、また活動に直接関係がなくともボランティアに関する質問があれば自由に記述してください。

注 意

- ・レポートに具体的個人名は記載せず、プライバシーに十分配慮してください。
- ・本科目は、受講者の普段からの自発的なボランティア活動について評価を行うものであり、レポート評価が直接的な目的ではありません。これから活動する方で、特に対人のボランティア活動を行う場合は、この点について十分自覚し、形だけの活動になって相手に不快感を与えることのないよう、真摯な態度で臨んでください。
- ・活動中の事故については、全国の県・市・区の社会福祉協議会が窓口となっている「ボランティア保険」があり、活動によって生じた事故による通院費や対人・対物賠償が補償されます。それぞれの窓口にお問い合わせ、事前に参加しておくことをお勧めします（掛け金年間数百円程度）。
- ・①「活動期間」は、定期的に長期間にわたるもの、イベント等の単発活動を問いません。ただし、1、2時間程度の活動が1回のみの場合は、「レポートの題材および水準に見合わない体験的活動」として評価対象外とします。最低2回以上の活動を希望します。
- ・「活動記録ノート」を用意し、その日に活動した内容について項目毎に記録しておくこと、レポートとしてまとめる際に役立ちます。
- ・レポートとして記述する活動は複数でも構いません。複数の場合はそれぞれ分けてレポートを作成してください。
- ・肉親を直接的な対象とする活動は評価対象外とします。

課題2 解説

課題1を参考に、③～⑦・⑨について取材形式で調査した内容からレポートを完成させてください。取材調査を行う場合は、相手に調査の目的およびプライバシーを配慮する旨を説明しましょう。

科目コード●050113

担当教員●江尻行男



2 単位 | R or SR | 1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択 A

福祉心理
選択 B

科目の内容

民間非営利組織である NPO（Non-Profit Organization）と呼ばれる事業体が阪神淡路大震災（1995年）を契機として急速に発展し、拡大の一途を辿っています。その動きの速さと拡大現象は一種の革命（NPO 革命）だとも言われ、行政（第一セクター）、企業（第二セクター）とならび称される程の一つのセクター（第三セクター）を形成するまでに至っています。ところで NPO とは一体いかなる構造と組織で、いかなるミッションをもつ組織体なのか、そしてそこではいかなる経営が行われているのでしょうか。

本科目では主として NPO のマネジメントについて総合的に学習してみましょう。内容としては、① NPO の基本問題として、NPO とは何か、また組織としてのあり方やミッションとガバナンスの関係について学習してみましょう（テキストの第 1～3 章）。そして、②マネジメントについて、より深く人的資源管理や経営戦略、パートナーシップおよび資金調達と評価について検討してみましょう（テキストの第 4 章以下）。

教科書

田尾雅夫・吉田憲彦『非営利組織論』有斐閣アルマ、2009年
（平成21年度以前履修登録者）2010年 4 月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『NPO 入門』『実践 NPO マネジメント』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め	NPO とは何か、いかなるミッションのもと事業展開しているのか。そして非営利組織体としての NPO のマネジメントの基本はいかなるものか、について検討してください。
2 単位め	NPO マネジメントにおいて人材を活かすために何をしているのか、またリーダーシップの特徴は何か。次に NPO の経営戦略の実際はいかなるものか。そして NPO の資金調達と評価について検討してください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（別レポートは論述式）

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月、2010年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2008』『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年9月で受付を締め切りました。

アドバイス



基本的にはNPOという組織の特性を営利組織(企業)と比較しながら、きちんと理解することが重要です。また、その場合、現実面に即した理解、把握が肝要です。

参考図書

電通総研編『NPO とは何か』日本経済新聞社、1996年
山内直人著『ノンプロフィット・エコノミー』日本評論社、1997年
堀田力・雨宮孝子編著『NPO 法コンメンタール』日本評論社、1998年
谷本賢治・田尾雅夫編著『NPO と事業』ミネルヴァ書房、2002年
田中尚輝著『NPO マネジメント』学陽書房、2003年
河合明宜・齋藤正章著『NPO マネジメント』放送大学教育振興会、2007年
田尾雅夫著『実践 NPO マネジメント』ミネルヴァ書房、2004年

障害の理解

21～

科目コード●050195

担当教員●千葉伸彦(左)
三浦剛(右)

1 単位

R

1 年以上

社会福祉
選択21年度以降
入学者福祉心理
選択B21年度以降
入学者

この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

本科目では、障害のある人の身体機能および心理に関する基礎的知識、他職種との連携の必要性について理解することにより、障害のある人の生活を支援する際の基本的な考え方を習得することを学習のねらいとしています。障害のある人の生活状態とその家族を含めた周囲の環境を理解するために、「障害」とはなにか、現在の社会環境を把握した上で、障害の基礎的知識や障害のある人のニーズについて学習します。

教科書

介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座13 障害の理解 第2版』
中央法規出版、2010年

レポート課題

1 単位め

国際生活機能分類（ICF）を概観し、障害の構造を理解したうえで、障害のある人と環境との相互作用による日常生活への影響および抱えている問題について具体的に述べなさい。

テキストに記載されている障害のある人の生活を理解したうえで、どのようなニーズがあるか、どのような取り組みが地域社会に必要なか、あなたの考えを述べなさい。

アドバイス

まずはテキストを熟読しましょう。そして、課題レポートに関連する内容が理解することができたかどうか確認してみましょう。ご自分の読みやすい文献から読んでいく、基本書等の手に取りやすい書籍から読んでいくことも工夫の一つです。また新聞やニュースな

ど身近で取り上げられている内容は障害のある人の生活を知る参考資料になります。ノーマライゼーションやリハビリテーション等の障害者福祉の基本理念が障害者の地域生活にどのように反映されているのか、また地域生活を送っている人々の声を新聞等の記事からひろいあげていくことが障害のある人の生活状況を理解する第一歩となります。この機会に、自分自身がどの程度障害のある人の生活の実状について知っているか確認してください。意外と理解していると思っていても、自分自身の知らない点があることに気がつくはずです。

何かに気がついたときには、その現状はなぜ起こっているのか、解決するべく策はないかと考える習慣を身につけていただきたいと思います。ご自身の周囲にいる障害のある方々の生活の現状や心情を聴いてみることも学びになるでしょう。普段気に留めていないことに視点を置き、じっくり観察してみてください。

あなた自身と障害のある方の生活を見比べてみると、何か気づきがあるかもしれません。自分自身の障害のある人へのイメージについても再考する機会としてみてはいかがでしょうか。これまで述べたことを参考にしながら、レポート課題について答えることができるか随時確認しながら書き進めることが大切です。

テキストに記載されている障害のある人の生活を理解し、障害のある人の地域生活において、どのようなニーズがあるか、そのニーズを満たすためにどのような取り組みが地域社会に必要なかといった基本的な事項をおさえましょう。

テキストの内容を理解していることが読み手に伝わるレポートを書くことを目標にしてください。

参考図書

- 1) 定藤丈弘・岡本栄一・北野誠一『自立生活の思想と展望』ミネルヴァ書房、1993年
- 2) 寺本晃久・岡部耕典・末永弘・岩橋誠治『良い支援？知的障害 / 自閉の人たちの自立生活と支援』生活書院、2008年
- 3) 内閣府『障害者白書（最新年度版）』＝内閣府ホームページよりダウンロード可
- 4) 杉本章『障害者はどう生きてきたか：戦前・戦後障害者運動史』現代書館、2008年
- 5) 10万人のグループホームを！実行委員会編『もう施設には帰らない』中央法規出版、2002年

生活行動と人体

21～

科目コード●050194

担当教員●後藤美恵子



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択21年度以降
入学者福祉心理
選択B21年度以降
入学者

この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

こころとからだは相互に影響し、意欲や行動などに影響をおよぼします。生活支援技術の根拠となる人体の構造や機能を加齢や疾患とこころとの関連性から総合的に理解し、個々の残存能力・潜在能力を引き出し、人間の尊厳の尊重と自立を支援するための方法論を体系的に学習します。

教科書

介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座14 こころとからだのしくみ（第2版）』中央法規出版、2010年

レポート課題

1 単位め	移動のしくみの概要をからだの動きと関連づけながら概要を整理し、心身の機能低下が移動に及ぼす阻害要因と対応方法について自立支援の観点から具体的に論述しなさい。
2 単位め	①食事の摂食過程を整理し、精神機能の低下が食事におよぼす影響と対応方法について論述しなさい。 ②排泄のメカニズムと排泄障害を整理し、人間の尊厳を尊重した排泄への関わりについて論述しなさい。

アドバイス

1単位め
解説

移動はすべての生活行為の基本です。第4章の移動のしくみについて、第2章第2節のからだのしくみと関連づけながら概要を整理し、心身の機能低下が移動におよぼす要因と対応方法について自立支援の観点から自身の考えを具体

的に述べてください。

2単位め
解説

①人は生まれた時から死ぬまで、毎日の生活に必要なエネルギーを食事によって補っています。食事は日常生活の中で、人の命に関わることで一日も欠かすことのできない大切なものであり、精神的満足感や個人の生活歴や生きてきた文化を象徴するものでもあります。一方、食欲は健康状態や生活意欲を反映するとも言えます。第5章を読み、食事の摂食過程としくみについて整理し、精神機能の低下が食事におよぼす影響と対応方法について、テキストの内容を踏まえ自身の考えを述べてください。

②排泄は生命を維持していくための大切な行為であり、健康状態を知るバロメーターともなります。一方で、個人の尊厳に関わる行為でもあります。テキスト第7章の排泄に関連したしくみの概略を整理し、個人の尊厳を尊重した関わりについて自身の考えを述べてください。

参考図書

- 1) 住居広士編『こころとからだのしくみ』ミネルヴァ書房、2009年
- 2) 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座11 発達と老化の理解(第2版)』中央法規出版、2011年

福祉思想論

科目コード●050109

担当教員●君島昌志



2 単位

R

1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

今日の社会福祉はテクニックが優先し、社会福祉への取り組み姿勢などがおろそかになってはいないでしょうか。新しい世紀を迎え混迷の度を深めている時代状況にあって、人と人の係わりあい、人としての考え方をしっかりともつことが望まれるでしょう。そうしたとき、福祉思想が大きな役割を担うことができるものと確信しています。

人としての生き方を考えたとき、少しむずかしく思われるかもしれませんが、一歩踏み込んでその考え方に触れてみる必要があるのではないのでしょうか。

教科書

吉田久一・岡田英己子著『社会福祉思想史入門』勁草書房、2000年

レポート課題

1 単位め

「第Ⅰ部 欧米の社会福祉思想史」の全体の内容を踏まえて、第Ⅰ章から終章までのなかからひとつの章を選択し、その内容をまとめ、考察せよ。また、どうしてその章を選択したのか理由を述べ、その章の内容に対する自らの意見を述べよ。

2 単位め

「第Ⅱ部 日本の社会福祉思想史」の全体の内容を踏まえて、第Ⅰ章から第Ⅵ章までのなかからひとつの章を選択し、その内容をまとめ、考察せよ。また、どうしてその章を選択したのか理由を述べ、その章の内容に対する自らの意見を述べよ。

アドバイス

日本の福祉思想に比べて、ヨーロッパの福祉思想は長い歴史があります。福祉思想にとって重要なことは、教科書の序章の最初に書かれているように、純粋な哲学的発想ではなく、実際の日常生活に密着して考えていくことです。レポートはひとつの章を選択して提出するだけですが、思想、考え方の流れということもあり、全体をひとつの流れとして

捉えていってほしいと考えています。

教科書の題名は『社会福祉思想史入門』となっていますが、「史」がついているからといって、古い考え方というものではありません。福祉の考え方にはいろいろとあってよいと思います。そうしたなかであって、自分の考え方をもって社会福祉に取り組む姿勢とでもいうものをもっていってほしいと考えています。

1単位め
解説

テキストの第Ⅰ部をよく読み、欧米の社会福祉思想がその時代と社会のあり方を反映しながら、どのように展開されてきたかを簡潔に述べてください。そのなかで、ひとつの章を選択し、深く考察を加えてください。自分の考えをもつことを意識し、テキストを読んでください。

2単位め
解説

テキストの第Ⅱ部をよく読み、日本の社会福祉思想の流れを読みとってください。宗教や社会体制についても理解を深め、簡潔に述べてください。そのなかで、ひとつの章を選択し、深く考察を加えてください。日本の福祉社会を考えたとき、どのような考え方、意識をもち、今日までの思想の流れを捉えるか、そして、これからの時代に何が望まれるかを考えてください。

参考図書

吉田久一著作集 1『日本社会福祉思想史』川島書店、1989年

丸山真男著『日本の思想』岩波新書、1961年

公衆衛生学

科目コード●050110

担当教員● 柏木 誠 (左)
澤田 悦子 (右)



4 単位

R

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

公衆衛生学は健康の問題を疫学的に把握することにより、病気の予防や健康を維持しようとする学問であり、社会医学の分野に属しています。また、衛生学は社会的環境要因と健康との関わりを分析することによって病気の予防と健康維持を探究する学問です。

本科目は公衆衛生学と衛生学とを合わせた衛生公衆衛生学と呼ばれる領域を担当するのであり、予防医学と健康の維持についての科学と技術を学びます。わが国の公衆衛生の現状と衛生行政についても習得します。

身近な学問です。感想、意見を入れて論述してください。

教科書

鈴木庄亮・久道茂編『シンプル衛生公衆衛生学』南江堂

レポート課題 すべて【説明型レポート】各200字以上400字以内

※ p.264記載の注意(1)～(3)をよく読んでください。

1 単位め	① 公衆衛生活動について説明せよ。 ② 人口静態統計と人口動態統計を、静態と動態の違いがわかるように説明せよ。(教科書のまる写しでは答えにならないので、注意すること) ③ 日本の少子化の原因として考えられることは何か。 ④ 日本の少子化によって生じる問題点について自分の考えを述べよ。 ⑤ 人間の平均寿命に及ぼす要因について考えよ。
2 単位め	① 疾病の一次予防と二次予防、三次予防について、簡単に説明せよ。 ② 生活習慣病について説明せよ。 ③ 予防接種の意義と問題点について考えよ。 ④ 感染症について説明せよ。 ⑤ 新興感染症と再興感染症について述べよ。

3 単位め	① メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）について説明せよ。 ② 最近の日本における三大死因とはなにか。生活習慣病との関連について考えよ。 ③ 飲酒が人体に与える影響について述べよ。 ④ 喫煙が人体に与える影響について述べよ。 ⑤ 健康寿命について説明せよ。
4 単位め	① 院内感染や高齢者施設内感染について考えよ。 ② 最近の新聞ニュースなどで話題になった、公衆衛生学に関連する記事の要点をまとめよ。事例はいくつでも良いが、ニュース源（新聞名、テレビ番組名など）と、年月日を記載すること。自分の考えを加えればなお良い。

- ※注意 (1) 1～3 単位めは各問に対して、200字以上400字をめやすに、単位毎に、1,500字以上2,000字以内になるように、簡潔明瞭にまとめてください。4 単位めは、①のみで200字以上400字をめやすに、①と②で合計1,500字以上2,000字以内でまとめてください。
- (2) 教科書や文献をそのまま写すのではなく、自分自身の文章でまとめなおしてください。
- (3) 年度により問題が異なり、また、問題文も長いので、レポート用紙の「課題」欄には、「2013年の問題に解答する」のように、課題の年度のみを記入してください。「解答欄」には、問題の番号のみを記入し、問題文は記入しないでください。

（平成22年度以前履修登録者）2010年、および2011年4月に、レポート課題が変更されています。『レポート課題集2009』記載の課題での提出は2011年9月で受付を締め切りました。『レポート課題集2010』記載の課題は2012年9月まで提出できます。

アドバイス

1単位め 解説

公衆衛生行政の中心課題は、国民の健康に関するものですが、生活環境とも密接な関連を持っています。ここでは、まず教科書を最後まで読んで、概略をとらえてください。2000年度からスタートした、国の10カ年計画「健康日本21」も理解しておいてください。

2単位め 解説

感染症対策は、公衆衛生上きわめて重要です。予防接種は、個人の感染症罹患や重症化を防ぐとともに、集団の罹患をも防止するものです。現在日本で使用されているワクチンの種類や、免疫についても理解しておいてください。

**3単位め
解説**

日本人の三大死因は、生活習慣病と密接にかかわっています。死亡リスクが高くなるメタボリックシンドロームについて考え、私たちの生活習慣を見つめ直すことが大切です。この機会に、飲酒や喫煙が人体に及ぼす影響も考えてください。たとえば、酒（アルコール、エタノール）には、麻酔作用があります。イッキ飲みで命をおとすこともあります。医学的に考えてください。

**4単位め
解説**

- ①院内や高齢者施設内には、免疫力や体力の低下した人が集まっています。日和見感染症や、多剤耐性菌とも関連させて考えてください。
- ②公衆衛生学は、私たちの身近な学問です。普段から、新聞やテレビのニュースに関心を持っていることが重要です。新型インフルエンザ、多剤耐性菌、ノロウイルスなど、気づいたニュースについて、簡単にまとめてください。

参考図書

社会福祉士養成講座編集委員会編『医学一般』中央法規出版、2007年
別冊 NHK 今日の健康シリーズ（『メタボリックシンドローム』など）
岡部信彦・多屋馨子編集指導『予防接種に関する Q&A 集』（社団）日本ワクチン産業協会、2011年 <http://www.wakutin.or.jp/medical/index.html> より閲覧（2011年度版のみ）・購入可能

知的障害者福祉論

科目コード●050119

担当教員●赤塚俊治



2 単位

R or SR

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

知的障害者福祉支援策は多様化しました。また、知的障害者福祉施策の根底に流れる福祉観も「脱施設化」といった新たな動向が見られます。とくに、障害者自立支援法（2006年）の施行は、従来の知的障害者福祉の支援システムを大きく変革させ、知的障害者自身の利用者本位が一層強化されるようになりました。こうした知的障害者福祉の進捗に対して、社会福祉施設や地域社会における知的障害者の生活実態を分析すると、数多くの課題や問題点が山積しています。こうした社会的背景にあって2012年6月、障害者総合支援法（「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」）として可決し、これまでの自立支援法の一部が改正されました。難病患者も対象となり、重度訪問介護サービスの対象拡大などがあらたに含まれました。しかし、応益負担、地域格差、家族の負担などの問題は残っています。

そこで本科目では、こうした社会的動向を踏まえながら、いかにして知的障害者が社会的自立とその支援策を確立することが可能かをさまざまな視点から論考することにします。そのためには知的障害者が抱えている今日的課題と問題点を、現行制度の限界性と社会生活の実態との乖離^{かいり}からその要因を明らかにしたいと考えています。

教科書

赤塚俊治著『新・知的障害者福祉論序説』中央法規出版、2008年
(平成20年9月以前履修登録者) 2008年10月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『知的障害者福祉論序説 ― 21世紀の知的障害者福祉の展望と課題』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め

知的障害者福祉支援の歴史的変遷を述べながら、今後の施設福祉の役割と機能について考察しなさい。

2 単位め

地域社会における知的障害者の在宅福祉の現状と課題について、具体的なケースを取り上げながら考察しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

知的障害者福祉論を学習する際、過去に知的障害者が社会的にどのような社会福祉支援を受けてきたかを歴史的に学ぶことが大切です。とくに、「施設福祉」と「在宅福祉」との相互関係について理論的に明らかにすることが重要です。現在、知的障害者への社会的理解が深まるとともに、知的障害者も可能な限り地域社会において人々と生活すべきであるとするノーマライゼーションが謳われるようになり、これまでの施設中心主義的施策から、知的障害者福祉を一人ひとりの個人としてとらえ地域社会で独立的に生きることを基本にすえて、普通に暮らせる社会の実現に向けた社会的資源の整備の確立を目指した施策が展開されています。しかしながら、こうした知的障害者に対する制度や福祉サービスメニューおよび施策が体系的に整備されているなかで、現実には施設や地域社会で生活している知的障害者の日常生活の実態からすると「普通の生活」を送るための諸条件が十分に整備されていないことを考慮しながら学習することも大切です。

なお、レポート作成を行う際は、次の基本的な視点をふまえながら、レポートを仕上げてください。

- (1) 知的障害者福祉論は、客観的・実証的な枠組みに基づいて構成されています。したがって、レポート課題を作成するにあたっては、知的障害者の人生にとって「普通の生活」の確立は単なるスローガンで終わるのではなく、希望に満ちた輝かしい福祉社会のなかで達成することが可能かをさまざまな視点から考察してレポートを作成してください。
- (2) 知的障害者の施設は、働く職員にとっては職場であっても、知的障害者にとっては暮らしの場であり、生きる生活の拠点であることを考えながらレポートを作成することが大切です。
- (3) レポートの作成にあたっては、単にテキストを読んで理解した内容をそのまま書くのではなく、知的障害者の日常生活で起きているさまざまな問題点を取り上げながらまとめることが重要です。たとえテキストの記述内容とは異なったレポートの内容であったとしても、そのレポートの内容が十分な分析と考察が行われていれば、評価もそれだけ高くなります。

1単位め
解説

テキストの第1章から第5章（旧テキストの第1章から第4章）までをよく読み、知的障害者福祉の基本的な理解に努め、さらには、知的障害者が過去において社会的不利益および劣等処遇に対する苦難と闘いの時代であった歴史的背景と事実を整理しながらレポート課題に取り組んでください。

とくに、「社会福祉基礎構造改革」の一環として新たに施行された社会福祉法は、(1)利用者の立場にたった社会福祉制度の構築、(2)サービスの質の向上、(3)社会福祉事業の充実・活性化、(4)地域福祉の推進の4点を主要な方向性として法改正したものです。

この改正は、知的障害者福祉法の事項にも大きく反映される結果となりました。知的障害者の福祉サービスの充実を図る目的として改正された主な要点は、①福祉サービスの利用制度化、②市町村における知的障害者に対する福祉に関する必要な情報提供と相談・指導、③サービスの質の確保と利用者の権利擁護、④サービスに関する第三者評価・苦情解決体制の整備、⑤知的障害者福祉に関する事務の市町村への委譲などがあげられます。こうした内容によって、これまでの制度や福祉サービスメニューの内容が一層強化・拡充されましたが、難問も山積しているのも事実です。とくに、利用者である知的障害者と対等な関係にある施設関係者にとって、はたして法改正で示した内容を知的障害者に普遍的にサービスを提供できるかが大きな課題となります。

こうした社会的状況を的確に把握しながら、施設福祉の役割と機能について考察して、簡潔に述べてください。

2単位め
解説

テキスト第6章から第8章（旧テキストの第5章から第7章）をよく読んで地域福祉の意味を理解すると同時に知的障害者の生活状況が時代の変遷とともにどのように変化してきたかを、過去の在宅福祉政策なども踏まえながら考察してください。

今後の知的障害者福祉は、法改正によって具体的な中身と進捗状況が問われることになります。そして、単に施設を中心とした生活環境整備だけではなく、地域社会も取り入れた施策を具現化していく地域社会体制づくりが確立しなければなりません。とくに、知的障害者に対する人権・権利侵害の事件などは全国各地で起きており、また、地域環境の相違によって、福祉サービスを受受できるものと受受できないものが存在しているこの事実をどのように理解するかが大切です。その社会的背景には、改革の理念として謳われた「個人が人としての尊厳をもって、家庭や地域の中でその人らしい自立した生活が送れるように支える」という考え方から乖離した知的障害者に対する誤解、偏見、差別が根強く残っていることもこの課題を考察する根本的な課題の一つといえるでしょう。

いずれにしても、本課題においては具体的な知的障害者の生活や暮らしのケースなどを取りあげながらレポートを作成してください。

参考図書

- 竹原健二編 赤塚俊治ほか著『現代障害者福祉学』学文社、2004年
中野敏子著『社会福祉学は「知的障害者」に向き合えたか』高学出版、2009年
知的障害等法規研究会監『知的障害者福祉六法』中央法規出版、2007年
日本知的障害福祉連盟編『発達障害白書』日本文化科学社、2004年
江草安彦著『ノーマリゼーションへの道』全国社会福祉協議会、1993年
北沢清司著『知的発達 Q & A』中央法規出版、1996年

(注)

2012年には「障害者自立支援法」が「障害者総合支援法」に改正されました。その他、障害者福祉関連法規の内容は毎年のように改正されています。法規の改正を、自身で最新の社会福祉六法やインターネットで調べていただければと思います。また、2013年度開講予定のスクーリングにご参加ください。

福祉機器論

科目コード●050121

担当教員●関川伸哉



4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

福祉機器・福祉用具と聞いて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。知られているようで、知られていないのが福祉機器（以下、福祉用具）であります。福祉用具とは、日常の便利な「道具」です。我々が生活の中で用いるハサミや包丁などと同様で決して特殊なものではありません。しかし、わが国では、福祉用具導入および使用には見えないバリアが存在するようです。

ここでは、福祉用具について理解するのではなく、ヒトと福祉用具の関係について考えていただきたいと思います。主役は、福祉用具ではなくヒトであることを十分に理解してください。利用者を理解することができなければ、福祉用具を理解することはできません。また、福祉サービスおよび各種公的制度の理解も欠かすことのできない項目です。本科目では、主に以下の内容について理解していただきたいと思います。

- (1) わが国の高齢化の背景と今後の動向を理解しながら、高齢者と福祉用具の関連性を多角的に考察する。
- (2) わが国の障害発生原因と今後の動向を理解しながら、障害者と福祉用具の関連性を多角的に考察する。
- (3) 福祉用具の歴史、定義、各種支給制度について総合的に理解し、わが国の今後の動向を考察する。
- (4) バリアフリーとユニバーサルデザインについて理解する。
- (5) ヒトと機械の結び付きについて考える。
- (6) 高齢者と福祉用具①——介護保険制度から考える——
- (7) 高齢者と福祉用具②——介護負担の軽減を目指して——
- (8) 高齢者と福祉用具③——自律を目指して——
- (9) 福祉用具の選び方・使い方

教科書

澤村誠志監『介護福祉士のための福祉用具活用論』中央法規出版、2000年

レポート課題

1 単位め	わが国の高齢化およびの障害発生原因をもとに、福祉用具導入の意義とその可能性について解説せよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
2 単位め	福祉用具を支給制度の観点から分類し、それぞれの利用者、特徴、導入方法などについて解説せよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
3 単位め	高齢者およびその家族の QOL 向上を目指した福祉用具の導入について整理、解説せよ。また、具体的事例を示し論述せよ。事例の記載方法については、必ず書籍等を参照してから書くこと。
4 単位め	以下の項目の中から、2つを選択し、課題にそくした内容で全体を整理し考察せよ。 ① 高齢者のための車いすの選び方・使い方 ② 視聴覚機器の選び方・使い方 ③ ヒトの立ちあがり・座りこみと機器との関係 ④ 楽に安全に歩こう ― 歩行補助車の選び方・使い方 ― ⑤ 肢体不自由者のためのコミュニケーション機器 ⑥ 自分の足にあった靴をさがそう ― 足の障害に応じた靴選び ― ⑦ ホイストと吊具の選び方・使い方 ⑧ 日常生活支援 ― 自助具の種類と使い方 ―

アドバイス

- (1) なによりも教科書を「よく読む」ことから始まります。第一段階では、福祉用具と利用者の関係を概論的に把握してみてください。
- (2) 教科書を熟読し、さらに内容を深め明確な理解に努めてください。適宜、その他の参考書を読み、より一層の理解を促してください。
- (3) 各課題に取り組む際には、予め目次を作成し、記載する内容を明確にしてから本文作成を行ってください。必ず目次をレポートの冒頭に記入してください。事前準備を行うことなく、本文作成を行うと「まとまりのない」レポートとなることがあるため、注意が必要です。
- (4) 教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することが原則です。また、第三者が理解できる内容、記載であるかの確認を行ってください。
- (5) レポート作成後は、数回の確認の後、提出してください。
- (6) 参考・引用文献は必ず5つ以上記載してください。

1単位め
解説

わが国の平均寿命は、2010年現在において男性79.64歳、女性86.39歳となり人生50年の時代から、今や80年時代へと変わってきています。また、現在の障害は複雑かつ多様化し重度障害者数も増加傾向にあります。ここでは、現状の高齢者と障害者の関係を、わが国の高齢化およびの障害発生原因をもとに明確にしてください。その後、上記の方々への「福祉用具導入の意義」「導入することにより期待できる効果」「今後の課題」などについて解説し、考察を行ってください。

2単位め
解説

身体障害者が、自己の障害を補うことを目的とし身体に器具を付けた歴史は古く、紀元前の昔にさかのぼります。福祉用具とは、生活の中での人々の知恵により生み出された身体機能代償機具ともいえます。身体機能代償機具としての福祉用具を人と機械の結び付きの観点から捉えた場合、義肢・装具（補装具）が最も関連性の高い機具といえるでしょう。ここでは、補装具、日常生活用具、福祉用具などの違いを歴史的背景、給付制度、特徴、導入方法、利用者の点から適切にまとめ、さらに全体を考察してください。

3単位め
解説

介護を必要とする高齢者およびその家族の支援には、さまざまな方法が考えられます。現在の主な支援策は、ホームヘルパーサービス、訪問看護、デイサービス、ショートステイなど人的支援が中心となっています。しかし、人的中心の支援には限界と問題があります。ここでは、上記現状の支援策の問題点を明確にした後、福祉用具導入の意義を説明してください。そして、利用者のQOL向上を目指した福祉用具の導入について整理、解説してください。また、居宅生活内への福祉用具導入の具体的な事例について示し、論述してください。

(注) 事例の記載方法について事前にしっかり調べてください。

4単位め
解説

福祉用具にはさまざまな種類、導入場所、使用者が考えられます。ここでは、レポート課題のまとめとして、各自の興味のある内容を2つ選択してみてください。次の事項を十分に考慮しまとめてください。

1つは、テーマを十分に理解することです。テーマとレポートの内容が合致していなければ、この時点で採択されません。

2つめは、利用者（ヒト）が主役であることを充分考慮してください。利用者が見えてこない解説は望ましくありません。「どのようなヒトが何に困っているのか!？」を明確にしてから福祉用具の内容に入ってください。

3つめは、テーマが抽象的であるため、解説内容の絞込みを行う必要性が生じる場合も考えられます。その際には、必ず「何故、その内容に着目したのか」を明確にしてください。

い。記載がない際には、採択されませんのでご了承ください。

参考図書

関川伸哉ほか『義肢装具総論』医歯薬出版株式会社、2008年
社会福祉法人名古屋総合リハビリテーション事業団編『これで安心！買う前に読む福祉用具の選び方 福祉用具ハンドブック』大井企画、2002年
東畠弘子編著『福祉用具の安全活用法「ひやりはっと」から学ぶ』中央法規出版、2002年

リハビリテーション論

科目コード●050122

担当教員●関川伸哉



2 単位

R or SR

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

現在、我々の生活のさまざまな場面で「リハビリテーション」が行われています。一般的に「リハビリテーション」とは、病院内で行われている機能回復訓練のことだと思われる方が多いようです。しかし、病気やケガで手脚が不自由になってしまった方々への訓練（医学的なアプローチ）＝リハビリテーションではありません。リハビリテーションとは、広義の領域であり社会福祉（福祉）分野でも日々展開される重要な理念であり、目標であり、方法でもあります。

わが国の福祉専門職、および専門職をめざす方々には、リハビリテーションについての正しい理解と、「広義の福祉」と「リハビリテーション」との関連性について学んでいただきたいと思います。福祉専門職の方々が、リハビリテーションを正しく理解することは、福祉領域の発展に寄与するものと考えます。リハビリテーションは、複数の専門職により行われており、福祉専門職従事者の方々もチームの一員であります。今後の福祉専門職種の方々は、リハビリテーションとはどのようなもので、どのようなシステムで行われているのかを的確に把握する必要があります。

本科目では、「リハビリテーションとは」、「各種専門職（異分野理解）」、「チームアプローチ手法」、「各種利用者」などについて適切な理解を促し、利用者へのより良いサービス提供について考えていただきたいと思います。リハビリテーションを単体で理解するのではなく、「福祉」と「リハビリテーション」の双方の観点から考察してみてください。

教科書

関川伸哉著『リハビリテーション論——社会福祉専門職のための』東北福祉大学、2003年
(2009年、改訂版でも可)

レポート課題

1 単位め	① リハビリテーションと障害者の関連性について、歴史的背景および国際動向を踏まえ多角的に記述せよ。 ② 障害者を障害者基本法に基づき分類し、各種障害者とリハビリテーションの関連性について社会保障制度を踏まえ考察せよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
2 単位め	① 各種リハビリテーションについて論じよ。 ② リハビリテーションと福祉の関連性を総合的観点から記述せよ。

アドバイス

- (1) 教科書をよく読み、リハビリテーションを概論的に把握してみてください。
- (2) 教科書を熟読し、さらに内容を深め明確な理解に努めてください。適宜、教科書記載の参考書を読み一層の理解を促してください。
- (3) いずれも①、②の両方について解答してください。各課題に取り組む際には、予め目次を作成し、記載する内容を明確にしてから本文作成を行ってください。**目次をレポートの冒頭に必ず記入してください。**事前準備を行うことなく、本文作成を行うとまとまりのないレポートとなることがあるため、注意が必要です。
- (4) 教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することが原則です。また、第三者が理解できる内容、記載であるかの確認を行ってください。
- (5) レポート作成後は、数回の確認の後、提出すること。
- (6) 参考・引用文献は必ず5つ以上記載してください。

1単位め 解説

- ① ここでは、「リハビリテーションとは何か」を理解していただきます。はじめに、リハビリテーションの基礎となる語源、理念、目的などについて歴史的背景を踏まえながら考察してください。また、リハビリテーションの歴史は、障害者の歴史ともいわれます。そこで、障害者とリハビリテーションの関係を把握するうえで重要となる国際動向、およびその基本にあるものについて学んでください。
- ② 1993年の「障害者基本法」の改正（2004年一部改正）により、法の目的および障害者の定義が明確化されました。ここでは、障害者基本法の十分な理解から始まります。その後、各種障害者の歴史的変動と、それを支える社会保障制度を理解し、障害者、リハビリテーション、社会保障制度の相互関係を多角的に考察してみてください。

追記：2004年の「障害者基本法の一部を改正する法律」をふまえて記載してください。

2単位め
解説

- ① リハビリテーションとは、複数の関係職種が多角的側面から共通目的に向かい努力する過程です。そして、さまざまなリハビリテーションが存在します。また、リハビリテーション実践現場は、特定の施設や病院のみではありません。人々が住みなれた地域の中で、生活者としての存在を維持する上で、地域社会との結び付きは欠かすことのできない課題であります。ここでは、総合リハビリテーションを十分に理解した後、リハビリテーションを複数に分類し、それぞれの役割、各種専門職、社会資源などを踏まえながら考察してください。
- ② 現在の障害は複雑かつ多様化し重度の障害を有する障害者数も増加傾向にあります。現在、各種障害者に対するリハビリテーションは、病院、在宅、地域などさまざまな場面で展開されています。また、わが国の平均寿命は、人生50年の時代から、今や80年時代へと変革してきています。単なる延命という量的な問題に加え、高齢期をいかに意義あるものとして生きるかといった質的問題が問われる時代です。ここでは、障害者および高齢者を主な対象として、リハビリテーションと福祉の関連性を、福祉施設、地域、生活などを総合的に考察してみてください。そして上記結果をもとに、各利用者の生活のあり方を多角的にデザインしてみてください。

参考図書

教科書巻末の「読者への参考文献」を参照してください。

福祉リスクマネジメント

科目コード●050143

担当教員●渡辺信英(左)
菅原好秀(右)



4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

措置制度から契約制度の移行により、利用者と施設側が対等な関係となり、利用者側の権利意識が高揚したため、これまで顕在化しにくかった福祉サービスにおける事故が多発し、福祉サービス提供者側に多様なリスクが表面化し始めました。福祉サービスにおけるリスクには、介護におけるリスク、障害者におけるリスク、保育におけるリスク、施設におけるリスク、在宅におけるリスクなどさまざまなリスクが存在します。このような現状の下で、福祉サービスにおける事故等に対して、適切な対応の確立と具体的な介護事故における問題解決への方策が急務といえます。本科目においては、施設におけるリスクの分析、つまり社会福祉施設における介護事故の裁判例の分析を通じて、事故を未然に防ぐという予防的側面と、事故が生じた場合の事後的な対応を個別具体的に検討し、介護施設側に介護事故に対する自覚を促し介護事故防止のための体制を構築することを目的とします。

教科書

菅原好秀著『要保護的法主体像の理論構築』南窓社、2011年
(平成23年度以前履修登録者) 2012年2月から教科書が変更になりました(9月配本開始予定)。以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能です。

レポート課題

1 単位め	ケース1 (p.158～) の「介護サービスの清掃義務違反に伴う利用者の転倒・骨折事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。
2 単位め	ケース2 (p.164～) の「デイサービス利用中の行方不明にかかる死亡事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。
3 単位め	ケース4 (p.181～) の「老人保健施設における誤嚥による死亡事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	ケース11 (p.267～) の「ボランティアの見守り義務違反による転倒・骨折事故」の事案について、判例の見解に対してあなたの考えを論じてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

(平成23年度以前履修登録者) 2012年2月から教科書が変更になりました。レポート課題およびアドバイスの、参照するケースのナンバーとページは新しい教科書に対応しています。課題とアドバイスの内容自体は同じですが、以前の教科書にもとづいて課題に取り組む際は、『レポート課題集2011』を参照してください。

アドバイス

1単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース3 (p.172～) の「介護サービス中の見守り義務違反による転倒・骨折事故」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。

特に、介護記録の重要性、連携・協働のあり方、利用者・家族との信頼関係の構築、チームアプローチ、チームケアの構築を中心に、契約制度の視点から具体的に言及してください。

2単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース8 (p.231～) の「老人保健施設における転落死亡事故」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。また、認知症による徘徊によって、介護事故が生じないように、施設側がとりうる具体的な方法について、判例の見解を踏まえながら自説を展開してください。

3単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース5 (p.199～) の「特別養護老人ホームにおける誤嚥による死亡事故」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。

特に、介護サービスに求められるサービスの基準の確立、苦情解決制度によるリスクの防止策、リスクマネジメントと利用者の人権尊重の調和を中心に具体的に言及してください。

4単位め 解説

本件事案の概要と判旨の視点を簡潔にまとめた上で、ケース9 (p.246～) の「送迎中の転倒・骨折死亡事故」の事案も参照しながら、あなたの考えを論じてください。

特に、判旨が論じたボランティアの意義を言及した上で、ボランティアの注意義務について、具体的に考察してください。

参考図書

- 1) 渡辺信英著『介護事故裁判例から学ぶ福祉リスクマネジメント』南窓社、2006年
- 2) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2010年
- 3) 志田民吉編著『社会福祉サービスと法』建帛社、2005年(改訂版、2007年)
- 4) 志田民吉編著『法学[第3版]』建帛社、2007年
- 5) 平田厚著『社会福祉法人・福祉施設のための実践リスクマネジメント』全国社会福祉協議会出版部、2002年
- 6) 増田雅暢・菊池馨実編『介護リスクマネジメント』旬報社、2003年

家族法

科目コード●050144

担当教員●渡辺信英(左)
菅原好秀(右)



4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

少子・高齢化社会を迎えるわが国において、子どもの人権といった問題から、家族・親族間の高齢者における介護・扶養といった問題は、身近な問題といえます。福祉の実務においては、たとえば認知症である利用者の財産管理はどのように対処したらいいのでしょうか。虐待を繰り返している両親に対して、子どもの救済を図るためにはどのようにしたらいいのでしょうか。遺産を相続するにあたって、親族間でトラブルが生じた場合にはどのようにしたらいいのでしょうか。経験や勘で対応するのではなく、福祉の現場において、最低限の法律の知識に基づいてアドバイスができる人材が現在求められています。

このような家族関係をめぐって紛争が生じた場合の解決方法、また相続の問題などを対処するための法律が、親族法・相続法であり、家族法であります。特に家族に関する問題は、社会が複雑化・多様化する中で、従来の家族の概念を越えた現代的問題として、夫婦別姓制度、夫婦財産制度、人工生殖問題などもあります。

本科目においては家族の新しいあり方と法の関係について現状を認識し、現代の問題点を把握し、よりよく快適な生活を享受し、安心して老後を送るためにはどのようにすべきなのかについて、具体的に学んでいきます。

教科書

渡辺信英編『福祉社会の家族法 親族編』南窓社、2008年

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『福祉のための家族法 親族編』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め

第1章の「家族法序論」について以下の内容を具体的に論じてください。
(1)家族法の特質について、(2)氏と戸籍について

2 単位め

第3章の「日本の婚姻制度」について以下の内容を具体的に論じてください。
(1)再婚禁止期間について、(2)夫婦同氏の原則について

3 単位め	第4章の「親子」について以下の内容を具体的に論じてください。 (1)親子制度の変遷について、(2)人工生殖による親子関係について ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	第5章の「親権・後見等」について以下の内容を具体的に論じてください。 (1)親権の内容について、(2)成年後見制度について ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1単位め 解説

(1)家族法の特質に関しては、家族法が「予定する人間像」「非合理性・非打算性」を中心にまとめてください。また、家族法の意義を論じた上で、福祉的視点としての家族法を論じてください。(2)氏と戸籍に関しては「悪魔くん事件」「戸籍偽造事件」など、具体的に問題となった事例を示して、あなたの考えを論じてください。

2単位め 解説

(1)再婚禁止期間の意義と問題点を論じた上で、あなたの考えを論じてください。また、再婚禁止期間の制度が父性確定の困難を避けるためのものである、どのようにすべきか具体的に言及してください。(2)夫婦同氏の原則の意義と問題点について論じた上で、諸外国の夫婦の氏についても、言及してください。また、夫婦別姓制についても法改正の動向を踏まえて、自説を展開してください。

3単位め 解説

(1)「子のための親子法」を中心に、今日の親子法の課題について言及してください。また、親子関係の意義についても具体的に言及ください。(2)人工生殖の問題点を示した上で、あなたの考えを論じてください。また、人工生殖の立法論について自説を展開してください。

4単位め 解説

(1)「子の虐待と親権の抑制」を中心に、あなたの考えを論じてください。虐待を防ぐための具体的な対策についても、自説を展開してください。(2)今後の成年後見制度の利用上の課題について、あなたの考えを論じてください。また「後見」「保佐」「補助」についても説明してください。

参考図書

- 1) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2010年
- 2) 渡辺信英編『福祉社会の家族法 相続編』南窓社、2008年

国際福祉論

科目コード●050115

担当教員●生田目学文



4 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択 B福祉心理
選択 B

科目の内容

国際福祉は古くて新しい分野です。国際福祉の活動には長年の取り組みがあり、その起源は19世紀にさかのぼることができます。近年は学問としての国際福祉研究も進んできました。

周知のように、日本は他国との相互依存関係によって現在の地位を築いてきました。今後は経済分野のみならず、福祉分野でも人的交流が進み、相互依存が深まり、日本の国際貢献が必要とされてくるでしょう。地球規模の視点からレポートに取り組んでください。

教科書

- 1) 仲村優一ほか編著『グローバリゼーションと国際社会福祉』中央法規出版、2002年
- 2) 生田目学文『「国際福祉」概念の考察』『東北福祉大学研究紀要』第28巻、2004年

レポート課題

1 単位め	「国際福祉」とは何かについてまとめてください。
2 単位め	グローバリゼーションと国際福祉について論じてください。
3 単位め	アジアにおける国際福祉について考察してください。
4 単位め	国際福祉分野において日本が果たすべき役割についてまとめてください。

アドバイス

1単位め
解説

テキスト「『国際福祉』概念の考察」および『グローバリゼーションと国際社会福祉』第2章を読み、「国際福祉」の概念がこれまでどのような意味で使われてきたのかを明らかにし、「国際福祉」三概念を整理してください。ここで認識論の議論に踏み込む必要はありません。

2単位め
解説

(1)テキスト『グローバリゼーションと国際社会福祉』第1章を読んでください。(2)昨今のグローバリゼーション（グローバル化、地球規模化）について説明し、(3)そこに起きている具体的事例（例えば地域紛争や飢餓、国際経済協力など）をひとつ検証しながら、(4)国際福祉と国家との関連について論じてください。

3単位め
解説

テキスト『グローバリゼーションと国際社会福祉』第3章および第4章を読み、アジアの発展途上国にある深刻な社会問題をひとつ題材として、その解決策について考察してください。

4単位め
解説

テキストで『グローバリゼーションと国際社会福祉』第5章および第6章を読み、国際福祉分野において日本が果たすべき役割についてまとめてください。

レポート評価基準

- (1) 設問に答えているか。（書いていくうちに話がそれないこと。）
- (2) 筋が通っているか。（一貫した論理・話の最初と最後が矛盾しないこと。）
- (3) 結論・主張がしっかりしているか。（自分の持っている考えを伝えること。）

レポートとは小論文です。字数制限もあることなので、書き始める前に以上の点を踏まえながらレポートの構成、アウトラインをまず作成し、たとえば序論・本論・結論という流れをまず作ることが必要です。

参考文献

- 1) ジェームズ・ミッジリィ著『国際社会福祉論』中央法規出版、1999年
- 2) 川村匡由編著『国際社会福祉論』ミネルヴァ書房、2004年
- 3) そのほか、テキスト『グローバリゼーションと国際社会福祉』各章にある参考文献を参照。

※テキストや参考文献は古いものが多いので、図書館やインターネットを活用して積極的に新しい情報を取り入れてください。

社会福祉法制

科目コード●050111

担当教員●志田民吉



4 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択 B福祉心理
選択 B

科目の内容

社会福祉法および社会福祉主要法律（児童、老人、障害者関連福祉法）についての理解を目指します。児童福祉法や老人福祉法、身体障害者福祉法等に定める福祉サービスの供受給制度に共通する事項をまとめて規定する社会福祉法の理解を中心に、各種の福祉サービス法に定められているサービスの提供のしくみやサービスの内容について理解をする手順で学んでいただければよいと思います。

教科書

志田民吉・伊藤秀一編著『社会福祉サービスと法（改訂）』建帛社、2007年

- ・2011年度以前に「精神保健福祉論Ⅲ」を履修登録した方は同じ教科書を配本済みのため、この科目での教科書配本はありません。

（教科書利用上の注意）近年、福祉関連法規が毎年のように改正されています。2012年には「障害者自立支援法」が「障害者総合支援法」に改正されました。教科書の改訂が追いつかないため、法規の改正を、自身で最新の社会福祉六法やインターネットで調べていただければと思います。また、2013年度開講予定のスクーリングにご参加ください。（平成19年度以前履修登録者）2008年4月より、教科書が部分改訂されています。レポート課題に変更はありません。

レポート課題

1 単位め	戦後（昭和20年8月15日以降）改正施行されたわが国の社会福祉関連法制度について、現在までの主要な流れについてまとめなさい。
2 単位め	社会福祉法の規定する苦情解決制度の意義についてまとめなさい。
3 単位め	「特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準」とは何かについてまとめなさい。

アドバイス

1単位め 解説

テキストの歴史の部分および資料編（教材1・2）を精読してまとめてみましょう。

2単位め 解説

テキストの社会福祉法の解説の部分を読んでみましょう。特に苦情解決制度が福祉サービスの受給においてどのような役割を果たしているのか、あるいはどのような役割を果たすことを期待されているのかを考えながらまとめられるとよいと思います。

3単位め 解説

テキストの老人福祉法の解説を精読し、老人福祉施設についてまとめながら、法令集（社会福祉六法：福祉小六法＝中央法規やミネルヴァ書房などから発行されています）に載っています上記「基準」の内容を読み比べてみれば、まとめることができると思います。

4単位め 解説

テキストで児童福祉法および児童虐待防止法についての解説や法律についてまとめてみるとよいでしょう。新聞などでは児童虐待問題について特集や虐待事実の報道がされていますので、それらの記事等を引用しながら、児童虐待防止についての制度上の問題点などにも触れていただければよいと思います。

参考文献

- 1) 志田民吉編著『法学（第3版）』建帛社、2007年
- 2) 志田民吉編著『臨床に必要な人権と権利擁護』（福祉臨床シリーズ7）弘文堂、2006年（絶版：アマゾンのネット通販で古書の購入は可能です）
- 3) 志田民吉共著『里親制度の国際比較研究』ミネルヴァ書房、2004年
- 4) 社会福祉六法（名称はいくつかあります）（中央法規出版、ミネルヴァ書房などから発行されています。最新年度版を用意してください）
- 5) 志田民吉共著『先進諸国の社会保障・ニュージーランド・オーストラリア』東京大学出版会 1999年

以上の他は、テキストに引用している文献を参照してください。

ケアマネジメント論

科目コード●050124

担当教員●高橋 誠一



4 単位

R or SR

3 年以上

社会福祉
選 択

社会教育
選 択 B

福祉心理
選 択 B

科目の内容

ケアマネジメントは、1950年代アメリカで生まれたと言われています。この時期、アメリカでは精神障害者が地域で暮らすようになってきましたが、適切な援助がないためにホームレスになるなど、必ずしも病院や施設より生活の質が向上したとは言えないことが明らかになってきました。その反省のもと、ケアや支援の継続性を確保するために、サービスを調整する役割が重要視されるようになりました。

60年代に入って、要介護高齢者の在宅支援の仕組みとして、ケアマネジメントが応用されるようになりました。その後、イギリスや多くの国でケアマネジメントが検討され、イギリスでは、全国的にケアマネジメントが導入されることになりました。日本でも、2000年から始まった介護保険の中でケアマネジメントが位置づけられました。また、障害の分野でもケアマネジメントは実質的に実施されています。さらに、児童虐待などの分野でも応用されています。このように、日本だけではなく世界的にさまざまな分野でケアマネジメントは注目されてきました。

ケアマネジメントは、歴史上アメリカから始まりました。しかし、ケアマネジメントという言葉は使われていませんが、日本の中では、60年代から保健・医療・福祉の連携の問題として、独自に発展してきています。また日本では、介護保険の中にケアマネジメントが位置づけられましたが、イギリスには介護保険はありません。このように、ケアマネジメントはさまざまな制度の違いにもかかわらず、いろいろな国で受け入れられてきました。

この科目では、ケアマネジメントのこのような広がりをふまえて、ケアマネジメントとはなにか、なぜ必要とされているのか、どのように形作られ、運営されているのかを検討したいと思います。必ずしも、介護保険のケアマネジメントを解説することを目的とはしていませんが、講義の内容は高齢者のケアマネジメントが中心となります。しかし、障害の分野などのケアマネジメントと理論的には共通ですので、それらを理解するためにも役立ちます。

教科書

D.P. マクスリー著『ケースマネジメント入門』中央法規出版、1994年

レポート課題

1 単位め	ケアマネジメントはなぜ必要なのでしょうか。また、ケアマネジメントの目標と機能について論じてください。
2 単位め	ケアマネジメントにおけるアセスメントとケアプランについてそれぞれの意味、特徴、必要性、役割を説明してください。
3 単位め	ケアマネジメントにおける直接サービス機能と間接サービス機能についてそれぞれの意味、特徴、必要性、役割を説明してください。
4 単位め	ケアマネジメントにおけるモニタリング、評価についてそれぞれの意味、特徴、必要性、役割を説明してください。

アドバイス

ケアマネジメントは、対人（個別）援助技術として見ることができます。その視点からは、評価（アセスメント）と援助計画（ケアプラン）が中心的な役割を果たしますが、マネジメントとしてのプロセスを理解することが重要です。一方、システムとして、ケアマネジメントを理解することもできます。この視点からは、ケアマネジメントの制度設計が重要な問題となります。この2つの視点は、ケアマネジメントを理解する上でともに重要であり、個別支援かシステムかといった二者択一の問題ではありません。このことを念頭に置いて、ケアマネジメントを理解してください。

＊テキストでは、「ケースマネジメント」となっていますが、「ケアマネジメント」と読み替えてください。

ケアマネジメントがなぜ必要になるのかを考えるには、ケアマネジメントが歴史上在宅支援の必要性から生まれたことを理解する必要があります。施設介護と在宅介護の違いは何でしょうか。いろいろな側面から検討できますが、ケアマネジメントの視点から見てることが重要です。ケアマネジメントは、それ自身が目的であるというよりは、手段にすぎません。それはマネジメントという言葉が示しているように、何かを達成するための仕組みと考えることができます。それでは、どのような目的、あるいは目標が考えられるのでしょうか。ケアマネジメントは2つの視点から見ることを理解していただきたいと書きましたが、実は、それぞれに応じて、利用者指向目標、システム指向目標の2つに大きく分けることができます。これらの目標はときとして競合する場合があります。

ケアマネジメントは、実践の中から生まれてきたので、現実要求されるさまざまな目標をバランスさせる宿命を持っているといえます。特に、(社会) 資源の効果的な使用の面から、ケアマネジメントは注目されてきた経緯があります。これらのことを念頭に置いて、課題を考えてください。

1単位め
解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第1章を参考にしてください。ここでは、特に、ケアマネジメントの機能について詳述していますので、ケアマネジメントの目標だけでなく、ケアマネジメントの機能も論じてください。第8章も参考にしてください。

2単位め
解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第2章アセスメント、第3章ケアプランの部分が対応します。それぞれがケアマネジメントの基本要素ですが、順番に、それぞれの意味と特徴、必要性、役割を説明してください。

3単位め
解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第4章直接サービス機能、第5章間接サービス機能の部分が対応します。順番に、それぞれの意味と特徴、必要性、役割を説明してください。

4単位め
解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第6章モニタリング、第7章評価の部分が対応します。順番に、それぞれの意味と特徴、必要性、役割を説明してください。

参考文献

- 1) D. チャリス、B. デイビス著『地域ケアにおけるケースマネジメント』光生館、1991年
- 2) S.M. ローズ編『ケースマネジメントと社会福祉』ミネルヴァ書房、1997年
- 3) 太田貞司・國光登志子編『対人援助職をめざす人のケアマネジメント Learning 10』みらい、2007年

発達障害者の地域支援

科目コード●050211

担当教員●三浦 剛



1 単位

S

1 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

これまで法の狭間におかれてきた学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（AD／HD）、アスペルガー症候群や高機能自閉症といわれる人たちの、その障害の特性を学び、教育、司法、就労などのさまざまな領域からの支援アプローチを学ぶ。なかでも個別支援計画の策定や社会資源開発といった地域生活支援に必要とされる社会福祉援助技術を中心に、事例を用いてその支援のあり方や方法の実際を学ぶ。

教科書

スクーリング受講時にプリントを配布

スクーリング講義内容

- 1) 発達障害とは
- 2) 地域生活支援—ソーシャルワークとは①
- 3) 地域生活支援—ソーシャルワークとは②
- 4) 乳幼児期支援の実際—早期療育システムによる
- 5) 児童・生徒期支援の実際—地域支援システムによる
- 6) 就労支援の実際
- 7) これからの課題—社会的排除との関連で
- 8) 試験（自筆のノートのみ持込み可）

参考図書

杉山登志郎著『発達障害の子どもたち』講談社現代新書、2007年

発達障害者支援法ガイドブック編集委員会『発達障害者支援法ガイドブック』河出書房新社、2005年
社団法人日本社会福祉士会編『障害者ケアマネジメントのための社会資源開発』中央法規出版、2001年

履修登録上の注意

この科目は2010年度に開講した「特講・社会福祉学11（発達障害者の地域支援）」と同じ科目です。「特講・社会福祉学11」を単位修得した方は履修登録できません。また、特講科目でなくなるため、スクーリングの申込みが必要になります。

通信教育で学ぶことを決意されたみなさまは、多くの本を読み、知識として得たこと、自ら考えたことを「レポート」という形にまとめていくことが、これからの学習活動の中心になります。

この『レポート課題集』は、一般の大学の授業と同じ働きをするものです。その科目で何を学んでほしいかの「科目の内容」、レポート課題に取り組むにあたっての「アドバイス」などには、担当の先生方からみなさまへのメッセージが込められています。

今後学習を進めていくなかで、時には本の内容がまったく頭に入らなかったり、レポート用紙を前に何を書けばよいかとまどったりすることがあるかもしれません。そんなときは、ちょっと一休みしたあと、この『レポート課題集』のなかにある担当の先生方からのアドバイスをもう一度読んで、取り組みやすいような課題から再び学習を始めてください。

学問って難しそうに感じることもありますが、人間が考えたことです。必ず理解できるはずですよ。どうしてもわからないときは、「質問票」を使って担当の先生に質問をすることもできます。

みなさまがこの『レポート課題集』を存分に活用し、学習を順調に進めていけることを願っています。

社会福祉編 レポート課題集2013

2012年8月1日 初版発行

発行	東北福祉大学通信教育部
	〒981-8522(本学専用) 仙台市青葉区国見1-8-1
	電話022-233-2211 http://www.tfu.ac.jp
印刷・製本	(株)ホクトコーポレーション

© Tohoku Fukushi University 2012 Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

